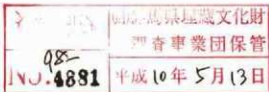


群像文報告第93巻、上編新幹線関係第13巻 三ツツ今 II 3巻 部小 『3巻 第4巻 第1』 正 誤 表
19910117開0118改

	誤	正
25頁	第27回 1区10 住居跡豊敷ビット列(西から)	第27回 1区16号住居跡豊敷ビット列(西から)
143頁	第143回 3区21号住居跡豆カマド遺物(西から)	第143回 3区21号住居跡豆カマド遺物(西から)
246頁	第249回 2区43・44号住居跡出土遺物 0295E - 0294E	0294E - 0295E
253頁	第254回 3区7・8・11・12号住居跡出土遺物 0346E - 0347E	0347E - 0346E
255頁	第254回 3区20・21・22号住居跡市遺物 0540E - 0541E	0541E - 0540E



（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告 第93集

上越新幹線関係
埋蔵文化財発掘調査報告

第13集

三ツ寺Ⅱ遺跡

資料編1

1990

群馬県教育委員会
（財）群馬県埋蔵文化財調査事業団
東日本旅客鉄道株式会社

凡例

- 1 本書は全4分冊〔本文編〕〔資料編1〕〔資料編2〕〔写真図版編〕で構成する。三ツ等日遺跡の発掘調査報告書〔資料編1〕である。
- 2 〔資料編〕は1～6区発見の遺構・遺物の個別の報告である。〔資料編1〕には1・2・3区、〔資料編2〕には4・5・6区の遺構・遺物を掲載した。なお、1区1号井戸（木簡出土地点）については、〔本文編〕で報告する。
- 3 〔資料編1〕の掲載順序は1→2→3区とし、各区ごとに概要、住居跡、その他の順である。また、個別の遺構種ごとに番号順に掲載しており、時代別の掲載ではない。
- 4 大宮起点のキロ程と各区の範囲は、次の通りである。

1区: 83km455m～83km500m	2区: 83km500m～83km600m	3区: 83km600m～83km700m
4区: 83km700m～83km800m	5区: 83km800m～83km900m	6区: 83km900m～83km939m
- 5 遺構及び遺構面の方位は磁北を基準としている。グリッド設定の基準とした新幹線中軸線（直線）と磁北とのなす角度は、N1度21分40秒Eである。
- 6 住居跡の個別説明はすべて表の中に納めた。個別住居の図は、原則として全形の判別したものを掲載し、半掘状態で調査を終了したものは〔本文編〕全体図で示した。遺物出土状態を示す図は判別として掲載せず、遺物出土状態写真に遺物番号を記入して図に代えた。住居表中の屋内施設のうち、「壁溝」は住居壁際の床面に掘り込まれた溝に沿った溝を指す。「床溝」は従来「間仕切り溝」等と呼ばれたもので、主として壁溝に直角な方向に延びる長さ50～100cmほどの床面・床下検出の溝状遺構を指す。
- 7 住居跡の計測値については、下の原則による。すべて1/20原図から起こした数値である。
 - ①平面形は方形・長方形・台形・その他に分けた。向かい合う辺の距離が1/20図で10cm以上の差があるとき、長方形と呼ぶ。
 - ②長軸の方位を住居の主軸とする。南北に長い（＝主軸を南北方向にとる）住居で、東辺にカマドを設置しているときはN●度E、西辺にカマドを設置しているときはN●度Wと表現した。
 - ③壁高は床面からの現存高さを示す。
 - ④主柱穴間の距離は、主柱穴が認定できたときに、下バ心距離で示した。
 - ⑤規模は各辺の長さ、または向かい合う辺の距離で示した。
 - ⑥面積は長軸×短軸で計算した。
 - ⑦計測値・形状等に推定復元を伴うときは、かっこ（ ）でくくった。
- 8 掘立住建物跡の計測値は、すべて1/20原図から起こした数値である。
- 9 文中または一覧表中で、標名山・浅間山を給源とする軽石・火山灰（テフラ）を下の記号で表現したことがある。それぞれの降下年代は、次の年代観をとっている。

浅間A軽石: 天明3年 (1783年)
浅間B軽石: 天仁元年 (1108年)
FP : 6世紀中頃 (標名山ニツ岳)
FA : 6世紀初頃 (標名山ニツ岳)
浅間C軽石: 4世紀中頃
- 10 遺物の計測値等は、原則として巻末に掲載した。
- 11 遺物の整理番号は4桁の通番とし、遺物に付したラベル・遺物出土状態写真の遺物番号・実測図の遺物番号・計測値表の遺物番号・写真図版編の遺物番号は同じ遺物を指す。整理作業の都合により、ひとつの遺構出土の遺物番号が連続しない場合がある。掲載した遺物は、出土位置（水平・垂直）が図と組合可能なものを原則とし、遺物と図との同定ができなかったものは、特別な場合を除き、削除した。掲載遺物は主として床面出土、カマド出土、貯蔵穴出土、壁溝出土の遺物であり、住居の廃棄時期に比較的近いものと推定した。
- 12 住居表及び遺構集計表での時代区分の用語は、おおむね下記のように使用した（実年代観は主として坂口編年による*1）。縄文時代～弥生時代では土器型式名・時期区分（前期、後期等）で示し、西暦表現はしなかった。また、浅間Bテフラを遺構底面に純層に近い状態で含む遺構と、浅間Bテフラを含む土層よりも上位で検出した遺構について「中世以降」とした。

古墳時代前期: 4世紀 (古墳前期と略記する。以下同様。)	古墳時代中期: 5世紀
古墳時代後期: 6～7世紀**	奈良時代 : 8世紀
平安時代 : 9～11世紀**	
- *1 坂口 『群馬県における古墳時代中期の土器の編年』『研究紀要—4—』群馬県埋蔵文化財調査事業団、1987年。なお、表中の「5世紀末」は「5世紀後半」に広がる可能性がある。
- *2 ここでは7世紀代を「古墳時代後期」に含めた。なお、7世紀代の土器には、いわゆる「真間式土器」の一部を含んでいる。
- *3 12世紀以降とみられるは竪穴式住居は検出していない。

目 次

資料編 1

1 区	概 要	3
	住 居 跡	4
	水 田 跡	48
	溝	48
	土 坑	52
2 区	概 要	57
	住 居 跡	58
	畚 跡	114
	溝	117
	土 坑	118
3 区	概 要	121
	住 居 跡	122
	竪穴遺構	208
	掘立柱建物跡	209
	井 戸	210
	溝	212
	土 坑	214
	出土遺物図	221
	遺物計測値表	283

〈資料編2〉

4区	概 要	344
	住 居 跡	345
	島 跡	514
	掘立柱建物跡	516
	溝	519
	土 坑	522
	縄文時代土坑群	522
5区	概 要	543
	住 居 跡	544
	ピット群	658
	溝	660
	土 坑	668
6区	概 要	673
	住 居 跡	675
	出土遺物図	681
	遺物計測値表	745

挿 図 目 次

第 1 図	変貌する沼澤 (1)	(1)
第 2 図	1 区遺構配置図	(2)
第 3 図	1 区 1 号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	4
第 4 図	1 区 1 号住居跡	5
第 5 図	1 区 2 号住居跡	5
第 6 図	1 区 2 号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	6
第 7 図	1 区 3 号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	7
第 8 図	1 区 3・4 号住居跡	8
第 9 図	1 区 4 号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	9
第 10 図	1 区 5 号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真 (1)	10
第 11 図	1 区 5 号住居跡炭石 (南東から)・写真 (2)	11
第 12 図	1 区 5 号住居跡	11
第 13 図	1 区 6 号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	12
第 14 図	1 区 6・7 号住居跡	13
第 15 図	1 区 7 号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	14
第 16 図	1 区 8 号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	15
第 17 図	1 区 9 号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	16
第 18 図	1 区 10 号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	17
第 19 図	1 区 10 号住居跡	18
第 20 図	1 区 12 号住居跡遺物出土状態 (南から)・写真 (1)	19
第 21 図	1 区 12 号住居跡カマド遺物 (西から)・写真 (2)	20
第 22 図	1 区 14 号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真 (1)	21
第 23 図	1 区 14 号住居跡カマド遺物 (西から)・写真 (2)	22
第 24 図	1 区 14 号住居跡カマド遺物 (西から)・写真 (3)	22
第 25 図	1 区 15 号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	23
第 26 図	1 区 15 号住居跡	24
第 27 図	1 区 16 号住居跡燧石ピット列 (西から)・写真	25
第 28 図	1 区 16 号住居跡	26
第 29 図	1 区 17 号住居跡貯蔵穴 (南東から)・写真	27
第 30 図	1 区 17・20 号住居跡	28
第 31 図	1 区 19 号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	29
第 32 図	1 区 20 号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	30
第 33 図	1 区 21 号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真 (1)	31
第 34 図	1 区 21 号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真 (2)	32
第 35 図	1 区 21 号住居跡	32
第 36 図	1 区 22 号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	33
第 37 図	1 区 22 号住居跡 (1)	34
第 38 図	1 区 22 号住居跡 (2)	35
第 39 図	1 区 23 号住居跡遺物出土状態 (南西から)・写真	36
第 40 図	1 区 24 号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	37
第 41 図	1 区 25 号住居跡カマド (西から)・写真	38
第 42 図	1 区 26・27・28・29・30・31 号住居跡遺物出土状態 (北から)・写真	39
第 43 図	1 区 27 号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	40
第 44 図	1 区 28 号住居跡カマド遺物 (北西から)・写真	41
第 45 図	1 区 29 号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	42
第 46 図	1 区 24~31 号住居跡 掘形	43
第 47 図	1 区 32 号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	44
第 48 図	1 区 33 号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	45
第 49 図	1 区 34 B 号住居跡 掘形	46
第 50 図	1 区 36 号住居跡 (西から)・写真	47
第 51 図	1 区水田跡	49
第 52 図	1 区 1・2・3・4・5・6・7・8・10・11・12 号溝断面図	50
第 53 図	1 区土坑断面	54
第 54 図	変貌する沼澤 (2)	(55)
第 55 図	2 区遺構配置図	(56)
第 56 図	2 区 1 号住居跡遺物出土状態 (東から)・写真	58

第57図	2区3号住居跡カマド (南から)・写真	59
第58図	2区4号住居跡	60
第59図	2区5号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	61
第60図	2区6号住居跡遺物出土状態 (南から)・写真	62
第61図	2区7A号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	63
第62図	2区7C号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	64
第63図	2区8号住居跡遺物出土状態 (東から)・写真(1)	65
第64図	2区8号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真(2)	66
第65図	2区8号住居跡カマド遺物 (南から)・写真(3)	66
第66図	2区9号住居跡カマド (東から)・写真	67
第67図	2区10号住居跡カマド遺物 (東から)・写真	68
第68図	2区11号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	69
第69図	2区12号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	70
第70図	2区13・14号住居跡 概形	71
第71図	2区15号住居跡 カマド	72
第72図	2区16・17号住居跡遺物出土状態 (東から)・写真(1)	73
第73図	2区16号住居跡遺物出土状態 (東から)・写真(2)	74
第74図	2区17号住居跡遺物出土状態 (北から)・写真(3)	74
第75図	2区16・17号住居跡遺物分布図	75
第76図	2区18号住居跡遺物出土状態 (西から)と遺物1522・写真	76
第77図	2区19号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	77
第78図	2区19号住居跡	78
第79図	2区23号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	80
第80図	2区25号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	81
第81図	2区26号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	82
第82図	2区27・31号住居跡 概形	83
第83図	2区28号住居跡カマド周辺遺物 (西から)・写真	84
第84図	2区32号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	86
第85図	2区32号住居跡	87
第86図	2区33・55号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	88
第87図	2区33・34・55号住居跡	89
第88図	2区35号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	90
第89図	2区37号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	91
第90図	2区38号住居跡カマド (西から)・写真	92
第91図	2区39号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	93
第92図	2区39号住居跡カマド・41号住居跡遺物出土状態	94
第93図	2区40号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	95
第94図	2区41号住居跡貯蔵穴付近遺物 (西から)・写真	96
第95図	2区42号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真(1)	97
第96図	2区42号住居跡カマド遺物 (東から)・写真(2)	98
第97図	2区42号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真(3)	98
第98図	2区43・44号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真(1)	99
第99図	2区43号住居跡貯蔵穴遺物 (南から)・写真(2)	100
第100図	2区43号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真(3)	100
第101図	2区44号住居跡カマド	101
第102図	2区47号住居跡	102
第103図	2区47号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	103
第104図	2区50・51号住居跡	104
第105図	2区50号住居跡遺物出土状態 (南から)・写真	105
第106図	2区52号住居跡	107
第107図	2区55号住居跡	108
第108図	2区55号住居跡遺物出土状態 (北から)・写真	109
第109図	2区56号住居跡カマド遺物 (西から)・写真	110
第110図	2区57号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真	111
第111図	2区58号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真(1)	112
第112図	2区58号住居跡	113
第113図	2区58号住居跡遺物出土状態 (西から)・写真(2)	113
第114図	2区西側道F A 畚跡 (南から)・写真(1)	114
第115図	2区西側道F A 畚跡 (東から)・写真(2)	115
第116図	2区西側道F A 畚跡 (西から)・写真(3)	115

第117図	2区西側道倉跡	116
第118図	2区溝 断面	117
第119図	2区土坑 断面	118
第120図	変装する石線(3)	(119)
第121図	3区遺構配置図	(120)
第122図	3区1号住居跡カマド付近遺物(南東から)・写真	122
第123図	3区2・13号住居跡、1号竪穴遺構遺物出土状態(西から)・写真	123
第124図	3区3号住居跡遺物出土状態(南から)・写真(1)	124
第125図	3区3号住居跡	125
第126図	3区3号住居跡カマド(西から)・写真(2)	126
第127図	3区4・5号住居跡遺物出土状態(北から)・写真(1)	127
第128図	3区5号住居跡遺物出土状態(南から)・写真(2)	128
第129図	3区4・5号住居跡	128
第130図	3区6号住居跡カマド遺物(西から)・写真	129
第131図	3区7号住居跡遺物出土状態(北東から)・写真	130
第132図	3区6・7号住居跡	131
第133図	3区11号住居跡カマド遺物(西から)・写真	133
第134図	3区10・12号住居跡	134
第135図	3区15号住居跡遺物出土状態(北西から)・写真	136
第136図	3区16号住居跡カマド付近遺物(東から)・写真	137
第137図	3区17号住居跡カマド掘形(北西から)・写真	138
第138図	3区18号住居跡カマド掘形(南西から)・写真	138
第139図	3区19号住居跡カマド付近遺物(西から)・写真	140
第140図	3区20号住居跡遺物出土状態(南から)・写真	141
第141図	3区21号住居跡遺物出土状態(南東から)・写真(1)	142
第142図	3区21号住居跡Aカマド遺物(西から)・写真(2)	143
第143図	3区21号住居跡Bカマド遺物(西から)・写真(3)	143
第144図	3区22号住居跡遺物出土状態(南から)・写真	144
第145図	3区21・22号住居跡(1)	145
第146図	3区21・22号住居跡(2)	146
第147図	3区24号住居跡カマド遺物(西から)・写真	147
第148図	3区24・25号住居跡	148
第149図	3区25号住居跡カマド付近遺物(西から)・写真	149
第150図	3区26号住居跡(1)	151
第151図	3区26号住居跡(2)掘形	152
第152図	3区26号住居跡カマド遺物(西から)・写真	152
第153図	3区27号住居跡遺物出土状態(南東から)・写真	153
第154図	3区28号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(1)	154
第155図	3区28号住居跡貯蔵穴遺物(東から)・写真(2)	155
第156図	3区28号住居跡床溝(東から)・写真(3)	155
第157図	3区28号住居跡	156
第158図	3区29号住居跡 土層断面	157
第159図	3区29号住居跡遺物出土状態(東から)・写真	157
第160図	3区30号住居跡遺物出土状態(東から)・写真(1)	158
第161図	3区30号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(2)	159
第162図	3区30号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(3)	159
第163図	3区30号住居跡	160
第164図	3区31号住居跡 土層断面	161
第165図	3区33号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(1)	162
第166図	3区33号住居跡遺物出土状態(北西から)・写真(2)	163
第167図	3区33号住居跡	163
第168図	3区34号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	164
第169図	3区34(65)号住居跡	165
第170図	3区36号住居跡	166
第171図	3区39号住居跡 カマド	167
第172図	3区39号住居跡カマド遺物(南から)・写真(1)	168
第173図	3区39号住居跡遺物出土状態(南から)・写真(2)	169
第174図	3区39号住居跡遺物出土状態(東から)・写真(3)	169
第175図	3区40号住居跡遺物出土状態(南東から)・写真(1)	170
第176図	3区40号住居跡遺物出土状態(南から)・写真(2)	171

第177図	3区42号住居跡遺物出土状態(東から)・写真	172
第178図	3区43号住居跡カマド付近遺物(西から)・写真	173
第179図	3区47号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	175
第180図	3区8・45・46・47・48・58A・59A号住居跡	176
第181図	3区49号住居跡貯蔵穴遺物(南西から)・写真	177
第182図	3区50号住居跡カマド遺物(南西から)・写真	178
第183図	3区50号住居跡	179
第184図	3区51号住居跡(1)	179
第185図	3区51号住居跡カマド遺物(西から)・写真(1)	180
第186図	3区51号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(2)	181
第187図	3区51号住居跡貯蔵穴遺物(西から)・写真(3)	181
第188図	3区51号住居跡(2)	182
第189図	3区51号住居跡(3)	183
第190図	3区52号住居跡遺物出土状態(北から)・写真(1)	184
第191図	3区52号住居跡遺物出土状態(北西から)・写真(2)	185
第192図	3区52号住居跡貯蔵穴遺物(北東から)・写真(3)	185
第193図	3区52号住居跡	186
第194図	3区53・54号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(1)	187
第195図	3区54号住居跡 雛形(西から)・写真(2)	187
第196図	3区53・54号住居跡遺物出土状態(北西から)・写真(3)	188
第197図	3区53・54号住居跡	189
第198図	3区55号住居跡カマド付近遺物(南西から)・写真	190
第199図	3区55・56号住居跡	191
第200図	3区57号住居跡遺物出土状態(北から)・写真	192
第201図	3区57号住居跡	193
第202図	3区59A号住居跡カマド土層断面(北西から)・写真	195
第203図	3区60B号住居跡カマド遺物(西から)・写真	196
第204図	3区60B号住居跡	197
第205図	3区61B号住居跡遺物出土状態(西から)・写真	198
第206図	3区62号住居跡カマド遺物(西から)・写真	199
第207図	3区62号住居跡	200
第208図	3区64号住居跡	201
第209図	3区66号住居跡カマド遺物(西から)・写真(1)	202
第210図	3区66号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(2)	203
第211図	3区66号住居跡遺物出土状態(西から)・写真(3)	203
第212図	3区66号住居跡	204
第213図	3区68号住居跡	205
第214図	3区69・70・71号住居跡	207
第215図	3区1号壁穴遺構、2・13号住居跡	208
第216図	3区1号孤立柱建物跡	209
第217図	3区1号井戸土層断面(南から)・写真	210
第218図	3区井戸	211
第219図	3区溝 断面	213
第220図	3区土坑 断面(1)	216
第221図	3区土坑 断面(2)	217
第222図	1区1・2・3・4・6号住居跡出土遺物	221
第223図	1区7・8・9号住居跡出土遺物	222
第224図	1区10・11・12・13号住居跡出土遺物	223
第225図	1区14号住居跡出土遺物	224
第226図	1区15号住居跡出土遺物(1)	225
第227図	1区15号住居跡出土遺物(2)	226
第228図	1区17号住居跡出土遺物	227
第229図	1区18・19号住居跡出土遺物	228
第230図	1区20・21号住居跡出土遺物	229
第231図	1区21号住居跡出土遺物	230
第232図	1区22・23号住居跡出土遺物	231
第233図	1区24・26・27・28号住居跡出土遺物	232
第234図	1区29・32・34A・35・36号住居跡、3号溝出土遺物	233
第235図	2区2・3・4・6号住居跡出土遺物	234
第236図	2区7A・7C・8号住居跡出土遺物	235

第237区	2区8·9号住居跡出土遺物	236
第238区	2区10·11·12·14·15·16号住居跡出土遺物	237
第239区	2区17·18号住居跡出土遺物	238
第240区	2区18·19·21·23号住居跡出土遺物	239
第241区	2区23·24号住居跡出土遺物	240
第242区	2区25·26·27·28号住居跡出土遺物	241
第243区	2区28·32号住居跡出土遺物	242
第244区	2区33号住居跡出土遺物	243
第245区	2区35·37号住居跡出土遺物	244
第246区	2区38·39·40号住居跡出土遺物	245
第247区	2区41·42号住居跡出土遺物	246
第248区	2区42·43号住居跡出土遺物	247
第249区	2区43·44号住居跡出土遺物	248
第250区	2区47·50·51·55·56号住居跡出土遺物	249
第251区	2区57·58号住居跡、遺構外出土遺物	250
第252区	3区1·2·3号住居跡出土遺物	251
第253区	3区3·5·6号住居跡出土遺物	252
第254区	3区7·8·11·12号住居跡出土遺物	253
第255区	3区15·16·19号住居跡出土遺物	254
第256区	3区20·21·22号住居跡出土遺物	255
第257区	3区23·24·25·26B号住居跡出土遺物	256
第258区	3区26B·27号住居跡出土遺物	257
第259区	3区28号住居跡出土遺物(1)	258
第260区	3区28号住居跡出土遺物(2)	259
第261区	3区29·30·33号住居跡出土遺物	260
第262区	3区33·34·38号住居跡出土遺物	261
第263区	3区39号住居跡出土遺物	262
第264区	3区39·40·41号住居跡出土遺物	263
第265区	3区42·43·45号住居跡出土遺物	264
第266区	3区47·49·50号住居跡出土遺物	265
第267区	3区51号住居跡出土遺物	266
第268区	3区51·52号住居跡出土遺物	267
第269区	3区52·53号住居跡出土遺物	268
第270区	3区54号住居跡出土遺物	269
第271区	3区55·59A·58B·59B·60B号住居跡出土遺物	270
第272区	3区57号住居跡出土遺物	271
第273区	3区60B号住居跡出土遺物	272
第274区	3区61A·61B·62号住居跡出土遺物	273
第275区	3区63·64·66号住居跡出土遺物	274
第276区	3区66号住居跡出土遺物	275
第277区	3区68·69·70号住居跡出土遺物	276
第278区	3区1·6·7·14号溝出土遺物	277
第279区	3区2·3号土壇基、11·40·42号土坑、5号井出土遺物	278
第280区	3区21·22号土坑出土遺物	279
第281区	3区28·31号土坑出土遺物	280

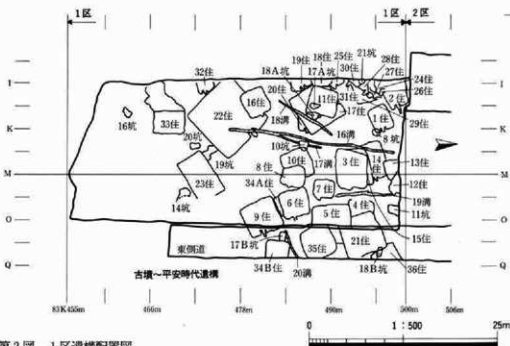
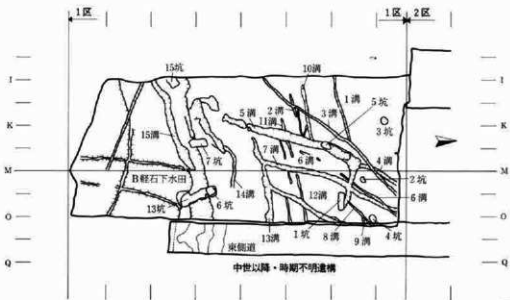
1 区 の 遺 構



第1図 変貌する沿線(1)高崎市上佐野陸橋から観音山を望む

倉賀野バイパスが開通し、国道17号線の交通量はさらに増加した。観音山丘陵の開発が進む。

1990年4月撮影



第2図 1区遺構配置図

1 区 の 概 要

大宮を起点とする1区のキロ程は83km455mから83km500mの範囲である。遺構検出面は上下2面である。1区の南端には水路が東西に横切り、上層の遺構検出でも湧水が多く、下層ではさらに水量が多くなったこと、調査当時水田部であったこと、湧水への十分な安全対策をとることができなかったこと等により、83km455m以南での遺構検出を断念した。

しかし、三ッ寺1遺跡の調査が進展し、その北限域が追究課題となった時点で、この水田部の掘削工事中に遺物が出土したため、緊急の調査を行い、井戸等の遺構を検出した。この地点は三ッ寺II遺跡の調査地区に含まれるが、別途調査を行ったため、「三ッ寺II遺跡(木簡出土地点)」と呼ばれている(注1)。この地点については三ッ寺I遺跡との関係、及び検出した遺構と遺物の特殊性から、「本文編」で詳細な報告を行うこととした。

1区では下表の遺構を検出した。上層では水田跡、溝、土坑を主とし、下層では古墳～平安時代の住居跡、土坑等を検出している。また、第2次調査の東側道でも同様の遺構を検出している。

22号住居は一辺が7mを越えており、本遺跡検出住居中でもとくに規模の大きいものである。17A・18A号土坑は20号住居(古墳)の床下から検出した不整形の土坑で、明らかに住居よりも古いが、風倒木痕の可能性がある。

調査区北東部の住居群は重複が激しく、明確な住居プランをつかむことができなかった。西側の調査区外は新幹線建設用地よりもやや高いことを考えれば、西側に住居群が広がりそうである。

注1 「年報-1-1」(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団, 1982

表1 1区検出遺構

遺 構	時 代							欠 番	小 計		
	縄 文	弥 生	古 墳				奈 良			平 安	不 明
			前 期	中 期	後 期	(古) ^{*1}					
住 居	0	0	0	1	20	2	(1) ^{*2}	13	—	—	37
掘立柱建物											0
ピット群											0
井							1				1
溝						5			15		20
土 坑						12			9	2	23
水 田											1
島											0

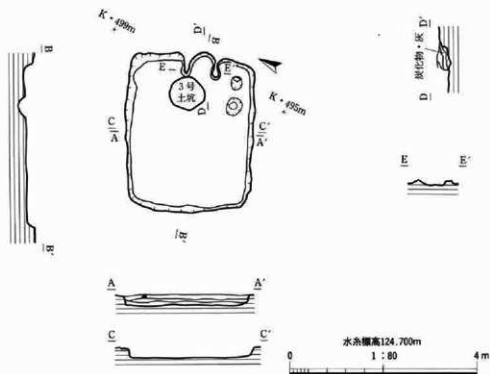
*1 時期分離できない

*2 古墳～奈良と推定したもの

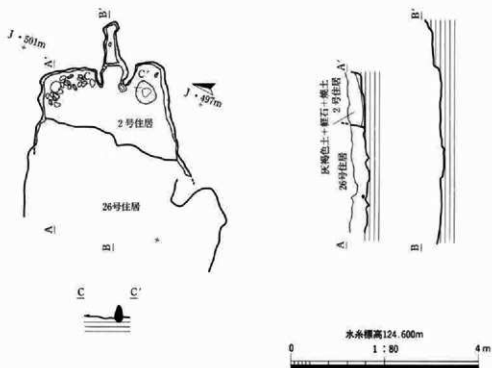
平面形	長方形, 規模 673×542, 面積 36.5㎡, 壁高 17~25, 長軸方位 N75度E
壁	溝 なし
主柱穴	不明
カマド	位置 北東辺中央やや南, 対称軸方位 N75度E, 構築材 粘土, 支脚 -
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 円形, 上径26×23, 下径14×17, 深さ46
その他(状況の記録)	
確認面	:第5層, 検出位置: Kライン・497m付近
重複関係	:1住→3坑, 8坑→1住
覆土	:ほぼ水平に堆積, 壁 :斜め, 浅い
床面	:平床
主柱穴	:不明, 壁 溝:なし
カマド	:遺存不良, 中央部に土器片浮いて出土
貯蔵穴	:掘形調査で検出
掘形	:西側に細かい凹凸多い
その他	: -
遺物	:少ない, カマド周辺からの出土, 0001・0002・0003・0004 (土製紡錘車)
時期	:古墳後期, 6世紀



第3図 1区1号住居跡カマド遺物(西から)



第4図 1区1号住居跡



第5図 1区2号住居跡

平面形	長方形?, 規模 273×-, 面積 -, 壁高 13~20, 長軸方位 -
壁	調 なし
主柱穴	不明
カマド	位置 北東辺中央やや南, 対称軸方位 N71度E, 構築材 粘土・石, 支脚 -
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 不整形, 上ノ47×42, 下ノ14×19, 深さ33
その他 (状況の記録)	
確認	面: 26号住居下, 6~7層黒色土中, 検出位置: Jライン・500m付近
重複関係	2住→26住
覆土	-
壁	傾め, 20cm前後
床	面: カマド前はやくぼむ, 西半は重複住居によって破壊されていた
主柱穴	-
カマド	右袖石は加工痕のある軽石, 煙道との境がある
貯蔵穴	壁との間から壁底部出土, 周辺に土器片散乱, 底部の形状は出水のため不明確
掘形	細かい凹凸あり
その他	北東隅からまとまって石が出土
遺物	カマド周辺, 貯蔵穴周辺から出土, 0005・0006・0007 (壁底部)
時期	古墳後期, 6世紀後半~7世紀



第6図 1区2号住居跡遺物出土状態 (西から)

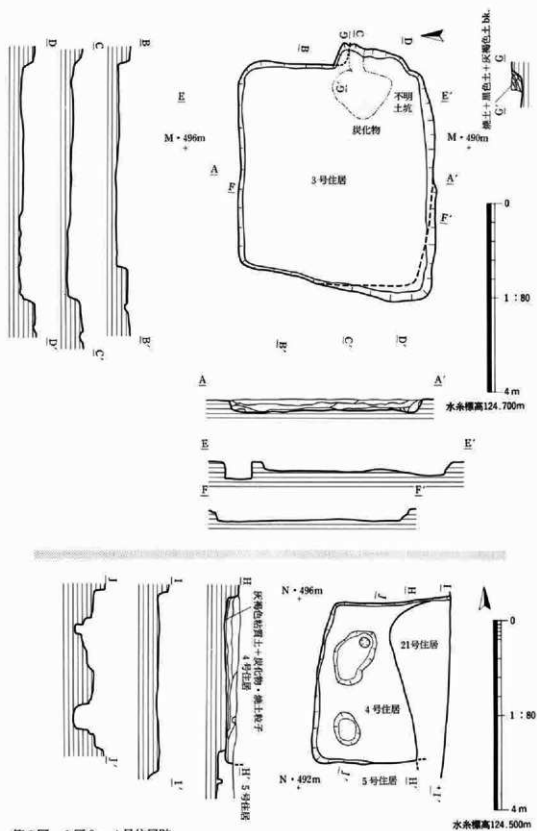
三ツ寺II 1区 3号住居跡 (第7・222図, 図版10)

計測値単位cm, -: 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 460×413, 面積 19.0㎡, 壁高 19~24, 長軸方位 N94度E
壁溝	なし
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央やや南, 対称軸方位 -, 構築材 -, 支脚 -
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	黒色土を掘り込む, 6~7層, 検出位置: Mライン・494m付近
重複関係	15住→3住→5溝・2坑
覆土	灰褐色系の粘質土+灰・炭化物・流土+黒色土ブロックが主体
壁	斜め, 20cm前後
床面	粘土, 暗褐色土+黄褐色土の床面, カマド前と東半分は固く良好
主柱穴	-, 壁溝: -
カマド	煙道部不明, 袖部不明, カマド前床面に炭化物散布
貯蔵穴	-
経形	重複のため調査できず
その他	床下から15住の遺物 (甕・杯・高杯破片) 出土
遺物	石1個, 灰輪陶器 0079 (碗)・0080 (段皿)
時期	平安, 10世紀後半~11世紀



第7図 1区3号住居跡遺物出土状態 (西から)



第8圖 1区3・4号住居跡

三ツ寺II 1区 4号住居跡(第8・222図, 図版10・418)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形?, 規模 384×280以上, 面積 -, 壁高 19~24, 長軸方位 -
壁 溝	なし
主柱穴	不明
カマド	不明, 火を受けた石出土, 東側か?
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
礎 礎 面	黒色土, 6~7層, 検出位置: Oライン・494m付近
重複関係	5住→21住→4住
覆 土	灰褐色系の粘質土+炭化物・焼土, 壁 : 直立に近い, 20cm前後
床 面	東側は貼床でやや軟質, 平坦
主 柱 穴	-
カ マ ド	-
貯 蔵 穴	-
掘 形	床下から21号住居の不整形掘り込みを検出, 中央部に床下土坑径80・深さ10cm
そ の 他	北土坑129×80・深21, 南土坑71×51・深34, 東側道ではブラン確認できず
遺 物	調査区壁寄りで少量出土, 0008 (灰釉陶器高台付碗)・0009 (羽釜口縁部)
時 期	平安, 10世紀



第9図 1区4号住居跡遺物出土状態(西から)

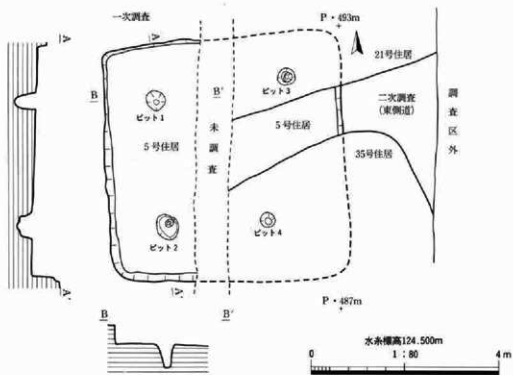
平面形	方形, 規模 512×510, 面積 -, 壁高 20~43, 長軸方位 -				
壁	溝なし				
主柱穴	1	2	3	4?	主柱穴間の距離(下バ中心)
上バ径	40	56×45	36	30	1-2:299, 1-3:283
下バ径	12	20×13	9	14	3-4:309, 4-2:211
深さ	43	33	57	64	
カマド	不明				
貯蔵穴	不明				
その他(状況の記録)	確認面: 浅間C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: O-Pライン・490m 重複関係: 5住→21住→4住, 5住→35住 覆土: 灰褐色系の土+黒色土・黄褐色土ブロック 壁: 直立に近い, 40cm 床面: 粘床, 平坦 主柱穴: 4は35住所属か? , 壁溝:- カマド:- 貯蔵穴:- 照形: 北辺西隅付近ビット22×20・深25, 西辺中央付近ビット25×34・深15 その他: 西平一次調査・東平二次調査(東側道)で検出, 中央部はトレンチで破壊 遺物: 覆土・床面から小片(高杯・壺底部)出土, 西辺壁中央にかかって黒石出土(崩れ落ちた状態), 出土遺物掲載なし 時期: 古墳				



第10図 1区5号住居跡遺物出土状態(西から)



第11図 I区5号住居跡集石(南東から)

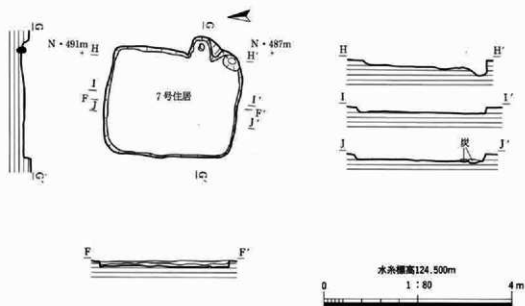
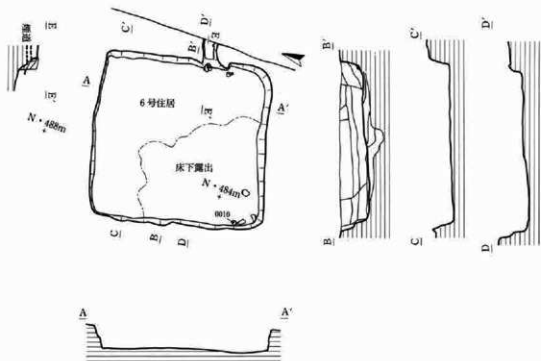


第12図 I区5号住居跡

平面形	長方形, 規模 371×348, 面積 12.9㎡, 壁高 37~53, 長軸方位 N14度W
壁	溝なし
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N71度E, 構築材 粘土? 支脚 土器?
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認	面: 浅間C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: O-Nライン・484m付近
重複関係	: 34A住(または番号なし土坑)→6住
覆土	: 黒褐色系の軽石を含む土, 壁: 40~50cm, 直立に造い
床	面: 南西部は軟質, その他の部分は粘床
主柱穴	: 壁溝: -
カマド	: 輪部検出なし, 煙道の天井部遺存, 煙道先端部はトレンチにより破壊
貯蔵穴	: -
形状	: 中央南寄りで床下楕円形土坑66×57・深19(34A号住居の一部か?)
その他	: 34A号住居は6号住居の張り出し部か?
遺物	: 南西隅壁際, 0010(高杯脚部), 須恵器壺室体付着, 内面黒色の須恵器横盤杯片
時期	: 古墳後期, 6世紀前半



第13図 1区6号住居跡カマド遺物(西から)



第14図 1区6・7号住居跡

平面形	長方形, 規模 287×232, 面積 6.7㎡, 壁高 7~13, 長軸方位 N 5度 E
壁	溝 なし
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N96度 E, 構築材 粘土 支脚 土器(上)・石(下)
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 楕円形, 上ノ径40×28, 下ノ径17×13, 深さ10
その他(状況の記録)	
確認	面: 暗褐色土, 5層, 検出位置: Nライン・490m付近
重複関係	単独検出
覆	土: 灰褐色系の土, 水平に近い堆積, 壁: 直立に近い, 10cm前後
床	面: 暗褐色土+黄褐色土の粘床, 中央わずかに高まる
主柱穴	: - 壁 溝: -
カマド	: 熱源部中央に15cm大の石, その上に高台付碗が高台を上にして出土, カマド前床面に炭・灰検出
貯蔵穴	: 南東隅壁際, 楕円状
掘	影: 5~10cm大の小穴多数, 凹凸あり
その他	: カマド左脇はテラス状
遺物	: 南側床面から炭化物, 土器は南半部で出土, 0011 (甌, 還元焼成)・0012 (高台付碗)・0013 (羽釜, 還元焼成)
時期	: 平安, 10世紀前半



第15図 1区7号住居跡遺物出土状態(西から)

三ツ寺II 1区 8号住居跡 (第16・223図, 図版12)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	台形、規模 南北309×北辺240・南辺182、面積 -、壁高 14~24、長軸方位 N 6度E
壁溝	なし
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り、対称軸方位-、構築材- 支脚 -
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
礎	礎面:浅間C軽石を含む黒褐色土、6層 検出位置:Mライン・485m付近
重複関係	10住→8住→7溝
覆	土:黒褐色土系の土 壁:直に近い
床	面:不明確、堅い面検出なし
主柱穴	- 壁溝:-
カマド	灰褐色系の土+焼土ブロック+灰・炭化物で埋まる、袖部不明、カマド前床面に炭・灰分布
貯蔵穴	不明、南西隅の掘り込みか?
銅	形:未調査
その他	南西隅土坑 楕円形・71×52・深14
遺物	カマド前~南西部で出土、小片のみ、 0014 (羽釜、土師質)・0015 (壺、土師形)
時期	平安、10世紀後半~11世紀



第16図 1区8号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	長方形, 規模 南北458×東西436, 面積 (20.0m ²), 壁高 23~51, 長軸方位 N20W度				
壁 溝	幅8~15, 深さ2~8, 北辺~西辺~南辺一部, 東側道分では検出なし				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下/上/中心)
上/下径	21				1-2 : 2-3 :
下/径	18				3-4 : 4-1 :
深 さ	13				
カマド	位置 北東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N69度E, 構築材 白色粘土・石?				
支脚	不明				
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 方形, 上/径65×65, 下/径35×33, 深さ59				
その他 (状況の記録)					
確認	面: 浅層C粒石を含む黒色土, 6層, 検出位置: Oライン・480m付近				
重複	関係: 9住→13溝 (上層)				
覆	土: 黒褐色系の土, 壁: 直立に近い, 40cm前後				
床	面: 平坦, 貼床, 堅くしまり遺存良好, 灰色系の土で形成する				
主	柱 穴: 1本のみ検出, その他不明, 溝: 一次調査で検出, カマド周辺未検出				
カ	マ				
ド	: 袖部は白色粘土を使う, 燃焼部は壁の内側, 調査区壁にかかり袖部未突掘				
貯	蔵 穴: 壁に平行な方形, 掘り込みしっかりしている				
掘	形: 細かい凹凸, 柱穴検出できず				
その他: 調査2回に別れて北隅未検出 (トレンチによる確認)					
遺	物: 一次調査: 中央部~北辺寄りに軽石を加工した石 (カマド材か?), 二次調査: 覆土から少量出土, 0016 (小型甕)				
時	期: 古墳後期, 6世紀後半~7世紀				



第17図 1区9号住居跡遺物出土状態 (西から)

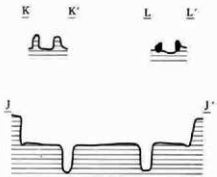
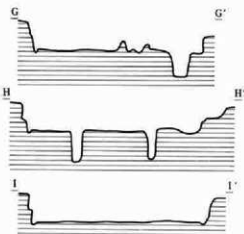
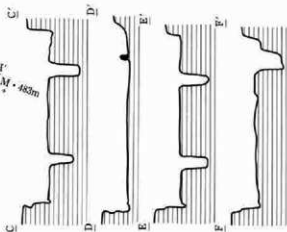
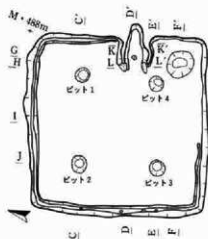
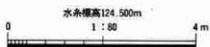
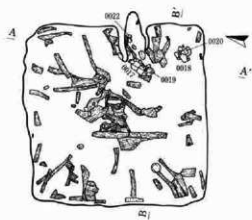
三ツ寺II 1区 10号住居跡 (第18・22図, 図版14・418)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形, 規模 386×382, 面積 14.7㎡, 壁高 32~61, 長軸方位 N71度E					
壁 溝	幅8~15, 深さ2~5					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下/中心)	
上ノ径	31	34×30	32	30	1-2:190 2-3:165	
下ノ径	20	18×19	19	17×12	3-4:178 4-1:161	
深 さ	68	73	58	63	平均:173.5	
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N72度E, 構築材 粘土・石 支脚 石・土器?					
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 円形, 上ノ径62×52, 下ノ径30×, 深さ59					
その他 (状況の記録)						
確 認 面	: 8号住居下, C経石を含む黒色土, 6層				検出位置 : L-Mライン・486m付近	
重 複 関 係	: 10住→8住→7溝 (上層)					
覆 土	: 黒色~灰褐色系の土				壁 : 直立に近い, 50cm前後	
床 面	: 灰黄褐色土+黒色土ブロックの粘床, 堅く良好					
主 柱 穴	: 4本, 柱間は東西方向が長い					壁 溝 : カマド右脇へ南辺不明
カ マ ド	: 袖基部に石を立てる, 燃焼部中央に石支脚, 燃焼部は壁の内側					
貯 蔵 穴	: 壁に平行な長方形, 底面長方形					
掘 形	: 北西主柱穴から間仕切り状の溝が同壁に向かって延びる					
そ の 他	: 西辺中央部に壁小穴4コ; 径10cm前後・深6~11cm					
遺 物	: 床面直上から炭化物多量に出土, 細長い柱状のもの・細かいワラ状のもの二種あり, 焼失家屋か? 0017 (燵, カマド前床面)・0018 (燵, 貯蔵穴脇)・0019 (燵底部片)・0020 (燵底部片)・ 0021 (杯, 貯蔵穴内)・0022 (杯, カマド覆土)					
時 期	: 古墳中期, 5世紀末					



第18図 1区10号住居跡遺物出土状態 (西から)



第19図 1区10号住居跡

三ツ寺II 1区 11号住居跡(第2・224図, 図版16・418)

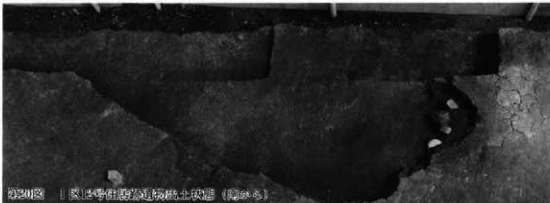
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	台形, 規模 南北386×東西352, 面積 -, 壁高 1~14, 長軸方位 N11度E
壁溝	なし
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N108度E, 構築材 粘土・石? 支脚 -
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層, 検出位置: Jライン・488m付近
重複関係	2.0住→1.7住→1.1住, 1.1住→1.溝・3溝(上層)
覆土	黒褐色系の土, 壁: 斜め, 浅い
床面	暗褐色土+黄褐色土の粘床, カマド前→南東隅に灰・炭分布
主柱穴	- , 壁溝: -
カマド	遺存不良, 近くに15cm大の石・土器小片が散乱
貯蔵穴	-
鑑形	未調査, 下層に別住居あり
その他	南北にやや長い台形を呈する
遺物	カマド周辺・南辺寄りに小片出土, 0023(杯)・0024(羽釜)
時期	平安, 10世紀前半

三ツ寺II 1区 12号住居跡(第20・224図, 図版7)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明, 規模 南辺280・南東隅, 面積 -, 壁高 12~31, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土・石? 支脚 -
貯蔵穴	不明, 南東隅土坑か?
その他(状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層, 検出位置: M-Nライン・498m付近
重複関係	1.3住→1.2住
覆土	灰褐色系の土, 壁: 斜め, 浅い
床面	暗褐色土+黄褐色土の粘床
主柱穴	- , 壁溝: -
カマド	遺存不良, 痕跡のみ, 中央に20cm大の石
貯蔵穴	南東隅土坑?(鑑形調査で検出): 楕円形・58×40・深30, 石2個出土
鑑形	南辺寄りに土坑3個
その他	北側は焼窯のため調査不可
遺物	カマド周辺から土器小片出土, 0025(灰釉陶器高台付皿, 内面ツルツル), その他羽釜体部片・足高台付椀の破片出土
時期	平安, 10世紀後半



第20図 1区12号住居跡南東隅土坑遺物(鑑形あり)



第21図 1区12号住居跡カマド遺物(西から)

三ツ寺II 1区 13号住居跡(第2・224図, 図版16・425)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	台形?, 規模 南辺220・西辺250以上・東辺158以上, 面積 - , 壁高 18~26, 長軸方位 -
壁 調	なし
主柱穴	不明
カマド	位置 不明(東辺南寄りか?)
支脚	-
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	灰褐色系の土, 6層 検出位置: Mライン・498m付近
重複関係	14住→13住→12住
覆土	灰褐色土+黒色土ブロック+軽石 壁 調: 斜め
床面	褐色土+黄褐色土ブロックの貼床
主柱穴	- 壁 調: -
カマド	東辺南寄りに灰が分布, カマドの可能性あり
貯蔵穴	-
掘形	-
その他	北東部は12号住により破壊, 北半は橋脚のため調査不能
遺物	土器小片のみ(古墳~平安), 覆土から黒色土器破片出土, 0670(銅製の不明金具, 覆土出土, もと楕円形~円形のものの中折れ状態で出土, 内面に1枚相当の表面剝離あり, 全面緑青, 脆い)
時期	平安?

三ツ寺II 1区 14号住居跡(第22・225図, 図版17・419)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

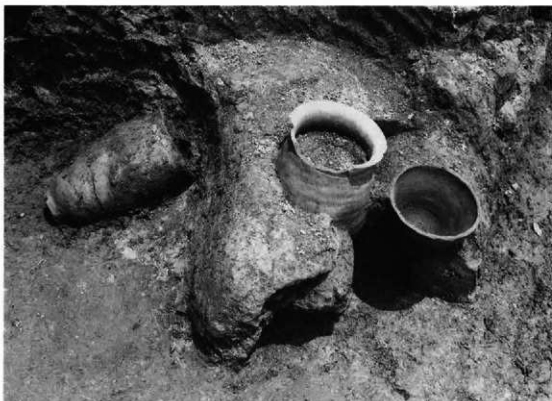
平面形	長方形, 縦横 485×310以上, 面積 -, 壁高 53~61, 長軸方位 N71度E				
壁 溝	幅 5~15, 深さ 1~8				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下バ中心)
上バ径	24	26×20	25	(33)	1-2 : 281 2-3 : 165
下バ径	13	11×7	12	(20)	3-4 : 261 4-1 : 168
深さ	19	22	22	(32)	
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N70度E, 構築材 粘土 支脚 石(左壁下)				
貯蔵穴	位置 柱穴4の南側?, 平面形 円形?, 上バ径37, 下バ径24, 深さ26				
その他(状況の記録)					
礎 礎	面: C軽石を含む黒色土, 6層, 13号住下, 検出位置: Mライン・496m付近				
重複関係	14住→15住, 14住→13住→12住				
覆 土	灰褐色系の土+黒色土ブロック・黄褐色土ブロック, 自然堆積				
壁	直に近い, 50~60cm				
床 面	黒色土+黄褐色土の粘泥, 堅く締まる, 南側は15号住により破壊				
主 柱 穴	1~3 礎礎, 4は貯蔵穴の一部か?, 壁 溝: 遺存部全周(西辺・北辺・東辺)				
カ マ ド	礎2個体をかけた状態で検出, 煙道検出, 袖部は灰黄褐色土で形成, 埋り出しの検出面: 径23×17				
貯 蔵 穴	主柱穴4の南側, 15号住掘砂調査で検出				
面 形	-				
そ の 他	北東部は13号住で破壊, 南辺は15号住で破壊				
遺 物	北西寄り出土の土器は浮いた状態で出土, カマドに礎2個体, カマド左脇礎・壺・甕・杯など, 0081・0082・0083・0084・0085・0086・0087・0088, その他炭化物・杯6点路完・甕・裏出土				
時 期	古墳後期, 6世紀前半				



第22図 1区14号住居跡遺物出土状態(西から)



第23図 1区14号住居跡カマド遺物（西から）



第24図 1区14号住居跡カマド遺物（西から）

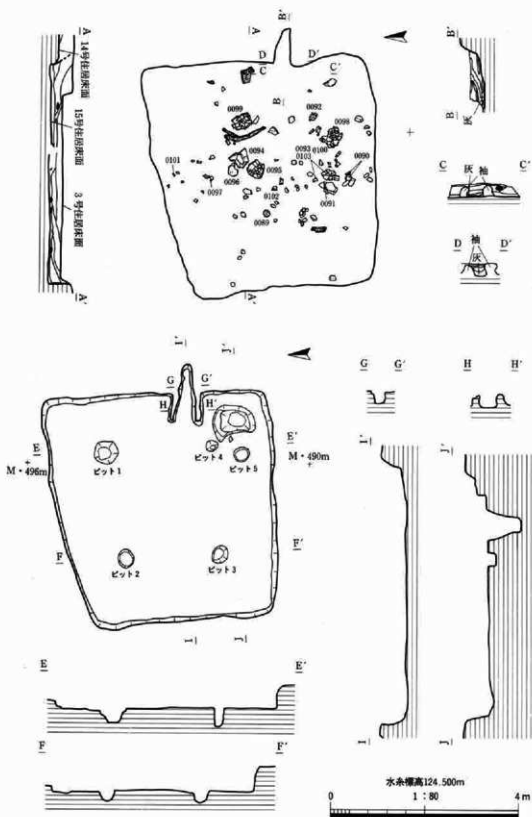
三ツ寺Ⅱ 1 区 1 5 号住居跡 (第25・26図, 図版18・420)

計測値単位cm. — : 計測不可・不明

平面形	台形, 規模 南北467×東西487・西辺372, 面積 —, 壁高 34~57, 長軸方位 N3度W				
壁 溝	なし				
主柱穴	1	2	3	4 5	主柱穴間の距離 (下バ中心)
上バ径	51×46	39	38×32	25 32	1-2 : 228
下バ径	38×26	32	28×20	12 26	3-4 : 226
深 さ	32	20	23	39 17	5-1 : 293
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N93度E, 構築材 粘土				
支脚	—				
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 楕円形, 上バφ1×58, 下バφ44×30, 深さ75				
その他 (状況の記録)	確 認 面 : C 軽石を含む黒色土, 6層 検出位置 : Mライン・494m付近 重 複 関 係 : 1 4 住→1 5 住→3 住 覆 土 : 灰褐色系の土, 軽石・黒色土を含む 壁 溝 : 直に近い, 40~50cm 床 面 : 遺存良好, 床直上に灰褐色の土 主 柱 穴 : 1~4, 5も柱穴か? 壁 溝 : — カ マ ド : 袖部は住居壁の内側, 灰黄褐色土で形成する 貯 蔵 穴 : 中段は長方形で壁に平行, やや大きい 掘 形 : 西側に凹凸あり そ の 他 : 西辺短い 遺 物 : 床面近くから炭化物多く出土, 床面から浮いた土器多い, 0089・0090・0091・0092・0093・0094・0095・0096・0097・0098・0099・0100・0101・ 0102・0103, その他断面1袋あり 時 期 : 古墳後期, 6世紀前半				



第25図 1区15号住居跡遺物出土状態(西から)



第26図 1区15号住居跡

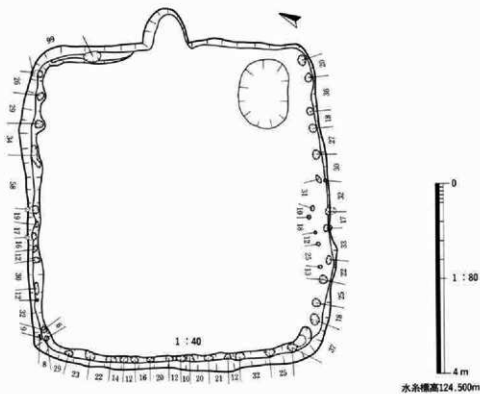
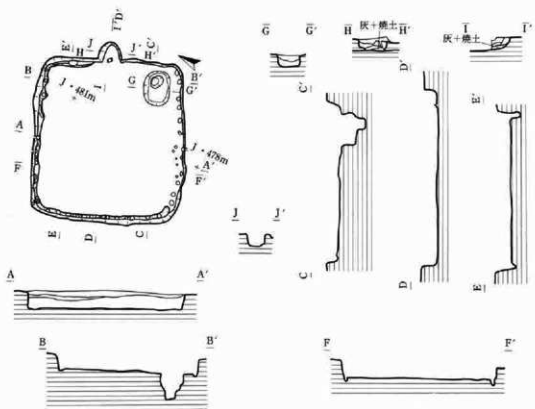
三ツ寺II 1区 16号住居跡(第27図, 図版19)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 344×320, 面積 11.0㎡, 壁高 23~36, 長軸方位 N65度E
壁溝幅	5~14, 深さ2
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央, 対称軸方位 N65度E, 構築材 粘土 支脚 土盤?
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 隅丸長方形, 上バ673×55, 下バ61×41, 深さ34, 最深处54
その他(状況の記録)	
産 露 面	: 浅間C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: Jライン・480m付近
重複関係	: 22住→16住
覆 土	: 浅間C軽石を含む黒褐色系の土, 壁 : 直立する, 30cm前後
床 面	: 兩半軟質, 灰黄褐色土+黒色土の粘床
主 柱 穴	: - 壁 溝: 東辺北半~北辺~西辺で検出, 壁小穴あり
カ マ ド	: 袖部不明, 燃焼部は壁外へ突出する
貯 蔵 穴	: 底面東寄りの穴は22号住主柱穴と同一, 利用したか
掘 形	: 細かい凹凸あり
そ の 他	: 壁小穴は東辺を除き通る, 北辺中央・南辺中央にやや間隔の広い部分あり
遺 物	: 覆土から土師器破片, 須恵器高台付杯底部片, 床下から内外面ミガキの遺?, 16-17号住の注記混乱, 分離不可, 掲載遺物なし
時 期	: 不明, 検出面・遺構の形態・覆土破片からみて古墳~奈良か?



第27図 1区16住居跡壁際ピット列(西から)



第28图 1区16号住居跡

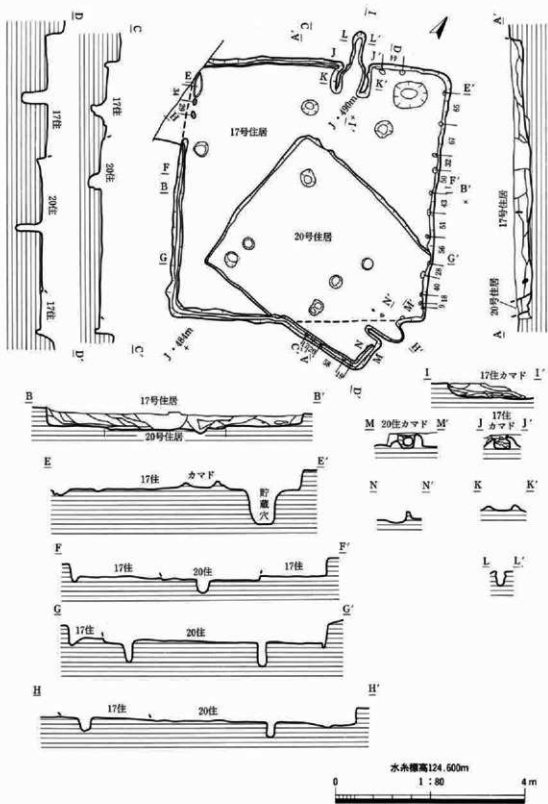
三ツ寺II 1区 17号住居跡(第29・228図, 図版20・421)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 563×551, 面積 31.0㎡, 壁高 24~42, 長軸方位 N31度W				
壁 溝	幅 8~15, 深さ 4~16, 北西辺西側~南西辺~南東辺西側				
主柱穴	1	2	3	主柱穴間の距離(下/バ中心)	
上バ径	33×25	22	38×30	1-2 : 285	2-3 : 287
下バ径	25×17	18	22	3-4 :	4-1 :
深 さ	38	59	55		
カマド	位置 北西辺東寄り, 対称軸方位 N23度W, 構築材 粘土 支脚 -				
貯蔵穴	位置 北側, 平面形 楕円形, 上バ72×57, 下バ35×21, 深さ72				
その他(状況の記録)	<p>確 認 面: 浅間C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: J-Kライン・488m付近</p> <p>重 複 関 係: 17A・18A坑→20住→17住→11住(上層), 20住カマド左袖部は17住に切られる</p> <p>覆 土: 灰黒色土系の土, 浅間C軽石を含む, 壁 溝: 直に近い, 30~40cm</p> <p>床 面: 南側敷貫, カマド前やや高い, 20号住プラン確認</p> <p>主 柱 穴: 1~3, 北西隅確認出来ず, 壁 溝: 西側で検出, 東側には壁小穴あり</p> <p>カ マ ド: 煙道部70cmほど壁外, 燃焼部は壁の内側, 袖部遺存不良, 骨片出土</p> <p>貯 蔵 穴: 深い, 北西壁との間から露出土, 器 形: 西側凹凸</p> <p>そ の 他: 北東辺~北西辺東側に壁小穴, 柱穴4: 35×28・深32, 柱穴5: 30・深30,</p> <p>遺 物: 貯蔵穴北側・西側に分布, 0027 (土器器表, 貯蔵穴北側)・0028・0029・0030・0031・0032 (高杯)・0033 (甕)・ 0034 (円盤)・0035 (円盤)・0036 (削形滑石製品)・0037 (丸玉), その他17・20住柱記で分離できない遺物あり(内外器ミガキの破片他)</p>				
時 期	古墳後期, 6世紀後半				



第29図 1区17号住居跡貯蔵穴(南東から)



第30圖 1区17・20号住居跡

三ツ寺II 1区 18号住居跡(第2・229図, 図版5)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明, ほとんど調査区外, 規模 -, 面積 -, 壁高 1~7, 長軸方位 -		
壁 調	不明		
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 -, 構築材 -, 支脚 石		
貯蔵穴	不明		
その他(状況の記録)			
確 認 面	: 浅間C軽石を含む黒色土, 6層, 痕跡程度	検出位置	: Iライン・48m付近
重複関係	: 19住→17住→18住	覆 土	: 灰褐色系の土
壁	: 浅い, 掘形の一部	床 面	: -
主 柱 穴	: -	壁 溝	: -
カ マ ド	: 痕跡, 燃焼部から石(→支脚)出土, 焼土わずか, 貯 蔵 穴 : -		
掘 形	: 北東隅検出, 東辺120・北辺70		
そ の 他: 遺構確認の段階で削平された, 大部分は調査区外のため詳細不明			
遺 物	: カマド内から小片, 0040 (灰釉陶器, 高台付碗, 土層遺物か?), その他小片あり		
時 期	: 平安, 9世紀後半(調査時所見では古墳, 遺物でみると平安)		

三ツ寺II 1区 19号住居跡(第31・229図, 図版5・422)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	- , 大半は調査区外, 規模 -, 面積 -, 壁高 調査区壁45, 長軸方位 -		
壁 調	-		
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N60度E, 構築材 粘土・土器, 支脚 -		
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 楕円形, 上/φ98×78, 下/φ29×35, 深さ58		
その他(状況の記録)			
確 認 面	: 浅間C軽石を含む黒色土, 6層	検出位置	: Iライン・48m付近
重複関係	: 19住→17住→18住	覆 土	: 灰黒褐色系の土
壁	: 斜め, 調査区内では殆どなし	床 面	: カマド→貯蔵穴壁くさる
主 柱 穴	: -	壁 溝	: -
カ マ ド	: 東辺に対して袖は直角にならない, 袖基部に土器出土, 構築材としたか?		
貯 蔵 穴	: 大壘, 中段あり, 断面は南北に長い	掘 形	: 凹凸あり
そ の 他	: 南東隅のみ検出, 西側大半は調査区外にある		
遺 物	: カマド・貯蔵穴周辺床面から出土, 0041 (壺, 左袖部)・0042・0043 (高杯)・0044・0045・0046 (外底木葉痕)		
時 期	: 古墳後期, 6世紀前半		



第31図 1区19号住居跡遺物出土状態(西から)

平面形	長方形, 規模 405×347, 面積 14.1㎡, 壁高 27~31, 長軸方位 N95度E		
壁 溝	幅 8~13, 深さ 3, 南西隅のみ		
主柱穴	6	7	8
上ノ径	38×31	25	33×24
下ノ径	16	19	10
深 さ	29	19	39
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N97度E, 構築材 粘土 支脚 -		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確 認 面 : 浅間C軽石を含む黒色土, 6層, 17号住床面			
検出位置 : J-Kライン・488m付近			
重 複 関 係 : 17A・18A坑→20住→17住→11住 (上層), 20住カマド左袖部は17住に切られる			
覆 土 : 黒褐色系の土, 壁 : 浅い, 南東隅遺存良好			
床 面 : カマド前・南東隅良く締まる			
主 柱 穴 : 6~8, 北東柱穴検出できず, 壁 溝 : 南辺一部・東辺一部, その他不明			
カ マ ド : 左袖部は17号住により破壊, 燃焼部遺存, 中央から礎出土			
貯 蔵 穴 : -			
掘 形 : 床下から17A・18A土坑検出, 風倒木か?			
そ の 他 : 柱穴9 : 径26・深31, 南辺に壁小穴あり, 17号住床下のプランは掘形の形状			
遺 物 : 石多数出土, 土器片は床面から浮いたもの多い, 0026 (甕, カマド内)・0038 (円盤, 土器片利用)・0039 (円盤, 土器片利用)			
時 期 : 古墳後期, 6世紀前半			



第32図 1区20号住居跡カマド遺物 (西から)

三ツ寺Ⅱ 1区 21号住居跡 (第33・230図, 図版22・422)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

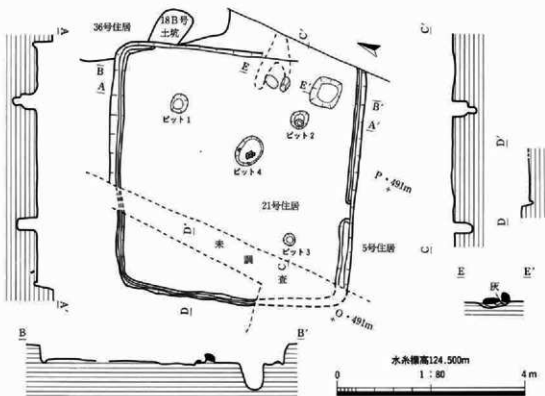
平面形	方形	規模	528×533	面積	28.1㎡	壁高	33~42	長軸方位	N18度W	
壁	溝	幅	10~20	深さ	3~7	北東隅~北辺~西辺~南辺				
主柱穴	1	2	3	主柱穴間の距離(下バ中心)						
上バ隆	34×39	36×38	25	1-2:261		2-3:247				
下バ隆	19×22	11×9	15							
深さ	43	51	39							
カマド	位置	東辺中央やや南寄り			対称軸方位	-				
	構築材	粘土・石?								
	支脚	-								
貯蔵穴	位置	南東隅	平面形	方形	上バ	60×62	下バ	37×39	深さ	57
その他(状況の記録)										
確認	面	浅間C軽石を含む黒色土, 6層			検出位置	Pライン・494m付近				
重複	関係	5住・36住→21住→4住・18B坑								
覆	土	暗褐色系の土, 礫土+炭化物			壁	直立に近い, 40cm前後, 北西部の上位は破壊				
床	面	遺存良好, 堅く締まる, 貼床								
主柱	穴	1~3, 北西柱穴未確認, 2は二段, 壁 溝: 東辺を抜き検出, 南辺中央切れる								
カマド		袖板跡検出, 白色粘土・石で構築, 遺存不良								
貯蔵	穴	略方形のしっかりした盛り込み, 南辺との間の床面から須恵御査出土								
強	形	カマド~貯蔵穴付近は土坑状にくぼむ, 壁近くは細かい凹凸あり								
その他		ピット4: 楕円形・51×66・深22・遺物出土, 北西隅は一次調査・その他二次調査								
遺	物	全面に多量出土,								
		0047・0048・0049・0050・0051・0052・0053・0054・0055・0056・0057・0058・0059・0180(須恵御査)								
時	期	古墳後期, 6世紀前半								



第33図 1区21号住居跡遺物出土状態(西から)



第34図 1区21号住居跡遺物出土状態（西から）



第35図 1区21号住居跡

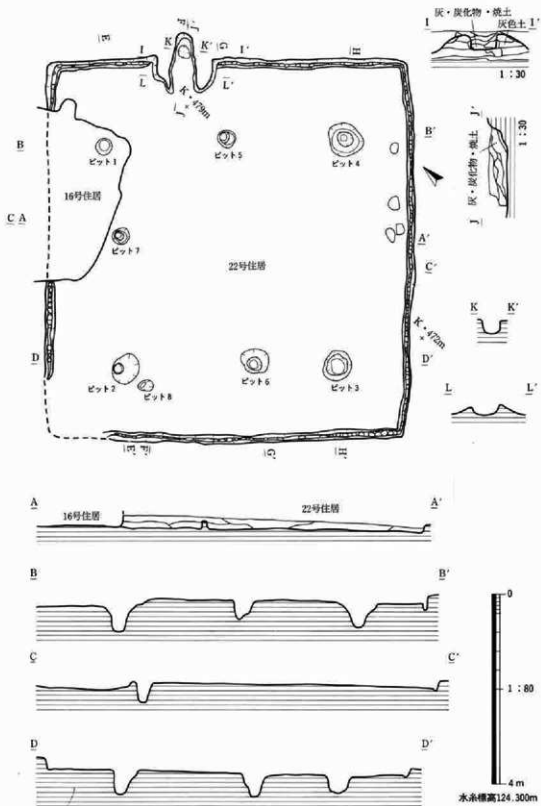
三ツ寺II 1区 2 2号住居跡(第36・232区, 図版24・423)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

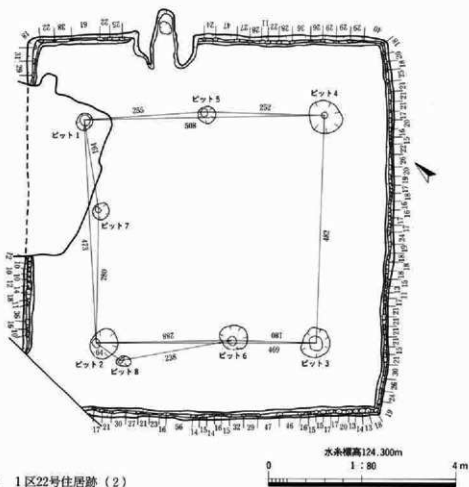
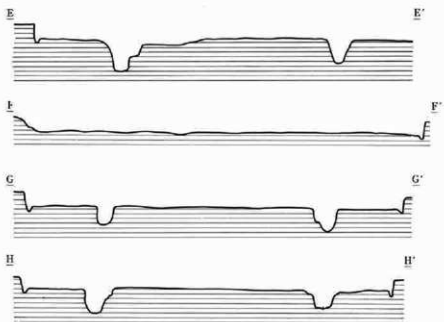
平面形	長方形	規模	815×781	面積	63.7㎡	壁高	16~35	長軸方位	N47度E
壁溝幅	8~22	深さ	3~16						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下バ中心)				
上バ径	34	66×53	60	76×66	1-2	473	2-3	469	
下バ径	21	17	29	13	3-4	482	4-1	508	
深さ	70	48	37	50					
カマド	位置 北東辺中央やや北寄り, 対称軸方位 N48度E, 構築材 粘土・石(?) 支脚 土器(高杯?)								
貯蔵穴	不明								
その他(状況の記録)									
壁	断面: 浅間C群石を含む黒色土, 6層, 検出位置: Kライン・475m付近								
重複関係	2 2住→1 6住, 2 2住→3 2住								
層土	灰褐色系の土, 黒色土ブロックを含む, 壁: 直立に近い, 20cm前後								
床面	カマド前から中央にかけて堅く締まる, 周辺やや軟								
主柱穴	1~4, 5~7は補助柱穴か? 壁溝: 全周, 北東辺やや粗い								
カマド	灰白色粘土の湿る土で構築, 燃焼部は壁内								
貯蔵穴	不明, ビット4東側か?								
掘形	中央やや高く周辺低い, 掘形調査で北東辺壁際南寄りにビット検出(貯蔵穴か?)								
その他	ビット5: 径37・深38, ビット6: 58×50・深47, ビット7: 径35・深43, ビット8: 32×23・深24, 西隣調査区外, 特大住居								
遺物	南東辺壁際で石4個出土, カマド前床面土器多い, 0060(瓶形)・0061(瓶形)・0062(高杯脚部, カマド内)・0063・0064(須恵器蓋)・0104								
時期	古墳後期, 6世紀前半								



第36図 1区22号住居跡カマド遺物(西から)



第37図 1区22号住居跡(1)



第38図 1区22号住居跡(2)

平面形	長方形, 縦横 598×376, 面積 (22.5), 壁高 13~46, 長軸方位 N58度E
壁溝	-
主柱穴	不明
カマド	位置 不明 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	浅間C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: Mライン・472m付近
重複関係	23住→13坑
覆土	灰黒色系の土, 浅間C軽石を含む, 壁: 直立に近い, 北側深く南側浅い
床面	中央部堅い
主柱穴	-
壁溝	-
カマド	不明, 北東辺の13号土坑北側に焼土散布, 北東辺設置か?
貯蔵穴	-
鑑形	-
その他	全体に炭化物散布, 壁際に多い
遺物	石多く出土, 小片, 0065 (土師器高杯幹部, 南辺東寄り壁際床面)
時期	古墳後期, 6世紀前半



第39図 1区23号住居跡遺物出土状態 (南西から)

三ツ寺II 1区 24号住居跡 (第40・233図, 図版26)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明	規模	-	面積	-	壁高	1~18	長軸方位	-
壁溝	-								
主柱穴	不明								
カマド	位置	東辺南寄り	対称軸方位	N97度E	構築材	粘土・石			
	支脚	1組2個の石							
貯蔵穴	不明								
その他 (状況の記録)									
確認面	灰褐色~黒色土, 5~6層				検出位置	1-Jライン・496m付近			
重複関係	2住→29住→31住→30住→28住→27住→26住→24住								
覆土	灰褐色系の土, 壁 : 浅い, カマド周辺のみ遺存								
床面	カマド前のみ								
主柱穴	-								
壁溝	-								
カマド	両袖部1組の石・燃焼部1組の石・天井石で構築, 煙道部を区切る天井石は凝灰岩切石								
貯蔵穴	-								
築形	-								
その他	南東隅・カマドのみ検出, その他詳細不明								
遺物	灰軸陶器破片多い, 羽釜破片あり, 灰軸陶器段皿破片, 24~29住の破片甚だ.								
	0066 (土師質杯)・0067 (灰軸陶器高台付皿)								
時期	平安, 11世紀								



第40図 1区24号住居跡カマド遺物 (西から)

平面形	不明	規模	(東辺430前後)	面積	-	壁高	23	長軸方位	-
壁調	不明								
主柱穴	不明								
カマド	位置	東辺北寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土							
	支脚	不明							
貯蔵穴	不明								
その他 (状況の記録)									
確認面	浅間C軽石を含む黒色土, 6層			検出位置: 1ライン・490m付近 (調査区西壁直下)					
重複関係	25住→17住								
覆土	灰褐色系の土			壁: 斜め, 浅い					
床面	カマド前のみ検出, 貼床								
主柱穴	-								
カマド	左袖部検出, 燃焼部と煙道部との境に段あり								
貯蔵穴	-								
掘形	-								
その他	南側19住内に東辺掘り込み?, 大半は西側調査区外にあり詳細不明								
遺物	調査区壁際床面で軒出土, 遺物図掲載なし								
時期	古墳								

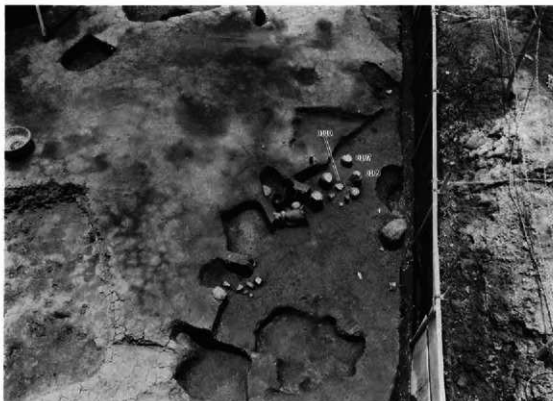


第41図 1区25号住居跡カマド (西から)

三ツ寺II 1区 26号住居跡 (第42・233図, 図版7)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明	規模	-	面積	-	壁高	カマド右脇17	長軸方位	-
壁溝	不明								
主柱穴	不明								
カマド	位置	東辺	対称軸方位	-	構築材	粘土・石			
	支脚	不明							
貯蔵穴	不明								
その他 (状況の記録)									
礎	礎面	浅間C 軽石を含む黒色土, 6層			検出位置	1ライン・496m付近			
産	産層	間隔: 2住→29住→31住→30住→28住→27住→26住→24住							
覆	土	灰褐色系の土, 壁: 東辺立ち上がり確認, 浅い							
床	面	不明確			主柱穴	-			
壁	溝	-							
貯	蔵	穴			-	形	: 床下別住居のため未調査		
そ	の	他: カマド前に (径30・深16)・(径20・深16) のビット, カマド北半不明確, 南辺不明確, 24住により破壊, 詳細不明							
遺	物	: カマド前・南辺寄り出土, 小片のみ, 羽釜破片あり, 0068 (灰釉陶器高台付軸)・0069							
時	期	: 平安, 10世紀前半							



第42図 1区26・27・28・29・30・31号住居跡遺物出土状態 (北から)

平面形	不明, 規模 -, 面積 -, 壁高 20, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N106度E, 構築材 粘土・石 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	浅間C軽石を含む黒色土, 6層, 横出位置: 1-Jライン・496m付近
重複関係	2住→29住→31住→30住→28住→27住→26住→24住
覆土	褐色系の土, 壁 : 東辺の一部確認
床面	不明確, 主柱穴: -
壁溝	- , カマド: 燃焼部半分が壁外, 段あり, 両袖石を立てる
貯蔵穴	- , 形状: 重複のため未調査
その他: 東辺を除き検出できず, 南辺推定	
遺物	須恵器蓋破片・土師器コノ字直前口鉢壁あり, カマド前小片出土, 0070 (須恵器杯)
時期	平安, 9世紀



第43図 1区27号住居跡カマド遺物(西から)

三ツ寺II 1区 28号住居跡(第42・233図, 図版7・424)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明	規模	-	面積	-	壁高	20	長軸方位	-
壁溝	不明								
主柱穴	不明								
カマド	位置	東辺, 対称軸方位	N141度E	構築材	粘土・石・土器				
	支脚	不明							
貯蔵穴	不明								
その他(状況の記録)									
礎	礎面	浅間C軽石を含む黒色土, 6層			検出位置	I-Jライン・49m付近			
重複関係	2住→29住→31住→30住→28住→27住→26住→24住								
覆土	土: 灰褐色系の土, 壁: 斜め, 浅い								
床面	カマド前のみ検出								
主柱穴	-								
壁溝	-								
カマド	左袖部に石を立てる, 袖石に接して長胴鑪(契口天井部か?), 右脇から杯出土(完形に近い), 焚焼部に鑪(体部~底部)2個体割えたまま出土(2個整)								
貯蔵穴	-, 鑪形: 重複のため未調査								
その他	カマド部分と北東隅のみ検出, 貯蔵穴は南側調査区壁にかかるピットか?, 全体像不明								
遺物	カマド周辺・カマド南側で完形に近い土器出土								
	0107・0108・0109・0110・0111・0112・0113・0114・0115・0116								
時期	平安, 9世紀前半								



第44図 1区28号住居跡カマド遺物(北西から)

平面形	不明	規模	東辺270以上・南辺285以上	面積	-	壁高	20~42	長軸方位	-
壁調	不明	主柱穴	1 : 上ノ径37, 下ノ径24×18, 深さ51	カマド	不明	貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 楕円形, 上ノ径71×58, 下ノ径52×48, 深さ22	その他 (状況の記録)	
確認	面	浅間C凝石を含む黒色土, 6層	検出位置	I-Jライン・494m付近					
重複関係	2住→29住→31住→28住→27住→26住→24住								
覆土	褐色系の土+黄褐色土ブロック								
壁	調 : 30前後, 直立に近い								
床	面 : 遺存不良								
主柱穴	1のみ, その他不明								
壁調	-								
カマド	-								
貯蔵穴	掘り込み良好, 遺物出土なし								
掘形	縦かい四角, 小穴多数								
その他	重複著しい, 北西部は重複により破壊, 大半は調査区外								
遺物	南東部で石出土, 南辺近くで林出土								
0105									
時期	古墳後期, 6世紀後半								



第45図 1区29号住居跡遺物出土状態 (西から)

三ツ寺II 1区 30号住居跡 (第42図, 図版7)

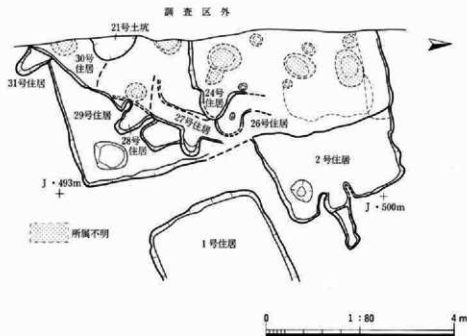
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明	規模	-	面積	-	壁高	10	長軸方位	-
壁溝	不明								
主柱穴	不明								
カマド	不明								
貯蔵穴	不明								
その他 (状況の記録)									
確認面	浅間C軽石を含む黒色土, 6層			検出位置: 1ライン・494m付近					
重複関係	2住→29住→31住→30住→28住→27住→26住→24住								
覆土	褐色系の土			壁	斜め, 浅い, 調査区壁で確認				
床面	不明確			主柱穴	-				
壁溝	-			カマド	-				
貯蔵穴	-			掘形	-				
その他	-			遺物	石1個のみ				
時期	重複関係から古墳後期?								

三ツ寺II 1区 31号住居跡 (第42図, 図版7)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明	規模	-	面積	-	壁高	-	長軸方位	-
壁溝	不明								
主柱穴	不明								
カマド	位置 南東部, 対称軸方位 -, 構築材 粘土・石? 支脚 不明								
貯蔵穴	不明								
その他 (状況の記録)									
確認面	浅間C軽石を含む黒色土, 5層			検出位置: 1ライン・492m付近					
重複関係	2住→29住→31住→30住→28住→27住→26住→24住								
覆土	褐色系の土			壁	-				
床面	-			主柱穴	-				
壁溝	-			カマド	燃焼部〜煙道部のみ検出, 土器片・石出土				
貯蔵穴	-			掘形	-				
その他	カマドの一部のみ検出, 重複のため詳細不明								
遺物	土器片2・石1個, 土釜破片 (流れ込み)								
時期	重複関係から古墳後期								



第46図 1区24~31号住居跡 掘形

平面形	長方形? , 規模 南辺151以上・北辺60以上, 面積 - , 壁高 14~20, 長軸方位 -
壁	溝 なし
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央やや南, 対称軸方位 N82度E, 構築材 粘土・石 支脚 石
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認	面: 浅間C粗石を含む黒色土, 6層, 検出位置: 1ライン・472m付近
重複関係	: 22住→32住
覆土	: 灰色系の土, 壁: 直に近い, 南側やや深い
床	面: 遺存良好, 整く締まる
主柱穴	: 検出できず, 壁溝: -
カマド	: 両袖に石を立てる, 焚口天井部も石か?, 燃焼部は方形, 燃焼部から石出土 (支脚), カマド前から壘体部片出土, カマド左袖脇から完形杯出土
貯蔵穴	: 検出できず
掘形	: カマド左袖前に浅い掘り込み
その他	: 南東隅検出, 北東隅は22住により破壊, 西側は調査区外にある
遺物	: カマド前壘体部片, 調査区壁寄り中央床面から杯2個体, 0071・0072・0073・0074
時期	: 古墳後期, 6世紀後半



第47図 1区32号住居跡カマド遺物 (西から)

三ツ寺II 1区 33号住居跡 (第48図, 図版28)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 429×298, 面積 (12.8) m ² , 壁高 13~17, 長軸方位 N15度E
壁 溝	なし
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央?, 対称軸方位 -, 構築材 不明
	支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確 認	面: 浅間B緑石を含む暗褐色土, 5層, 検出位置: Kライン・470m付近
重複関係	: 33住→15溝
覆 土	: 灰褐色系の土, 壁 : 浅い, 北東部のみ検出
床 面	: 軟, 不明確
主 柱 穴	: -, 壁 溝: -
カ マ ド	: 東辺中央部に築土痕跡あり, カマドか?
貯 蔵 穴	: -
掘 形	: -
そ の 他	: プラン確認不明確, 床面の範囲で推定, 東西に長いプラン, 詳細不明
遺 物	: 須恵器破片, 古墳~平安遺存
時 期	: 平安

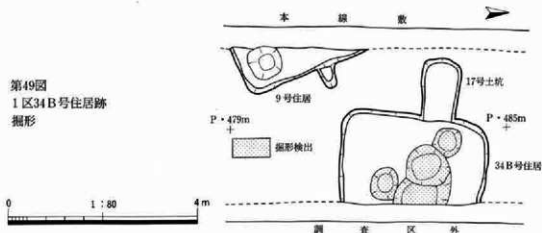


第48図 1区33号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	不明	規模	西辺78・南辺252・東西268	面積	-	壁高	23~36	長軸方位	-
壁	溝なし								
主柱穴	不明								
カマド	不明								
貯蔵穴	不明								
その他 (状況の記録)									
確認面	浅間C軽石を含む黒色土, 6層			検出位置	N-Oライン・482m付近				
重複関係	34A住→6住								
覆土	黒褐色系の土			壁	直に近い, 30前後				
床面	細かい凹凸あり								
主柱穴	-								
カマド	-								
貯蔵穴	-								
掘形	凹凸あり								
その他: 6住に大半を破壊される。南西隅・南東隅を検出, 南北1m弱検出, 詳細不明									
遺物	南東隅付近で小片出土, 高杯舞部破片, 34B住の遺物と混在か? 0075 (土師器壺底部)								
時期	重複関係から古墳後期, 6世紀								

平面形	不明	規模	南北320・北辺186・南辺232	面積	-	壁高	13~21	長軸方位	-
壁	溝なし								
主柱穴	不明								
カマド	不明								
貯蔵穴	不明								
その他 (状況の記録)									
確認面	浅間C軽石を含む黒色土, 6層			検出位置	東側道・P-Qライン・482m付近				
重複関係	17B坑・20溝→34B住								
覆土	暗褐色系の土			壁	斜め, 20前後				
床面	堅く締まる。貼床, 中央くぼむ								
主柱穴	-								
カマド	-								
貯蔵穴	-								
掘形	中央部に土坑状掘り込み								
その他: 東半は調査区外にある									
遺物	覆土から土器小片出土, 遺物同属類なし								
時期	古墳後期, 6世紀								

第49図
1区34B号住居跡
掘形



三ツ寺II 1区 35号住居跡(第2・234図, 図版30・425)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 (441)×420, 面積 (18.5) m ² , 壁高 29~52, 長軸方位 (N68度E)					
壁 溝	なし					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下バ中心)	
上バ径	35×31	30	34	38	1-2:209	2-3:207
下バ径	11	15	18×15	29×18	3-4:210	4-1:201
深 さ	54	65	61	46		
カマド	不明					
貯蔵穴	不明					
その他(状況の記録)	確認 面:浅間C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置:Pライン・488m付近					
重複関係	5住→35住					
覆 土	暗褐色系の土, 壁:直に近い, 40前後					
床 面	中央部やや低い, 貼床					
主 柱 穴	1~4, 壁 溝:-					
カ マ ド	北東部か?					
貯 蔵 穴	-					
掘 形	中央部に大きな土坑状掘り込みを検出, 柱穴周辺小穴あり					
そ の 他	東側遺検出, 西隅未確認, 東隅は調査区外					
遺 物	小片のみ, 土器はやや床面から浮いて出土, 0076・0077					
時 期	古墳後期, 6世紀前半					

三ツ寺II 1区 36号住居跡(第50・234図, 図版31)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明, 規模 南北349・北西辺273・南西辺320・南東辺50, 面積 -, 壁高 8~13, 長軸方位 -				
壁 溝	不明				
主柱穴	不明				
カマド	不明				
貯蔵穴	不明				
その他(状況の記録)	確認 面:浅間C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置:P-Qライン・498m付近				
重複関係	36住→21住→18B坑				
覆 土	暗褐色系の土, 壁:斜め, 浅い, 10前後				
床 面	ローム面				
主 柱 穴	南隅ピットは主柱穴の一部か, 壁 溝:-				
カ マ ド	不現, 東側か?				
貯 蔵 穴	-				
掘 形	細かい凹凸あり				
そ の 他	ピット1:径35・深45, 西隅・南隅検出, 東半は調査区外にあり詳細不明				
遺 物	床面から土師器類小片出土, 0078(滑石製白玉, 覆土)				
時 期	古墳後期?				



第50図 1区36号住居跡(西から)

三ツ寺II 1区 水田跡 (第51回、図版1)

本線敷き(第一次)調査の南寄り(三ツ寺I遺跡寄り)で水田跡を検出した。確認面は3~4層で、直接浅間B軽石が水田面を覆っていた。検出範囲はI~Qライン・83m457~471mの間である。キロ程83m472m付近を境として、これより以北はアゼを検出してない。北半は溝・土坑を検出したのみで、南半との境付近は調査区をほぼ東西に横切る段がある。この段と15号溝は、南側の水田区域とそれ以北とを区切る施設、または目印の役目を負っていたことが考えられる。

アゼは1~5を検出した。アゼに囲まれた1枚の水田としては、アゼ1・アゼ2・アゼ3で囲まれた長方形の水田のみが全体の状態を示し、その他の水田は調査区外に広がっている。このアゼに囲まれた1枚の水田の面積は約32平方メートルである。アゼの高さは低く、いずれも数センチ程度であった。水口とみられる遺構は検出してない。

- アゼ1:南北方向, 検出長さ 7.6m アゼ2:南北方向, 検出長さ8.1m
 アゼ3:東西南方向, 検出長さ12.1m アゼ4:南北方向, 検出長さ6.1m
 アゼ5:南北方向, 検出長さ 5.1m (中間未検出)

南半の地形は次第に南に向かって低くなり、調査区南端では湧水が激しかった。水田面はいずれも細かい凹凸・小穴があり、とくに調査区北半との境をなす段の付近では著しい。

遺物は少なく、須恵器破片・土器破片・貝類破片が出土しているが、図示しなかった。ほかに骨片が出土しているが、動物種は不明である。

水田の時期は、水田面が直接浅間B軽石を被っていることから、11世紀後半~12世紀はじめ頃とみられる。

三ツ寺II 1区 溝 (第52・234回、図版4)

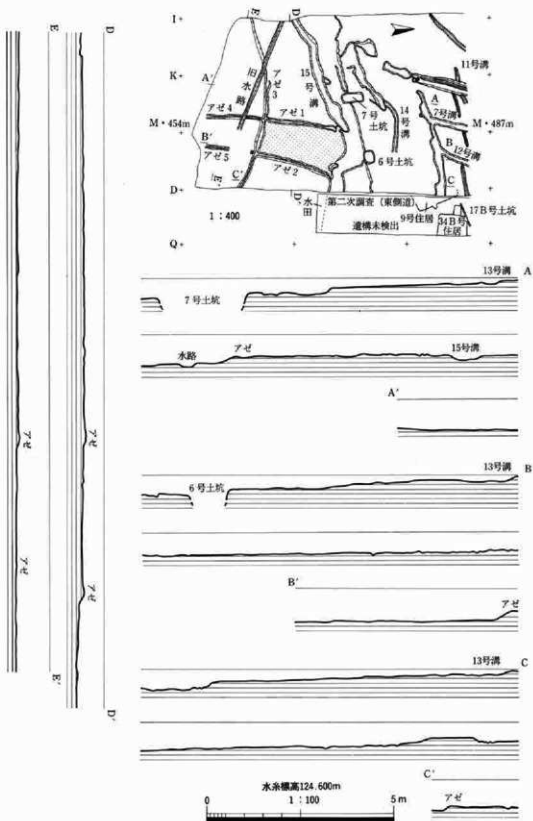
1区では20本の溝を検出している。1区の遺構検出面は上下2面で、上層は浅間B軽石の直下、下層は浅間C軽石を含む黒色土である。これらの溝のうち、1~15号は上層で、16~20号は下層で検出した。また、1~19号は第一次調査時に、20号は第二次調査時(東側道)に検出した。

溝は1・2・9・10・11・13・15号のように、ほぼ東西方向に走るものと、3・4・6~8・12号のように北東から南西の方向に走るものと2種類が認められる。東西方向の溝は細く・浅いものと、13・15号のように幅広く・浅いものと2種類がある。1~15号溝はすべて覆土に浅間B軽石を含んでいるので、調査区南側で検出した水田跡以降の時期のものと考えられる。東西方向の細い溝は、水が流れた痕跡もなく、方向がほぼ一定していることから、畝跡の可能性も考えられる。以下、表で各溝の状況・計測値を示す。

三ツ寺II 1区溝一覧表

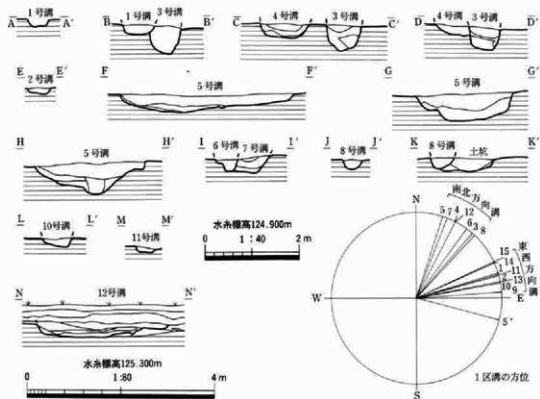
bk.: block, -: 計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	長さ・幅・深さ m・cm・cm	覆土	その他 方位	遺物	時期	備考
1	灰褐色土 3層	L~I 490~493m	3溝→1溝	8.5・21~32・5~14	褐色粘質土 +灰色粘質 土+灰色砂 (軽石)	N73度E	土器13片 石1 古墳土器小片	平安~中世	上層
2	灰褐色土 3層	J~K 485m		3.1・25~35・13~29	浅間B軽石 +赤褐色粘 質土bk.	N75度E		平安~中世	上層
3	灰褐色土 3層	I~N 481~499m	3溝→1溝 4溝→3溝	23.8・25~46・13~29	灰褐色砂+ 灰色粘質土 bk.	N41度E	0118 灰胎陶器小片 平安須恵器	平安~中世	上層
4	灰褐色土 3層	M 494~499m	4溝→3溝	5.6・47~58・9~17	浅間B軽石 混入褐色粘 質土	鉄分沈着 N27度E	土器7片 ローリングを 受けた小片	平安~中世	上層
5	灰褐色土 3層	K~N 475~494m	1坑→5溝	18.3+6.0・55~135 ・7~20 最深部溝状深4~9	浅間B軽石 +赤褐色粘 質土bk.	底面鉄分沈着 2回掘込? N18度E N105度E	土器251片 獣歯1袋 古墳土器~ 平安土器	平安~中世	上層



第51図 1区水田跡

番号	確認面	検出位置	重複関係	長さ・幅・深さ m・cm・cm	覆土	その他 方向	遺物	時期	備考
6	灰褐色土 3層	M~O 491~499m	7溝→6溝	9.3・15~32・3~19	浅間B軽石 +灰色粘質 土bk.	N36度E		平安~中世	上層
7	灰褐色土 3層	L~O 481~499m	7溝→6溝	19.4・51~85・6~14	灰色砂質土 +赤褐色土 bk.+浅間 B軽石	鉄分沈着 N21度E	土器84片 黒曜石刻片1 輪軸破片 模倣杯 平安土器小片	平安~中世	上層
8	灰褐色土 3層	N~O 492~496m		4.8・20~35・8~14	灰色砂質土 +赤褐色土 bk.+浅間 B軽石	N43度E	土器4片 ローリングを 受けた小片	平安~中世	上層
9	灰褐色土 3層	O~P 494m		1.3・20・6	8号溝と同	N86度E		平安~中世	上層
10	灰褐色土 3層	I~K 486~488m		7.3・35~45・3~14	浅間B軽石 +赤褐色粘 質土	N80度E	土器54片 古墳土器 平安土器	平安~中世	上層



第52図 1区1・2・3・4・5・6・7・8・10・11・12号溝断面

番号	確認面	検出位置	重複関係	長さ・幅・深さ m・cm・cm	覆土	その他 遺物	時期	備考
11	灰褐色土 3層	K～M 483～485m		5.1・22～35・3～7	浅間B軽石 +赤褐色粘 質土	N74度E		平安～中世 上層
12	灰褐色土 3層	N～P 482～493m		12.3・46～72・11～23	灰茶褐色土 +浅間B軽 石	N27度E 鉄分沈着	土器17片 須恵器高台 平安土器	平安～中世 上層
13	灰褐色土 3層	K～P 480～482m		11.7・32～95・4～11	灰色土+浅 間B軽石	N79度E		平安～中世 上層
14	灰褐色土 3層	J～N 472～477m		13.8・36～117・3～12	灰茶褐色土 +浅間B軽 石	N66度E 曲がり		平安～中世 上層
15	灰褐色土 3層	J～M 466～472m	33住→15溝	13.2・64～145・2～8	灰茶褐色土 +浅間B軽 石	N65度E 鉄分沈着		平安～中世 上層
16	浅間C軽 石を含む 黒色土 6層	K～L 476～498m	22住→16溝 14住→16溝	22.1・19～30・3～9		N9度E	土器1片 古墳裏底部	古墳 下層
17	浅間C軽 石を含む 黒色土 6層	K～L 483～498m	10住→10坑 →17溝	6.1・12～18・2～4		N16度E	土器1片 平安須恵器杯 底部	古墳 下層
18	浅間C軽 石を含む 黒色土 6層	J～K 483～490m	17住→18溝	8.3・16～44・3～10		N33度E		古墳 下層
19	浅間C軽 石を含む 黒色土 6層	N 491～498m		7.5・15～41・5		N0度E		古墳 下層
20	浅間C軽 石を含む 黒色土 6層	O～Q 484～486m	20溝→17坑 →34住	3.9・20～25・2～4	浅間C軽石 +暗褐色土	N64度E		古墳 東側道

三ツ寺II 1区 土坑 (第53区, 図版33)

1区では21基の土坑を検出している。1区の遺構検出層は上下2面で、上層は浅間B軽石の直下、下層は浅間C軽石を含む黒色土である。さらに、下層の住居等の遺構下部から検出したものもあるが、数は少ない。

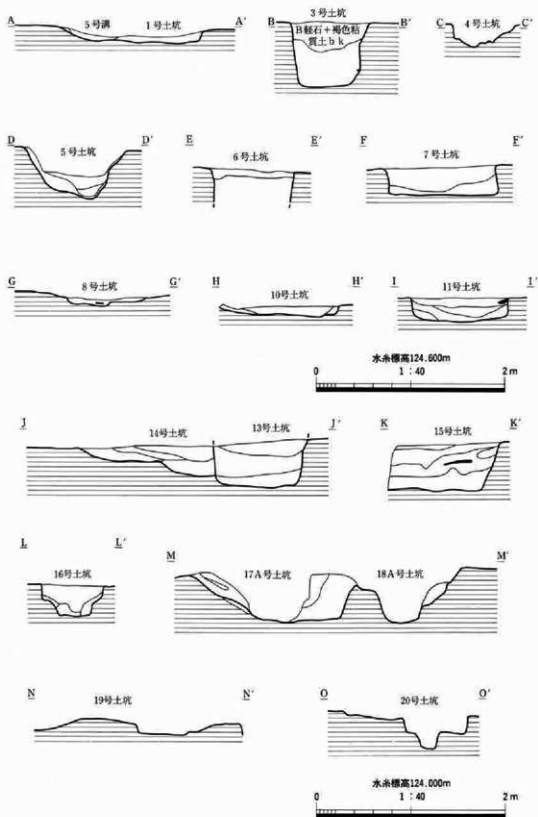
二次にわたる調査のため、一部に番号が同じものがあり、これらは一次調査時のものに「A」、二次調査時のものに「B」の記号を付けて区別した。以下、表で各土坑の状況・計測値を示す。

三ツ寺II 1区土坑一覧表

bk.: block, 計測値単位cm, -: 計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
1	暗褐色土 5層	N~O 492m	1坑→5溝	223×93・12	浅間B軽石 +褐色土		土器11片 ローリングを 受けた小片	平安~中世	上層
2	暗褐色土 5層	M~N 494m	3住→2坑	75×60・21				平安~中世	上層
3	暗褐色土 5層	K 497m	1住→3坑	95・73	浅間B軽石 +褐色粘質 土bk.		土器20片 平安変体部片	平安~中世	上層
4	暗褐色土 5層	O 495m	単独	108×77・11	灰色土			平安~中世	上層
5	暗褐色土 5層	L 489m	5坑→5溝	122×97・50	浅間B軽石 +灰褐色土			平安~中世	上層
6	暗褐色土 5層	N 474m	水田→6坑	141×120・35	浅間B軽石 +灰褐色土 bk.+黄褐色 土bk.		土器57片 灰釉高台付椀 底部片 桃の種	平安~中世	上層
7	暗褐色土 5層	K~L 472m	水田→7坑	237×95・48	浅間B軽石 +灰褐色粘 質土bk.		土器8片 榎底部片木葉 痕 須恵器覆口縁 部片	平安~中世	上層
8	浅間C軽 石を含む 黒色土 6層	K~L 496m	7住→8坑 8坑→1住	97×85・10	灰褐色土+ 軽石+黒色 土bk.	炭化物粒	土器7片 白玉1完形	古墳	下層
9	欠番?								
10	浅間C軽 石を含む 黒色土 6層	K~L 486m	10号住→10坑	121×120・4	灰黒色土		獣歯2袋 石	古墳	下層
11	浅間C軽 石を含む 黒色土 6層	N~O 498m	単独	140以上×115・25	黒褐色土+ 浅間C軽石 +黄褐色土 bk.	北半調査区外		古墳	下層
12	欠番?								
13	浅間C軽 石を含む 黒色土 6層	N 472m	14坑→13坑 23住→13坑	510×122・51	浅間B軽石 +灰褐色土		土器1片 ローリングを 受けた須恵器 竹	平安~中世	下層
14	浅間C軽 石を含む	N 470m	14坑→13坑	135・11	浅間B軽石 を含まず			古墳	下層

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆 土	そ の 他	遺 物	時 期	備 考
15	浅間C軽石を含む黒色土6層	I 469m	単独	145以上×115・51	浅間B軽石+灰黒色土		竹?石	平安~中世	下層
16	浅間C軽石を含む黒色土6層	J~K 463m	単独	140×90・40	黒色土+浅間C軽石			古墳	下層
17A	20住床下	J 488m	17A坑→20住	250×170・72		住居より古風倒木痕?		古墳	下層
17B	浅間C軽石を含む黒色土6層	P 483m	17B坑→34住	125以上×87・53	暗褐色土+浅間C軽石			古墳	東側道
18A	20住床下	J~K 488m	18坑→20住	195×94・84		住居より古風倒木痕?		古墳	下層
18B	浅間C軽石を含む黒色土6層	P~Q 496m	21住・36住→18B坑	東G265・16	浅間C軽石+暗褐色土			古墳	東側道
19	黒色土	L 474m	?	200以上×110・17	暗灰色土	形状不明確		古墳	下層
20	黒色土	K~L 472m	単独	132×82・36	灰色土			古墳	下層
21	30住床下	I 493m	21坑→30住	70以上×110・39		浅間B軽石含まず		古墳	下層



第53図 1区土坑断面

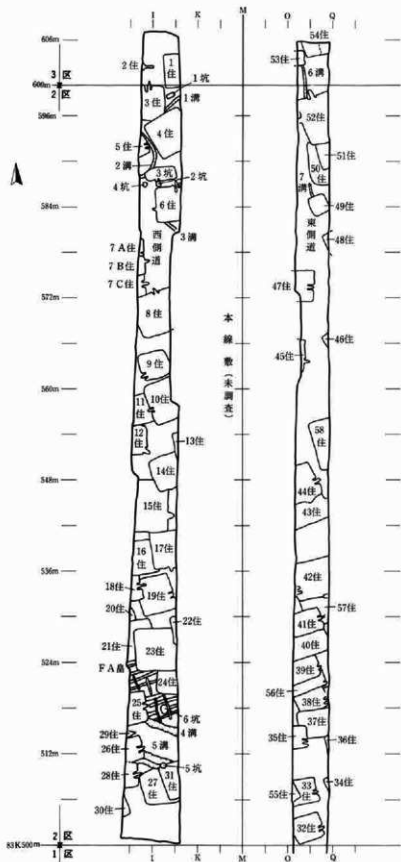
2 区 の 遺 構



第54図 変貌する沿線(2)高崎市城南大橋から北東を望む

高崎駅周辺は再開発が活発に行われ、市街地は日々変わってゆく。後方は赤城山。

1990年4月撮影



2 区 の 概 要

大宮を起点とする2区のキロ程は83km500mから83km606mの範囲である。2区では調査担当者が着手した昭和56（1981）年5月の時点で、すでに橋脚が建設されており、本線敷きの調査は不可能の状態であった。本区の本線敷きは未調査のままであり、全体図では空白である。2区では東側道・西側道のみが調査対象であったが、調査工程は本線敷き優先で進められており、両側道は別途、側道調査の段階で実施することとなった（注1）。

キロ程600mから606mは、本来3区に含まれる範囲である。しかし、本遺跡の側道調査に着手した時点で606～614mの範囲（3区に属する）は、すでに地元の生活道路が完成していたため調査を実施することができず、また、調査工程からみて2区に含めた方が調査効率がよいことから、2区として調査を実施した。したがって、2区の調査範囲は南北106m、東西の側道敷き各幅約6mということになる。また、本線敷きと側道敷きとの間には、側道敷き側に排水溝が設置されたため、側道敷き幅の全6mを調査対象とすることはできなかった。

遺構検出面は1面である。幅約6mの調査範囲であるため、全形を検出した住居はなく、すべて一部の検出に止どまる。

2区では下表の遺構を検出した。本調査区西側道のキロ程520m付近で、FAで埋まった浅い溝状遺構を検出しているが、これは畚跡と考えられる。畚跡は周辺の住居によって切られている。

両側道の遺構検出状況からみて、本線敷きの範囲にも遺構が存在したことは明らかであり、さらに新幹線用地外に遺構が広がることも確実である。

注1 「年報-3-1」群馬県埋蔵文化財調査事業団、1984

表2 2区検出遺構

遺 構	時										欠 番	小 計
	縄 文	弥 生	古 墳				奈 良	平 安	不 明			
			前 期	中 期	後 期	(古) ^{*)}						
住 居	0	1	1	6	37	15	-	-	-	-	60	
掘立住建物											0	
ピット群											0	
井 戸											0	
溝						7					7	
土 坑						6				2	8	
水 田											0	
畚											2 ^{*)}	

*1 時期分離できない

*2 同一地点で重複があるため2面とした

三ツ寺Ⅱ 2区 1号住居跡(第56図, 図版50)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明, 規模	南北455・北辺290・南辺182・西辺445, 面積	- , 壁高	38~42, 長軸方位	-
壁溝	幅	7~12, 深さ	1~6		
主柱穴	1	2		主柱穴間の距離(下バ/中心)	
上バ径	35	30		1-2 : 203	
下バ径	20	14			
深さ	54	52			
カマド	不明, 東側か?				
貯蔵穴	不明				
その他(状況の記録)					
確認面	: C軽石を含む黒色土, 6層			検出位置	: Jライン・602m付近
重複関係	:-			覆土	: 暗褐色土
壁	: 直に立ち上がる			床面	: 整く掃まる, 中央部やや低い
主柱穴	: 1・2検出, その他調査区外			壁溝	: 検出範囲全周
カマド	: 不明, 東側か?			貯蔵穴	: 不明, 東側か?
形状	: 中央部くぼむ			その他	: 東半は本線敷きにより未調査
遺物	: 南西隅壁際床面から壁体部~底部破片出土(掲載なし), 赤地須恵器壁底部片, 磁石小片, 土器350片				
時期	: 古墳後期				

三ツ寺Ⅱ 2区 2号住居跡(第55・235図, 図版50・434)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明, 規模	- , 面積	- , 壁高	- , 長軸方位	-
壁溝	不明				
主柱穴	不明				
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 煙道N96度E, 構築材 不明				
支脚	不明				
貯蔵穴	不明				
その他(状況の記録)					
確認面	: C軽石を含む黒色土, 6層			検出位置	: Iライン・602m付近
重複関係	:-			覆土	: -
壁	: -			床面	: -
主柱穴	: -			壁溝	: -
カマド	: 煙道部長き123検出			貯蔵穴	: -
形状	: -			その他	: 本体は西側調査区外にあり詳細不明
遺物	: 加工痕のある軽石, 0119(土師器壺)・0120(土師器壺)・0121(土師器甕)・その他土器5片・石3個				
時期	: 古墳後期, 6世紀後半				



第56図 2区1号住居跡遺物出土状態(東から)

三ツ寺II 2区 3号住居跡(第57・235図, 図版50・434)

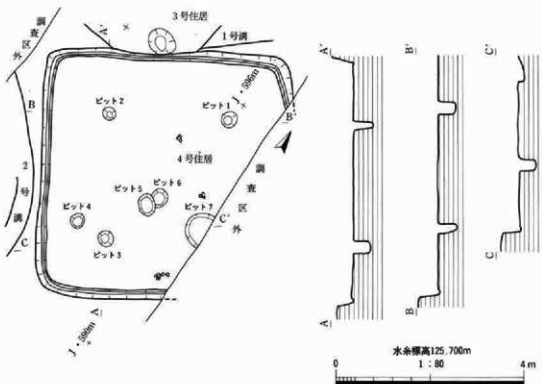
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明	規模	南北454・北辺290・東辺335・南辺143	面積	-	壁高	36~58	長軸方位	-			
壁	溝	南辺~東辺	幅	8~15	深さ	2~6						
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離(下ノ心)									
上ノ径	41	41	1-2: 232									
下ノ径	20	20										
深さ	96	73										
カマド	位置	北辺	対称軸方位	N4度E	構築材	粘土						
	支脚	不明										
貯蔵穴	位置	北東隅	平面形	楕円形	上ノ径	61×49	下ノ径	16	二段張り	深さ	85	
その他(状況の記録)												
覆	土	面	C軽石を含む黒色土, 6層				検出位置: Iライン・598m付近					
重	複	関	係: 1溝→3柱→4柱									
覆	土	褐色土									壁	直に立ち上がる
床	面	黄褐色土を床面とする										
主	柱	穴	2本, 1・2		壁							溝: 南辺・東辺南寄り
カ	マ	ド	遺存不良, 煙道との境に段あり, 煙道長さ60									
貯	蔵	穴	深く掘り込む, ビット3も貯蔵穴か?									
掘	形	細かい凹凸あり										
そ	の	他	南東隅ビット3: 58×52・深さ86, 西平は調査区外									
遺	物	覆土小片多い, 土器569片,										
		0122(土器器杯貯蔵穴)・0123(土器器蓋覆土)										
時	期	古墳後期, 6世紀前半										



第57図 2区3号住居跡カマド(南から)

平面形	方形, 規模 534×529, 面積 (28.2) m ² , 壁高 31~47, 長軸方位 N59度E
壁溝	検出分全周 幅 7~13, 深さ 1~6
主柱穴	1 2 3 主柱穴間の距離 (下/ハ中心)
上/ハ径	34 27 33 1-2 : 254 2-3 : 260
下/ハ径	18 14 17
深さ	68 42 36
カマド	不明, 東辺か?
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	<p>確認 面 : C軽石を含む黒色土, 6層 , 検出位置 : I~Jライン・503m付近</p> <p>重複関係 : 1溝→3住→4住</p> <p>覆 土 : 黒色土ブロックを多量に含む褐色土 , 壁 : 直に立ち上がる, 40前後</p> <p>床 面 : 黄褐色土を床面とする, 壁く離まる</p> <p>主 柱 穴 : 3本確認, 1~3 , 壁 溝 : 全周する</p> <p>カ マ ド : 不明, 調査区外の東辺か?</p> <p>貯 蔵 穴 : 不明, 東隅付近か?</p> <p>掘 形 : 細かい凹凸あり</p> <p>そ の 他 : ビット4 : 径30・深さ17, ビット5 : 43×35・深さ18, ビット6 : 径35・深さ9, ビット7 : 75×深さ13</p> <p>遺 物 : 土器小片覆土44片, 土師器高杯脚部 (柱穴1-2間, 掲載なし), 0124 (黒色土酒杯, 覆土)・0125 (土師器壺, 覆土)</p> <p>時 期 : 古墳後漢, 7世紀</p>



第58図 2区4号住居跡

三ツ寺II 2区 5号住居跡(第59図, 図版50)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明, 規模 南辺167, 西横 -, 壁高 12~15, 長軸方位 -
壁 溝	不明
支柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N76度E, 構築材 粘土 支脚 石・土器
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: 1ライン・591m付近
重複関係	5住→2溝
覆土	検出C軽石を多量に含む暗褐色土, 壁 直に近い, 浅い
床面	黒色土に形成
支柱穴	-
壁溝	-
カマド	煙道先端部を2溝により破壊, 15cm大の石の上に杯を伏せて支脚とする, 白色粘土で袖を形成
貯蔵穴	-
掘形	南辺壁際に40×35・深さ16の掘り込みを検出, 貯蔵穴か?
その他	-
遺物	土器60片, 外面ミガキの土師器壺体部片, 小型壺口縁部小片, 内外面黒色の土師器杯(カマド中央→支脚, 湯載なし)
時期	古墳後期?



第59図 2区5号住居跡カマド遺物(西から)

平面形	不明	規模	南北478・南辺301, 面積 -	壁高	56~60, 長軸方位 -
壁	溝	検出内全周	幅6~10, 深さ 2~8		
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離 (下バ心)		
上ノ径	57×33	56×50	1-2:220		
下ノ径	41×21	42×33			
深さ	54	35			
カマド	位置	北辺・西辺中央やや南寄り (2カ所), 対称軸方位 北カマドN11度W, 構築材 北カマド粘土			
	支脚	不明			
貯蔵穴	位置	南西隅, 平面形	長方形, 上ノ径68×56, 下ノ径37×32, 深さ47		
その他 (状況の記録)					
確認	面	C軽石を含む黒色土, 6層		検出位置: Jライン・584m付近	
重複	関係	3溝→6位			
覆	土	暗褐色土, 壁 : 直に近い, 60前後			
床	面	黄褐色土面, 平坦			
主柱	穴	2本, 1・2		壁 : 溝 : 北カマド左袖から検出内を全周する	
カマ	ド	2カ所 (北カマド・西カマド), 西カマドの袖部不明確, 西カマド→北カマドの順に新しいか?			
貯蔵	穴	しっかりした掘り込み, 西カマドに伴うか?			
掘	形	-			
その他	東半は調査区外				
遺	物	土器614片, 両カマドの中間床面から土器・石出土, 0126・0127・0128・0129 (丸胴底部), その他高杯・杯 (陶葺なし)			
時	期	古墳後期, 6世紀前半			



第60図 2区6号住居跡遺物出土状態 (南から)

三ツ寺II 2区 7A号住居跡 (第61・236図, 図版50)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明	規模	南北473・北辺37・南辺290	面積	-	壁高	31~36	長軸方位	-			
壁溝	不明	主柱穴	不明	カマド	位置	東辺中央	対称軸方位	N90度E	構築材	粘土	支脚	不明
貯蔵穴	不明	その他(状況の記録)										
確認	面	C軽石を含む黒色土, 6層		検出位置	Iライン・577m付近							
重複関係	7C住→7A・7B住											
覆土	暗褐色土											
床	面: 黄褐色土上に形成, 貼床 (FA+ローム), 平組											
主柱穴	壁溝: -											
カマド	: 袖部全体未検出, カマド内土器出土, 掘形は溝状											
貯蔵穴	掘形: -											
その他	: 大半は西側調査区外にある											
遺物	: 土器17片, 土師器杯口縁部小片, 0139 (土師器壺, カマド)											
時期	: 古墳後期, 6世紀後半~7世紀											

三ツ寺II 2区 7B号住居跡 (第55図, 図版50)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明	規模	-	面積	-	壁高	-	長軸方位	-			
壁溝	不明	主柱穴	不明	カマド	位置	東辺	対称軸方位	N78度E	構築材	不明	支脚	不明
貯蔵穴	不明	その他(状況の記録)										
確認	面	C軽石を含む黒色土, 6層		検出位置	Iライン・576m付近							
重複関係	7C住→7A・7B住											
覆土	: -											
床	: 主柱穴: -											
壁溝	: カマド: 東辺, 煙道部長さ70検出											
貯蔵穴	: 掘形: -											
その他	: 7A住カマドの南側に煙道部のみ検出, 掘出: 径27・深さ, 7B住カマド→7A住カマドの順に作り換えか?											
遺物	: 土器6片, 掲載なし											
時期	: 古墳後期											



第61図 2区7A号住居跡遺物出土状態(西から)

平面形	不明, 規模 東辺260以上, 面積 -, 壁高 36, 長軸方位 -
壁	溝 不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N84度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 カマド右脇, 平面形 円形, 上バ径55, 下バ径25, 深さ46
その他(状況の記録)	
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: Iライン・57m付近
重複関係	: 7C住→7A・7B住, 7C住→8住
覆土	: 暗褐色土, 壁 : 直に近い
床面	: 黄褐色土上に形成, 粘床
主柱穴	: -, 壁溝: -
カマド	: 燃焼部と煙道との境に段, 袖部遺存不良, 白色粘土で形成
貯蔵穴	: 掘形調査で検出
掘形	: 貯蔵穴周辺ややくぼむ
その他	: 大半は西側の調査区外にある
遺物	: 土器103片, カマド左脇から石6個, 右脇から土器まとまって床面出土, 0131(土師器壺略完)・0132・0133・0134(土師器壺体部)
時期	: 古墳後期, 7世紀前半



第62図 2区7C号住居跡遺物出土状態(西から)

三ツ寺II 2区 8号住居跡(第63・236図, 図版58・434)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 南北557, 面積 -, 壁高 53~61, 長軸方位 -				
壁溝	検出内全周 幅 7~18, 深さ 3~14				
主柱穴	1	2	3	主柱穴間の距離(下ノ中心)	
上ノ径	36	40	55×60	1-2: 313	2-3: 266
下ノ径	25	22	40		
深さ	60	67	80		
カマド	位置 北辺中央, 対称軸方位 N17度W, 構築材 粘土 支脚 石(方柱状)				
貯蔵穴	位置 北東隅, 平面形 長方形, 上ノ径102以上×100, 下ノ径72以上×65, 深さ42				
その他(状況の記録)					
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: 1~Jライン・570m付近				
重複関係	7C住→8住				
覆土	暗褐色土, 壁: 直に近い, 60前後				
床面	黄褐色土上に形成				
主柱穴	3本, 1~3, 壁溝: 全周				
カマド	白色粘土で形成する, 袖遺存不良, 燃焼部略方形, 支脚は左寄り				
貯蔵穴	周囲に土手状の高まりをもつ, 白色粘土				
細形	凹凸あり, 南西隅くぼむ				
その他	南西隅を除き調査区外, 北辺450・西辺230・南辺340,				
遺物	中央部床面からやや浮いた状態で石多数出土, 中央部~カマド周辺土器片多い, 土器673片, 須恵器短頸壺・高杯・蓋破片あり, 0135・0136・0137・0138・0139・0140・0141・0142・0143・0144(滑石製品)				
時期	古墳後期, 7世紀前半				



第63図 2区8号住居跡遺物出土状態(東から)



第64図 2区8号住居跡遺物出土状態(西から)



第65図 2区8号住居跡カマド遺物(南から)

三ツ寺II 2区 9号住居跡(第66・237図、図版58)

計測値単位cm、-：計測不可・不明

平面形	台形、規模 406×381、面積 (15.5㎡)、壁高 32~59、長軸方位 N70度E
壁	溝なし
主柱穴	不明
カマド	位置 西辺南寄り、対称軸方位 N117度W、構築材 粘土 支脚 不明
貯蔵穴	位置 北辺中央、平面形 方形~長方形、上バ東西140×南北120、下バ東西50×南北39、深さ47
その他(状況の記録)	
産 影	面：C軽石を含む黒色土、6層、検出位置：I~Jライン・563m付近、西側面
重複関係	：単独
覆 土	：暗褐色土、壁：斜めに立ち上がる、50前後
床 面	：中央ややくぼむ、貼床
主 柱 穴	：-、壁 溝：なし
カ マ ド	：南西隅近くに設置、西辺に対してほぼ直角をなす
貯 蔵 穴	：掘り込み二段、最深部は壁寄り
掘 形	：中央~北東部に100~200大・深さ10~20の不整形掘り込み
そ の 他	：南東隅未検出、北辺やや短い、8住・10住の辺とほぼ平行
遺 物	：土器565片、滑石製白玉1(掲載なし)、0145(須恵器高杯脚部、覆土)
時 期	：古墳後期、7世紀前半



第66図 2区9号住居跡カマド(東から)

平面形	方形～長方形, 規模 南北562, 面積 -, 壁高 41～58, 長軸方位 -		
壁溝	検出内全周 幅 6～12, 深さ 5～10		
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離(下バ心)
上バ径	50×44	52	1-2 : 305
下バ径	28	36	
深さ	44	58	
カマド	位置 西辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N108度W, 構築材 粘土・石 支脚 土器		
貯蔵穴	位置 南西隅, 平面形 長方形, 上バ138×104, 下バ59×30, 深さ43, 二段掘り込み		
その他(状況の記録)			
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: Jライン・558m付近		
重複関係	11住→10住		
覆土	暗褐色土, 壁 : 直に近い, 50前後		
床面	粘床		
主柱穴	2本, 1・2, 壁溝: 全周		
カマド	左右袖基部に石を据える, 袖石に長さ50程の石を架けて煲口を形成, 白色粘土で形成する, 奥壁に向かって高くなる, 完形に近い杯が伏せた状態で出土(→支脚)		
貯蔵穴	縦周面に粘土を貼った高まり, 内部はさらに二段に掘り込み, 真面中央から須恵器遺出土		
掘形	中央部に掘り込み; 径35～150・深さ11～40・円形～不整形		
その他	北辺378・南辺274, ビット3; 径36・深さ32		
遺物	土器302片, 0146(土師器杯, カマド)・0147(土師器杯)・0148(須恵器皿, 貯蔵穴)・0149(不明)		
時期	古墳後期, 6世紀前半		



第67図 2区10号住居跡カマド遺物(東から)

三ツ寺II 2区 11号住居跡 (第68・238図, 図版62)

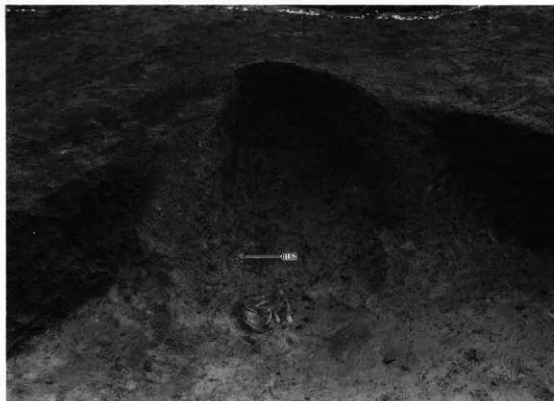
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明	規模	南北392, 面積 -	壁高	31~40, 長軸方位 -
壁溝	北辺際・南辺際	幅	8~15	深さ	5~12
主柱穴	不明				
カマド	不明				
貯蔵穴	不明	ビット	4か?		
その他 (状況の記録)					
礎	礎面	C軽石を含む黒色土, 6層		検出位置	: 1ライン・556m付近
	重複関係	: 11住→10住			
覆	土	: 焼土・炭粒を多量に含む暗褐色土			
	壁	: 直に近い, 40前後			
床	面	: 貼床			
主	柱	穴	: 不明, ビット1・3か?		
	壁	溝	: 検出内ほぼ全周, 南東部未検出		
カ	マ	ド	: -		
貯	蔵	穴	: 不明, ビット4か?		
掘	形	: 中央部円形掘り込み			
そ	の	他	: ビット1 : 径26・深さ19, ビット2 : 径41・深さ31, ビット3 : 28×20・深さ20, ビット4 : 75×57・深さ30, 参考1-3 : 216, 西半は調査区外, 東側は10住により破壊, 詳細不明		
遺	物	: 炭化物・焼土ブロック多量出土, 中央床面から石・土器出土, 土器211片, 0150 (須恵器杯)・0151 (須恵器杯)			
時	期	: 古墳後期, 6世紀			



第68図 2区11号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	不明, 規模 南北383, 面積 —, 壁高 38, 長軸方位 —
壁 調	北辺~東辺 幅 6~8, 深さ 2
主柱穴	不明
カマド 位置	南東隅, 対称軸方位 N126度E, 構築材 粘土
支脚	不明
貯蔵穴 位置	南辺東寄り, 平面形 長方形, 上ノ80×62, 下ノ41×20, 深さ70
その他 (状況の記録)	
確 認	部: C群石を含む黒色土, 6層, 検出位置: Iライン・552m付近
重複関係:	—
覆 土:	暗褐色土, 壁: 直に近い
床 面:	黄褐色土上に形成する, 貼床
主 柱 穴:	不明, ビット1は主柱穴か?, 壁 調: 北辺から東辺のカマド脇まで検出
カ マ ド:	接する東辺・南辺と直角をなさず斜めに設置する, 白色粘土
貯 蔵 穴:	南辺カマド寄りに設置する, 縁の周囲に粘土を貼り土手状の高まりをもつ
掘 形:	中央部~北側に径30~140・深さ5~13の掘り込み, カマド前中央に径35・深さ12の掘り込み, カマド奥壁の掘形は方形, 貯蔵穴はL字状
そ の 他:	北辺147・南辺170, 西半は調査区外にある, 11住南辺とほぼ平行する, ビット1: 35×27・深さ30
遺 物:	カマド周辺から杯・壺破片出土, 中央西壁寄りで長さ20の石出土, 土器241片, 0152 (土師器杯, ビット1掘床面)・0153 (滑石製曲玉, 覆土)
時 期:	古墳後期, 6世紀後半



第69図 2区12号住居跡カマド遺物 (西から)

三ツ寺II 2区 13号住居跡 (第70図, 図版43)

計測値単位cm, - : 計画不可・不明

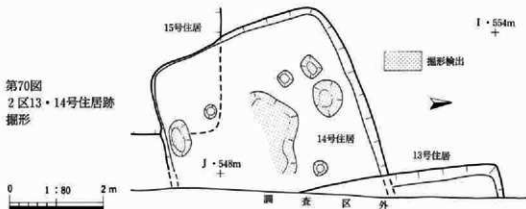
平面形	不明, 規模 西辺400・北辺70, 面積 -, 壁高 64~68, 長軸方位 -
壁	溝 不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: J~Kライン・552m付近
重複関係	15住→14住→13住
覆土	暗褐色土, 壁: 直に近い, 65前後
床面	黄褐色土上に形成する, 主柱穴: -
壁溝	-, カマド: -
貯蔵穴	-, 掘形: -
その他: 北西隅のみ検出, 東側の大半が調査区外にあるため詳細不明	
遺物	なし
時期	古墳?

三ツ寺II 2区 14号住居跡 (第70・238図, 図版64)

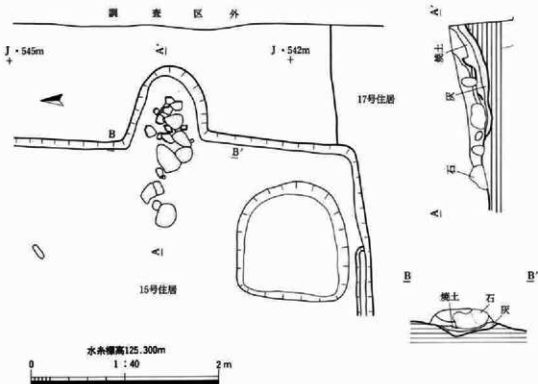
計測値単位cm, - : 計画不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北456, 面積 -, 壁高 32~50, 長軸方位 N69度E
壁	溝 北辺~西辺中央 幅 9~14, 深さ1~4
主柱穴	1, 2, 3, 主柱穴間の距離 (下/上/中心)
上/下係	30, 38×33, 32, 1-2:205, 2-3:174
下/上係	20×16, 21×17, 20
深さ	50, 47, 47
カマド	不明, 東半か?
貯蔵穴	不明, 東半か?
その他 (状況の記録)	
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: Jライン・548m付近
重複関係	15住→14住→13住
覆土	暗褐色土, 壁: 直に近い
床面	黄褐色土上に形成する, 貼床
主柱穴	3本, 1~3, 壁溝: 南側不明
カマド	-, 貯蔵穴: -
掘形	中央に不整形 (約200) の浅い掘り込み, 北辺寄り西側: 長方形45×36・深さ9, 北辺寄り東側: 楕円形80×63・深さ15, 南辺寄り: 楕円形75×45・深さ8, 小穴多数検出
その他: 東半は調査区外にある	
遺物	土器196片, 石2個, 0154 (土師器杯, 覆土)
時期	古墳後期, 6世紀後半

第70図
2区13・14号住居跡
掘形



平面形	不明, 規模 南北691, 面積 - , 壁高 24~38, 長軸方位 -
壁溝	南辺のみ検出 幅 9~12, 深さ 2~6
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央や南寄り, 対称軸方位 N94度E, 構築材 粘土・石 支脚 石または土器
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 不整形, 上ノ東西125×南北120, 下ノ東西103×南北96, 深さ22
その他 (状況の記録)	
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: I~Jライン・544m付近
重複関係	17住→15住→14住→13住
覆土	暗褐色土, 壁: 直に近い
床面	黄褐色土上に形成する, 貼床
主柱穴	- , 壁溝: 南辺で長さ320分検出, 南東隅未検出
カマド	燃焼部は壁外にある, 白色粘土で形成する, カマド内~前に砂岩散乱, カマド内土器片出土
貯蔵穴	西側直線的・東側丸味あり, 浅く不整形
掘形	掘り込み多数検出, カマド内円形掘り込み
その他	南辺423, 北東隅は14住により破壊, 西半は調査区外
遺物	カマド内から燧石片 (掲載なし), カマド前左から18cm大の石1個, 土器1053片, 須恵器片多い, 掘形から壺口縁部片出土, 0155 (須恵器杯, 貯蔵穴)
時期	検出層位・前後関係からは古墳後期 (遺物全般・0155では8世紀後半), 古墳後期?



第71図 2区15号住居跡カマド

三ツ寺II 2区 16号住居跡 (第72・238図, 図版65・436)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 南北450, 面積 -, 壁高 28~36, 長軸方位 -		
壁 構	北辺・南辺一部 幅 5~10, 深さ 1~4		
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離(下/ハ中心)
上/ハ径	33	30	1-2:189
下/ハ径	20	17	
深 さ	63	64	
カマド	不明, 東辺か?		
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 円形, 上/ハ77×71, 下/ハ60×50, 深さ18		
その他 (状況の記録)	礎 礎 面: C軽石を含む黒色土, 6層 検出位置: Iライン・537m付近 重複関係: 18住→16住→17住→15住→14住→13住 覆 土: FAを含む暗褐色土 壁 : 直に近い, 30前後 床 面: 黄褐色土 主 柱 穴: 2本, 1・2 壁 溝: 北辺・南辺中央部 カ マ ド: 不明, 中央の17住との境から壁・杯の出土していることから東カマドか? 貯 蔵 穴: 床下調査で検出, 南東隅に相当, 中から完形土師器杯出土(掲載なし) 型 形: 南辺東寄りで浅い掘り込み検出, 小穴多数 そ の 他: 北辺: 205, 南辺: 355, 床下調査で南東隅検出, 西半は調査区外にある 遺 物: 床面遺物の上面にFAを被る, 土器461片, 石1個, 床下から完形杯・鉄滓1個出土, 0156・0157・0158 (17住?)・0159・0160 (土師器蓋)・0161 (17住?)・0162 (17住?)・ 0158・0161・0162は17住との境(16住側, 出土レベルも16住)から出土, 覆土から石多数出土 時 期: 古墳後期, 6世紀前半		



第72図 2区16・17号住居跡遺物出土状態(東から)



第73図 2区16号住居跡遺物出土状態(東から)

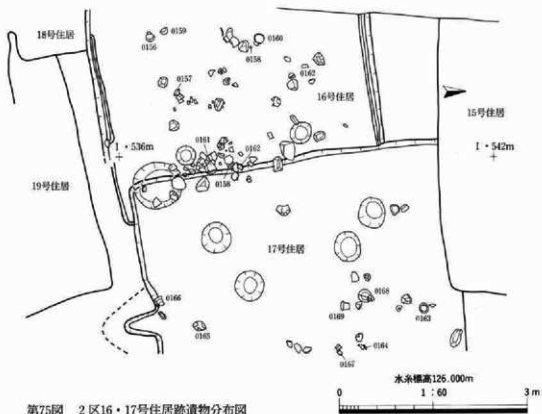


第74図 2区17号住居跡遺物出土状態(北から)

三ツ寺II 2区 17号住居跡(第72・239図、図版65・437)

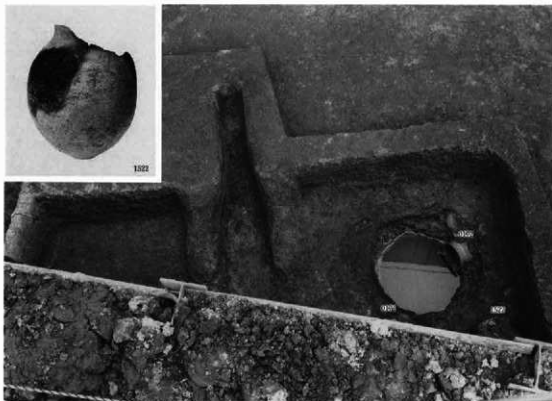
計測単位cm、-:計測不可・不明

平面形	方形～長方形、規模 南北494、面積 -、壁高 32～54、長軸方位 -		
壁溝	南西隅を除き全周(床下調査で確認) 幅 8～15、深さ 3～8		
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離(下バ中心)
上バ径	45×42	49	1 - 2 : 256
下バ径	25	25×22	
深さ	50	53	
カマド	位置 南辺中央、対称軸方位 N174度E、構築材 粘土、支脚 不明		
貯蔵穴	不明		
その他(状況の記録)	<p>確認面 : C軽石を含む黒色土、6層 検出位置 : Jライン・538m付近</p> <p>重複関係 : 18住→16住→17住→15住→14住→13住 覆土 : 暗褐色土</p> <p>壁 : 直に近い、重複により一部破壊 床面 : 黄褐色土上</p> <p>主柱穴 : 2本、1・2、(2・3)(4・1)はセットか?</p> <p>壁溝 : 北側15住床下で検出、南西隅を除き検出内全周、カマド袖下にも確認</p> <p>カマド : 白色粘土で形成、左袖部一部未検出 貯蔵穴 : 不明、東半か?</p> <p>掘形 : カマド前の壁に沿って壁溝あり、細かい凹凸あり、小穴多数検出</p> <p>その他 : 南辺285・西辺500(床下調査で北西隅検出)・北辺390、南西隅・北西隅を検出、ピット3 : 径46(下バ25×20)・深さ61、ピット4 : 径46×42(下バ31×25)・深さ53、参考 : 2-3 : 95、3-4 : 167、4-1 : 71</p> <p>遺物 : 検出内東寄りで遺物多い、土器1632片、カマド前石1個、0163・0164・0165・0166・0167・0168・0169(土師器壱口縁部)・0170(16住17住接合)・0218(管玉、覆土)・0219(白玉、覆土)</p> <p>時期 : 古墳後頭、6世紀前半</p>		



第75図 2区16・17号住居跡遺物分布図

平面形	方形～長方形, 規模 南北387, 面積 - , 壁高 34, 長軸方位 -
壁 溝	北東隅～東辺 (床下調査検出) 幅 5～15, 深さ4～9
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央, 対称軸方位 N79度E, 構築材 粘土 支脚 不明
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 円形, 上バ72, 下バ35×31, 中径50, 深さ70
その他 (状況の記録)	
確認 面	C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: 1ライン・533m付近
重複関係	: 19住→18住→16住→17住→15住→14住→13住
覆 土	: 暗褐色土, 壁 : 直に近い
床 面	: 黄褐色土上
主 柱 穴	: - 壁 溝: 東辺掘形調査で検出, カマド袖下にも通る
カ マ ド	: 白色粘土で形成する, 燃焼部～煙道の底面は滑らかに変化
貯 蔵 穴	: 二段に掘り込む, 縁から要口縁部出土
掘 形	: 東辺壁直下に壁溝検出, 北東隅検出 (16住床下)
そ の 他	: 南東隅・北東隅 (16住床下調査で) 検出, 南辺170, 西半は調査区外にある
遺 物	: 貯蔵穴周辺から出土, 壁際壁体部出土, 土器43片, 0171 (土師器高杯)・0172 (土師器壺)・0173 (手づくね土器)・0174 (手づくね土器)・1522
時 期	: 古墳後期, 6世紀前半



第76図 2区18号住居跡遺物出土状態 (西から) と遺物1522

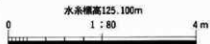
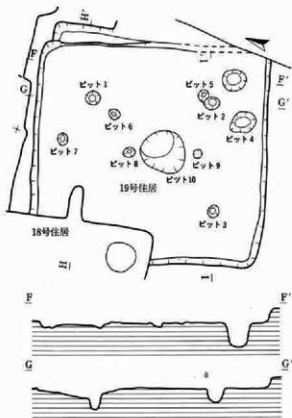
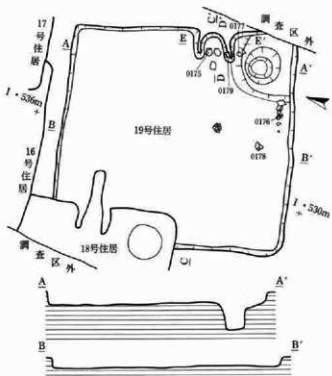
三ツ寺II 2区 19号住居跡 (第77・246図, 図版65)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 縦横 492×468, 面積 23.0㎡, 壁高 17~29, 長軸方位 N15度W				
壁 溝	なし				
主柱穴	1	2	3	主柱穴間の距離 (下ノバ心)	
上ノバ径	30	35×26	24	1-2 : 259	2-3 : 229
下ノバ径	16	19	14		
深 さ	33	36	35		
カマド 位置	東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N72度E, 構築材 粘土, 支脚 土器?				
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 円形, 上ノバ75, 下ノバ33×30, 深さ59				
その他 (状況の記録)					
礎 礎 面	C軽石を含む黒色土, 6層			検出位置 : 1~Jライン・533m付近	
重 複 間 隔	19住→18住→16住→17住→15住→14住→13住				
覆 土	暗褐色土			壁 : 斜めに立ち上がる, 20前後	
床 面	黒色土中, 粘床				
主 柱 穴	3本, 掘形調査で検出			壁 溝 : -	
カ マ ド	東辺調査区壁隅, 白色粘土で形成する, 中央から土師器杯出土 (→支脚?)				
貯 蔵 穴	周縁に粘土を貼り土手状の高まりを作る, 土手幅10~30・高さ2~3, カマド左袖部に連なる				
掘 形	ピット4 : 60×46・深さ26, ピット5 : 径23・深さ16, ピット6 : 26×22・深さ29, ピット7 : 27×22・深さ22, ピット8 : 25×18・皿状, ピット9 : 径22・皿状, ピット10 : 100×90・皿状				
そ の 他	東辺北半テラス状, 北西隅は18住により破壊, 南東隅は調査区外				
遺 物	カマド周辺から南辺にかけて床面土器出土, 土器144片, 丸胴壺体部片 (0179?), 0175・0176・0177・0178・0179				
時 期	古墳中期, 5世紀末				



第77図 2区19号住居跡遺物出土状態 (西から)



第78図 2区19号住居跡

三ツ寺II 2区 20号住居跡 (第55図, 図版65)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明	規模	東辺177, 面積 -	壁高	17~22, 長軸方位 -
壁溝	不明				
主柱穴	不明				
カマド	不明				
貯蔵穴	不明				
その他 (状況の記録)					
確認面	: C 軽石を含む黒色土, 6層	検出位置	: H~1ライン・530m付近		
重複関係	: 20住→21住→23住→22住	覆土	: 暗褐色土		
壁	: 斜めに立ち上がる	床面	: 黒色土中に形成する		
主柱穴	: -	壁溝	: -		
カマド	: -	貯蔵穴	: -		
掘形	: 壁直下に幅20~30・深さ1~3の壁溝状の浅い溝検出				
その他	: 大半は西側調査区外にあり詳細不明				
遺物	: 土器3片				
時期	: 古墳				

三ツ寺II 2区 21号住居跡 (第55・240図, 図版65・438)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

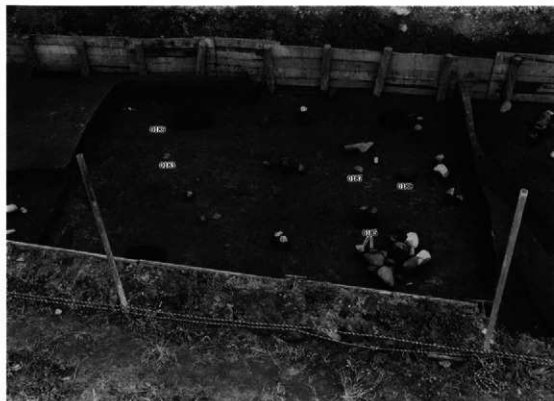
平面形	方形~長方形	規模	南北512, 面積 -	壁高	22, 長軸方位 -
壁溝	不明				
主柱穴	不明				
カマド	不明				
貯蔵穴	不明				
その他 (状況の記録)					
確認面	: C 軽石を含む黒色土, 6層	検出位置	: H~1ライン・527m付近		
重複関係	: 20住→21住→23住→22住	覆土	: 暗褐色土		
壁	: 直に近い	床面	: 黒色土中に形成, 貼床		
主柱穴	: ビット1か?	壁溝	: -		
カマド	: -	貯蔵穴	: -		
掘形	: 北寄り23住壁線上でビット検出, ビット1: 41×35・深さ33				
その他	: 北辺245・南辺100, 北東隅検出, 23住中央のビットは22住柱穴か?				
遺物	: 北寄り床面から10~20大の石7個出土, 土器46片				
時期	: 重複関係から古墳後期, 6世紀後半				

三ツ寺II 2区 22号住居跡 (第55図, 図版65)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形~長方形	規模	南北360, 面積 -	壁高	27~41, 長軸方位 -
壁溝	不明				
主柱穴	不明				
カマド	不明				
貯蔵穴	不明				
その他 (状況の記録)					
確認面	: C 軽石を含む黒色土, 6層	検出位置	: Jライン・528m付近		
重複関係	: 20住→21住→23住→22住	覆土	: 暗褐色土		
壁	: 直に近い	床面	: 黄褐色土上		
主柱穴	: -	壁溝	: -		
カマド	: -	貯蔵穴	: -		
掘形	: -	その他	: 大半は東側調査区外にある, 詳細不明		
遺物	: 土器28片, 土師器残片・古墳時代杯小片出土, 遺物区掲載なし				
時期	: 重複関係から古墳?				

平面形	長方形	規模	南北564×東西556以上	面積	-	壁高	32~47	長軸方位	N89度E
壁溝	不明								
主柱穴	1方形	2円形	3方形	4方形	主柱穴間の距離 (下バ中心)				
上バ径	55×55	66×60	60×53	66×71	1-2	296	2-3	342	
下バ径	35×32	47×42	44×39	50×60	3-4	331	4-1	338	
深さ	54	52	72	45					
カマド	不明, 東辺か?								
貯蔵穴	不明								
その他 (状況の記録)	<p>確認面: C 磁石を含む黒色土, 6層, 検出位置: I~Jライン・526m付近</p> <p>重複関係: 20住→21住→23住→22住, 24住→23住, 覆土: 暗褐色土</p> <p>壁: 直に近い, 床面: 黄褐色土中, 貼床</p> <p>主柱穴: 4本, I~4, 壁溝: -</p> <p>カマド: 東側で焼土・灰が分布, 東辺調査区外か?</p> <p>貯蔵穴: 不明, ビット3: 周辺の床下は土坑状掘り込みが広がる</p> <p>掘形: 北辺側が200×400・深さ10前後にくぼむ, 東辺中央部壁際に不整形掘り込み・深さ20前後, ビット4: 北側に不整形掘り込み・深さ10, ビット2: 北東側に径45・深さ15の掘り込み, 凹凸著しい, 小穴多数, 主柱穴周辺を広く掘り込む</p> <p>その他: 北東隅・南東隅未検出</p> <p>遺物: 南西部ビット2: 周辺に石多数出土, 南寄りに石多い, 土器I206片, 0182 (土師器脚付き小型壺, 脚付き壺?)・0183・0184・0185・0186・0187・0188・0189・0190 (手づくね?)・0191</p> <p>時期: 古墳後期, 6世紀後半</p>								



第79図 2区23号住居跡遺物出土状態 (西から)

三ツ寺II 2区 24号住居跡(第55・241区, 図版65・439)

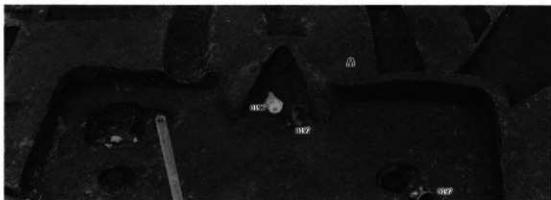
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明, 規模 不明, 面積 -, 壁高 34~40, 長軸方位 -
壁 溝	西辺~南辺, 幅 9~15, 深さ4~8
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	: C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: Jライン・521m付近
重複関係	: 24住→23住→22住
覆土	: 暗褐色土, 壁: 直に近い
床面	: 黄褐色土中, 貼床
主柱穴	: 不明, 床下ピット1か?, 壁 溝: 検出内全周
カマド	: 貯蔵穴:-
掘形	: 床下ピット1: 径30・深さ38, ピット2: 80×63・深さ24, ピット3: 34×27・深さ26, ピット1は主柱穴か?, 北側に土坑状掘り込み, 凹凸著しい, 小穴あり
その他	: 南西隅のみ検出, 西辺280・南辺280, 北半は23住により破壊, 東半は調査区外にある
遺物	: 土器75片, 瓶形から土師器高杯杯部片出土, 0192(土師器甕)・0193・0194・0195
時期	: 古墳後期, 6世紀後半

三ツ寺II 2区 25号住居跡(第80・242区, 図版65・439)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形~長方形, 規模 南北421, 面積 -, 壁高 18~24, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	1 : 2 主柱穴間の距離(下バ心)
上バ径	35 : 46×36 1-2:247
下バ径	22 : 22
深さ	12 : 27
カマド	位置 東辺中央, 対称軸方位 N81度E, 構築材 粘土 支脚 土器?(須恵御妻底部片)
貯蔵穴	位置 北東隅, 平面形 方形, 上バ63×60, 下バ45×45, 深さ26
その他(状況の記録)	
確認面	: C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: H~Iライン・518m付近
重複関係	: 4溝・品→25住, 覆土: 暗褐色土
壁	: 直に近い, 床面: 黄褐色土中に形成, 貼床
主柱穴	: 2本, 1・2, 壁 溝:-
カマド	: 白色粘土(F.A)で形成する, 燃焼部底面から須恵御妻底部片出土, 右袖縁から土師器甕口縁部片出土
貯蔵穴	: 南側に浅い掘り込み検出, 中から土器片出土
掘形	: 中央西壁下で径150・深さ20の掘り込み, ビット1西側に径35・深さ15のビット, カマド内に径35・深さ12のビット, 北辺西寄りに深さ10前後の浅いビット
その他	: 北辺180・南辺265, 西半は西側調査区外にある
遺物	: 土器229片, 瓶形から黒色土器杯口縁部小片出土, 南側ビット2脇から土師器甕口縁部片出土, 0196・0197・0198(土器片を転用した円盤, 覆土)
時期	: 古墳後期, 6世紀後半~7世紀



第80図 2区25号住居跡遺物出土状態(西から)

平面形	方形～長方形, 規模 南北330, 面積 - , 壁高 26~35, 長軸方位 -
壁 溝	不明
支柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央, 対称軸方位 N74度E, 構築材 粘土 支脚 土器 (高杯並位)
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 方形, 上バ76×75, 下バ31×33, 深さ46
その他 (状況の記録)	
確 認 面	: C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: H~1ライン・512m付近
重複関係	: 26住→28住, 26住→29住
覆 土	: 暗褐色土, 壁 : 直に近い
床 面	: 黄褐色土中に形成, 貼床
主 柱 穴	: - , 壁 溝 : -
カ マ ド	: 白色粘土で形成する, 支脚は脚部を上にした高杯で左袖に寄る
貯 蔵 穴	: カマド右袖に接して設置
掘 形	: カマド左脇方形ピット: 39×39・深さ37, 燃焼部に80・深さ10前後の掘り掘り込み, 調査区壁際に南から深さ13 (78×50)・22 (径18)・29 (半幅)・34 (半幅) のピット
そ の 他	: 北辺175・南辺2270, 西平は調査区外にある
遺 物	: カマド内~カマド左にかけて出土, 壺・丸胴壺破片出土 (掲載なし), 土器100片, 0199 (高杯, カマド)・0200・0201
時 期	: 古墳中期, 5世紀末

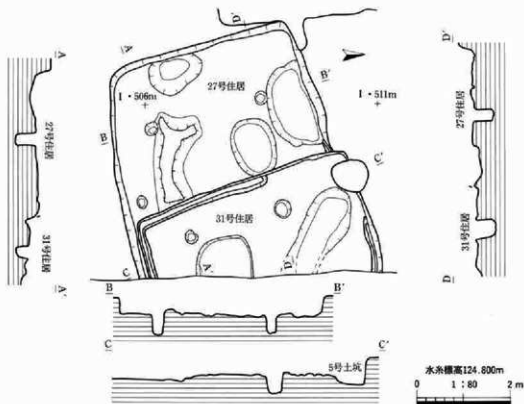


第81図 2区26号住居跡カマド遺物 (西から)

三ツ寺Ⅱ 2区 27号住居跡 (第82・242区, 図版70)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北481, 面積 -, 壁高 23~33, 長軸方位 N76度E					
壁溝	北辺~西辺~南辺, 幅 7~13, 深さ 2~8					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下バ中心)	
上バ径	31	30	46	42	1-2 : 248	2-3 : 280
下バ径	16	17	19	28	3-4 : 265	4-1 : 230
深さ	51	54	56	51		
カマド	不明					
貯蔵穴	不明					
その他 (状況の記録)	確認面 : C 磁石を含む黒色土, 6層, 検出位置 : 1ライン・508m付近 重複関係 : 27住→31住→5坑 覆土 : 暗褐色土, 壁 : 真に近い 床面 : 黄褐色土中に形成, 粘床 主柱穴 : 4本, 1~4, 壁溝 : 検出内全周 カマド : 不明, 東辺か? 貯蔵穴 : - 掘形 : 径100~200・深さ10~20ほどの掘り込み3カ所, 東半31住により破壊 その他 : 北辺573・南辺450・西辺371, 東辺は31住による破壊か? 遺物 : 土師器高杯脚部・須恵器杯(覆土)出土, 土器581片, 0202 (土師器小型甕, 床面) 時期 : 古墳後期, 6世紀前半					



第82図 2区27・31号住居跡 掘形

平面形	方形～長方形, 規模 南北327以上, 面積 -, 壁高 6~14, 長軸方位 -		
壁 溝	東辺～南辺, 幅 6~10, 深さ 2~4		
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離 (下ノバ心)
上ノバ径	26	32×25	1-2 : 225
下ノバ径	14	17×14	
深さ	45	30	
カマド 位置	東辺中央南寄り, 対称軸方位 N74度E, 構築材 粘土・石 支脚 不明, 土器?		
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 円形, 上ノバ75×75, 下ノバ36×37, 深さ46		
その他 (状況の記録)			
確 認 面	C軽石を含む黒色土, 6層		検出位置: Hライン・509m付近
重 複 関 係	2 6住→2 8住		
覆 土	C軽石を含む暗褐色土, 壁 : 直に近い		
床 面	黄褐色土上に形成する		
主 柱 穴	2本, 1・2 (掘形検出), 壁 溝: 東辺～南辺		
カ マ ド	白色粘土 (FA) を貼る, 袖先端部に石を据える		
貯 蔵 穴	周縁から土器・砥石出土, 内部は中段がある		
掘 形	ピット1・2 (主柱穴) 検出, 浅い凹凸がある		
そ の 他	南東隅検出, 南辺197・東辺310, 北辺は2 6住により破壊, 西半は調査区外にある		
遺 物	土器57片, 砥石1個, カマド同縁から宛形に近い土器多量出土, 0203・0204・0205・0206 (0215壁内)・0207・0208・0209 (須恵器杯, 右回転, ヘラ記号)・ 0210・0211・0212・0213・0214・0215 (土師器壺口縁部)・0216・0217, 0215は口縁部を下にして出土 (置きき台か?)		
時 期	古墳後期, 6世紀前半		



第83図 2区28号住居跡カマド周辺遺物 (西から)

三ツ寺Ⅱ 2区 29号住居跡 (第55図, 図版70)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明, 規模 -, 面積 -, 壁高 -, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N85度E, 構築材 粘土? 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	: C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: Hライン・514m付近
重複関係	: 26住→29住→25住, 覆土: 暗褐色土
壁	: 直に近い, 床面: 黄褐色土中に形成する, 貼床
主柱穴	: -, 壁溝: -
カマド	: 袖部未検出, 住居壁よりも突出する, 白色粘土で形成する
貯蔵穴	: -, 掘形: -
その他	: 26住中に南辺がある, 住居本体は西側調査区外にある
遺物	: 覆土から小片出土
時期	: 重複関係から古墳後期?

三ツ寺Ⅱ 2区 30号住居跡 (第55図, 図版70)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形~長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 7~10, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	: C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: Hライン・504m付近
重複関係	: 単検検出, 覆土: 暗褐色土
壁	: 斜めに立ち上がる, 床面: 黄褐色土中に形成する, 貼床
主柱穴	: -, 壁溝: -
カマド	: -, 貯蔵穴: -
掘形	: 南東隅に径27・深さ12のヒット検出, その他: 東辺282・南辺110, 南東隅のみ検出
遺物	: 床面からやや浮いた状態で石5個出土 (掲載なし)
時期	: 古墳

三ツ寺Ⅱ 2区 31号住居跡 (第82図, 図版70)

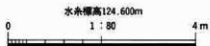
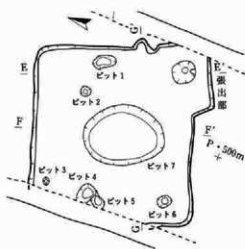
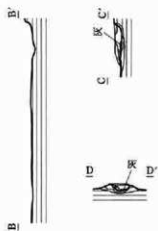
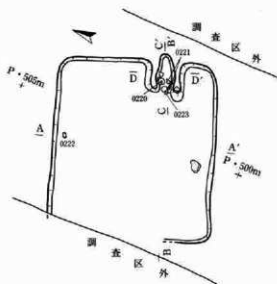
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形~長方形, 規模 南北487, 面積 -, 壁高 23~52, 長軸方位 -
壁 溝	北東隅を除く, 幅 10~22, 深さ 3~15
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	: C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: Jライン・509m付近
重複関係	: 27住→31住, 31住→5坑, 覆土: 暗褐色土
壁	: 直に近い, 床面: 黄褐色土中に形成, 貼床
主柱穴	: -, 壁溝: 北東隅未検出, 西辺~南辺はやや幅が広い
カマド	: -, 貯蔵穴: -
掘形	: 南西寄り径100・深さ17の掘り込み, 北西部から南東にかけて溝状の掘り込み (幅70~90・深さ12)
その他	: 掘形調査のみ, 東半は調査区外にある
遺物	: 小片のみ
時期	: 古墳

平面形	長方形, 規模 382×345, 面積 (13.2) m ² , 壁高 8~18, 長軸方位 N71度E
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央南寄り, 対称軸方位 N71度E, 構築材 粘土 支脚 土器(小型甕?)
貯蔵穴	位置 南東隅張出部, 平面形 円形, 上ノ径50×46, 下ノ径13, 深さ 36
その他(状況の記録)	
確認	面:C軽石を含む黒色土, 6層 検出位置:Pライン・502m付近, 東側道
重複関係	単独検出
覆	土:C軽石を含む暗褐色土 壁:直に近い
床	面:黄褐色土中に形成する, 粘床
主柱穴	不明, 掘形検出のビット2・4・6は主柱穴か?
壁溝	—
カマド	:窓外部を壁内側にもつ, 白色粘土で形成する, 土器出土, 0220は底部を上にして出土
貯蔵穴	:南辺東側壁線上の張出部内で検出, 底面狭い
掘形	:ビット1:50×25・深8, ビット2:径23・深11, ビット3:14×18・深8, ビット4:32×44・深9, ビット5:23×35・深12, ビット6:30×23・深14, ビット7:170×130・深14, 中央ビット7は狭く大きい,
張出部	:南北50前後×東西150程
その他	:ビット・張出部は掘形で検出, 南東隅は掘形調査で張出確認, 北西隅未検出
遺物	:土器93片, 須恵器なし, 小型甕口縁部小片・釜口縁部小片(掲載なし), 0220(カマド内)・0221(カマド内)・0222・0223・0224(内黒)
時期	:古墳中期, 5世紀末



第84図 2区32号住居跡カマド遺物(西から)



第85図 2区32号住居跡

平面形	方形～長方形, 規模 南北334, 面積 - , 壁高 15~21, 長軸方位 -
壁	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央やや南, 対称軸方位 N82度E, 構築材 粘土・石 支脚 石
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 方形, 上ノ67×77, 下ノ35×32, 深さ58
その他 (状況の記録)	
確認	面: C軽石を含む黒色土, 6層 掘出位置: Pライン・507m付近, 東側道
重複関係	: 33住→55住 覆土: 暗褐色土
壁	: 直に近い 深面: 黄褐色土中に形成する, 粘床
主柱穴	: - 壁溝: -
カマド	: 両袖基部に石を据える, 支脚は石製で燃焼部の左に寄る, 白色粘土で形成する, 土器多数出土
貯蔵穴	: 周縁わずかに高い, 内部は二段に掘り込み
掘形	: カマド前中央に128×92・深さ15の浅い掘り込み
その他	: 西辺未検出, 北辺272・東辺316・南辺315
遺物	: カマドから北辺にかけて多数出土, 土器140片, 覆土から丸胴底部部片出土, 小型埴多目, 0225・0226・0227・0228・0229 (鉢形)・0230・0231・0232・0233・0234・0235
時期	: 古墳中期, 5世紀末



第86図 2区33・55号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	方形～長方形, 規模 南北286, 面積 -, 壁高 22～26, 長軸方位 -
壁 溝	北辺～東辺～南辺, 幅 6～10, 深さ 3～7
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央南寄り, 対称軸方位 (N91度E), 構築材 粘土 支脚 石?
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	: C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: O～Pライン・514m付近, 東側道
重複関係	: 37住→35住, 覆土: C軽石を含む黒色土
壁	: 直に近い, 床面: 黄褐色土中に形成する, 粘床
主柱穴	: -, 壁溝: カマド部分を除き検出内全周
カマド	: 袖部推定, 白色粘土で形成する, 支脚は出土位置から石か?
貯蔵穴	: -
掘形	: 調査区壁直下に径110・深さ10前後の掘り込み (半掘), カマド前は浅い円形の掘り込み
その他	: 北辺163・東辺265・南辺290, 西半は調査区外にある
遺物	: 丸胴壺底部片・半球杯・内斜口縁杯が覆土から出土, 須恵器なし, 土器32片, 0236 (土師器壺)
時期	: 古墳後期, 6世紀前半

平面形	不明, 規模 -, 面積 -, 壁高 28～44, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	: C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: P～Qライン・513m付近, 東側道
重複関係	: -, 覆土: 暗褐色土
壁	: 直に近い, 床面: 黄褐色土中に形成する
主柱穴	: -, 壁溝: -
カマド	: -, 貯蔵穴: -
掘形	: -, その他: 大半は東側調査区外にある
遺物	: 小片のみ (掲載なし)
時期	: 古墳?

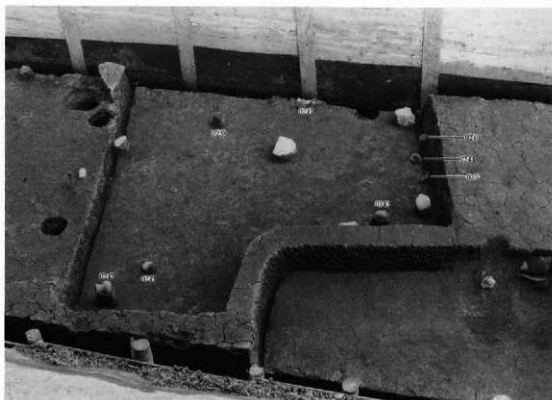


第88図 2区35号住居跡遺物出土状態 (西から)

三ツ寺II 2区 37号住居跡 (第89・245図, 図版79・443)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北37.1, 面積 -, 壁高 13~36, 長軸方位 N82度E
壁 溝	ほぼ全周, 幅 6~13, 深さ1~8
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
壁 面	C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: P~Qライン・515m付近, 東側道
重複関係	3 8住→3 7住→3 5住
覆 土	暗褐色土, 壁 : 直に近い
床 面	黄褐色土中に形成する, 堅く締まる
主 柱 穴	不明, ビット1は主柱穴か? 壁 溝: 西辺北端未検出, 南東隅は掘形調査で検出
カ マ ド	東側調査区壁の直下に袖部先端を確認, 大半は東側調査区外にある
貯 蔵 穴	-
掘 形	中央部に径15・深さ8, 北東寄りに径18・深さ8の小ビット2個検出
そ の 他	東辺未検出, 北辺423・西辺365・南辺355, 南西隅は掘形調査で3 5住下から検出, ビット1: 径30・深さ13 (主柱穴のひとつか?)
遺 物	南辺寄りにやや多く出土, 0245は3 5住東辺壁直下から出土, 覆土から高杯接合部・須恵器杯身, 土器124片, 0237・0238・0239・0240・0241・0242 (土師器壺)・0243 (土師器壺)・0244 (土師器壺)・ 0245 (土師器椀)・0246・0247
時 期	古墳後期, 6世紀前半



第89図 2区37号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	長方形, 規模 416×262, 面積 (10.9m ²), 壁高 18~22, 長軸方位 N70度E
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 -, 構築材 粘土
貯蔵穴	位置 不明
その他 (状況の記録)	
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: P~Qライン・519m付近, 東側道
重複関係	5 6住→3 8住→3 7住→3 5住, 覆土: 暗褐色土
壁	: 直に近い, 床面: 黄褐色土中に形成する
主柱穴	: -, 壁溝: -
カマド	: 東側調査区壁中に焼土を確認, 袖痕跡検出, 石(支脚?)出土
貯蔵穴	: 不明, ビット6か?
掘形	: 中央南辺寄りに略三角形87×95・深9の掘り込み, その南側に径40・深17のビット検出
その他	: 南内隅・南東隅未検出, 北辺400・西辺210・南辺110・東辺78, ビット1: 径30・深28, ビット2: 35×30・深60 (5 6住貯蔵穴か), ビット3: 長方形28×25・深34, ビット4: 径28・ 深35, ビット5: 径25・深31, ビット6: 58×45・深28, 5 6住の辺と平行していることから本遺構は5 6住の内部施設か?, 本遺跡では類例のない小原長方形を呈する
遺物	: 土師器埴輪体部片・磁石? 1個出土, 須恵器なし, 土器80片, ビット5の南側で0248 (黒色土器, 杯) 出土
時期	: 古墳後期, 6世紀前半



第90図 2区38号住居跡カマド (西から)

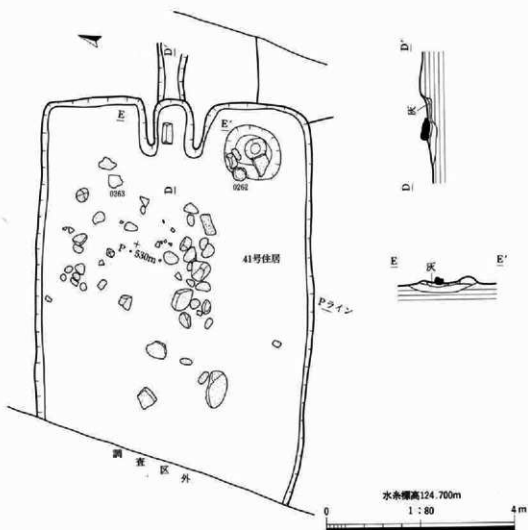
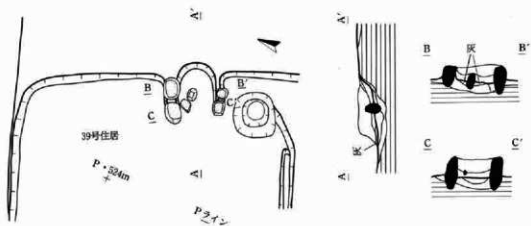
三ツ寺II 2区 39号住居跡(第91・246図, 図版80・443)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北307, 面積 -, 壁高 11~15, 長軸方位 N71度E
壁溝	南辺, 幅 6~10, 深さ 3~5
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N67度E, 構築材 粘土・石・土器 支脚 石+土器片
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 方形, 上バ47×44, 下バ径19, 深さ36
その他(状況の記録)	
礎 礎 面:	C軽石を含む黒色土, 6層 検出位置: O~Pライン・523m付近, 東側道
重複関係:	5 6住→3 9住, 4 0住との関係は不明
覆 土:	暗褐色土, 壁: 直に近い
床 面:	黄褐色土中に形成する, 貼床
主 柱 穴:	- 壁溝: 南辺のみ検出
カ マ ド:	両袖部に各2箇の石を据える, 支脚は立てた石と土器片
貯 蔵 穴:	二段に掘り込む, 丸胴壺の破片が落ち込む
掘 形:	南辺壁際に径100・深10程度の掘り込み, 中央東寄りに楕円形120×80・深さ15程度の掘り込み, 中央東寄りに不整形ピット4個
そ の 他:	西辺未検出, 北辺287・南辺430, 東辺は5 6住東辺と一致する
遺 物:	土器218片, 覆土から横飯杯・内斜口縁杯・餅台・丸胴壺・須恵器高杆脚部出土, 0249・0250・0251・0252・0253(土製曲玉, 覆土)
時 期:	古墳後期, 6世紀後半



第91図 2区39号住居跡カマド遺物(西から)



第92図 2区39号住居跡カマド・41号住居跡遺物出土状態

三ツ寺II 2区 40号住居跡 (第93・246図, 図版81・444)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 5~11, 長軸方位 -	
礎 溝	不明	
主柱穴	1 : 2	主柱穴間の距離 (下ババ心)
上ババ径	53×55 : 55×41	1-2 : 241
下ババ径	径37 : 径12	
深 さ	51 : 48	
カマド	不明	
貯蔵穴	不明	
その他 (状況の記録)		
礎 礎 面	C軽石を含む黒色土, 6層 検出位置: O-Qライン・S27m付近, 東側道	
重複関係	40住→41住, 39住との関係は不明	
覆 土	C軽石を多量に含む黒色土 壁 : 直に近い	
床 面	黄褐色土中に形成する	
主 柱 穴	2本, ビット2は二段 壁 溝 : -	
カマド	-	
貯蔵穴	-	
掘 形	南西部調査区壁直下のビット (径55・深き35) 脇から土器 (0261) 出土, 北西部調査区壁間に 径120・深き13の掘り込み, 東側調査区壁際から径20・深き6のビット	
そ の 他	東辺123・南辺340, 南東隅未検出, 南辺西半は39住と重複する, 北半は41住に切られて不明	
遺 物	西半床面からの出土が多い, 須恵器なし, 土器72片, 0254・0255・0256 (土器器小笠高杯)・0257 (杯部外底は回転ヘラズリ)・ 0258 (杯部外縁あり, 器台か?)・0259・0260・0261 (掘形調査で出土)	
時 期	古墳中期, 5世紀末	



第93図 2区40号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	長方形, 規模 南北296, 面積 -, 壁高 6~21, 長軸方位 N71度E
壁 調	北辺の一部, 幅16, 深さ2~4
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央, 対称軸方位 N71度E, 構築材 粘土 支脚 石 (長さ22・幅11)
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 方形, 上バ(58×56, 下バ径11, 深さ46
その他 (状況の記録)	
溝 認 面	C層石を含む黒色土, 6層 検出位置: O~Pライン・530m付近, 東側道
重複関係	40・57住→41住
覆 土	暗褐色土 壁 : 直に近い
床 面	褐色土中に形成する, 貼床
主 柱 穴	- 壁 調: 北辺西寄りの掘形調査で検出
カ マ ド	煙道長さ60, 燃焼部との境に段がある, 石製支脚はやや左に寄り倒れた状態で出土, 白色粘土で形成する
貯 蔵 穴	内部は二段に掘り込む, 北側・東側の縁から石出土, 石の中間から須恵器杯出土
掘 形	南西部調査区壁際に径40・深さ13の掘り込み, 細かい凹凸著しい
そ の 他	西辺未検出
遺 物	床面近くから多量の石出土, 石は中央部に多い, 覆土から内斜口縁杯・小型環口縁部出土, 土器311片, 0262 (須恵器杯, 貯蔵穴脇)・0263
時 期	古墳後期, 6世紀後半



第94図 2区41号住居跡貯蔵穴付近遺物 (西から)

三ツ峠 2 区 4 2 号住居跡 (第95・247図, 図版83・444)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形〜長方形, 規模 南北50以上, 面積 -				壁高	30~36, 長軸方位 -	
壁溝	北辺・西辺の一部, 幅 13~20, 深さ 6~12						
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下バ心)		
上バ径	37×31	29	31×27	29	1-2	293	
下バ径	15	15	18×14	15	3-4	295	
深さ	59	49	48	53	4-1	273	
カマド	位置 西辺南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土・石・土器						
	支脚 不明						
貯蔵穴	位置 西部, 平面形 略長方形, 上バ73×65, 下バ58×41, 深さ 34						
その他 (状況の記録)							
壁	面: C軽石を含む黒色土, 6層			検出位置: O~Qライン・536m付近, 東側道			
重葺関係	4 2 住→5 7 住→4 1 住			壁土: 暗褐色土			
壁	: 直に近い			床面: 黄褐色土中に形成する			
主柱穴	: 4本, 深さ50前後で揃う			壁溝: 貯蔵穴西側の壁が西辺の一部か?			
貯蔵穴	: ほぼ西側に位置する, 底面は楕円形						
掘形	: 中央東寄りに径28・深さ15のピット, ピット1の底面は2つ検出						
その他	: 南側は5 7 住により破壊, 西隅未検出 (調査区外)						
遺物	: 北辺中央部から壁に直角に炭化物 (長さ115・幅10前後) 出土, 住居内周縁部から土器・石が多量に出土, 土器704片, 覆土から土師器破片多数・高杯2個体分・高杯長方形透かし (杯部内黒高杯または壺脚部・須恵器高杯脚部 (1段透かし), 0264 (土師器壺, カマド左袖)・0272・0273 (黒色土器)・0274・0275・0276・0277・0278 (壺)・0279・0280・0281						
時期	: 古墳後期, 6世紀前半						



第95図 2区42号住居跡遺物出土状態 (西から)



第96図 2区42号住居跡カマド遺物（東から）



第97図 2区42号住居跡遺物出土状態（西から）

三ツ寺II 2区 43号住居跡 (第98・248図, 図版84・445)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 5~10, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴 位置	南辺東寄り, 平面形 長方形, 上ノ38×67, 下ノ39×32, 深さ61
その他 (状況の記録)	
確 認 面	C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: O~Qライン・543m付近, 東側道
重 複 関 係	4 3 住→4 4 住, 4 3 住→F A を含む畚跡 (図面・写真記録不明)
覆 土	C軽石を多く含む黒色土, 壁 : 直に近い
床 面	黄褐色土中に形成する
主 柱 穴	- , 壁 溝 : -
カ マ ド	不明, 東辺か?
貯 蔵 穴	長辺を南辺と平行に設置する, 中から丸胴壺2個体分出
掘 形	-
そ の 他: 東辺の大半は東側調査区外・西半は調査区外にある, 北部は4 4 住により破壊, 南辺478・東辺293 ピット1: 43×39・深さ16	
遺 物	土器多数出土, 土器234片, 覆土から横口縁部・二次火熱を受けた小型壺・内斜口縁杯・高杯出土 0282・0283・0284・0285・0286・0287・0288 (須恵系無蓋高杯, 覆土)・0289 (土師器高杯, 側 立出土)・0290・0291・0292 (杯部外説カキ目, 覆土)・0293 (土師器小型高杯)・0294 (丸胴 壺)・0295 (丸胴壺, 頸部段)・0296・0297・0298・0299 (小型壺)
時 期	古墳中期, 5世紀末



第98図 2区43・44号住居跡遺物出土状態 (西から)



第99図 2区43号住居跡貯蔵穴遺物（南から）

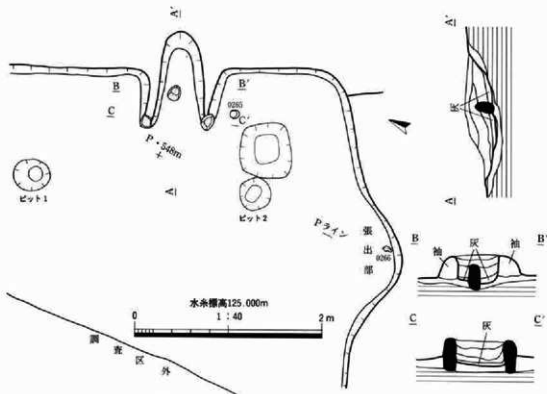


第100図 2区43号住居跡遺物出土状態（西から）

三ツ寺II 2区 44号住居跡 (第98・249図, 図版84・446)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

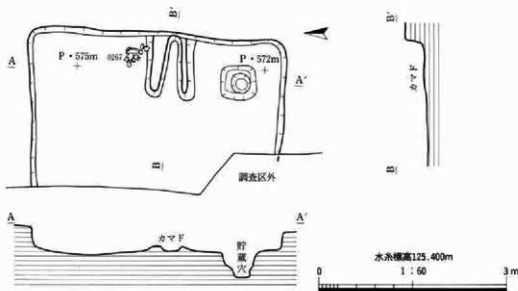
平面形	方形～長方形, 縦横 南北236, 面積 -, 壁高 12~34, 長軸方位 -	
壁 溝	不明	
主柱穴	1 : 2	主柱穴間の距離 (下バ中心)
上バ径	38×33 : 33	1 - 2 : 236
下バ径	15 : 20×14	
深 さ	55 : 49	
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N66度E, 構築材 粘土・石 支脚 石	
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 方形, 上バ58×54, 下バ31×26, 深さ49	
その他 (状況の記録)	確認 面: C 軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: Pライン・548m付近, 東側道 重複関係: 43住→44住 覆 土: 暗褐色土, 壁 : 直に近い 床 面: 黄褐色土中に形成する, 貼床, 壁く締まる 主 柱 穴: 2本確認, 深さ50前後, 壁 溝: - カ マ ド: 両袖基部に石を据える, 支脚の石はやや左に寄る, 白色粘土で形成する 貯 蔵 穴: 底面は長方形, 深い 輪 形: 比較的平坦 そ の 他: 西半は調査区外にある, 南辺400・東辺423・北辺177, 南辺東寄りに弧状張出部, 張出部から30大の石出土 遺 物: 土器128片・石2個, 覆土から横椀杯4個体以上, 壺形から内斜口縁高杯杯部出土, 0265 (上脚器杯, カマド右脇)・0266 (黒色土器, 張出部) 時 期: 古墳後期, 6世紀後半	



第101図 2区44号住居跡カマド

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 26～35, 長軸方位 -		
壁溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 煙道N95度E, 構築材 不明, 支脚 不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	: C軽石を含む黒色土, 6層	検出位置	: O～Pライン・564m付近, 東側道
重複関係	: -	覆土	: 暗褐色土
壁	: 直に近い	床面	: 黄褐色土中に形成する, 貼床
主柱穴	: -	壁溝	: -
カマド	: 袖の一部を検出, 煙道長さ80, 白色粘土を用いる	掘形	: -
貯蔵穴	: -	貯蔵穴	: -
その他: 大半は西側調査区外にある, 北東隅を検出, 北辺53・東辺370, 東辺南半未検出			
遺物: 覆土2片出土			
時期: 古墳?			

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 24～32, 長軸方位 -		
壁溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	: C軽石を含む黒色土, 6層	検出位置	: P～Qライン・567m付近, 東側道
重複関係	: -	覆土	: 暗褐色土
壁	: 直に近い	床面	: 黄褐色土中に形成する
主柱穴	: -	壁溝	: -
カマド	: -	貯蔵穴	: -
掘形	: -		
その他: 北西隅を検出, 北辺122・西辺170, 大半は東側調査区外にあるため詳細不明			
遺物: 土器7片, 覆土から外椽の高杯出土 (掲載なし)			
時期: 古墳?			



三ツ寺II 2区 47号住居跡 (第102・250図, 図版87・446)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

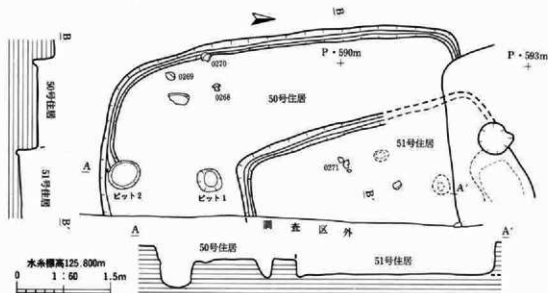
平面形	方形〜長方形, 規模 南北400, 面積 - , 壁高 25〜43, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N96度E, 構築材 粘土 支脚 不明
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 方形, 上ノ径55×53, 下ノ径17, 深さ 42
その他 (状況の記録)	
確認 面	: C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: O〜Pライン・57m付近, 東側道
重複関係	: -
覆 土	: C軽石を多量に含む黒色土, 壁 : 直に近い
床 面	: 黄褐色土中に形成する
主 柱 穴	: - , 壁 溝 : -
カマド	: 袖部遺存不良, 燃焼部が壁外へ突出しない, 煙道は壁を掘り込まない
貯蔵 穴	: 内部は二段に掘り込み底面は円形
掘 形	: 貯蔵穴の北西部で32×26・深さ10のピット横出
そ の 他	: 西半は調査区外にある, 北辺245・東辺397・南辺175
遺 物	: 土器28片, 覆土から内斜口縁片出土 (掲載なし), 須恵器なし, 0267 (土師器底部, カマド左脇床面)
時 期	: 古墳



第103図 2区47号住居跡遺物出土状態 (西から)

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 21~32, 長軸方位 -		
壁溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層	検出位置	P~Qライン・579m付近, 東側道
重複関係	-	覆土	暗褐色土
壁	:直に近い	床面	:黄褐色土中に形成する
主柱穴	-	壁溝	-
カマド	-	貯蔵穴	-
鑑形	-		
その他: 北西隅検出, 北辺110・西辺245, 大半は東側調査区外にあるため詳細不明			
遺物: 小片のみ			
時期: 古墳?			

平面形	長方形, 規模 南北258×東西230, 面積 (5.9m ²), 壁高 3~9, 長軸方位 N23度W		
壁溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層	検出位置	P~Qライン・584m付近, 東側道
重複関係	:49住→7溝	覆土	:C軽石を多量に含む黒色土
壁	:5前後, 浅い	床面	:黒色粘質土中に形成する
主柱穴	-	壁溝	-
カマド	-	貯蔵穴	-
鑑形	-		
その他: 南東隅未検出, 東辺やや短く台形か?, 周辺のピットは本遺構に伴うか不明			
遺物: なし			
時期: 古墳			



第104図 2区50・51号住居跡

三ツ寺II 2区 50号住居跡(第104・250図, 図版89・446)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

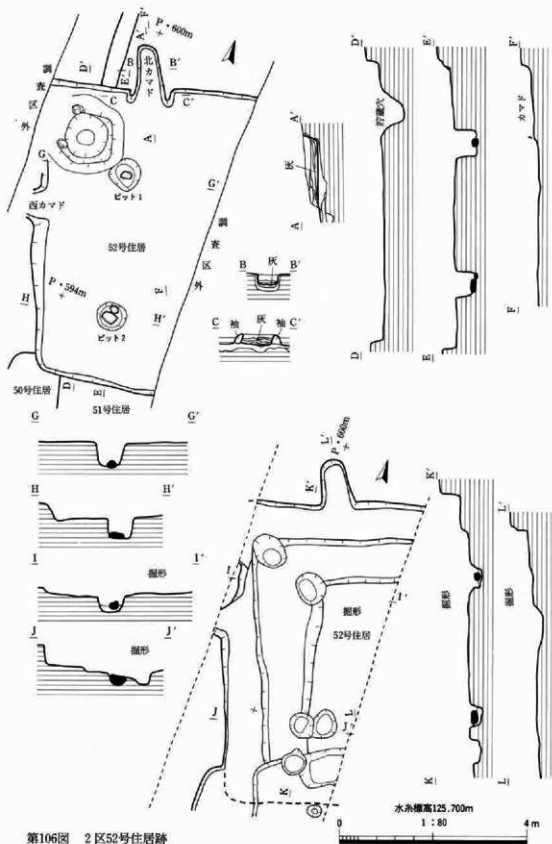
平面形	楕円形?, 規模 南北570以上×東西300以上, 面積 - , 壁高 18~25, 長軸方位 (N6度W)		
壁 溝	北西部~西辺~南辺東部, 幅 7~12, 深さ 5~10		
主柱穴	不明		
伊	不明		
貯蔵穴	不明		
その他(状況の記録)			
確 認 面	: C軽石を含む黒色土, 6層	検 出 位 置	: P~Qライン・590m付近, 東側道
重 複 関 係	: 5 0 住 → 5 1 住 → 5 2 住	覆 土	: C軽石を多量に含む黒色土
壁	: 直に近い	床 面	: 黄褐色土中に形成する
主 柱 穴	: -	壁 溝	: 南辺でピット2につながる
伊	: -	貯 蔵 穴	: -
掘 形	: -		
そ の 他	: ピット1: 径35・深さ28, ピット2: 52×45・深さ41, ピット1-ピット2: 188, 東半は調査区外にある, 北半は5 1 住・5 2 住により破壊		
遺 物	: 土器39片, 甕形から横紋杯, 須恵器なし, 0268 (土師器器台)・0269 (土師器器台)・0270 (土師器器)		
時 期	: 古墳前期, 4世紀		



第105図 2区50号住居跡遺物出土状態(南から)

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 22～51, 長軸方位 -		
壁 溝	西辺～南辺, 幅 8～12, 深さ 3～8		
主柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層	検出位置	P～Qライン・591m付近, 東側道
重複関係	50住→51住→52住	覆土	暗褐色土
壁	:直に近い	床面	灰色砂質土中に形成する, 貼床
主柱穴	-	壁溝	:検出内全周
カマド	-	貯蔵穴	:不明, 床下検出の北辺に接する長方形掘り込みか?
掘形	北西隅検出, 北辺190・西辺385, 南北417, 西辺寄り中央に径17×23・深さ10のビット, 北辺寄りに径25・深さ10のビット, 北辺に接して75×100以上・深さ4の浅い長方形掘り込み検出		
その他	南西隅検出, 西辺347・南辺77, 東半は調査区外にある		
遺物	土器6片, 覆土から丸胴壺体部片・内斜口縁杯・横腹杯口縁部片出土, 0271 (土器壺高杯杯部, 西寄り床面)		
時期	古墳後期, 6世紀前半		

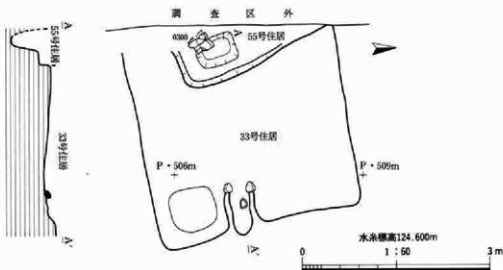
平面形	方形～長方形, 規模 南北630, 面積 -, 壁高 23～41, 長軸方位 -			
壁 溝	不明			
主柱穴	1 : 2	主柱穴間の距離 (下バ中心)		
上バ径	68×62 : 63	1-2 : 300		
下バ径	46 : 45			
深さ	51 : 43			
カマド	位置 北辺中央, 対称軸方位 N22度W, 構築材 粘土 支脚 不明 西辺中央, 焚口または燃焼部幅65			
貯蔵穴	位置 北西隅, 平面形 方形, 上バ南北105×東西118以上, 下バ32×38, 深さ 51			
その他 (状況の記録)				
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層		検出位置	Pライン・596m付近, 東側道
重複関係	50住→51住→52住		覆土	暗褐色土
壁	:直に近い			
床面	灰色砂質土中に形成する, 貼床3枚, 上位貼床は黄色FAを厚さ5で全面に貼り繋ぐ締まる			
主柱穴	2本検出, 両者とも底面に石を据える (ビット2は2個), ビット1・2の石の上バ高さは同じ			
壁溝	-			
カマド	北カマド:燃焼部は壁外へ突出する・粘土で形成する, 西カマド:軸道遺存なし, 燃焼部の一部検出			
貯蔵穴	周縁に粘土を土手状に巡らす, 北西部縁に石2個出土, 上バは略方形・内部は円形の二段に掘り込む			
掘形	壁から80ほど内側に壁と平行に幅90～150・深さ6～15の溝状掘り込み, 中央部は方形に高い, ビット2の東側に62×50・深さ24のビット			
その他	北西隅未検出, 東半は東側調査区外にある			
遺物	土器383片, 覆土から須恵器蓋小片・小型短頸壺小片・土器壺横腹杯・土器器壁 (外底木葉痕) 出土, (遺物図掲載なし)			
時期	古墳			



第106図 2区52号住居跡

平面形	方形～長方形, 規模 南北190, 面積 -, 壁高 10～16, 長軸方位 -		
壁溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層	検出位置	O～Pライン・604m付近, 東側道
重複関係	6溝→53住	覆土	暗褐色土
壁	斜め, 浅い	床面	暗褐色土中に形成する
主柱穴	-	壁溝	-
カマド	-	貯蔵穴	-
掘形	-		
その他: 西半は調査区外にある, 北辺80・南辺97, 東辺に張り部 (南北110・東西30, 台形) をもつ			
遺物: 土器15片, 覆土から内斜口縁杯・土師器瓶 (内面黒色, ミガキ) 出土, 遺物照掲載なし			
時期: 古墳			

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 36, 長軸方位 -		
壁溝	西辺～南辺, 幅 10～15, 深さ 5～9		
主柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層	検出位置	Pライン・606m付近, 東側道 (3区の一部)
重複関係	-	覆土	暗褐色土
壁	直に近い	床面	灰色砂質土中に形成する, 貼床
主柱穴	-	壁溝	検出内全周
カマド	-	貯蔵穴	-
掘形	比較的平坦		
その他: 北東部は調査区外にある, 検出内東部は攪乱・破壊されている, 南西隅検出, 西辺230・南辺195			
遺物: 土器4片, 覆土から土師器内斜口縁杯出土			
時期: 古墳			



第107図 2区55号住居跡

三ツ寺II 2区 55号住居跡 (第107・250図, 図版78・447)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形〜長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 20, 長軸方位 -
壁 調	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 長方形, 上/65×46, 下/45×26, 深さ34
その他 (状況の記録)	
確 認 面	: C 軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: Oライン・506m付近, 東側道
重 複 調 係	: 3 3 住 → 5 5 住
覆 土	: 暗褐色土, 壁 : 直に近い
床 面	: 黄褐色土中に形成する
主 柱 穴	: -, 壁 調 : -
カ マ ド	: -
貯 蔵 穴	: 南縁から0300瓶が出土
掘 形	: -
そ の 他 : 南東隅のみ検出, 南辺60・東辺245	
遺 物	: 土器32片, 覆土から土師器高杯 (または器台) 杯部外縁 (脚部三方向透かし)・内斜口縁杯出土, 0300 (土師器瓶)・0301・0302 (須恵器冠, 覆土)
時 期	: 古墳後期, 6世紀後半



第108図 2区55号住居跡遺物出土状態 (北から)

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 15, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 N78度E, 構築材 粘土 支脚 土器 (土師器高杯脚部, 正立状態)
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確 認 面	C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: O～Qライン・520m付近, 東側道
重複関係	56住→38住, 56住→39住
覆 土	暗褐色土, 壁 : 斜めに立ち上がる, 浅い
床 面	黄褐色土中に形成する, 38・39住とは床面高さが異なる
主 柱 穴	- , 壁 溝 : -
カ マ ド	燃焼部未完備, 燃焼部中央で高杯出土, 白色粘土で形成する
貯 蔵 穴	-
施 工	西側に細かい凹凸あり
そ の 他	東辺は39住の東辺と同じ位置, 北半は39住により破壊, 南半は38住により破壊, 西側は調査区外にある, 詳細不明
遺 物	土器34片, 覆土から土師器高杯脚部出土, 0303 (土師器甕, 直行口縁)・0304 (土師器高杯脚部, カマド燃焼部→支脚)
時 期	古墳後期, 6世紀前半



第109図 2区56号住居跡カマド遺物 (西から)

三ツ寺II 2区 57号住居跡(第110・251区, 図版83・447)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北346×東西400以上, 面積 -, 壁高 13~37, 長軸方位 N77度E				
壁溝	不明				
主柱穴	1	2	3 (撮影検出)	主柱穴間の距離 (下ノベ中心)	
上ノベ径	30	28	22×18	1-2 : 215	2-3 : 175
下ノベ径	14	12	13×11		
深さ	53	47	36		
カマド	不明				
貯蔵穴	位置 北辺東寄り, 平面形 長方形, 上ノベ45以上×52, 下ノベ35以上×33, 深さ 22				
その他 (状況の記録)	礎 礎 面 : C 軽石を含む黒色土, 6層 検出位置 : P~Qライン・532m付近, 東側道 重複関係 : 4 2住→5 7住→4 1住 覆 土 : 暗褐色土 壁 : 直に近い 床 面 : 黄褐色土中に形成する 主 柱 穴 : 3本, ビット3は撮影調査で検出 壁 溝 : - カマド : - 貯 蔵 穴 : 北東部調査区壁直下で検出, 約50×50 掘 形 : 4 1住床面を除去して調査, 南西隅・北西隅・ビット3を検出 そ の 他 : 東辺未検出, 北辺305・西辺300・南辺307, 東西に長い長方形, 火災を受けたか? 遺 物 : 覆土から棒状炭化物出土, 土器121片・石1個, 覆土から土師器破片・埴底部2個体・酒器御椀出土, 0305・0306・0307 (黒色土器杯)・0308 (須恵器器台, 受け部・脚部の接合部, 覆土)・0309 時 期 : 古墳後期, 6世紀前半				

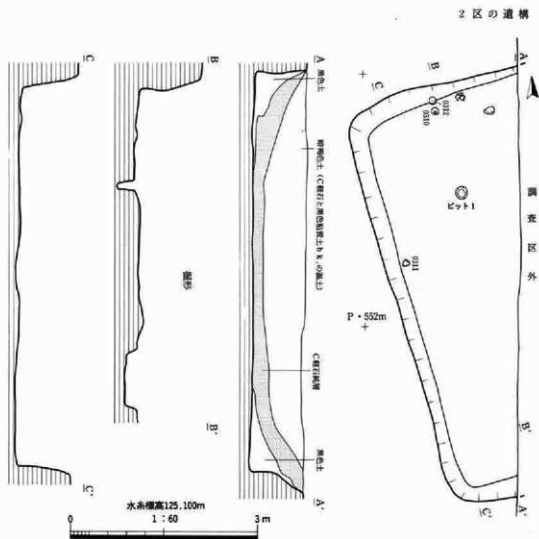


第110図 2区57号住居跡遺物出土状態(西から)

平面形	方形～長方形, 規模 南北676, 面積 -, 壁高 84~94, 長軸方位 (南北N13度W)
壁溝	不明
主柱穴	不明
炉	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置: P~Qライン・554m付近, 東側道
重複関係	-
覆土	上位に浅間C軽石を含む暗褐色土, 中央床面から南北壁上端に厚さ20~30の浅間C軽石純層, 南北の壁直下に黒色土が堆積する
壁	: 直に近い, 80前後で深い
床面	: 黄褐色土中に形成する
主柱穴	: 1本, ビット1か?, 平面プランと併せて勘案すれば4本柱か?
壁溝	: -, 炉形: -
貯蔵穴	: -
その他	: ビット1: 径20・深さ26, 北西隅検出, 東半は調査区外にある, 北辺300・南辺85
遺物	: 北辺寄り壁近くの床面から土器出土, 土器6片, 内外面ミガキの大型壺破片・接合しない甕体部片出土 (いずれも床面出土, 掲載なし) 0310 (壺)・0311 (甕)・0312 (甕)
時期	: 樽式, 弥生後期



第111図 2区58号住居跡遺物出土状態 (西から)



第112図 2区58号住居跡



第113図 2区58号住居跡遺物出土状態 (西から)

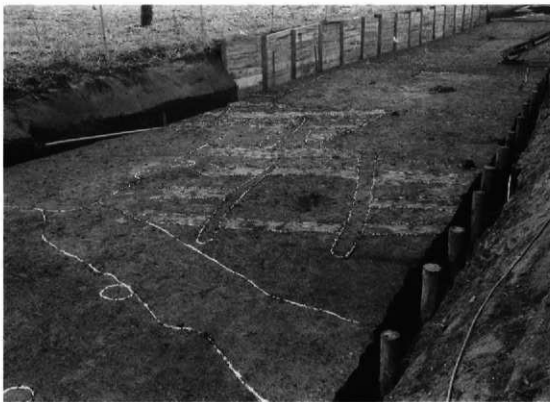
三ツ寺II 2区 畠跡 (第114図, 図版94)

2区西側道南寄りで畠跡とみられる遺構を検出した。確認面はC軽石を含む黒色土(6層)で、検出位置はH~Jライン・515~524m付近である。検出した溝状遺構は二つの方向性をもち、およそ東西方向をとるA類と、およそ南北方向をとるB類とがある。A類はN68~76度Eの方向をもち、それらの間隔は39~77cmで、長さは38~430cm、深き2~13cmである。B類はN13~22度Eの方向をもち、それらの間隔は100~133cm、長さ196~345cm、深き4~10cmである。A類の溝状遺構は二次堆積のF Aによって埋没し、B類のそれはF Aまじりの黄褐色土によって埋まっている。A類溝状遺構の断面はほぼ三角形を呈し、南側の斜面の方がやや急である。A類とB類とは互いにほぼ直交する。

A類の溝状遺構はB類の溝状遺構によって切られ、両者は周辺の住居跡によって切られている。25号住居をカギとして、A類溝状遺構→4号溝→25号住居の順に新しく、24号住居をカギとして、A類溝状遺構→B類溝状遺構→24号住居の順に新しい。以上の重複関係からみると、A類溝状遺構→B類溝状遺構→周辺住居の順に新しいと推定できる。確かな根拠はないが、A類とB類との時間差は、B類と周辺住居との時間差より短いとみられる。

出土遺物は土器38片があり、土師器内斜口縁杯の破片が含まれる(遺物同掲載なし)。時期は出土土器・重複関係・覆土から、6世紀とみられる。

これらの溝状遺構からなる畠跡は周囲の遺構の分布状況からみると、住居周辺で営まれたものであろう。



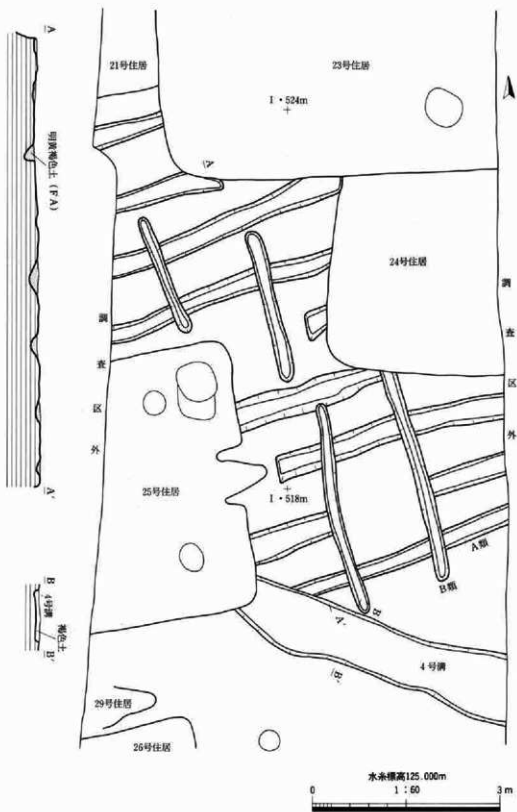
第114図 2区西側道F A畠跡 (南から)



第115図 2区西側道FA畠跡(東から)



第116図 2区西側道FA畠跡(西から)



第117图 2区西侧道畠跡

三ツ寺II 2区溝 (第118区, 図面96)

2区では7本の溝を検出した。2区の遺構検出面は浅間C軽石を含む黒色土の面(6層)で、本線敷き部分は第一次調査の前すでに機耕が建設され、遺構を検出することは不可能であった。従って、2区の調査は東西の側道敷き部分のみ行っている。

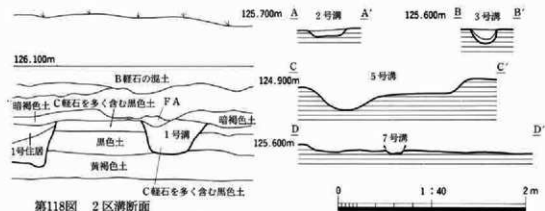
1～5号溝は西側道で、6・7号溝は東側道で検出している。3・4・5号溝は北西から南東の走行を示し、1号溝はこれと直角の方向の走行をもつ。とくに1号溝と3号溝とはほぼ直角に交わる方向性をもつ。2号溝は半径2.5～3.5mほどの弧状を呈し、西側は調査区外にある。5号溝は北側が浅く、南側は一般深くなっている。

6号溝は2区東側道北端をほぼ南北に走る溝、7号溝はその南側で49号住居と重複する。弧状をなす溝である。これらの溝のうち、1・2・4号溝からは土器片が少量出土し、検出層位・重複関係・出土土器等から古墳時代の溝と推定できる。その他の溝からは遺物の出土がないが、検出層位・重複関係からみて、1・2・4号と同様の古墳時代のものとかがえられる。以下、表で各溝の状況・計測値を示す。

三ツ寺II 2区溝一覽表

—: 計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	長さ・幅・深さ m・cm・cm	覆土	その他	遺物	時期	備考
1	浅間C軽石を含む黒色土6層	1～J 506～598m	1溝→3住	3.2・35～44・22～28	C軽石を多量に含む暗褐色土	N49度E	土器30片、須恵器杯破片	古墳後期	西側道
2	浅間C軽石を含む黒色土6層	H～I 587～593m	5住→2溝→3坑	6.2・32～42・4～13	C軽石を多量に含む暗褐色土	半径2.5～3.5mの弧状	土器20片 付付鏝脚部または高杯脚部	古墳後期	西側道
3	浅間C軽石を含む黒色土6層	J 580～582m	3溝→6住	1.6・35・7～10	C軽石を多量に含む暗褐色土	N49度W		古墳後期	西側道
4	浅間C軽石を含む黒色土6層	1～J 514～517m	4溝→25住	4.7・70～105・8～16	C軽石を少量含む暗褐色土	N70度W	土器49片 小片のみ	古墳後期	西側道
5	浅間C軽石を含む黒色土6層	1～J 509～512m	26・27・31住→5溝	4.1・170・9～29	C軽石を少量含む暗褐色土	N65度W		古墳?	西側道
6	浅間C軽石を含む黒色土6層	O～P 593～603m	52・53住→6溝	4.4・27～37・9～15	C軽石を含む暗褐色土	N5度W		古墳?	東側道
7	浅間C軽石を含む黒色土6層	P～Q 584～587m	7溝→49住	3.3・20～25・2～5	C軽石を含む暗褐色土	半径3.2m前後の弧状		古墳?	東側道



第118区 2区溝断面

三ツ寺II 2区 土坑 (第119図)

2区では8基の土坑を検出したが、遺構の記録があるのは1～6号土坑の6基である。2区の遺構検出面は浅間C軽石を含む黒色土面で、土坑以外の諸遺構もすべてこの面で検出している。遺物の出土したのは1・3・5号で、その他は出土遺物なしである。また、2区の土坑では、出土遺物の掲載はない。

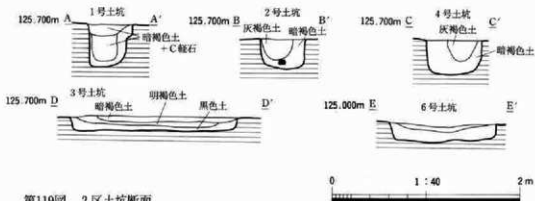
1号土坑はやや特殊で、隅丸の長方形を呈し、内部には円形の掘り込みをもつ。柱穴の可能性もあろう。3号土坑は深さ15cm未満と浅く、大型の土坑である。いずれの土坑も用途等は不明である。

以下、表で各土坑の状況・計測値を示す。

三ツ寺II 2区土坑一覧表

bk.: block, 計測値単位cm, -: 計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
1	浅間C軽石を含む黒色土6層	J 598m		104×56・10	C軽石+ローム粒+暗褐色粘質土	内部に径44・深36の掘り込み、長軸N66度E	土器31片	古墳	西側道
2	浅間C軽石を含む黒色土6層	1～J 587m		72×61・36	C軽石+ローム粒+暗褐色土			古墳	西側道
3	浅間C軽石を含む黒色土6層	1～J 588m	2溝→3坑	190×404・12	C軽石を多く含む暗褐色土	長軸N83度E	土器75片、石斧	古墳	西側道
4	浅間C軽石を含む黒色土6層	I 586m		径61・40	C軽石+ローム粒+暗褐色土			古墳	西側道
5	浅間C軽石を含む黒色土6層	1～J 511m	31住→5坑	径75・54	C軽石+焼土+炭粒を含む暗褐色土		土器4片、須恵器蓋、須恵器大甕底部、土師器杯、土師器瓶?	古墳	西側道
6	浅間C軽石を含む黒色土6層	1～J 518m		122×95・21		長軸N3度W		古墳	西側道
7									遺構不明
8							土器2片		遺構不明



第119図 2区土坑断面

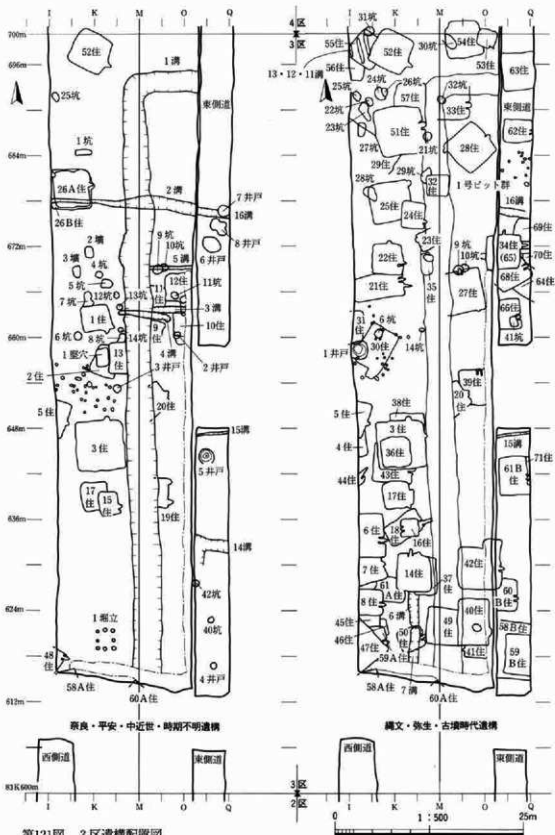
3 区 の 遺 構



第120図 変貌する沿線(3)高崎市間屋町陸橋から南西を望む

国道17号線(高崎一前橋バイパス)と交差する上越新幹線。バイパスの右手は大八木水田遺跡、左手は間屋町西2丁目の「下小島遺跡」。

1990年4月撮影



第121図 3区遺構配置図

3 区 の 概 要

大宮を起点とする3区のキロ程は83km612mから83km700mの範囲である。前述のように(2区概要)、キロ程600mから612mの範囲は、調査着手時点で生活道路とされていたために調査不可能であり、600m~606mの範囲は2区に含めて調査を行っている。3区1号溝と呼んだ大溝は3区の南端付近で東側に曲がりつつある状態を本線敷き調査(第1次調査)で確認したが、キロ程612mの東側道部での調査が不可能であったため、東側へ曲がった状態の1号溝は検出していない。

本区北端のキロ程700m付近では遺構の分布が連続的であったため、700m線上の遺構は調整して便宜的に3区・4区に帰属させた。したがって、3区と4区との境付近に位置する遺構は「資料編1」と「資料編2」とに別けて掲載している。

キロ程648mから659mの東側道部は、側道調査に着手した時点ですでに地元の生活道路が付け替えられており、調査不可能の状態であった。

3区では下表の遺構を検出した。本線敷き中央線のMラインに沿って南北に走る1号溝が、周辺遺構の一部を破壊しており、32号住居の場合では東西辺を検出したのみであった。重複の激しい地点は本区南西隅付近、東側道のキロ程670m付近である。3区から4区にかけて、縄文時代の遺構(住居・土坑)を検出しており、分布の中心はこの付近(キロ程700m)にあったことが窺われる。

本区も、遺構検出状態からみて、さらに新幹線用地外に遺構が広がることが確実である。

表3 3区検出遺構

遺 構	時							代			欠番	小 計
	縄文	弥生	古 墳				奈良	平安	不明			
			前期	中期	後期	(古) ^{*1}						
住 居	1	1	0	13	29	16	3 ^{**}	9 ^{**}	2 ^{**}	2 ^{**}	76	
孤立住建物								1			1	
ピット群	1?					1?					2?	
井 戸						1		1	6		8	
溝						6			6 ^{**}	4	16	
土 坑	9					2		2	12+4 ^{**}	13	42	
水 田											0	
墓											0	
竈穴遺構											1	

- *1 時期分離できない
- *2 古墳～奈良と推定したもの2軒を含む
- *3 奈良～平安と推定したもの1軒を含む
- *4 出土遺物なし=35住(弥～古), 60A住(古～平)
- *5 65住=34住, 67住=欠番
- *6 1溝=中世館跡(室町)?, 16溝=2溝
- *7 4=2(土坑)+2(墓)=中世

平面形	長方形～台形, 規模 385×329, 面積 12.7, 壁高 17～31, 長軸方位 N84度E
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 Aカマド:南辺東寄り, 対称軸方位 N172度E, 構築材 粘土・石, 支脚 不明 Bカマド:南東隅, 対称軸方位 -, 構築材 粘土・石?, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	面:黄褐色土, 5層, 検出位置:Kライン・662m付近
重複関係	:1住→7坑
覆土	:黄褐色土(B軽石を含む?), 壁:面に近い
床面	:暗褐色土の貼床, 北西部は不明瞭
主柱穴	:-, 壁溝:-
カマド	:西側Aカマド:右楯石が遺存する, 炭土・炭化物出土, 東側Bカマド:掘り込み中央部から石出土, 両者の前後関係は不明
貯蔵穴	:ピット1か?
掘形	:径20～70・深さ15～45の小ピット検出
その他	:ピット1:86×73・深さ15;灰軸陶器出土, ピット2:30×25・深さ15, ピット3:42×34・深さ12
遺物	:土器242片, 粘土塊, 土器体部片, 鉄製品1点(指輪なし), カマド周辺・ピット1から出土, 0456・0457(灰軸陶器高台付筒)・0458(羽釜)・0671(不明鉄製品)
時期	:平安, 11世紀前半

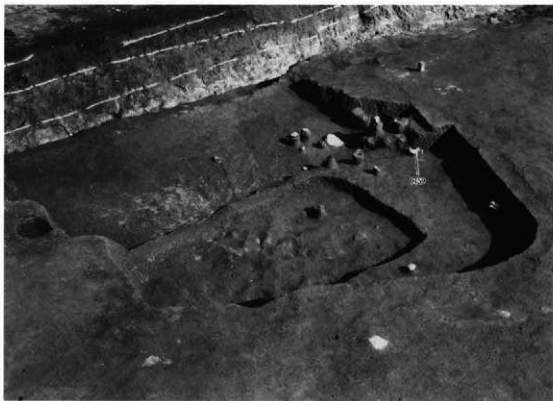


第122図 3区1号住居跡カマド付近遺物(南東から)

三ツ寺II 3区 2号住居跡 (第123・252図, 図版111・449)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 412×353, 面積 (14.5) m ² , 壁高 25~31, 長軸方位 N25度E
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 南辺東寄り, 対称軸方位 -, 構築材 不明, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
壁 面	: 黄褐色土 (日軽石を含む), 5層 検出位置: K~Lライン・656m付近
重複関係	: 2住→1壁穴, 2住→1貯蔵
覆 土	: 茶褐色系の土, 壁 : 新めに立ち上がる
床 面	: 暗褐色土で形成する, 粘床, 壁く締まる
主 柱 穴	: -, 壁 溝: -
カ マ ド	: 煙道未検出, 深い掘り込み (燃焼部) から炭化物・粘土塊出土, 貯蔵穴の可能性もある
貯 蔵 穴	: -, 掘 形: -
そ の 他	: 北東隅未検出, 北辺117・東辺70, 北東部は1貯蔵により破壊, 西側は1壁穴により破壊
遺 物	: 土器565片, 石1個, 羽釜口縁部, 高台付椀 (標し焼成), 小皿 (覆土), 粘土塊, 鉄滓または鉄屑, ススの付着した石, 0459 (灰胎陶器高台付椀)
時 期	: 平安, 10世紀後半

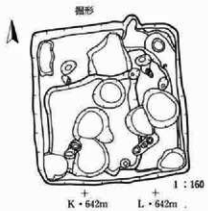
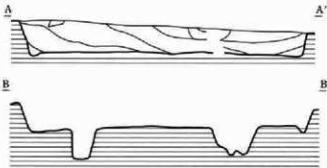
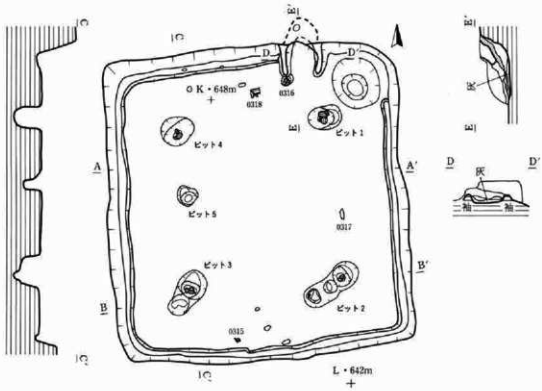


第123図 3区2・13号住居跡, 1号壁穴遺構遺物出土状態 (西から)

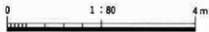
平面形	長方形, 規模 662×636, 面積 42.1㎡, 壁高 32~83, 長軸方位 N3度W				
壁 溝	ほぼ全周, 幅 12~25, 深さ 4~14				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下バク心)
上バク	55×46	42×43	38×32	72×62	1-2:339 2-3:323
下バク	19×12	19×15	27×15	22×16	3-4:328 4-1:310
深さ	72	54	57	62	3-5:192 5-4:137
カマド	位置 北辺中央東寄り, 対称軸方位 N1度W, 構築材 粘土 支脚 不明, 煙道埋り出し 径13前後				
貯蔵穴	位置 北東隅, 平面形 円形, 上バク100×107, 下バク36×30, 深さ 68, 二段掘り込み				
その他(状況の記録)					
礎 礎	面:暗褐色土, 5層下位				検出位置:K~Lライン・643m付近
重複関係	3 6住→3住, 3 8住→3住, 4 3住→3住, 周辺住居よりも新しい				
覆 土	明褐色土 壁:直に立ち上がる				
床 面	堅く締まる, 西隅・壁際はやや軟弱, カマド周辺はとくに堅い				
主 柱 穴	4本検出, ビット1~4とも底面から小石数個を検出, ビット2は掘り込み3カ所, 建て替えか?				
壁 溝	北東隅を除き全周				
カ マ ド	袖部遺存不良, 軽石混じりの粘土で形成する, 煙道検出				
貯 蔵 穴	中央寄りの縁はやや盛り上がる 掘 形:凹凸著しい				
その他:中世の大溝(1号溝)壁で東辺検出, 床下から3 6住検出					
遺 物	土師2339片, 取り上げ番号不明の杯28個体, 須恵器37片, 把手状突起付き土器(須恵器器種不明), 土師器壺・高杯, 灰釉陶器破片, 0315・0316・0317・0318・0319・0320(管玉)・0321(刺突滑石製品)・0322(刺突滑石製品)・ 0323(玉)・0324(曲玉)・0325(酒器器台)・0672(鉄製品, 鎌または鋤先), [3住北] 稲注記の遺物あり(掲載なし)				
時 期	古墳後期, 7世紀前半				



第124図 3区3号住居跡遺物出土状態(南から)



水糸標高126.900m



第125図 3区3号住居跡



第126図 3区3号住居跡カマド（西から）

三ツ寺II 3区 4号住居跡 (第127図, 図版112)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方角～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 40～51, 長軸方位 -
壁溝	幅 6～20, 深さ 5～11
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	C軽石を含む暗褐色土, 5層下位, 検出位置: I～Jライン・647m付近
重複関係	4住→5住
壁土	茶褐色～暗茶褐色系の土, 壁: 直に近い
床面	やや軟弱, 主柱穴: ビット1はその一つか?
壁溝	南辺の一部・東辺で検出, 南東隅は切れる
カマド	-, 貯蔵穴: -
掘形	-
その他	ビット1: 径40・深さ38, 南東隅のみ検出, 南辺110・東辺340, 大半は西側調査区外にあるため詳細不明
遺物	土器445片, 壺口縁部片, 内黒高杯破片, フィゴ羽口羽根 (外面ケズリ), 遺物図掲載なし
時期	古墳

三ツ寺II 3区 5号住居跡 (第127・253図, 図版112)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

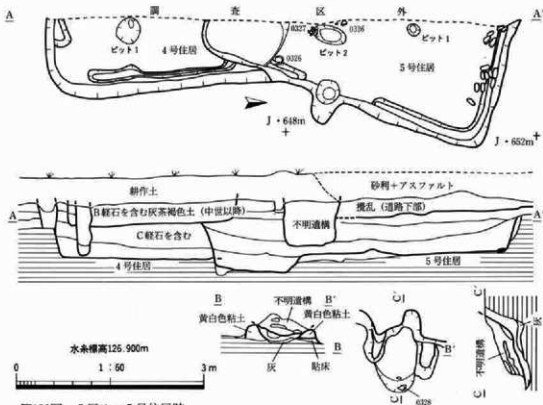
平面形	方形～長方形, 規模 南北483, 面積 - , 壁高 54, 長軸方位 -
壁溝	幅 12～18, 深さ 3～6
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央, 対称軸方位 N107度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 円形, 上 \times 120 \times 60以上, 深さ 17, 浅い
その他 (状況の記録)	
礎石	礎: C軽石を含む暗褐色土, 5層下位 検出位置: I～Jライン \times 648m付近 重複関係: 4住 \rightarrow 5住
覆土	土: 茶褐色～暗茶褐色系の土 壁: 直に近い
床面	面: 北寄りには黄褐色土で形成, カマド周辺は粘床で堅く締まる
主柱穴	- 壁溝: カマド部・南東隅を除き検出内全周
カマド	: 上部を不明遺構により破壊, 粘床の上に白色粘土を用いて袖部を形成, カマド前の遮面に段あり
貯蔵穴	: 南東隅の廻り込みは別の屋内土坑か?, 土器小片出土
掘形	-
その他	: 南東隅・北西隅を検出, 南辺30 \times 東辺470 \times 北辺210, 大半は西側調査区外にある, ピット1: 径20 \times 深さ47, ピット2: 55 \times 29 \times 深さ45南端から石1個出土
遺物	: 土器209片, 須志器杯身または蓋, 北辺東寄り壁際から10～15cm大の石 (14個, ほぼ同大) 出土, 0326 \times 0327 \times 0328
時期	: 古墳後期, 7世紀前半



第127図 3区4・5号住居跡遺物出土状態 (北から)



第128図 3区5号住居跡遺物出土状態(南から)



第129図 3区4・5号住居跡

三ツ寺II 3区 6号住居跡(第130・253図, 図版113・450)

計測値単位cm, -:計測不可・不明

平面形	方形~長方形, 規模 南北592, 面積 -		壁高	17~43, 長軸方位 -
壁溝	不明			
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離(下バ中心)	
上バ径	29×23	44×29	1-2:375	
下バ径	9	14×9		
深さ	60	55		
カマド位置	東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N90度E, 構築材 粘土・石, 支脚 土器(台付甕)			
貯蔵穴位置	南東隅, 平面形 長方形, 上バ85×80, 下バ62×24, 深さ31			
その他(状況の記録)				
確認面	C軽石を含む暗褐色土, 5層下位		検出位置: 1~Jライン・633m付近	
重複関係	7住→6住		覆土: 黒褐色土+C軽石+黄褐色土blk.	
壁	直に近い			
床面	北側は黄褐色土面に形成, 南側の7住上は貼床			
主柱穴	ピット1・2		壁溝:-	
カマド	両袖基部に石を据え焚口天井部に縦長い石を架ける, 燃焼部中央左寄りに台付甕を支脚として割える, 甕は本体の口縁部を下にし脚部を本体底部の上に正立状態で置く			
貯蔵穴	南東部は長方形に掘り込む, 柱穴(ピット2)に近いため北西部は不整形			
掘形	中央北寄りに径180・深さ10~20の円形掘り込み, その内部に63×44・深さ30の長方形掘り込み, 北東隅は200×110・深さ4~20の長方形に掘り込む			
その他	カマド左脇にピット3:径53・深さ20底部に石あり, 北辺307・東辺585・南辺327, 西半は西側調査区外にある			
遺物	土器482片, 石3個, 覆土から須恵器高杯(短脚1段四方長方形透かし)・内黒内斜杯出土, 0329・0330・0331・0332・0334・0335・0336・0337・0338・0339(滑石製紡輪車)・0340(滑石製玉)			
時期	古墳後期, 5世紀末~6世紀前半			

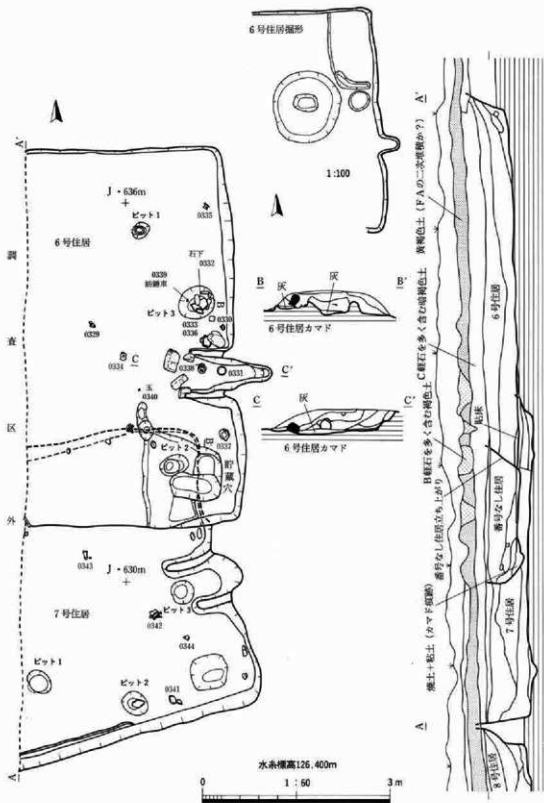


第130図 3区6号住居跡カマド遺物(西から)

平面形	方形～長方形, 規模 南北477, 面積 —, 壁高 23～47, 長軸方位 —
壁 溝	幅 6～10, 深さ 6
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央, 対称軸方位 N70度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 方形, 上バ68×53, 下バ34×18, 深さ44
その他 (状況の記録)	
遺 跡	面: C軽石を含む暗褐色土, 5層下位, 検出位置: I～Jライン・630m付近
重複関係	: 6 1 A住→7住→6住,
覆 土	: C軽石を含む黒褐色系の土, 床面近くは黄褐色土bk.を含む
壁	: 直に近い, 床 面: 黄褐色土上に形成する
主 柱 穴	: —, 壁 溝: 南辺西半のみ検出
カ マ ド	: 燃焼部奥壁は急角度で立ち上がる, 焚口付近に深い掘り込み (ピット3)
貯 蔵 穴	: 上面は方形・底面は楕円形を呈する, 掘 形: —
そ の 他	: ビット1: 径41×32・深さ40, ビット2: 径41×34・深さ10, ビット3: 径35・深さ32, 北東隅・南東隅を検出, 北辺263・東辺424・南辺395, 西半は調査区外にある
遺 物	: 土器181片, 丸胴雙底部片, カマド両脇から15cm大の石3個出土, 南側で出土, 0341・0342・0343 (高杯脚部)・0344
時 期	: 古墳中期, 5世紀末



第131図 3区7号住居跡遺物出土状態 (北東から)



第132図 3区6・7号住居跡

平面形	長方形?, 規模 南北350×東西320以上, 面積 -, 壁高 23~38, 長軸方位 (N92度E)		
壁溝	不明		
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離(下ハ中心)
上バ径	35×31	42×37	1-2:206
下バ径	20×14	27×22	
深さ	41	58	
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N96度E, 構築材 粘土, 支脚 不明		
貯蔵穴	位置 不明(ピット2か?)		
その他(状況の記録)			
確認面	褐色土(FA二次堆積か?), 5層下位		検出位置: I~Jライン・624m付近
重複関係	4・6住→4・5住→8住		
覆土	暗褐色系の土, 壁:直に近い		
床面	暗褐色土上に形成する, 堅く締まる, 主柱穴:2本,ピット2は貯蔵穴か?		
壁溝	-, カマド:白色粘土で形成する		
貯蔵穴	ピット2か?, 掘形: -		
その他	西半は調査区外にある, 北辺293・東辺322・南辺305, 東西に長い長方形か?, 床下から4・5住検出(中央掘り込みはカマド痕跡)		
遺物	土器571片, 鉄1点(器種不明), 覆土から半球杯・高杯・須恵器高杯(透かし)出土, 0345・0346(瓦, 6住カマド出土破片と接合)・0347・0348(轆)		
時期	古墳中期, 5世紀末		

平面形	方形~長方形, 規模 南北304, 面積 -, 壁高 3~30, 長軸方位 -		
壁溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	位置 南辺東寄り, 対称軸方位 -, 構築材 不明, 支脚 不明		
貯蔵穴	不明		
その他(状況の記録)			
確認面	茶褐色土, 5層		検出位置: M~Nライン・660m付近
重複関係	9住→1溝		
覆土	B軽石混じりの茶褐色系の土, 壁:斜めに立ち上がる, 南辺は遺存不良		
床面	暗褐色土で形成する, 粘床, 南側床面は堅く締まる		
主柱穴	-, 壁溝: -		
カマド	南東隅近くで浅い掘り込み検出, 内部から焼土・灰出土, 痕跡のみ		
貯蔵穴	-, 掘形: -		
その他	北辺190・南辺125, 西側は1号溝により破壊, 北東隅に南北約100×東西50程の掘出部あり, 南側は遺構確認時に削平, 詳細不明		
遺物	土器128片, 羽釜口縁部小片・灰釉陶器高台付皿底部片出土, 遺物図掲載なし		
時期	平安		

平面形	方形~長方形, 規模 南北305以上, 面積 -, 壁高 3~12, 長軸方位 -		
壁溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	不明, 南側か?		
貯蔵穴	不明		
その他(状況の記録)			
確認面	茶褐色土, 5層		検出位置: N~Oライン・662m付近
重複関係	1・0住→2井戸		
覆土	B軽石混じりの茶褐色系の土, 壁:直に近い, 南辺不明		
床面	暗褐色土で形成する, 粘床, 2井戸付近を境に南側は一段(5cmほど)下がる		
主柱穴	ピット1は柱穴か?, 壁溝: -		
カマド	2号井戸東側に焼土粒子・灰が分布, 東側調査区壁内または破壊されているか?		
貯蔵穴	-, 掘形: -		
その他	北東部にピット1: 53×30・深さ33, 南側の一段下がる部分は別住居の可能性あり, 大半は東側調査区外にある		
遺物	土器43片, 石1個, 羽釜小片・横口縁部小片出土, 遺物図掲載なし		
時期	平安		

三ツ寺Ⅱ 3区11号住居跡(第133・254図, 図版116・451)

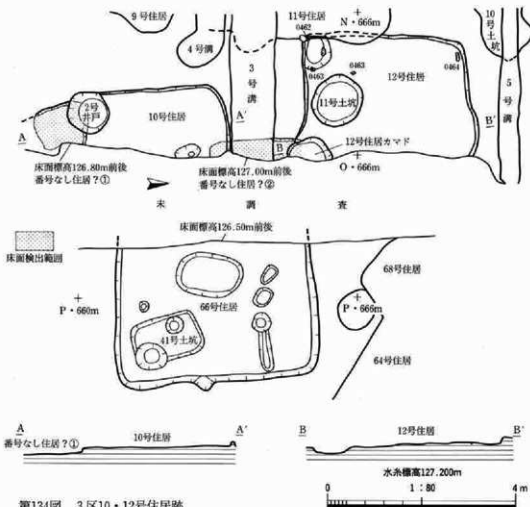
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 南北425以下, 面積 -, 壁高 13～24, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 不明, 支脚 不明
貯蔵穴	不明, 南東部か?
その他(状況の記録)	
礎 部	面: B軽石を含む茶褐色土, 5層, 検出位置: Nライン・666m付近
重 複	関係: 1 2住→1 1住→3・4溝→1溝
覆 土	: B軽石を含む茶褐色土, 壁 : 斜めに立ち上がる
床 面	: 暗褐色土で形成する, 貼床, 東南部カマド前に遺存, 4溝下では未検出
主 柱 穴	: -, 壁 溝: -
カ マ ド	: 3溝下で検出, 袖部遺存なし, 掘り込みのみ検出, 土器片出土
貯 蔵 穴	: 3～4溝の間に貯蔵穴か?, 灰釉陶器出土, 掘 形: -
そ の 他	: 北辺215・東辺375以下, 南東隅・南辺未検出, 西半は1号溝により破壊, 南半は3・4溝により破壊
遺 物	: 土器115片, 粘土塊1袋, 高台付椀底部片(二次火熱)・鉄製品1点(掲載なし), 0460(灰釉陶器高台付皿, 削り出し高台)・0461(羽釜, 二次火熱)
時 期	: 平安, 11世紀前半



第133図 3区11号住居跡カマド遺物(西から)

平面形	方形～長方形, 規模 南北350, 面積 - , 壁高 10～15, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 南辺, 対称軸方位 -, 構器材 不明, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 南西隅, 平面形 略方形, 上 \times 74 \times 52, 下 \times 53 \times 35, 深さ15
その他 (状況の記録)	<p>確認 面: B軽石を含む茶褐色土, 5層, 検出位置: N-Oライン・667m付近</p> <p>重複関係: 12住→11坑, 12住→11住→3・4溝→1溝, 12住→東側番号なし住居</p> <p>覆土: B軽石を含む茶褐色系の土, 壁: 直に近い</p> <p>床面: 暗褐色土で形成する, 貼床, 壁く締まる</p> <p>主柱穴: -, 壁溝: -</p> <p>カマド: 南辺東寄り調査区壁にかかって焼土・灰の混じる土で埋まった燃焼部を検出, 掘り込みの上に別住居とみられる床面が重なる</p> <p>貯蔵穴: 縁・内部から土器・石が出土, 掘形: -</p> <p>その他: 東半は調査区外にある, 東側道調査で未検出, 西辺南半は11住により破壊, 南辺寄り床面は11土坑 (径約100・深さ42) により破壊</p> <p>遺物: 土器228片, 石2個, 羽蓋体部片・足高高台付椀・灰釉陶器出土, 0462 (高台付椀)・0463 (足高高台付椀)・0464 (不明石, 北西隅床面)</p> <p>時期: 平安, 11世紀前半</p>



第134図 3区10・12号住居跡

三ツ寺II 3区 13号住居跡 (第121区, 図版111)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 南北412, 面積 -, 壁高 22~40, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確 認 面:	B軽石を含む黄褐色土, 5層, 検出位置: Lライン・657m付近
重 複 関 係:	2住→1壁, 2住→13住, 8坑→13住, 覆 土: 赤褐色系の土
壁	: 直に近い, 床 面: 暗褐色土で形成する, 貼床
主 柱 穴:	- , 壁 溝: -
カ マ ド:	- , 貯 蔵 穴: -
掘 形:	-
そ の 他:	北西隅・南西隅を検出, 東半は1溝(大溝)により破壊, 北辺230・西辺397・南辺225, 内部築地等詳細不明
遺 物:	土器7片, 羽蓋口縁部片, 粘土地2袋, 南西隅付近で少量出土, 遺物図掲載なし
時 期:	平安

三ツ寺II 3区 14号住居跡 (第121区, 図版117)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 南北505, 面積 -, 壁高 34~59, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	掘形調査で検出
カマド	位置 北辺西寄り, 対称軸方位 N8度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	不明, カマド西側ピットか?
その他 (状況の記録)	
確 認 面:	C軽石を含む暗褐色土, 5層下位, 検出位置: K~Lライン・630m付近
重 複 関 係:	37住→14住, 6溝→14住, 覆 土: 暗褐色系の土, 壁 : 直に近い
床 面:	軟弱, 37住・14住とも同一高さ
主 柱 穴:	床下調査で4本検出, 壁 溝: -
カ マ ド:	遺存不良, 軸部は粘土で形成する, 煙道部約50cm検出
貯 蔵 穴:	カマド西側ピットの可能性あり, 掘 形: 東辺立ち上がりを検出
そ の 他:	南辺・北辺とも中央部に段を検出, 段の西側を14住, 段の東側を37住とする, 37住は全体に南側に約30cmずれる, 床面レベルが同一であること・37住カマドが未検出であることを考慮すると地層によるズレの可能性もある
遺 物:	土器832片, 石1個, 壊破片・瓶底部片(カマド)・須恵器蓋ツツミ・頸部に段のある丸胴壊破片・脚部の膨らむ高杯破片出土, 縄文土器8片・石斧破片あり, 「14・37住」注記の遺物: 土器89片, 石1個, 「14住床下」遺物あり, 遺物図掲載なし
時 期:	古墳

平面形	長方形, 規模 322×270, 面積 (8.7m ²), 壁高 7~14, 長軸方位 N5度W
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央南寄り, 対称軸方位 N87度E, 構築材 粘土 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
推 認 面	: 暗褐色土, 5層, 検出位置: K~Lライン・639m付近
重複関係	: 17住→15住, 18住→15住
覆 土	: 暗褐色系の土, 壁 : 斜めに立ち上がる
床 面	: 黄褐色土粒子を含む暗褐色土で形成する, 貼床, 17住とほぼ同一高さ
主 柱 穴	: - 壁 溝: -
カ マ ド	: 袖部未検出, 燃焼部の掘り込みを検出したのみ, カマド前床面から深さ10cm前後, 燃焼部は東壁にかかる
貯 蔵 穴	: -
形 状	: 細かい凹凸あり
そ の 他	: 南辺一部検出
遺 物	: 土器196片, 破片 (カマド)・外轆杯出土, 小片のみ, 「15・17住」注記の遺物, 土器536片, 0349 (須恵器杯, 閉り出し高台)・0350・0351・0352 (滑石製品)
時 期	: 奈良, 8世紀後半



第135図 3区15号住居跡遺物出土状態 (北西から)

三ツ寺II 3区 16号住居跡(第136・255回, 図版119・451)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形, 規模 241×240, 面積 5.8㎡, 壁高 7~34, 長軸方位 (南北N2度W)
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 西辺中央, 対称軸方位 N95度W, 構築材 粘土 支脚 石?
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	: C軒石を含む暗褐色土, 5層, 検出位置: K~Lライン・635m付近
重複関係	: 1・8位→1・6位
覆土	: 暗褐色系の土, 壁: 斜めに立ち上がる
床面	: 貼床?
主柱穴	: - 壁溝: -
カマド	: 左袖部を中心に100cmほどの範囲に炭化物が分布, 右袖部に長さ15cm大の石出土(支脚?)
貯蔵穴	: 不明, ビット1か?
堀形	: 南西隅・南東隅に60~100cm大の掘り込み, カマド燃焼部下位に100cm大の掘り込み, カマド右脇に50cm大の掘り込みを検出
その他	: ビット1: 47×38・深さ18, ビット2: 40×42・深さ22, ビット3: 56×42・深さ24, ビット1は貯蔵穴か?
遺物	: 土器83片・石1個・黒曜石1個(ビット1)出土, 床下から椀状杯出土, 0353(土師器杯, カマド右脇床面, 底部を上にして出土), 「1・6・1・8住」注記の遺物, 土器125片, 外壁のある杯口縁部・粟底部
時期	: 古墳



第136回 3区16号住居跡カマド付近遺物(東から)

平面形	長方形, 規模 376×358, 面積 (13.5㎡), 壁高 ⑧~26, 長軸方位 N4度W
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺?, 対称軸方位 -, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
発 見 面	暗褐色土, 5層, 検出位置: Kライン・630m付近
重複関係	17住→15住
覆 土	暗褐色系の土 (黄褐色土hkを含む), 壁 : 斜めに立ち上がる
床 面	凹凸あり, 15住床面とほぼ同一高さ
主 柱 穴	-, 壁 溝: -
カ マ ド	15住床下で痕跡を検出, 遺存不良
貯 蔵 穴	-
陥 形	凹凸多い
そ の 他	南東隅未検出, 東南部を15住に破壊され詳細不明
遺 物	土器31片, 口縁部の強く外反する斐磁片出土, 遺物図掲載なし
時 期	不明, 古墳~奈良



第137図 3区17号住居跡カマド掘形 (北西から)

三ツ寺II 3区 18号住居跡(第138図, 図版119)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 511×288, 面積 (14.7㎡), 壁高 11~23, 長軸方位 N56度E
壁 調	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東隅, 対称軸方位 N69度E, 構築材 粘土・石 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
礎 礎 面	: 暗褐色土, 3層下位 検出位置: K~Lライン・634m付近
重 複 間 隔	: 1.8倍→1.6倍
覆 土	: C軽石を含む暗褐色系の土, 壁 : 直に近い
床 面	: 平坦, 粘床, 軟弱
主 柱 穴	: - , 壁 調: 北西辺直下に煙溝状の掘り込み
カ マ ド	: 左袖前に25cm大の石出土, 右袖前に土器出土, 煙道部は溝状に東へ向かって延びるが先端部不明
貯 蔵 穴	: - , 掘 形: -
そ の 他	: 東隅不明確, 中央部がやや狭く東西が広い
遺 物	: 土器68片, 丸胴壺底部片・内斜口縁杯(床下)・横置杯(口縁部沈積, 覆土), 遺物図掲載なし
時 期	: 古墳



第138図 3区18号住居跡カマド掘形(南西から)

平面形	方形〜長方形, 規模 南北386, 面積 -, 壁高 4~10, 長軸方位 -
壁溝	不明
支柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N100度E, 構築材 粘土 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
概説	面: B軽石を含む茶褐色土, 5層, 検出位置: Nライン・639m付近
重複関係	: 19住→番号なし土坑→1溝
覆土	: 茶褐色土, 壁: 斜めに立ち上がる
床面	: 茶褐色土で形成する, 粘床
支柱穴	: -, 壁溝: -
カマド	: 燃焼部の掘り込み検出, 左袖部未検出, 地山を削りだして基部を作りその上から粘土で包んで形成
貯蔵穴	: -, 掘形: -
その他	: 北東隅に南北70×東西45の半円形の掘出部検出, 西半は1溝により破壊
遺物	: 土器196片, 覆土から鬼高期の土器片出土, カマド周辺〜南辺にかけて遺物出土, 0654・0655・0656 (須恵器類)・0657・0658 (平瓦)・0673 (鉄線)
時期	: 平安, 10世紀後半



第139図 3区19号住居跡カマド付近遺物 (西から)

三ツ寺Ⅱ 3 区 20号住居跡 (第140・256図, 図版120)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 383×311以上, 面積 -, 壁高 12～17, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 北東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N56度E, 構築材 粘土 支脚 不明
貯蔵穴	位置 不明
その他 (状況の記録)	
確認	面: 軽石を含む暗褐色土, 5層下位, 検出位置: Nライン・651m付近
重複関係	: 39住→20住→不明土坑→1溝
覆土	: C軽石を含む暗茶褐色土, 壁: 斜めに立ち上がる
床	面: 平坦, 貼床
主柱穴	: -, 壁溝: -
カマド	: 燃焼部の掘り込みは浅い, 袖は黄褐色土で形成する, 煙道は壁外に突出する, 燃焼部を中心に灰・焼土を検出, 遺存不良
貯蔵穴	: -, 掘形: 細かい凹凸あり
その他	: 南西部の土坑は本住居よりも新しい (性格・時期不明), 西半は1溝により破壊, 北辺86・東辺350・南辺311,
遺物	: 土器272片, 石2個, 覆土から須恵器蓋付き杯・打製石岸?出土, 遺物少ない, 0432 (黒色土器)・0433・0434
時期	: 古墳後期, 7世紀前半



第140図 3区20号住居跡遺物出土状態 (南から)

平面形	長方形, 規模 671×322, 面積 (21.6m ²), 壁高 15~28, 長軸方位 N82度E		
壁溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	Aカマド:位置 東辺北寄り, 対称軸方位 N82度E, 構築材 粘土・石, 支脚 土器? Bカマド:位置 東辺北寄り, 対称軸方位 N96度E, 構築材 粘土?, 支脚 不明		
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 長方形, 上バ135×191, 下バ29×14, 深さ 49		
その他 (状況の記録)			
確認面	: F Pを含む暗褐色土, 5層下位	検出位置	: 1~Kライン・667m付近
重複関係	: 21住→22住, 21住→5坑	覆土	: 暗褐色~黒褐色系の土
壁	: 直に近い	床面	: 黄褐色土上に形成する, 堅く締まる
主柱穴	: 不明, ビット1は主柱穴か?	壁溝	: -
カマド	: Bカマド→Aカマドの順に新しい, 作り替えか? Aカマド: 焚口両袖に石を立て天井部にも石を架けて鳥居状に組む, 黄褐色粘土で形成する, 底面を浅く掘り込む, 天井部崩壊, 灰・機土少ない, 燃焼部左寄りから土師器杯が正立状態で出土, 燃焼部底面幅45・奥行34, 煙道部との境に段がある, 煙道部は壁外に突出しない. Bカマド: 南側の貯蔵穴により破壊, 遺存不良, 煙道の幅20~30・長さ115・深さ20前後検出, 破壊により詳細不明		
貯蔵穴	: Bかまど袖部を破壊している, 内部は二段に掘り込む, 北側に最深部がある, 南寄りで2個体出土, 東側壁: 正立・底部分・略球形で出土, 西側壁: 破片・略球形に復原・倒れて(口縁部南)出土		
掘形	: -		
その他	: 北東隅・北西隅未検出, ビット1: 33×26・深さ33主柱穴か?, ビット2: 52×43・深さ8, 北辺283・東辺283・西辺28, 周辺に奈良~平安時代の遺構があった?		
遺物	: 土器638片・石1個, Aカマド石材(加工痕・二次火熱, 標名の石), 【21住西】注記の土師器杯2個体・須恵器蓋受け杯身・盤状杯, 【21住東】注記の土師器椀1個体・黒色土器高杯脚部片・羽釜片, 0536(黒色土器杯)・0537(東側壁)・0538(西側壁)・0539(滑石製白玉)		
時期	: 古墳後期, 6世紀前半		



第141図 3区21号住居跡遺物出土状態(南東から)



第142図 3区21号住居跡Aカマド遺物(西から)

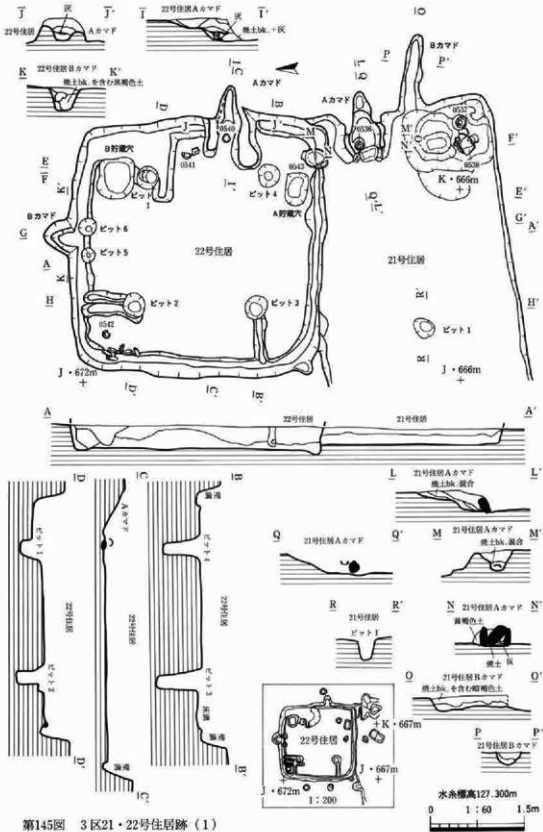


第143図 3区21号住居跡Bカマド遺物(西から)

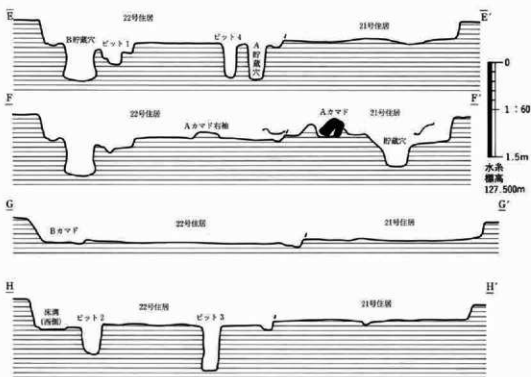
平面形	方形	規模	412×399	面積	16.4㎡	壁高	37~42	長軸方位	N93度E
壁溝	幅	12~40	深さ	3~9					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下バ中心)				
上バ径	35	33	39×32	35×33	1-2:207		2-3:191		
下バ径	20×15	20×16	19	15×12	3-4:216		4-1:185		
深さ	28	45	73	59					
カマド	Aカマド:位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N95度E, 構築材 粘土, 支脚 石・土器 Bカマド:位置 北辺中央, 対称軸方位 N8度E, 構築材 不明, 支脚 不明								
貯蔵穴	A貯蔵穴:位置 南東隅, 平面形 長方形, 上バ32×34, 下バ32×18, 深さ 56 B貯蔵穴:位置 北東隅, 平面形 方形, 上バ65×57, 下バ48×40, 深さ 58								
その他(状況の記録)									
確認面	F/Pを含む暗褐色土, 5層				検出位置:Kライン・670m付近				
重複関係	21住→22住→2・3・4坑				覆土:暗褐色~黒褐色系の土, 黄褐色土bkを含む				
壁	直に近い				床面:黄褐色土上に形成, 堅く締まる				
主柱穴	4本検出				壁溝:Aカマドを除き全周				
カマド	Bカマド→Aカマドの順に新しい, Aカマド:黄褐色土で形成する, 右袖部やや大きい(粘土追加したか?), 燃焼部中央で支脚の石出土, 石の上に土師器杯2個体分出土, 上の土器:底面を上に略完形, 下の土器:略写・底面を上に出土, カマド左脇から土器出土, Bカマド:袖部未検出, 燃焼部奥壁~煙道の一部検出, 突出部分に焼土bk・焼土粒子確認, 壁溝に切られる, カマド前に浅いピット2個検出, ピット5:径25×20・深さ8, ピット6:径28×25・深さ9, 5-6:42								
貯蔵穴	A貯蔵穴:底面も長方形, 南東壁隅から壁写出土, B貯蔵穴:やや東西に長い, 袋状								
掘形	形:西辺からピット2へ向かって幅20・深さ10の床溝検出, 北西隅ピット径31・深さ8								
その他	床溝:住居壁に直角に延びる, 主柱穴付近まで, 壁溝に切り込む, ピット1南側(幅39・深さ15)・ピット2北側(東:幅20・深さ9, 西:幅20・深さ4), ピット3西側(幅18・深さ8), Aカマド-A貯蔵穴・Bカマド-B貯蔵穴と組むか? 遺物:土器518片・石1個, 覆土から蓋受のある須恵器杯・口唇部に凹線のある蓋出土, 北西隅床面~壁で15cm大の石7個がまとまって出土(図掲載なし), 0540・0541・0542(黒色土器杯)・0543・0544(刺形帯石製品, 2孔) 時期:古墳後期, 6世紀前半								



第144図 3区22号住居跡遺物出土状態(南から)



第145図 3区21・22号住居跡(1)



第146図 3区21・22号住居跡(2)

三ツ寺II 3区 23号住居跡(第121・257図, 図版123・453)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 南北25.4, 面積 - , 壁高 21~37, 長軸方位 -
壁溝	幅 7~13, 深さ 1~4
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	: F Pを含む暗褐色土, 5層下位
検出位置	: L~Mライン・673m付近
重複面高	: 2.3住→1溝
覆土	: 黒褐色系の土, 軽石を含む
壁	: 直に近い
床面	: 黄褐色土上に形成する, 堅く締まる
主柱穴	: -
壁溝	: 検出内全周, 南辺攪乱か?
カマド	: -
貯蔵穴	: 不明, 北西側ピット1は浅い
掘形	: ピット1南側に径20前後のすり鉢状の浅い掘り込み検出
その他: 北辺235・西辺236・南辺145, ピット1: 48×37・深さ3, 東半は1溝により破壊, 西辺北寄りに張出部: 南北50×東西20・床面との比高18・検出面との比高19, 出入口か?	
遺物: 土器39片・軽石1個, 遺物少ない, 床面出土遺物なし, 覆土から外面にハケ目のある台付礎底部・土師器内斜口縁片小片・半球口縁片小片出土, 0545(滑石製白玉)・0546(滑石製白玉)	
時期	: 古墳

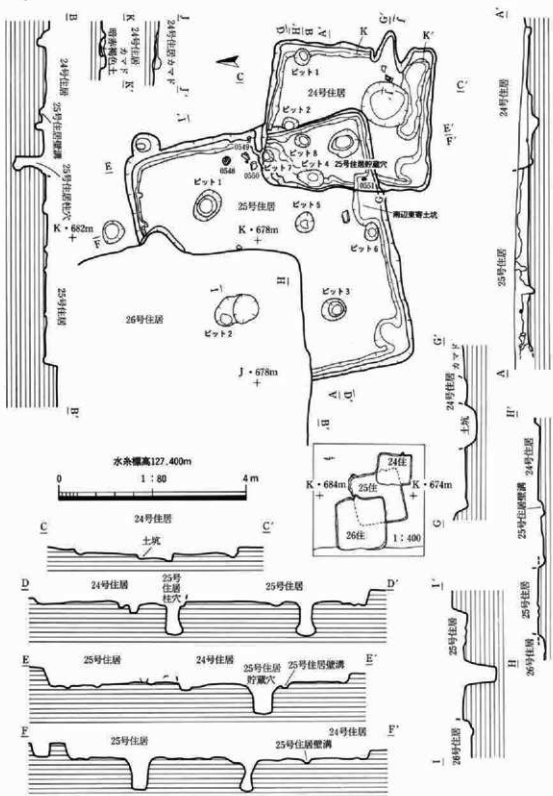
三ツツII 3区 24号住居跡 (第147・257図, 図版124・453)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形、規模	350×301、面積	10.5㎡、壁高	8~22、長軸方位	N5度E
壁溝幅	10~20、深さ	2~5			
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離(下バ中心)		
上バ径	33	33	1-2:150		
下バ径	21×14	18			
深さ	17	11			
カマド	位置	東辺中央南寄り、対称軸方位			
		N98度E、構築材			
		粘土、支脚			
		不明			
その他(状況の記録)					
確認面	暗褐色土、5層下位		検出位置:Lライン・675m付近		
重複関係	25住→24住、25住→26住、29住→26住				
覆土	FPを含む暗褐色系の土、壁:斜めに立ち上がる				
床面	黄褐色土上に形成する、堅く締まる				
主柱穴	2本検出、南側不明、南辺沿いの溝状遺構は前面に段多数のある浅い掘り込みで柱穴にならず				
壁溝	南東部を除きほぼ全周、北西隅床下検出、南西隅略円形に広がる				
カマド	燃焼部奥壁は住居壁外に突出する、貯蔵穴:-				
掘形	細かい凹凸あり、工具痕;幅10前後・長さ約2・深さ1~2・平スキ?				
その他	南寄りカマド前に径95・深さ24のやや大形の土坑(本住居内部施設)				
遺物	土器430片・石1個、須恵器提籠または平底体部片口縁部片・底体部片・土師器杯出土、カマド前から土器出土、その他の床面出土遺物なし				
時期	古墳				



第147図 3区24号住居跡カマド遺物(西から)



第148図 3区24・25号住居跡

三ツ寺II 3区 25号住居跡 (第148・257図, 図版124・454)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

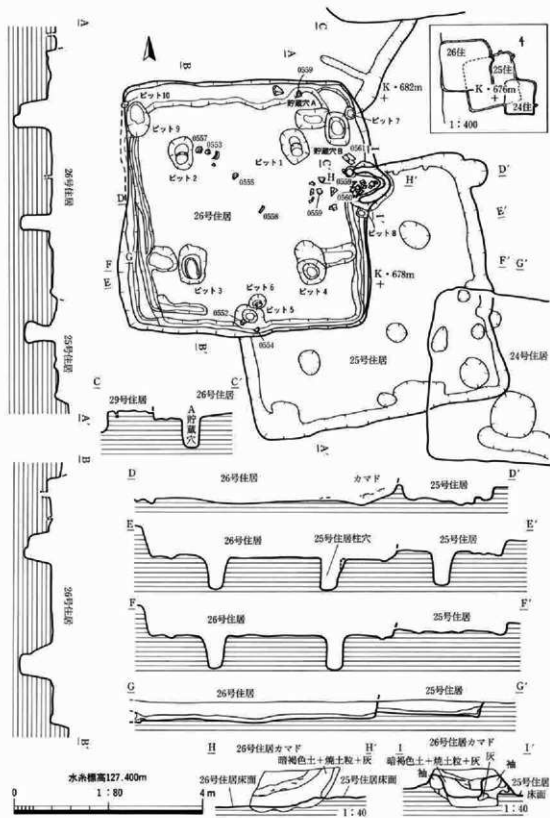
平面形	方形	規模	540×532	面積	(28.7㎡)	壁高	21~37	長軸方位	N80度E
壁溝	幅	10~21	深さ	3~9					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下ノハ中心)				
上ノハ径	65×50	54	49×45	53×32	1-2	242	2-3	235	
下ノハ径	27	27×22	22×18	21×15	3-4	284	4-1	236	
深さ	67	78	65	69					
カマド	位置	東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 - , 構築材 粘土, 支脚 不明							
貯蔵穴	位置	南東隅, 平面形 不整形, 上ノハ65×53, 下ノハ33×23, 深さ 66							
その他 (状況の記録)									
確認	面: 暗褐色土, 5層下位				検出位置:	J-Lライン・678m付近			
重複関係:	25住→24住, 25住→26住				覆土:	F-Pを含む暗褐色系の土			
壁:	直に近い								
主柱穴:	4本, ビット2は26住に切られて半欠, ビット1・3の内部は二段の掘り込み								
壁溝:	南西隅は住居内部に丸く突出する, 南辺東寄りの壁に沿って110×60前後の長方形に張出部(南辺東寄り土坑と呼んだ, 出入口か?)								
カマド:	24住により南半は破壊, 煙道未検出, 煙突部未検出, ビット7・8はカマド袖石型か?								
貯蔵穴:	24住床下で検出, 底面は楕円形, 掘形: 細かい凹凸あり, 小穴多数検出								
その他:	北西隅未検出, 北辺180・西辺218, 北東隅壁突出土坑: 径90前後・深さ38(中から石出土, 本住居に伴うか?), ビット5: 径41・深さ17, ビット6: 39×26・深さ19, ビット7: 径23・深さ6, ビット8: 径30・深さ15 工具痕: 住居建設時の荒掘り痕か, 工具幅10cm・12cmの2種・長さ各2cm・深さ1~2cm, 壁溝では斜めに掘り込む, 刃跡間隔が短い・重複部分があることから工具は平スキか?, 2種工具痕→2人?, 高まりを削ったか?								
遺物:	土器500片・砥石1個, カマド左脇から出土, 土器器小室壺口縁部・外縁杯・模倣杯出土(覆土), 南東隅土坑北側床面から25×15大の石出土(作業台か?), 0548(鉢形甕)・0549・0550・0551(砥石)								
時期:	古墳後期, 6世紀後半~7世紀前半								



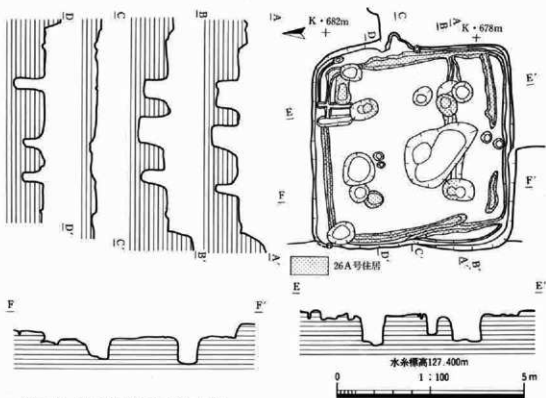
第149図 3区25号住居跡カマド付近遺物(西から)

平面形	方形	規模	477×446				面積	(21.3m ²)		壁高	-	長軸方位	N92度E	
壁溝幅	18~25		深さ		3~10									
主柱穴	1南	2南	3北	4北=25住ビット2		主柱穴間の距離(下ノ中心)								
上ノ径	57	51	58	(54)		1南-2南:247	2南-3北:223							
下ノ径	22	25	15	(27×22)		(3北-4北:255)		(4北-1南:211)						
深さ	80	55	66	(78)										
カマド	不明, B住居と同じか?													
貯蔵穴	位置 北東隅, 平面形 長方形, 上ノ径65×41, 下ノ径40×15, 深さ 65													
その他 (状況の記録)														
確認面	26B住居と同じ										検出位置: 26B住居と同じ			
重複関係	26A住→26B住, 25住→24住, 25住→26住, 29住→26住													
覆土	26B住との分離不可, 壁: -													
床面	26B住と同じ													
主柱穴	3本, 南東ビットは25住所属, ビット3北は不明確, 住居内側26A・外側26B住居													
壁溝	北東部貯蔵穴A~南西隅・東辺南半で検出, 西辺中央部は2条, 26B住の床面積査で検出													
カマド	-													
貯蔵穴	東西に長い, 貯蔵穴Bに切られている, 壁は直に近い													
掘形	-													
その他	26A→26Bの拡張か?, 両者の時期差は小さい?													
遺物	-													
時期	古墳													

平面形	方形	規模	540×534				面積	28.8m ²		壁高	36~67	長軸方位	N2度W	
壁溝幅	9~25		深さ		2~5									
主柱穴	1北	2北	3南	4南	主柱穴間の距離(下ノ中心)									
上ノ径	54	51	55	60×52		1北-2北:241	2北-3南:297							
下ノ径	25	30	20	24×22		3南-4南:256		4南-1北:278						
深さ	62	49	73	73										
カマド	位置 東辺中央, 対称軸方位 N84度E, 構築材 粘土・土器, 支脚 不明, 土器?													
貯蔵穴	位置 北東隅, 平面形 長方形, 上ノ径68×53, 下ノ径30×25, 深さ 63													
その他 (状況の記録)														
確認面	暗褐色土, 5層下位										検出位置: I~Kライン・680m付近			
重複関係	26A住→26B住, 25住→24住, 25住→26住, 29住→26住													
覆土	黄褐色土hkを含む暗褐色系の土, 壁: 直に近い													
床面	黄褐色土上に形成する, 一部褐色土混じりの貼床, 壁く崩れる													
主柱穴	4本検出, 4本の下ノ中心を結ぶ長方形は南北にやや長い													
壁溝	カマドとその北側を除き全周, 西辺は26A住の外側にある													
カマド	左袖部突口土師器腰を口縁部下にして掘える, 25住覆土に粘性の高い褐色土を貼り付ける, 26B住居床面の上ノ下に灰層確認, 燃焼部から浮いた状態で土師器1個体分出土, カマド周辺に土師器破片散乱, A・Bとも同位置カマドか?													
貯蔵穴	底面は楕円形, 二段に掘り込む, 貯蔵穴Aを切っている													
掘形	床下で時期不明の土坑検出, 幅10~12cmの工具痕検出, 地山に北東から南西方向の亀裂検出(地震によるものか?)													
その他	床溝: ビット4東: 幅40・深さ10前後・26A住壁溝を切っている, ビット3西: 幅50・深さ8前後・26A住壁溝を切っている, ビット1北: 2本(床下検出), 西側幅26・深さ2, 東側幅16・深さ5, ビット3・4の間に溝: 幅20前後・深さ6, ビット5: 63×50・深さ68・二段・中から土器出土, ビット6: 35×30・深さ38, ビット7: 27×29・深さ10, ビット8: 25×17・深さ7, ビット9: 75×50・深さ19・29住か?, ビット10: 15×11・深さ20・北西隅検出													
遺物	土器1674片, カマド周辺~北西ビット・南辺中央土坑から完形に近い土器出土, 桃の種子(炭化), 覆土から須恵器短頸寄・寄・蓋・瓶・土師器高杯・大型壺・小型壺出土, 0532・0533・0534・0535・0536・0537(須恵器高杯)・0538(須恵器腰口縁部)・0539(土師器壺, カマド左袖, 口縁部下向き)・0560・0561													
時期	古墳後期, 7世紀後半													



第150図 3区26号住居跡(1)



三ツ寺II 3区 27号住居跡 (第153・258図, 図版125・456)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 554×529以上, 面積 -, 壁高 30～54, 長軸方位 -				
壁 溝 幅	8～12, 深さ 3～10				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下ノ中心)
上ノ径	68×59	59×53	48×44	51×53	1-2 : 294
下ノ径	8	30×25	18×13	9	3-4 : 299
深さ	61	63	34	50	4-1 : 303
カマド 位置	北辺, 対称軸方位 N10度W, 構築材 粘土・石, 支脚 不明				
貯蔵穴 位置	北東隅, 平面形 円形, 上ノ径101, 下ノ径27, 深さ 50				
その他 (状況の記録)					
確認 面	暗褐色土, 5層下位		検出位置 : Nライン・666m付近		
重複関係	27住→5溝, 27住→12住→11住→3・4溝→1溝				
覆土	褐色系の土+黄褐色土bk.+黒色土bk. 壁 直に近い				
床 面	暗黄褐色土で形成する, 粘床, 堅く締まる				
主柱穴	4本検出, ビット3やや浅い 壁 溝 : 東辺南半～南辺で検出,				
カマド	北辺中央付近か?, 両袖部先端に石 (内側丸みあり) を据える, カマド右脇の石は支脚に使われたか?, 焚口幅 : 27, 燃焼部幅約30×奥行50前後, 煙道部は5号溝に切られる, 淡褐色粘質土で形成する				
貯蔵穴	二段に掘り込む, 内部は北側に寄る, ビット7も貯蔵穴か?				
掘形	東辺・南辺の内側約15cmに別住居立ち上がりを検出, ビット3・4の内側約20cmに柱穴検出, ビット3西側 : 径33・深さ36, ビット4西側 : 径41・深さ44, 両者間の下ノ中心距離265, 南辺に沿って内側20cmに幅60～120の不整形溝検出, 掘形検出遺構は拡張前の旧住居か?				
その他	ビット5 : 径42×35・深さ13, ビット6 : 径43×35・深さ13, ビット7 : 南東部に80×56・深さ60の長方形掘り込み (内部は積円形の掘り込み), ビット8 : 長方形95×57・深さ12, 西側に半円形の突出あり, ビット7南側に径60・深さ10ほどの壁溝につながる掘り込み検出				
遺物	土器445片, 釜に近い杯 (内側暗文, 覆土)・カマド袖石 (稀名軽石, 加工痕あり), 0562・0563・0564・0565・0566・0567・0568・0569・0570 (黒色土器, 杯),				
時期	古墳後期, 6世紀後半				



第153図 3区27号住居跡遺物出土状態 (南東から)

平面形	長方形, 規模 528×518, 面積 27.4㎡, 壁高 22~48, 長軸方位 N48度E				
壁溝	幅 5~17, 深さ 1~4				
主柱穴	1	2	3	4 扇形	主柱穴間の距離(下/バ中心)
上/径	31×23	40×30	42×38	28	1-2 : 276
下/径	11×7	17×8	18	16	2-3 : 256
深さ	50	36	53	41	3-4 : 255
カマド	位置 北東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N48度E, 構築材 粘土・石?, 支脚 石				
貯蔵穴	位置 東端, 平面形 不整形円形, 上/径100×78, 下/径50×43, 深さ 87				
その他(状況の記録)					
確認	面: 暗褐色土, 5層下位, 検出位置: N~Oライン・685m付近				
重複関係	西隅の一部を1溝に切られる, 28住→1溝				
覆土	土: FAの二次堆積(厚さ約20cm)が直接中央部床面を覆う, 上位は暗褐色系の土				
壁	直に近い, 床面: 黄褐色土上に形成する, 壁くぼまる				
主柱穴	穴: 床面3本検出, ビット4は掘形検出, 壁溝: 南西辺検出, 北西辺・南東辺の断面はV字状				
カマド	穴: 燃焼部左に寄せて長さ15cm大の細長い石を起てる, 両袖部は黄褐色土で形成する, 右袖部が15cmほど長い, 燃焼部奥壁は急角度で立ち上がる, カマド前に土器出土多い				
貯蔵穴	穴: 底面から15cm程厚いた状態で南端から完形の土器器壁出土, 壁は直に近い, 西側に接して貯蔵穴を囲むように土手状の高まり(黄褐色土で形成)を検出				
掘形	形: ビット4(主柱穴)・床溝・その他の浅いビット検出, 中央部で略長方形160×130・深さ50前後と略三角形140×100・深さ20前後の掘り込みを検出, 北東辺壁溝(カマド部除く)検出				
その他	床面(A類)と床下(B類)で床溝検出, いずれも壁溝を切る, A1: 幅16・長80・深9, A2: 幅14・長88・深5, A3: 幅18・長102・深6, A4: 幅19・長101・深6, A5: 幅26・長93・深11, A6: 幅14・長72・深11, B1: 幅14・長111・深11, B2: 幅22・長118・深5, B3: 幅23・長29・深3, B4: 幅31・長73・深5, 中央部カマド前方形のビット5・7検出, ビット5: 27×26・深13, ビット6: 径35・深10, ビット7: 27×32・深19, ビット8: 径33・深10, ビット9: 径30・深14				
遺物	土器791片・石23個, 須恵器なし, 覆土から土器高杯割部・内黒高杯・甕体部片出土, カマド周辺からの出土多い, 貯蔵穴内から完形の甕出土, 南部付近から10~15cm大の石15個出土, 0634・0635・0636・0637・0638・0639・0640・0641・0642・0643・0644・0645・0646・0647・0648・0649・0650(管玉)・0651(管玉)・0652(滑石割片)・0653・0659				
時期	古墳中期, 5世紀末				



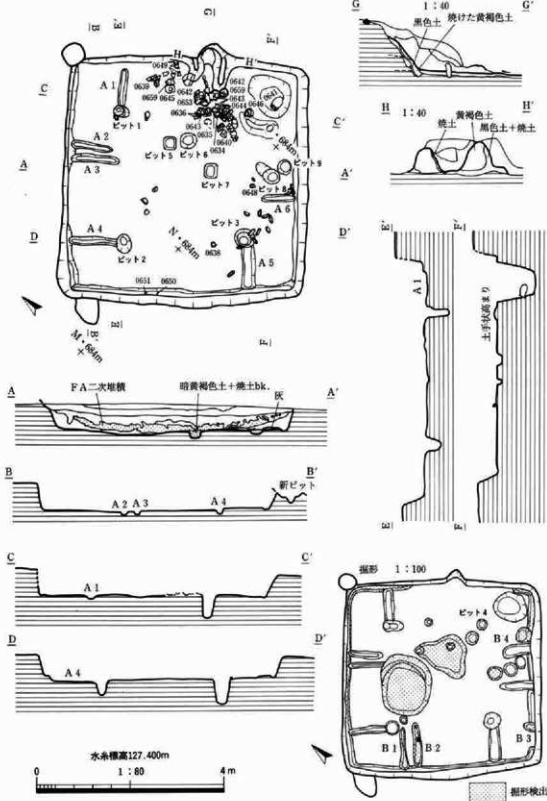
第154図 3区28号住居跡遺物出土状態(西から)



第155図 3区28号住居跡貯蔵穴遺物（東から）



第156図 3区28号住居跡床溝（東から）

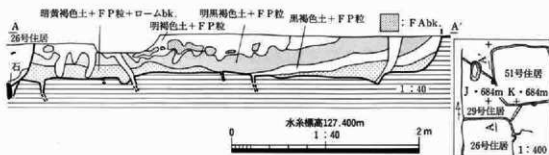


第157図 3区28号住居跡

三ツ寺II 3区 29号住居跡 (第158・261図, 図版129・458)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形〜長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 26~42, 長軸方位 -		
壁溝	幅 9~18, 深さ 1~5		
主柱穴	1	2	3
上バ径	25	34×25	22×17
下バ径	11	15×10	13×10
深さ	53	40	45
主柱穴間の距離 (下バ中心)	1-2: 470		
	2-3: 355		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)	検出位置: 1~Kライン・684m付近		
確認面	暗褐色土, 5層下位		
重複関係	277坑 (縄文) → 29住 → 26・51住		
覆土	FPを含む黒褐色系の土		
壁	斜めに立ち上がる		
床面	黄褐色土上に形成する, 堅く締まる		
主柱穴	ピット3・4は26住跡形調査で検出, ピット4: 径25・深さ43		
壁溝	北東辺・南東辺で検出		
壁形	径15~20cmの浅いピット・床溝検出, 地割れ検出		
その他	北東辺415・南東辺232, 東隅未検出, 北東辺推定780以上の大形住居, 西半は調査区外にある。		
床溝	床面4本, 床下7本検出, 平行・直交に設置されている, 建て替えか?		
床下壁溝	未検出, 床下に北東~南西方向の地割れ多数検出, 地震によるものか?		
覆土層上位	(確認面, 下位にFAブロックを含む)の土が割れ口に流入している		
遺物	土器305片・石1個, 覆土から土師器模倣杯・内斜口縁内黒杯・須恵器縁口縁部片出土, 0571・0572		
時期	古墳後期, 6世紀前半		



第158図 3区29号住居跡土層断面



第159図 3区29号住居跡遺物出土状態 (東から)

平面形	長方形, 規模 570×415, 面積 23.7㎡, 壁高 30~48, 長軸方位 N30度E				
壁 溝 幅	8~13, 深さ 3~7				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下へ中心)
上へ径	24×20	28×22	27×24	22×21	1-2:228
下へ径	10	13×11	11	12	2-3:150
深さ	65	63	54	63	3-4:228
					4-1:158
炉	北炉:北辺寄り中央, 楕円形, 78×52, 深さ8 南炉:南辺寄り中央, 楕円形, 48×37, すり鉢状				
その他(状況の記録)					
礎 石	面:暗褐色土, 5層下位				検出位置:I~Kライン・660m付近
重複関係	30住→1井				
覆 土	床面に浅間C軽石混じりの黒褐色土が5~10cmのる, その上に厚さ10~20cmの浅間C軽石純層(黒褐色土bk, 含む)が堆積する				
壁	斜めに立ち上がる				床 面:黄褐色土面, 堅く締まる, 細かい凹凸多数
主 柱 穴	ビット5・6は補助柱穴か?				壁 溝:北辺東隅のみ長さ130cmほど検出
炉	地床炉, 両者とも浅く掘り込む, 底面は焼けている				
そ の 他	南西部は1号井戸により破壊, 北西部は番号なし溝により破壊, 北東部にかかるビットは本住居よりも新しい, 南東部は不明土坑により破壊, ビット5:径28・深さ14, ビット6:23×18・深さ17, 5-6:282, 参考 [1-5:58, 5-4:87, 2-6:76, 6-3:86], ビット7:径27・深10, ビット8:46×35・深5, ビット9:径18・深22, ビット10:37×30・深20・石出土, ビット11:45×35・深9, ビット12:36×30・深21, 周辺ビットの深さはマイナス数字で示す				
遺 物	土器2片・石1個, 掲載遺物以外の遺物なし, 0573(杯)・0574(壺)・0575(甕)・0576(甕)・0577(土製紡錘車)・0578(不明石)				
時 期	縄式, 弥生後期				



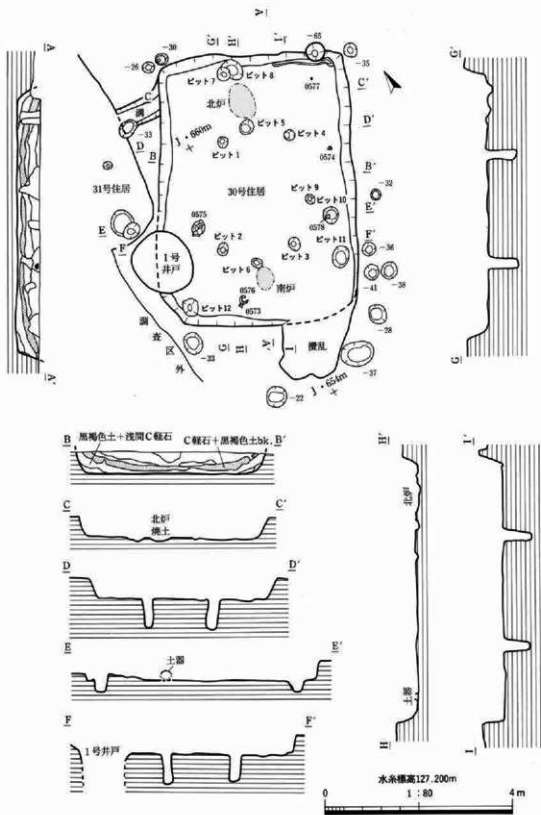
第160図 3区30号住居跡遺物出土状態(東から)



第161図 3区30号住居跡遺物出土状態（西から）



第162図 3区30号住居跡遺物出土状態（西から）



第163図 3区30号住居跡

三ツ寺II 3区 31号住居跡 (第164図, 図版130)

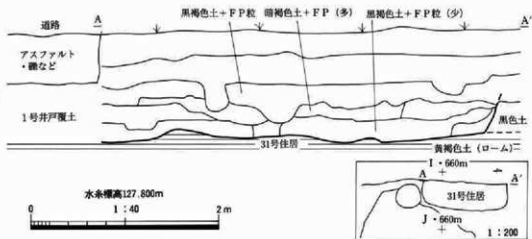
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 18~25, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土～黒色土, 5層下位～6層, 検出位置: I～Jライン・662m付近
重複関係	31住→1井
覆土	土: 暗褐色～黒褐色系の土, 黄褐色土bkとFP粒を含む
壁	: 直に近い, 床面: 黄褐色土上に形成する, 壁く締まる
主柱穴	: -, 壁溝: -
カマド	: -, 貯蔵穴: -
掘形	: -
その他	ピット1: 径46・深さ14, ピット2: 径18・深さ20, ピット3: 径47・深さ17, ピット4: 径30・深さ36, 他の住居に比較していずれも主柱穴・貯蔵穴にはならないか?, 大平が西側調査区外にあるため詳細不明
遺物	: 土器73片, 二次火熱を受けた瓶底部 (焼成前, 平円形2孔), 遺物回収載なし
時期	: 古墳

三ツ寺II 3区 32号住居跡 (第121図, 図版131)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 (293×273), 面積 (8.0m ²), 壁高 10~19, 長軸方位 N91度E
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層下位～6層, 検出位置: Mライン・880m付近
重複関係	29坑→32住→1溝, 覆土: -
壁	: 斜めに立ち上がる, 床面: 黄褐色土上に形成する, 凹凸あり
主柱穴	: -, 壁溝: -
カマド	: -, 貯蔵穴: -
掘形	: -, その他: 中央部を1号溝によって破壊され詳細不明
遺物	: 遺物出土なし
時期	: 不明, 古墳?



第164図 3区31号住居跡土層断面

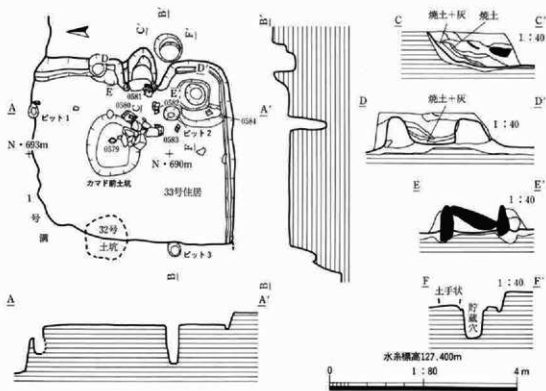
平面形	方形～長方形, 規模 一, 面積 一, 壁高 17~38, 長軸方位 一		
壁溝	幅 9~40, 深さ 2~6		
主柱穴	1	2	3
上ノ径	31×22	35×29	34×27
下ノ径	15×9	13×10	21×18
深さ	38	74	55
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N91度E, 構築材 粘土・石		
支脚	不明		
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 隅丸長方形, 上ノ径9×65, 下ノ径26, 深さ 67		
その他(状況の記録)			
壁	面: 暗褐色土, 5層下位	検出位置:	M~Nライン・690m付近
重複関係:	3・2坑(縄文) → 3・3住 → 1溝	覆	土: 焼土粒・黄褐色土粒を含む暗褐色土
壁	直にちかい	床	面: 黄褐色土面, 堅く締まる
主柱穴:	3本検出	壁溝:	検出内全周, カマド左脇は幅広い
カマド:	両袖は黄褐色土で形成する, 左袖石は加工石・右袖石は扁平な自然石を起てる, 長さ50cm大の石を焚口天井部に架ける, 燃焼部は強く焼けている		
貯蔵穴:	二段に掘り込む, 上段は5~10cm・略長方形・下段は深く・円形～楕円形, 西側を囲むように土手状の高まり(黄褐色土で形成)がある		
掘	形: 南西部壁付近に西から東へ掘り込んだ工具痕(スキ?) 検出, 幅12・長さ2・深さ2・先端円形		
その他:	東辺370・南辺365, 北西部は1号溝より破壊, 検出内中央部に東西130×南北110・楕円形・深さ70のカマド前土坑検出, 土坑南東部(カマド正面)に15~40cm大の加工痕のある石が集中して出土		
遺物:	石7個・鉄滓1個, カマド石材(加工痕あり), 0579・0580・0581・0582・0583・0584(剣形番石製品)		
時期:	古墳後期, 7世紀前半		



第165図 3区33号住居跡遺物出土状態(西から)



第166図 3区33号住居跡遺物出土状態(北西から)

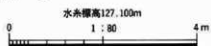
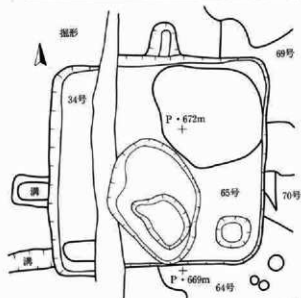
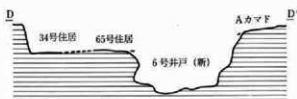
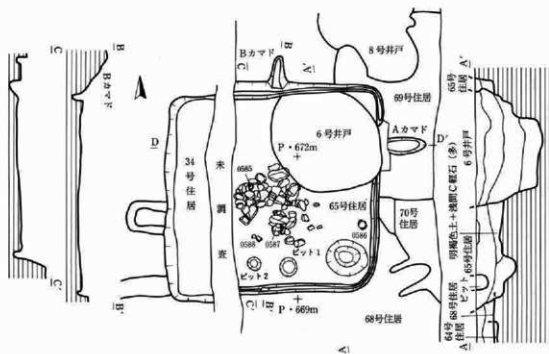


第167図 3区33号住居跡

平面形	方形, 規模 455×446, 面積 (20.3m ²), 壁高 50~63, 長軸方位 N91度E
壁溝	幅 8~17, 深さ 3~19
主柱穴	不明
カマド	Aカマド:位置 東辺中央北寄り, 対称軸方位 -, 構築材 -, 支脚 - Bカマド:位置 北辺中央, 対称軸方位 -, 構築材 -, 支脚 -
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 楕円形, 上ノ径86×75, 下ノ径31×24, 深さ 38
その他(状況の記録)	
礎	礎面:浅間C軽石を含む黒色土, 6層, 検出位置:O~Pライン・672m付近, 65住は東側道 重複関係:64住→68住→65(=34)住→6井, 69住→65住
層	土:暗褐色系の土, C軽石を多く含む, 壁:直に近い
床	面:黄褐色土上に形成する, 堅く締まる
主柱穴	穴:-, 壁溝:東側道部(東半で全周)
カマド	A・B2カ所で検出, いずれも埋道部のみ, Aカマド:長さ80・幅36・深さ6, Bカマド:長さ70 ・幅27・深さ16, Bカマド壁直下には壁溝が通る, Aカマド燃焼部は6号井戸により破壊
貯蔵穴	二段に掘り込む, 東西方向に長い楕円形
掘形	中央南寄りに270×190・深さ56・二段掘りの不整形土坑検出(65住床下)
その他	西半は一次調査・東半は東側道調査による, 南辺のラインは一致しない, 南西隅は溝・西辺 中央は番号なし溝・北東部は6号井戸により破壊, ビット1:径37・深さ33, ビット2:径28・ 深さ18, 東半部の壁高は低い
遺物	土器96片(34住)・313片(65住), 34住覆土から半球杯・丸胴壺底部片, 65住覆土から瓶口縁部・ 梗飯杯, 0585~0588はすべて65住側(東側道調査)で出土, 西部(一次調査)での掲載遺物なし, 0585・0586(須恵器短頸壺)・0587(高杯)・0588(小型壺)
時期	古墳後期, 6世紀前半



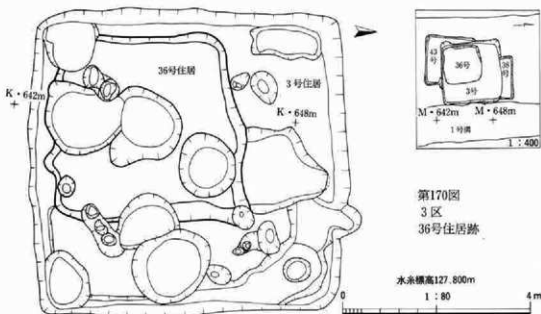
第168図 3区34号住居跡遺物出土状態(西から)



第169図 3区34(65)号住居跡

平面形	方形～長方形, 規模 南北286×東西150以上, 面積 - , 壁高 16～26, 長軸方位 -		
壁溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
礎 礎 面	: FPを含む暗褐色土, 5層下位	検出位置	: L-Mライン・670m付近
重複関係	: 土坑→35住→1溝	覆 土	: -
壁	: 直に近い	床 面	: 黄褐色土面に形成する, 平坦
主柱穴	: -	壁 溝	: -
カマド	: -	貯蔵穴	: -
配 形	: 細かい凹凸あり, 壁近くに小穴多数検出		
その他	: 東半は1号溝により破壊, 内部施設未検出, 詳細不明		
遺 物	: 遺物なし		
時 期	: 不明, 弥生～古墳か?		

平面形	長方形, 規模 410×390, 面積 (16.0m ²), 壁高 掘形18～31, 長軸方位 N5度W		
壁溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
礎 礎 面	: 3住床下, 暗褐色土, 5層下位	検出位置	: Kライン・645m付近
重複関係	: 36住→3住	覆 土	: -
壁	: -	床 面	: -
主柱穴	: -	壁 溝	: -
カマド	: -	貯蔵穴	: -
配 形	: 径130前後の床下土坑3検出, 3住床下土坑が壁を切る		
その他	: 3号住居内南西部にスッポリ納まる, 拡張前の3号住居か?, 3号住居により上部を殆ど破壊され詳細不明		
遺 物	: 土器36片, 覆土から内斜口縁杯4個体・外縁のある高杯杯部片・短頸高杯脚部・小型壺口縁部・壺口縁部 (弥生?) 出土, 遺物図掲載なし		
時 期	: 古墳		



三ツ寺II 3区 37号住居跡 (第121区, 図版117)

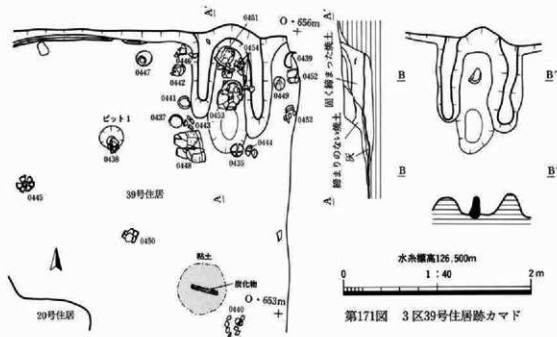
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形→長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 39~51, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
座 面: C 粒石を含む暗褐色土, 5層下位	検出位置: L~Mライン・626m付近
重複関係: 37住→14住	覆 土: 暗褐色系の土
壁 : 直に近い	床 面: 軟弱, 37住・14住とも同一高さ
主 柱 穴: -	壁 溝: -
カ マ ド: -	貯 蔵 穴: -
掘 形: -	
その 他: 南西隅のみ検出, 西辺32・南辺250・北辺約100, 東側を1号溝により破壊, 大半は14号住居により破壊	
遺 物: 土器3片, 14・37住注記の遺物: 土器89片・石1個, 高杯2個体 (杯部内部), 遺物図掲載なし	
時 期: 古墳	

三ツ寺II 3区 38号住居跡 (第121・262区, 図版135)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 463以上×438, 面積 -, 壁高 22~43, 長軸方位 N1度W
壁溝	幅 5~14, 深さ 3
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺, 対称軸方位 -, 構築材 -, 支脚 -
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
座 面: 暗褐色土, 5層下位	検出位置: K~Lライン・649m付近
重複関係: 38住→3住→1溝	覆 土: 浅間C粒石を含む黒褐色系の土
壁 : 直に近い	床 面: 平坦, 堅く締まる, 一部粘床
主 柱 穴: -	壁 溝: 検出内全周, やや幅が狭い
カ マ ド: 燃焼部先端のみ検出, 本体部は3住により破壊	掘 形: -
貯 蔵 穴: -	
その 他: 西辺98・北辺442・東辺463, 大半は3住により破壊され詳細不明	
遺 物: 土器4片, 覆土から内斜口縁の杯出土, 0354 (土師器小型甕, 北東隅床面)	
時 期: 古墳	



第171図 3区39号住居跡カマド

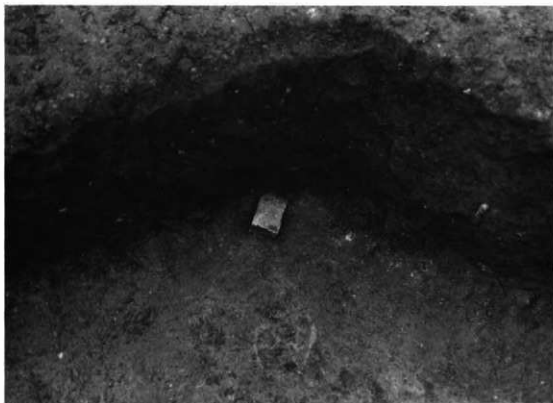
平面形	方形→長方形, 規模 南北481×東西326以上, 面積 -		壁高	17~34, 長軸方位 -
壁 測 幅	3~7, 深さ 3~7			
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離 (下ノ心)	
上ノ径	35	28×25	1 - 2 : 250	
下ノ径	10	10		
深 さ	53	42		
カマド	位置 北辺, 対称軸方位 N1度W, 構築材 粘土, 支脚 石			
貯蔵穴	位置 不明			
その他 (状況の記録)				
礎 礎	面: 軽石を含む暗褐色土, 5層下位		検出位置: Nライン・654m付近	
重 複	関 係: 39住→29住→不明土坑→1溝			
覆 土	: C軽石を含む暗茶褐色土		壁 : 直に近い	
床 面	: 中央部に幅3~4・長さ30前後の炭化物出土, 周囲の径50程の範囲に薄く粘土が円形に広がる, 堅く締まった床面は粘土の下から検出, 黄褐色土+暗褐色土で粘床を形成する			
主 柱 穴	: 2本検出, 壁 溝: 南西隅を抜き検出内全周			
カ マ ド	: 燃焼部から燵出土, 周辺から壺・甕・杯・台付燵出土, 燃焼部は浅く細長く掘り込む, 燵基部は地山を掘り出し白色粘土で包んで形成する, 燃焼部中央から石の支脚出土, 煙道は壁外へ突出しない			
貯 蔵 穴	: -, 掘 形: 中央部に200×100前後の楕円形の掘り込み			
そ の 他	: 東辺未検出, 南西部は20住により破壊, 掘形調査で南西隅検出			
遺 物	: 土器237片・石1個・縄文土器3片, 南西隅を除き全面に遺物分布, カマド周辺に多い, 東側は調査区外にある, 一時に廃棄されたものか?, 火災住居?, 砥石出土, 0435・0436・0437・0438・0439・0440・0441・0442・0443・0444・0445・0446・0447 (壺)・0448 (甕)・0449 (鉢形)・0450 (台付小型甕)・0451・0452・0453・0454・0455 (砥石)			
時 期	: 古墳後期, 6世紀前半			



第172図 3区39号住居跡カマド遺物 (南から)



第173図 3区39号住居跡遺物出土状態（南から）



第174図 3区39号住居跡遺物出土状態（東から）

平面形	方形〜長方形, 規模 南北624×-, 面積 -, 壁高 33~38, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層, 検出位置: N~Oライン・623m付近
重複関係	41・49住→40住→1溝
覆土	浅間C軽石を含む茶褐色土, 壁: 斜めに立ち上がる
床面	北半では黄褐色土面に形成, 南半では褐色系の土で貼床
主柱穴	壁溝: -
カマド	未検出, 南東部調査区壁際で床面上に灰の分布を検出, この東側にカマドがあったか?
貯蔵穴	-
掘形	推定カマド西側で径100前後・二段掘り込みの土坑検出, 中から完形の土師器杯検出 (掲載なし)
その他	北辺306・南辺30, 北東隅・南東隅未検出, 西半は1号溝により破壊, 40・41・49住は覆土がほぼ同一・床面高さほぼ同一, 土層断面でも明確な立ち上がりは検出できず, 40住床面は41住床面より2~3cm高い, 南辺ラインは床面の広がりから推定, ピット1: 径24・深さ50, ピット2: 径18・深さ37
遺物	土器片少ない, 同住居通巻で取り上げた遺物のうち一部を40号住居所屬とした (写真判定), 0367 (糠形滑石製品)・0356・0356・0357・0358・0359 (高杯)
時期	古墳中期, 5世紀末



第175図 3区40号住居跡遺物出土状態 (南東から)



第176図 3区40号住居跡遺物出土状態(南から)

三ツ寺Ⅱ 3区 41号住居跡(第121・264図、図版137・463)

計測値単位cm、-:計測不可・不明

平面形	方形～長方形、規模 南北352×東西290以上、面積 -、壁高 16～21、長軸方位 -
壁 溝 幅	6～15、深さ 1～5
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
礎 石 面	暗褐色土、5層、検出位置:N～Oライン・618m付近
重 複 間 隔	41・49住→40住→1溝
覆 土	浅間C軽石を含む茶褐色土、壁 :南辺直に近い
床 面	茶褐色系の土で形成、貼床、40住床面より2～3cm下で検出
主 柱 穴	-、壁 溝:検出内全無
カ マ ド	-、貯 蔵 穴:-
掘 形	-
そ の 他	北辺1112・西辺324・南辺300、北東部は東側調査区外にある、ピット1:径30・深さ19、西辺寄りには径30前後の丸い突出部がある、49住とは重複しない
遺 物	土器片少ない、40住と通番で取り上げたが本住居所属の遺物には床面出土遺物なし、0360(覆土、手づくね土器)・0361(覆土、土器器杯)
時 期	古墳中期、5世紀末

平面形	長方形, 規模 南北556×東西(580), 面積 -, 壁高 51~68, 長軸方位 N1度E		
壁溝幅	8~11, 深さ 2~7		
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離(下バ心)
上バ径	31	26	1-2:213
下バ径	13	15	
深さ	27	29	
カマド位置	東辺中央, 対称軸方位 N100度E, 構築材 粘土, 支脚 不明		
貯蔵穴	不明		
その他(状況の記録)			
確認	掘削C軽石を含む暗褐色土, 5層, 検出位置: N~Pライン・630m付近		
重複関係	60B住→42住→42坑, 42住→14溝		
覆土	C軽石を含む茶褐色系の土, 壁溝: 直に近い		
床面	黄褐色土混じりの暗茶褐色土で形成する, 貼床約10cm, 堅く締まる		
主柱穴	東側は調査区壁直下のため未検出, 壁溝: 北辺・南辺で検出, 東辺未検出		
カマド	東辺(二次調査)で検出, 遺物出土なし		
貯蔵穴	推定位置に中世4号土坑あり, 掘削形: -		
その他	西側写真は一次調査・東側写真は二次調査で検出, 南東隅未検出, 北東隅は西側北辺の延長線上に一致しない, 北東隅は100×230ほどの張出部の可能性あり, 同調査とも掘削面まで掘り下げ		
遺物	土器758片, 西側全面に散布する, とくに破破片が西辺寄りに散らばって出土, 覆土から高杯杯部(内面)出土, 掘削から接合しない燧石片出土, 掲載遺物は一次調査時の出土品		
	0362・0363・0364(土師器高杯)・0365(燧)・0366(不明石)・0368(衝形滑石製品, 2孔, 床面上40cm)		
時期	古墳後期, 6世紀前半		



第177図 3区42号住居跡遺物出土状態(東から)

三ツ寺II 3区 43号住居跡 (第178・265図, 図版140・463)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 521×511, 面積 (26.6m ²), 壁高 23~48, 長軸方位 N6度E	
壁溝幅	6~16, 深さ 2~8	
主柱穴	1 : 2	主柱穴間の距離 (下バ心心)
上バ径	34×27 : 34	1-2 : 275
下バ径	12 : 15	
深さ	57 : 57	
カマド	位置 東辺中央南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土, 支脚 不明	
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 方形, 上バ径65×60, 下バ径42, 深さ 86	
その他 (状況の記録)		
確認面	C軽石を含む暗褐色土, 5層下位, 検出位置: J~Lライン・641m付近	
重複関係	43住→3住, 43住→17住→15住	
要土	C軽石を含む暗褐色系の土, 壁 : 直に近い	
床面	検出箇全面貼床, とくに南西隅付近は厚く作るがやや軟弱	
主柱穴	2本検出, 壁溝 : 検出内全周	
カマド	燃焼部南半と右端部検出, 北半部は3号住居により破壊, 右端から土師器破片出土	
貯蔵穴	底部は円形, 周辺から遺物出土, 掘形 : -	
その他	東辺160, 北西隅・南西隅・南東隅検出, 北東部は3号住居により破壊, 南辺ラインは17号住居床下で検出	
遺物	土器306片, カマドから二次火熱を受けた高杵接合部片出土, 覆土から丸胴壺口縁部出土, 床下から土師器壺底部 (内底ハケ目) 出土, 0369・0370・0371 (土師器蓋, 底部欠, 天地逆転して出土)・0372	
時期	古墳後期, 6世紀前半	



第178図 3区43号住居跡カマド付近遺物 (西から)

平面形	不明, 規模 - , 面積 - , 壁高 19, 長軸方位 -
壁	溝 不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東隅, 対称軸方位 N44度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	: C軽石を含む暗褐色土, 5層下位, 検出位置 : I~Jライン・642m付近
重複関係	: - , 覆土 : 暗褐色系の土, 焼土・黄褐色土bkを含む
壁	: 斜めに立ち上がる, 床面 : カマド前のみ検出, 堅く締まる
主柱穴	: - , 壁溝 : -
カマド	: 左袖の一部~煙道部~右袖部を検出, 住居プランとしてはこれらのみ検出, 両袖部とも黄褐色土で形成する, 燃焼部は細長い, 煙道部: 幅40前後・深さ15・長さ130ほど
貯蔵穴	: - , 掘形 : -
その他	: カマドは南東隅に位置する, 大半は西側の調査区外にある
遺物	: 土器12片, 土師器外椀高杯杯底片出土, 遺物図掲載なし
時期	: 古墳

平面形	方形~長方形, 規模 南北(360)×東西280以上, 面積 -, 壁高 東辺30, 長軸方位 -
壁	溝 不明
主柱穴	不明
カマド	位置 北辺車寄り, 対称軸方位 -, 構築材 不明, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	: 褐色土, 5層下位, 検出位置 : Jライン・623m付近
重複関係	: 4 6住→4 5住→8住, 4 5住→4 7住→4 8住, 4 5住と5 9 A住との関係は不明
覆土	: 浅層C軽石を含む暗褐色土, 壁 : -
床面	: 8・4 5・4 6住の床面高さはほぼ同一
主柱穴	: - , 壁溝 : -
カマド	: 未検出, 8住床下で径45×深さ11の焼土・炭化物の詰まったピットを検出したのでここをカマド痕跡と推定
貯蔵穴	: - , 掘形 : -
その他	: 東辺30, その他のプラン推定線は床面の広がりから推定, 詳細不明
遺物	: 土器9片, 土師器内斜杯小片出土, 【4 5・4 6住】注記の遺物: 土器202片・土師器内斜杯・外椀杯・器形不明の厚手土師器, 0373 (土師器丸胴椀, 外面スス付首, 頸部沈線)
時期	: 古墳中期, 5世紀末?

平面形	方形~長方形, 規模 南北225, 面積 -, 壁高 35前後, 長軸方位 -
壁	溝 不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	: 褐色土, 5層下位, 検出位置 : J~Kライン・621m付近
重複関係	: 4 6住→4 5住→8住, 4 6住→5 9 A住→4 7住→4 8住
覆土	: - , 壁 : 直に近い
床面	: 8・4 5・4 6住の床面高さはほぼ同一
主柱穴	: - , 壁溝 : -
カマド	: - , 貯蔵穴 : -
掘形	: -
その他	: 北辺57・東辺210・南辺42, 住居跡ではなく方形土坑か?, 周辺の住居中もっとも古い, 詳細不明
遺物	: 土器2片, 小片のみ, 4 5・4 6住遺物は同時調査のため覆土出土遺物は両住居番号の注記あり, 遺物図掲載なし
時期	: 前後関係から古墳

三ツ寺II 3区 47号住居跡 (第179・266図, 図版141・464)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 18~44, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確 認 面	褐色土, 5層下位, 検出位置: Jライン・618m付近
重 複 関 係	46住→45住→47住→48住, 46住→59A住→47住
覆 土	暗褐色系の土, 壁 溝: 直に近い
床 面	黄褐色土bkを含む暗褐色土で形成する, 貼床
主 柱 穴	- 壁 溝: -
カ マ ド	- 貯 蔵 穴: 東隅の土坑か?
掘 形	凹凸著しい
そ の 他	北東2570・南東辺445, 東隅土坑: 128×68・深さ22~44, ビット1: 径45・深さ26, 15cm大の石4個出土, 西半は西側調査区外にある
遺 物	土器1025片・石6個・滑石2個・鉄押1個, 丸胴壺頸部, 床下から土師器半球杯・高杯接合部出土, 覆土から須恵器鉢・土師器小型壺口縁部・内黒杯・鉄押 (5cm大) 出土, 0375・0376 (鉢)・0377 (丸胴壺)・0378 (滑石白玉)・0379 (滑石白玉)・0380 (滑石割片)・0381 (滑石割片)
時 期	古墳後期, 6世紀前半

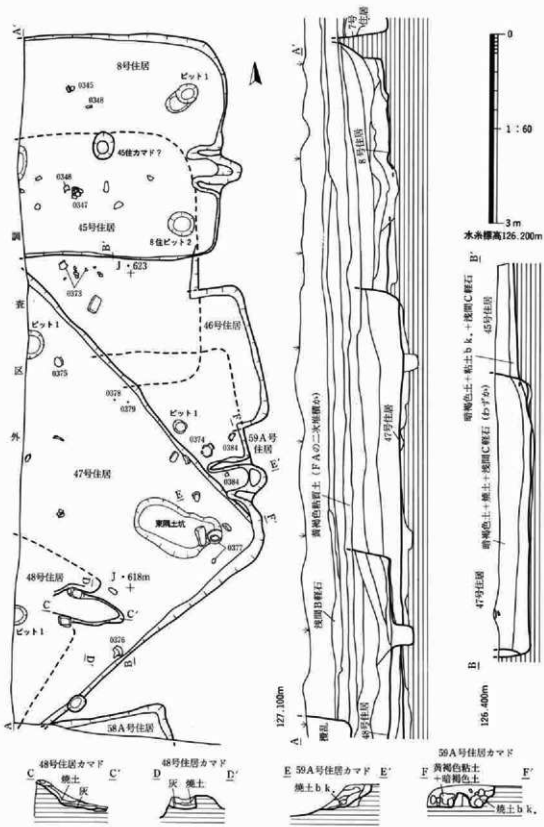
三ツ寺II 3区 48号住居跡 (第180図, 図版142)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 60, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東隅, 対称軸方位 N103度E, 構築材 粘土・石, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確 認 面	褐色土, 5層下位, 検出位置: I~Jライン・617m付近
重 複 関 係	46住→45住→47住→48住, 周辺の重複住居よりも新しい
覆 土	黄褐色土bkを含む暗褐色土, 壁 溝: 直に近い
床 面	カマド周辺のみ検出, 47住の上に貼床を形成する, 堅く締まる
主 柱 穴	- 壁 溝: -
カ マ ド	両袖先端部に軟質の砂岩を据えまわりを粘土で固める, 燃焼部奥壁は斜めに直線的に立ち上がる
貯 蔵 穴	- 掘 形: -
そ の 他	住居プランは遺存床面から推定, カマドは北東隅設置とみられる, 調査区西埋土層断面で観察, ビット1: 径30・深さ10, その他詳細不明
遺 物	土器36片, 覆土からケズリ壺破片出土, 遺物図掲載なし
時 期	不明, 奈良~平安



第179図 3区47号住居跡遺物出土状態 (西から)



第180図 3区 8・45・46・47・48・58A・59A号住居跡

三ツ寺II 3区 49号住居跡 (第181図・266図, 図版142・464)

計測値単位cm, -:計測不可・不明

平面形	方形, 規模 南北507×東西499, 面積 (25.3㎡), 壁高 29~37, 長軸方位 N6度E
壁溝	幅 5~17, 深さ 1~4
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り?, 対称軸方位 -, 構築材 不明, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 円形~方形, 上ノ径80×55以上, 下ノ径33×32以上, 深さ 57
その他 (状況の記録)	
盛 器	面:暗褐色土, 5層下位, 検出位置:Mライン・621m付近
重複関係	:41・49住→40住→1溝
覆 土	:浅間C軽石を含む暗茶褐色土, 壁 :直にちかい
床 面	:西側床面は貼床, 壁く締まる, 東側では貼床未検出(40住による破壊または掘り過ぎ)
主 柱 穴	: -, 壁 溝 :検出内全周, 東辺は壁溝検出による
カ マ ド	:東辺南寄りピット4から焼土・炭化物検出, カマド痕跡か?, 東辺は40住により破壊
貯 蔵 穴	:底面近くから土器出土, 方形か?, 掘 影 :-
そ の 他	:住居中央部を1号溝により破壊, 1号溝東岸は40住により破壊, 北東隅から土器片出土, ピット1:36×30・深さ35, ピット2:29×25・深さ40, ピット3:径22・深さ3, ピット4:径66・深さ7
遺 物	:土器122片, 覆土から内斜杯・根椀杯・半球杯口縁部出土, 床下から甕口縁部破片出土, 0382 (土師器瓠脚高杯)・0383 (丸刺壺, 頸部に段あり)
時 期	:古墳中期, 5世紀末

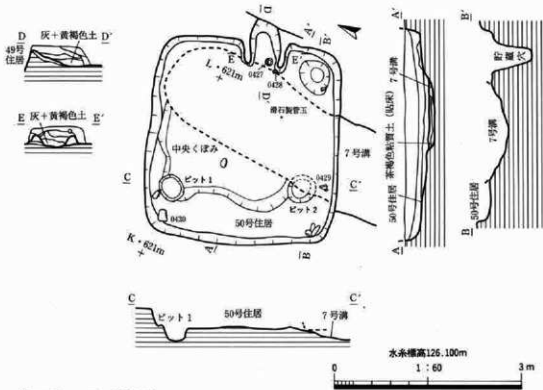


第181図 3区49号住居跡貯蔵穴遺物 (南西から)

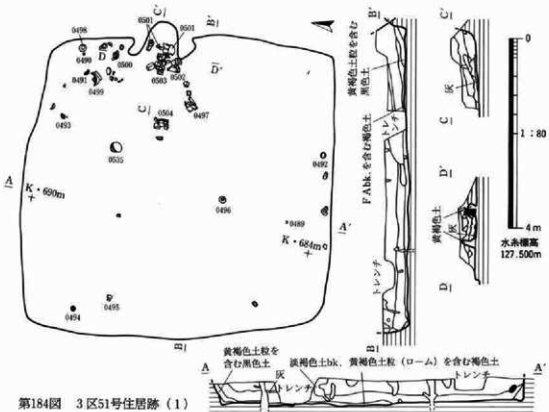
平面形	長方形	規模	322×298	面積	9.6㎡	壁高	17~29	長軸方位	N71度E	
壁溝	不明									
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離 (下の中心)							
上バ徑	41×35	42	1-2:207							
下バ徑	34×28	26								
深さ	24	9								
カマド	位置 北東辺中央やや南, 対称軸方位 N70度E, 構築材 粘土 支脚 土器 (土器器高杯, 口縁部を下にして出土), 燃焼部やや右袖寄り									
貯蔵穴	位置 東端, 平面形 不整形, 上バ58×47, 下バ23×20, 深さ 62									
その他 (状況の記録)										
壁	面: 暗褐色土, 5層下位				検出位置: K~Lライン・620m付近					
重複関係	6・7溝→50住→1掘				覆土: 暗茶褐色系の土, 上位に浅間C軽石を含む					
壁	斜めに立ち上がる									
床	面: 暗茶褐色土で形成する, 7溝直上は貼床, 中央部は周縁部に比べて約5cmくぼむ, くぼみは7溝西側の住居内にも広がる									
主柱穴	ピット2は浅い, 壁溝:-									
カマド	黄褐色粘質土で袖部を形成する, 焼土・灰の遺存は少ない, 焼土は49号住居遺土に少量散布, カマド左袖先端部は調査の手順違いで破損, 燃焼部右袖寄り底面に略完形の土器器高杯が口縁部を下にして出土, 右袖先端部に杯破片出土									
貯蔵穴	南西縁から土器片出土									
掘形	7溝と重複する床下から滑石製管玉出土, 7溝底面から約5cm上, 遺物所在不明									
その他	北西辺に接する6溝は本住居より古い, 7溝は本住居床下の北隣付近で立ち上がる,									
遺物	土器349片・ファイブ羽口1個・石6個, 『50住・7溝』注記の遺物: 土器194片, 内斜口縁杯・丸胴壺口縁部・模倣杯小片・須恵器高杯脚部 (丸透かし), 0427 (土器器高杯, カマド燃焼部, 天地逆)・0428・0429 (須恵器壺口縁部)・0430 (不明石)									
時期	古墳後期, 6世紀前半									



第182図 3区50号住居跡カマド遺物 (南西から)



第183図 3区50号住居跡



第184図 3区51号住居跡 (1)

平面形	台形, 規模	南北656×東西637, 面積	(33.8m ²), 壁高	35~50, 長軸方位	N8度W
壁溝	幅	13~25, 深さ	2~6		
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下の中心)
上ノバ径	58×50	61×55	88×58	70×45	1-2:356
下ノバ径	6	23	53×32	17	3-4:296
深さ	63	61	71	73	4-1:306
カマド	位置	東辺中央やや北寄り, 対称軸方位	N76度E, 構築材	粘土・石, 支脚	石
貯蔵穴	位置	北東隅, 平面形	長方形, 上ノバ101×69, 下ノバ43×31, 深さ	142	
その他(状況の記録)					
検 査	面	暗褐色土, 5層下位		検出位置	J~Lライン・687m付近
重 複	関 係	29住→51住→1溝(中腹), 57住(順文)→51住→1溝			
覆 土		C軽石・黄褐色土粒を含む褐色土		壁	:直に近い
床 面		地割れの段差あり, 壁くぼまる		主 柱 穴	:ピット4は中心不明確
壁 溝		検出内全周, 東辺南半は3列(床下含む), 壁寄りの壁溝底面は内側に傾き			幅一定の状振
カ マ ド		両袖先端部に石を据える, 燃焼部中央に長さ30cmほどの石を据える, 両袖は粘性の乏しい黄褐色の土(FAか?)で形成する, 右袖南側に焼土分布検出(旧カマド痕跡か?)			
貯 蔵 穴		底面は北側に寄り, 地割れのため変形			
観 形		第1土坑:南東隅・袋状掘り込み・下ノバ径約130, 第2土坑:中央・袋状掘り込み・下ノバ径216×130, 東辺カマド袖下から壁溝検出, 焼土分布範囲を挟んで東辺南側にも壁溝検出, 北辺沿いに小ピット3カ所検出, 北辺西寄りで床溝検出(床面検出分よりも70cm西側)			
そ の 他		南辺中央にピット5:方形19×17・深14, ピット6:長方形3段掘り込み38×30・中央方形15×16・深37, ピット7:楕円形26×17・深19・底面台形, ピット8:上ノバ方形23×20・深9, ピット9:上ノバ方形17×19・深31, ピット10:上ノバ略長方形25×17・深12, ピット11:上ノバ略長方形19×14・深23, ピット12:台形22×22・深20, 床溝 北辺:長150・幅17・深5, 西辺:長120・幅20・深3, 床下で検出した壁溝と焼土分布の状態から全体に50cmほど拡張して建て替えたと思われる, 地割れあり(地割れか?)			
遺 物		土器728片・石1個, 貯蔵穴付近須恵器杯身出土, 覆土から土師器高杯脚部・外椀杯・椀散杯, 床下から土師器杯出土, 0489(剣形滑石製品)・0490(滑石製紡錘車)・0491・0492・0493・0494・0495・0496・0497・0498・0499・0500・0501・0502・0503・0504・0535			
時 期		古墳後期, 7世紀前半			



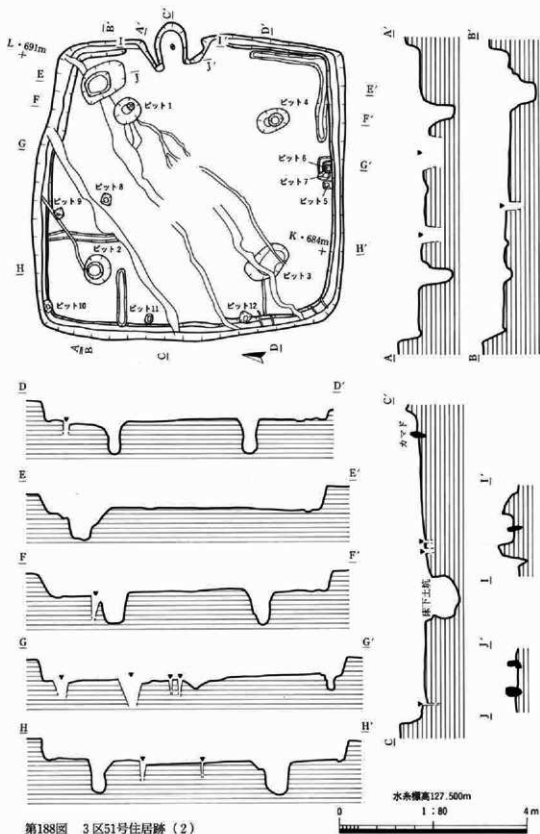
第185図 3区51号住居跡カマド遺物(西から)



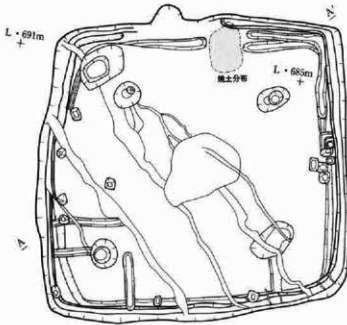
第186図 3区51号住居跡遺物出土状態(西から)



第187図 3区51号住居跡貯蔵穴遺物(西から)



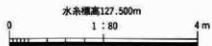
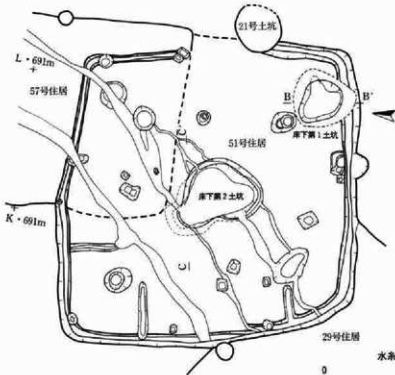
第188図 3区51号住居跡(2)



A



A



第189図 3区51号住居跡(3)

平面形	方形, 規模 497×495, 面積 24.6㎡, 壁高 31~54, 長軸方位 N118度E
壁溝	幅 8~18, 深さ 1~7
主柱穴	1 a 2 a 3 a 4 a 主柱穴間の距離 (下/バ中心)
上/バ径	34×24 34 46 37 1 a - 2 a : 219 2 a - 3 a : 204
下/バ径	18×11 14 20 19 3 a - 4 a : 249 4 a - 1 a : 237
深さ	63 47 42 59
カマド	位置 南東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N123度E, 構築材 粘土・石?, 支脚 石
貯蔵穴	位置 南側, 平面形 長方形, 上/バ62×44, 下/バ47×34, 深さ 69
その他 (状況の記録)	
壁	面: 暗褐色土, 5層, 検出位置: J~Lライン・698m付近
重複関係	: 5 6住→5 5住→1 1溝→5 2住
覆土	: 軽石を含む褐色系の土, 壁 : 直に近い
床	面: 黄褐色土上に形成する, 堅く締まる
主柱穴	: 4カ所検出, 各ピットとも複数の掘り込みをもつ, ピット1は4底面・ピット2は4底面・ピット3は2底面・ピット4は4底面がある, 1回または3回の建て替への可能性あり, (a・b)・(c・d) は (柱穴・柱抜き跡) の組み合わせになるか?, 3辺拡張移動ならば (1 c - 2 c - 3 c - 4 c) → (1 a - 2 a - 3 a - 4 a), 南西側へ移動ならば (1 a - 2 a - 3 a - 4 c) → (1 c - 2 c - 3 c - 4 a), 北東側へ移動ならば (1 c - 2 c - 3 c - 4 a) → (1 a - 2 a - 3 a - 4 c),
壁溝	: 住居壁直下とその内側で検出, 南東辺 (カマド設置辺) のみ1本, 3辺拡張または南西側・北東側への拡張が考えられる, 床面精査では内側の壁溝は床下検出
カマド	: 燃焼部から煙道部にかけて覆乱あり, 燃焼部奥やや南寄りに立てた状態の石を検出 (支脚), ピット7・9・10はカマド構築石材の矩形か?, ピット7: 20×14・深さ4, ピット8: 径20・深さ5, ピット9: 25×16・深さ2, ピット10: 21×16・深さ4, 住居中央から北側に散乱した石はカマド石材か?
貯蔵穴	: 上/バに幅5cm前後・深さ5cm前後の一回り大きい掘り込みあり, 壁は直に近い
面	形: 小穴多数検出, 北東辺中央付近に長さ80・幅12・深さ6の床溝検出, 北端に径55×33・深さ111のピット検出, カマド掘形の奥壁は角張る煙道部との境は段をもつ
その他	: 床溝: 北東辺東寄り: 長さ75・幅14・深さ7, 北西辺南寄り: 長さ83・幅20・深さ9, ピット1とピット2との間に長さ145・幅15前後の浅い溝状遺構検出,
遺物	: 土器584片・石2個・縄文土器4片, 住居中央部の土器は浮いている, 南溝付近の燧石片は浮いている, 貯蔵穴内から土器出土, 0475・0476・0477・0478・0479・0480・0481・0482・0483・0484・0485・0486・0487・0488
時期	: 古墳後期, 6世紀後半



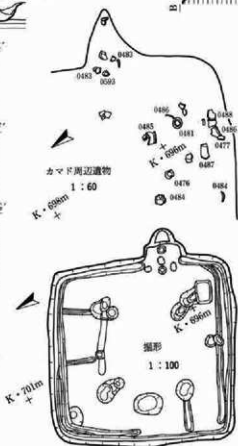
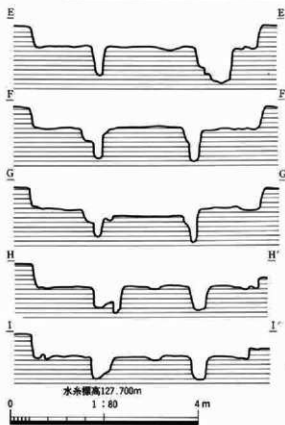
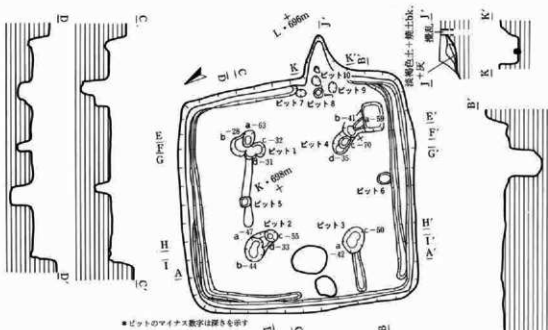
第190図 3区52号住居跡遺物出土状態 (北から)



第191図 3区52号住居跡遺物出土状態(北西から)



第192図 3区52号住居跡貯蔵穴遺物(北東から)



第193図 3区52号住居跡

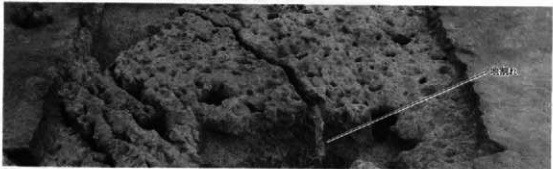
三ツ寺II 3区 53号住居跡 (第194図・269図, 図版147・467)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 251×232, 面積 5.8㎡, 壁高 19~31, 長軸方位 N102度E
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 南東隅, 対称軸方位 N156度E, 構築材 粘土・石?, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層下位
検出位置	Oライン・700m付近
重複関係	30坑→54住→53住
層 土	黄褐色土bkを含む褐色系の土
壁	直に近い
床 面	褐色土上に形成する, 一部粘床
主柱穴	-
壁 溝	南西部54住内で一部検出
カマド	隅から住居の対角線方向に煙道が延びる, 灰褐色の粘質土で袖を形成する
貯蔵穴	-
掘 形	南西隅床下から54住壁溝を検出
その他: 南西部は54住と同時に調査, 南西部は54住カマド袖部を切っている	
遺 物: 覆土から小型壺口縁部 (2個体分) 出土, その他「53・54住」注記の遺物あり,	
0589・0590・0591・0592・0593 (不明石, 金属によるキズ痕あり)	
時 期	古墳後期, 6世紀前半



第194図 3区53・54号住居跡遺物出土状態 (西から)



第195図 3区54号住居跡 掘形 (西から)

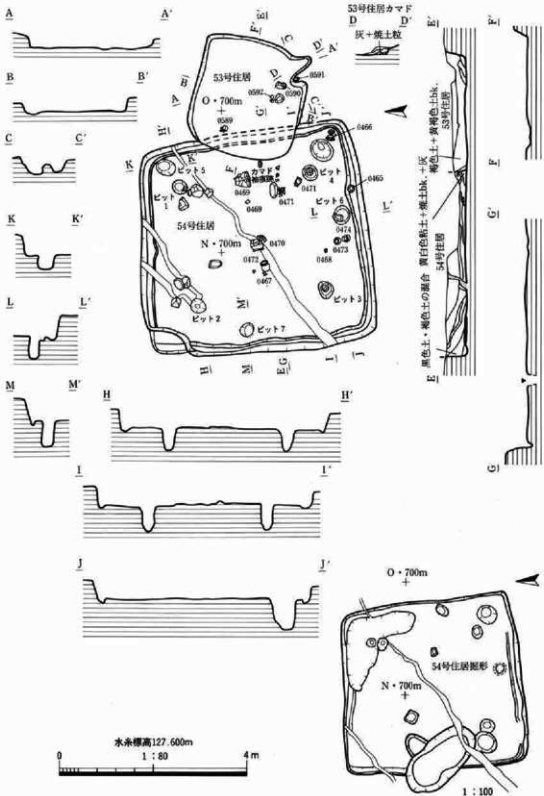


第196図 3区53・54号住居跡遺物出土状態(北西から)

三ツ寺II 3区 54号住居跡(第194・270図, 図版147・467)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	台形, 規模 南北485×東西439, 面積 20.3㎡, 壁高 28~46, 長軸方位 N5度W				
壁 溝	幅 10~22, 深さ 2~8				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下ババ心)
上ババ径	33×28	31	35×30	31	1-2:252, 2-3:274
下ババ径	20×16	11	7	6	3-4:248, 4-1:273
深 さ	27	42	51	57	
カマド 位置	東辺中央, 対称軸方位 -, 構築材 粘土・石?, 支脚 不明				
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 円形, 上バ49×43, 下バ17×12, 深さ 66				
その他(状況の記録)					
確 認 面	略褐色土, 5層下位			検出位置:Mライン・700m付近	
重 複 関 係	30坑→54住→53住, 54住→4区74住				
覆 土	黄褐色土bkを含む褐色系の土, 壁 : 直に近い				
床 面	黄褐色土上に形成する, 堅く締まる, 主柱穴:4本, ビット3・4は二段張り込み				
壁 溝	検出内全周, 北西隅は4区74住床下から検出, 東辺中央部は53住床下から検出				
カマド	53住により破壊, わずかに袖部を形成する粘質土を検出してカマド構築辺を確認				
貯 蔵 穴	内部は二段に張り込む, 底面は小				
掘 形	小穴多数検出, 北東隅は三角形に深く掘り込む, 西辺床下から30坑(縄文)検出				
そ の 他	各辺長は異なる, 北西隅上位は4区74住により破壊, 東辺中央部カマドは53住により破壊, 北東隅ビット5・南辺壁際中央ビット6・西辺壁際中央ビット7検出, ビット5:40×32・深さ32, 1-5:56, ビット6:41×35・深さ47, 3-6:152, 6-4:113, ビット7:内部へ傾く・32×26・深さ54, 2-7:122, 7-3:186				
遺 物	土器28片, 土師器模倣杯(カマド前付近, 小片)出土, 軽石サンプル1袋, カマド前から北辺にかけて石出土(15~30cm大で浮いているもの多い), [53・54住]注記の遺物(覆土):大型杯(鉢型)・高杯底部・模倣杯・壊破片多数, 0465・0466・0467・0488(須恵器高杯脚部)・0469(甕)・0470・0471・0472・0473・0474				
時 期	古墳後期, 6世紀前半				



第197図 3区53・54号住居跡

平面形	長方形, 規模 436×421, 面積 (18.4m ²), 壁高 10~31, 長軸方位 N34度E					
壁溝	不明					
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離(下/バ中心)	
上/バ径	31×29	25	29	42×38	1-2:208	2-3:169
下/バ径	11×8	12×8	12	18×10	3-4:200	4-1:159
深さ	41	56	62	35		
カマド位置	北東辺中央やや東寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土, 支脚 不明					
貯蔵穴位置	東隅, 平面形 楕円形, 上バ76×57, 下バ50×39, 深さ 88					
その他(状況の記録)						
確認面	暗褐色土, 5層下位			検出位置: I~Jライン・698m付近		
重複関係	56住→55住→11溝→52住			覆土: 軽石を含む褐色系の土		
壁	直に近い			床面: 黄褐色土上に形成する, 堅く締まる		
主柱穴	ピット1・4は二段に掘り込む			壁溝: -		
カマド	左袖部のみ検出, 大半は東側52号住居によって破壊, 焼土わずかに検出, 左脇から土器出土					
貯蔵穴	52号住居床下から検出					
掘形	各主柱穴内側からほぼ同じ大きさのピットを検出, 建て替えか?, 北隅から縄文土坑検出					
その他	住居確認面でFAを覆土とする溝状遺構(堀跡?)を検出, 北西辺295・北東辺213・南東辺102・南西辺323, 西隅は調査区外にある, 東隅は52号住居によって破壊					
床溝	北東辺: 長50・幅13・深3, 北西辺北側: 長102・幅17・深4, 北西辺南側: 長98・幅19・深6, 南西辺西側: L字状・長130・幅16・深3, 南西辺東側: 長95・幅23・深7					
遺物	土器161片, 須恵器杯体部片(ヘラ記号)出土, 覆土から土器高杯脚部片・13cm大の石出土, 床下から土師器標微杯出土, 『55・56住』注記の遺物: 土器17片・内斜口縁杯・壺体部片, 0594・0595・0596(不明石)					
時期	古墳後期, 6世紀後半					

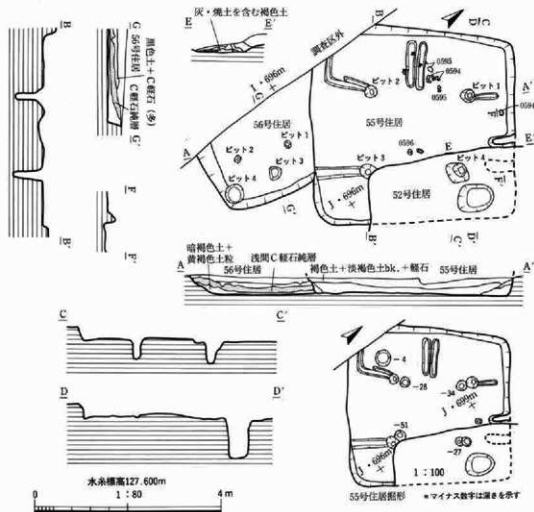


第198図 3区55号住居跡カマド付近遺物(南西から)

三ツ寺II 3区 56号住居跡 (第199図, 図版148)

計測単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 20~38, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
炉	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層下位
検出位置	I~Jライン・695m付近
重複関係	56住→55住→I1溝→52住
覆土	床面直上に暗褐色土～黒色土 (厚さ5~15cm) が堆積しその上に浅間C軽石純層が10cm前後堆積する
壁	斜めに立ち上がる
床面	細かい凹凸あり
主柱穴	-
壁溝	-
炉	火所不明
貯蔵穴	-
掘形	-
その他: 南東隅のみ検出, 東辺188・南辺138, 北側は55号住居により破壊, 西側は調査区外にある,	
ピット1	径14・深さ22, ピット2: 14×12・深さ14, ピット3: 25×29・深さ5,
ピット4	径37・深さ13, 55号住居との関係は土層断面で確認
遺物	土器12片, 覆土から内口斜縁杯・模倣杯 (内黒)・壺体部片出土, 55住のものか?, 遺物図掲載なし
時期	不明, 弥生～古墳?

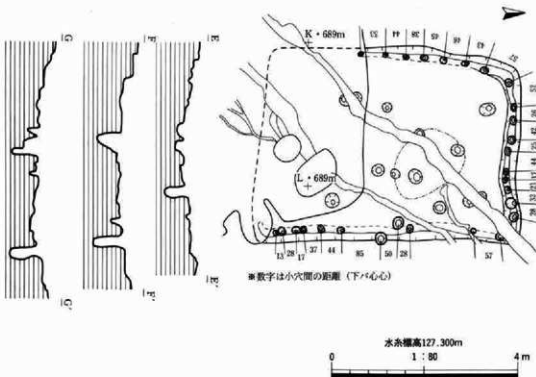
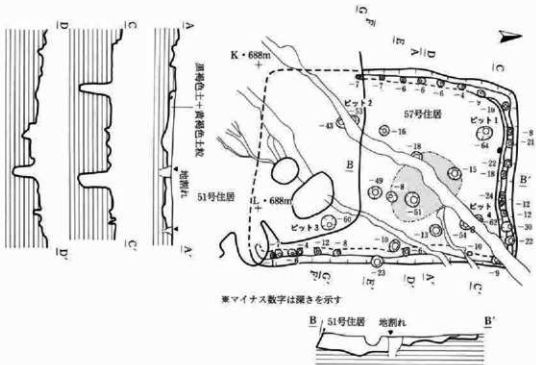


第199図 3区55・56号住居跡

平面形	長方形, 規模 (550)×410, 面積 -				壁高	14~33, 長軸方位	N5度E	
壁溝幅	18~25, 深さ				1~15			
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下バ心)			
上バ径	35×26	23	30	20	1-2	285	2-3 : -	
下バ径	13	10	10	9	3-4	-	4-1 : 186	
深さ	64	53	60	62				
炉位置	中央北寄り, 対称軸方位				-	構築材		-
その他 (状況の記録)								
確認面	暗褐色土, 5層下位				検出位置	K~Lライン・692m付近		
重複関係	57住→51住→1溝				覆土	黄褐色土粒を含む黒褐色土		
壁	斜めに立ち上がる				床面	凹凸著しい		
主柱穴	ピット2・4は地割れにより二分				壁溝	西辺・北辺で確認, 東辺は痕跡		
炉	中央北寄りの床面に径165×120の楕円形の範囲に焼土が分布, 浅いすり鉢状を呈する							
その他	住居壁に沿って壁溝内で小穴多数を検出, 径10~20・深さ4~24, 東辺北寄り小穴の配列に見られ, 南西部は51号住居により破壊, 地割れ著しい							
遺物	覆土出土のものか殆ど, 1338~1357 : 土器, 1358~1361 : 石器・石製品, 1338・1339・1340・1341・1342・1343・1344・1345・1346・1347・1348・1349・1350・1351・ 1352・1353・1354・1355・1356・1357・1358・1359・1360・1361							
時期	縄文a・黒沢式, 縄文前期							



第200図 3区57号住居跡遺物出土状態 (北から)



第201図 3区57号住居跡

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 19~27, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	褐色土, 5層下位, 検出位置: Jライン・615m付近
重複関係	- , 覆土:-
壁	:- , 床面:-
主柱穴	:- , 壁溝:-
カマド	:- , 貯蔵穴:-
掘形	-
その他: 3区南西端で確認, 調査区壁面が崩壊したため詳細不明	
遺物	土器3片(縄文土器1・土師器2), 遺物図掲載なし
時期	不明, 古墳～奈良?

平面形	方形～長方形, 規模 南北7.38, 面積 -, 壁高 15~32, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層下位, 検出位置: P~Qライン・618m付近, 東側道
重複関係	58B住→59B住→4井戸, 覆土:-
壁	斜めに立ち上がる, 床面: 平垣
主柱穴	:- , 壁溝:-
カマド	:- , 貯蔵穴:-
掘形	-
その他: 北辺404・南辺420, 南北辺の一部を検出したのみ, 59B号住居の北辺・南辺に平行する, 内部施設未検出, 各隅未検出, 詳細不明	
遺物	58住単独取り上げ遺物なし, 以下「58・59住」注記の遺物, すべて覆土出土, 土器272片, 0385・0386・0387・0388(砥石)
時期	古墳後期, 6世紀前半

平面形	方形～長方形, 規模 -, 面積 -, 壁高 33, 長軸方位 -
壁 溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺南寄り, 対称軸方位 N72度E, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	不明
その他(状況の記録)	
確認面	褐色土, 5層下位, 検出位置: J~Kライン・619m付近
重複関係	46住→59A住→47住→48住, 45住と59A住との関係は不明
覆土	:- , 壁: 直に近い
床面	カマド左脇は壁に締まる, 主柱穴:-
壁 溝	:-
カマド	袖部先端は47住により切られる, 燃焼部は長方形?, 袖は黄褐色の粘土で形成する, 燃焼部奥壁～煙道部は斜めに立ち上がる
貯蔵穴	:- , 掘形:-
その他: カマドと東辺の一部を検出, 南東隅は47住の東隅と一致する, 北東隅は床面範囲からの推定, 東辺約300・北辺約190, ビット1: 径21・深さ不明, 西半は47住により破壊, 詳細不明	
遺物	カマド脇で土器出土, 0374(土師器小型壺, 底部欠)・0384(内斜口鉢杯)
時期	古墳中期, 5世紀末



第202図 3区59A号住居跡カマド土層断面(北西から)

三ツ寺II 3区59B号住居跡(第121・271図, 図版151)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

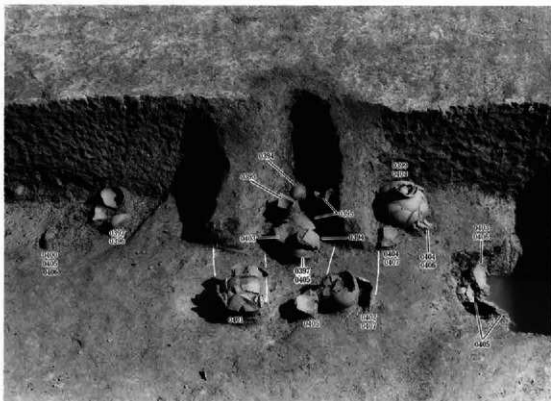
平面形	方形→長方形, 規模 南北530, 面積 -, 壁高 5~20, 長軸方位 -		
壁溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他(状況の記録)			
確認面	暗褐色土, 5層下位	検出位置	P~Qライン・618m付近, 東側道
重複関係	58B住→59B住→4井戸	覆土	-
壁	残い	床面	平里
主柱穴	-	壁溝	-
カマド	-	貯蔵穴	-
掘形	中央調査区壁寄りで径130・深さ304などの円形土坑検出, 北西隅付近で径35・深さ31のピット検出, 南西隅付近で径35・深さ40・斜め掘り込みのピット 検出, 両者は主柱穴か?		
その他	北辺327・西辺500・南辺376, 東半は調査区外にある, その他の内部施設は不明		
遺物	59住単独取り上げ遺物なし, 以下「58・59住」柱記の遺物, すべて覆土出土, 土器272片, 0385・0386・0387・0388(磁石)		
時期	古墳後期, 6世紀前半		

三ツ寺II 3区60A号住居跡(第121図, 図版162)

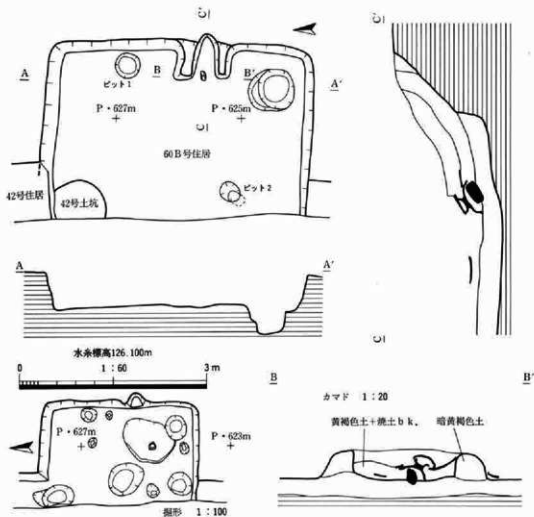
計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	不明, 規模 -, 面積 -, 壁高 70, 長軸方位 -		
壁溝	不明		
主柱穴	不明		
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他(状況の記録)			
確認面	暗褐色土, 5層下位	検出位置	L~Mライン・614m付近, 3区南端調査区壁
重複関係	60A住→1溝→不明遺構	覆土	-
壁	直に近い	床面	-
主柱穴	-	壁溝	-
カマド	-	貯蔵穴	-
掘形	-		
その他	3区南端の調査区壁で立ち上がりを検出, 1号溝調査時に大半を破壊, 殆ど1号溝にかかる, 古墳時代検出面でも未確認, 存在を確認したのみで詳細不明		
遺物	出土遺物なし		
時期	不明, 古墳~平安?		

平面形	方形～長方形, 規模 南北426, 面積 - , 壁高 48～57, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N95度W, 構築材 粘土, 支脚 石・土器(土師器高杯)
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 円形, 上バ70×65, 下バ39×40, 深さ 42
その他(状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層下位
検出位置	O～Pライン・626m付近, 東側道
重複関係	60B住→42住→42坑
覆土	暗褐色系の土
壁	真に近い
床面	平坦, 堅く締まる
主柱穴	ピット2は主柱穴か?
壁溝	-
カマド	両袖部遺存, 粘土で形成する。燃焼部中央に12cm大の石を覆える。石の上に土師器高杯を天地逆 に据える。土器破片出土やや多い。カマド前床面・カマド右脇床面から土器出土
貯蔵穴	北側は二段に掘り込む。周辺から土器出土多い
掘形	カマド前150×110・深さ7ほどの浅い掘り込み, 中央部100×80・深さ44の掘り込み, 南辺寄り60×70・深さ16の掘り込み。掘形調査でも主柱穴不明
その他	北辺274・東辺394・南辺256, 西辺は一次調査でも未検出。 ピット1: 径39・深さ20, ピット2: 33×27・深さ30・北東隅に向かって傾く
遺物	土器177片・石1個。カマドから南辺にかけての出土多い。壺・甔の破片が散在して出土。 覆土から梗張杯出土, 須恵器壺小片・16cm大の細長い石出土。 0389・0390・0391・0392・0393・0394・0395・0396・0397(土師器高杯, カマド, 天地逆)・0398・ 0399(土師器壺)・0400・0401・0402・0403・0404(甔)・0405(丸胴壺)・0406(甔)・0407(甔)
時期	古墳中期, 5世紀後半～6世紀



第203図 3区60B号住居跡カマド遺物(西から)



第204図 3区60B号住居跡

三ツ寺II 3区61A号住居跡(第121・274図, 図版154)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 南北333×東西(355), 面積 (11.8㎡), 壁高 15~30, 長軸方位 -
壁溝	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 西辺中央, 対称軸方位 -, 構築材 不明
貯蔵穴	位置 不明
その他(状況の記録)	
礎礎	面: 暗褐色土, 5層下位, 検出位置: Kライン・626m付近
重複関係	: 61A住→7住・8住・14住, 周辺住居よりも古い
覆土	: 暗褐色系の土, 壁: 斜めに立ち上がる
床	面: 軟弱, 中央部覆り込みは掘形の一部, 主柱穴: -
壁溝	: -
カマド	: 8号住居により南半を破壊, 軸を形成する粘土未検出, 遺存不良
貯蔵穴	: -, 掘形: 15cm大の石出土
その他	: 南東隅・カマド右脇辺・北辺の一部のみ検出, 西辺110・北辺120・東辺140・南辺280, 周辺住居による破壊部分多い, 遺存不良で詳細不明
遺物	: 遺物少ない, 0416は8号住居・14号住居出土破片と接合, 0415・0416(甕)・0425(不明石, 円盤状, 両表面平滑)
時期	: 古墳中期, 5世紀末

平面形	方形~長方形, 規模 南北499, 面積 - , 壁高 38~62, 長軸方位 -
壁	不明
主柱穴	不明
カマド	位置 東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 -, 構築材 粘土, 支脚 不明
貯蔵穴	位置 南東隅, 平面形 円形, 上バ南北94, 下バ南北80, 深さ 39
その他 (状況の記録)	
礎	礎面: 暗褐色土, 5層下位, 検出位置: Pライン・542m付近, 東側道
重複関係	: 71住→61B住→5井戸, 覆土: 褐色系の土
壁	: 直に近い, 床面: 平肌, 出水のため軟弱
主柱穴	: -, 壁溝: -
カマド	: 右袖部~燃焼部に上層からのビッドが掘り込まれて破壊されている, 燃焼部奥壁以東は調査区壁中に推定, 煙道部断面観察可能, 袖部は黄褐色系の粘土で形成する, 右袖部に口縁部のみの土師器検出
貯蔵穴	: 略号検出, 調査区壁にかかると
掘形	: 西辺から東側350cmのところまで南北方向の立ち上がりを検出, これ以東を71住とした, 不整形の掘り込み多数検出, 床溝: 西辺中央付近・長さ70・幅15・深さ6
その他	: 東辺未検出, 北辺401・西辺472・南辺390, 北西隅付近は5号井戸により破壊, ビット1: 70×56・深さ12, ビット2: 115×91・深さ35
遺物	: 土器560片・石4個, カマドから南辺寄りにかけて出土, 覆土から小型壺・半球杯・釜出土, 掘形から黒色内斜口縁杯・外稜杯出土, 0408 (須恵器蓋)・0409・0410 (土師器壺)・0411 (土師器壺口縁部, カマド右壁)・0412・0413・0414 (滑石製品, 覆土)
時期	: 古墳中期, 5世紀末



第205図 3区61B号住居跡遺物出土状態 (西から)

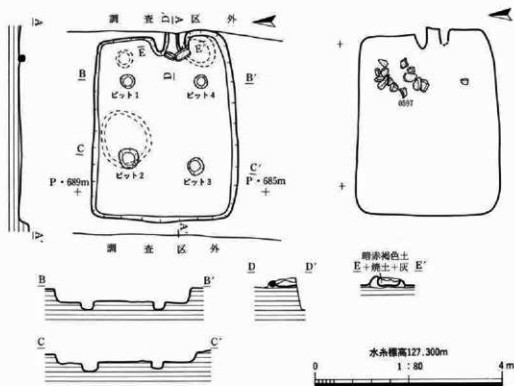
三ツ寺II 3区 62号住居跡 (第206・274区, 図版155)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	長方形, 規模 391×304, 面積 11.9㎡, 壁高 17~32, 長軸方位 N90度E				
壁 溝	不明				
主柱穴	1	2	3	4	主柱穴間の距離 (下バ中心)
上ノ径	30	41	34	29	1-2:162, 2-3:141
下ノ径	18	27×25	22	16	3-4:180, 4-1:155
深 さ	15	17	15	15	
カマド 位置	東辺中央, 対称軸方位 N90度E, 構築材 粘土・石, 支脚 不明				
貯蔵穴	不明				
その他 (状況の記録)					
確認 面	暗褐色土, 5層下位		検出 位置: P~Qライン・687m付近, 東側道		
重複 関係	単独検出		覆 土: 黒褐色系の土		
壁	直に近い		床 面: 平坦, 粘床		
主 柱 穴	4本検出, いずれも浅い		壁 溝: -		
カ マ ド	焚口に25cm大と35cm大の石2個を検出, 焚口天井部の石か?, カマド前北寄りに石が集中して出土, カマドを形成する石か?, 燃焼部奥壁未確認, 煙道部痕跡は調査区壁で検出				
貯 蔵 穴	-				
掘 形	北辺中央に径120×105・深さ8の掘り込み (底面細かい凹凸あり), 北東隅に径36・深さ8の掘り込み, 南東隅に75×63・深さ5の掘り込み (貯蔵穴か?)				
そ の 他	-				
遺 物	土器60片, 床面近くから石13個出土, カマド焚口から石2個出土, 0597 (須恵器壺腹部)・0598 (滑石製紡錘車, 完形, 覆土)				
時 期	古墳後期, 6世紀前半?				



第206図 3区62号住居跡カマド遺物 (西から)



第207図 3区62号住居跡

三ツ寺II 3区 63号住居跡 (第121・275図, 図版156・471)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形一長方形, 規模 南北502, 面積 -, 壁高 29~64, 長軸方位 -		
壁溝幅	8~13, 深さ 2~25		
主柱穴	1	2	主柱穴間の距離 (下バ心)
上バ径	57×66	27×24	1-2:261
下バ径	21×18	15	
深さ	48	29	
カマド	位置 東辺中央, 対称軸方位 -, 構築材 粘土・石, 支脚 不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)			
確認面	暗褐色土, 5層下位		検出位置: P~Qライン・695m付近, 東側道
重複関係	63住→1溝 (大溝)		覆土: 黒褐色系の土
壁	直に近い		床面: 平坦, 粘床
主柱穴	2本検出		壁溝: 南辺西寄りを除き検出内全周
カマド	東側調査区壁直下で焼土散布を検出, 立石と焼土の存在からカマドと推定, 立石が左右どちらの袖部石材か不明		
貯蔵穴	-		
掘形	カマド前の掘り込み (ピット3) が広がる, 南辺東寄りで径52・深さ25のピット検出 (主柱穴の一つか?), 北西隅に深さ6~12cmの浅い掘り込み検出, 推定カマドの下部は深さ10cm前後の溝状を呈する, ピット1底面に15cm次の平らな石を照える (礎石状)		
その他	住居南側は大溝により破壊, 東側は調査区外にある, 北辺454・西辺496・南辺390, 溝にかかる石はカマド構築材の石か?		
遺物	土器57片, 遺物少ない, 覆土から内馬換飯杯・小型壺口縁部・高杯胴部出土, 0599 (土器類小型壺, 略完, カマド内)・0600・0601 (杯, 覆土)・0602 (杯, 覆土)		
時期	古墳後期, 6世紀後半		

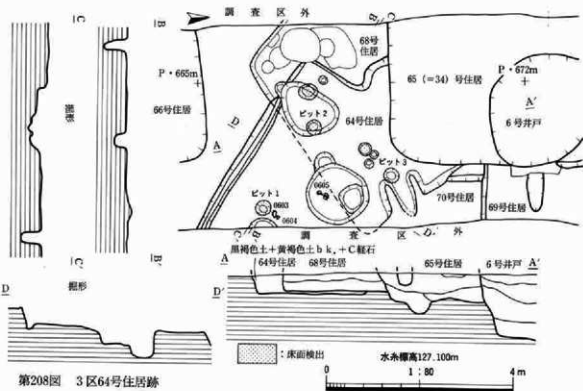
三ツ寺II 3区 64号住居跡 (第208・275図, 図版157)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形	方形～長方形, 規模 (掘形 南北396), 面積 -, 壁高 20～35, 長軸方位 N125度E		
壁 溝	(掘形 幅 13～16, 深さ 5～10)		
主柱穴	1	2	3 (掘形)
上ノ径	33×30	31	30
下ノ径	15	19	18
深さ	46	25	40
カマド	不明		
貯蔵穴	不明		
その他 (状況の記録)	確認 面: 暗褐色土, 5層下位, 検出位置: P～Qライン・667m付近, 東側道 重複関係: 6・4住→6・8住→6・5 (=3・4)住→6井 覆 土: C軽石を含む黒褐色系の土, 壁 : 南西辺直に近い 床 面: 平坦, 粘床 主 柱 穴: ビット3は掘形検出, 壁 溝: 南西辺沿いの掘形で検出, その他不明 カマド: -, 貯 蔵 穴: - 掘 形: 大小の掘り込み検出, 西隅付近140×100・深さ15ほどの掘り込み, 中央部径130前後・深さ30前後の掘り込み そ の 他: 南西辺300 (掘形検出を加えると415)・北西辺120・北東辺 (掘形検出) 150, 南西辺を除き掘形検出, 北西部に掘出部または土坑状掘り込みを検出, 概ね北西～南東方向に長い長方形を呈するか? 大半を6・8号住居により破壊, 東半部は調査区外にある, 詳細不明 遺 物: 土器64片, 覆土から横置杯・高杯または盥台?・壺?出土, 掘形から甌・内斜口縁杯・頸部に凹縁のある壺出土, 0603 (土師器杯, 覆土)・0604 (土師器杯, 覆土)・0605 時 期: 古墳中期, 5世紀末		

三ツ寺II 3区 65号住居跡

3区3・4号住居跡と同じ (164頁参照)



第208図 3区64号住居跡

平面形	方形～長方形, 規模 南北440, 面積 - , 壁高 19~26, 長軸方位 -	
壁 調	不明	
主柱穴	1 : 2	主柱穴間の距離 (下バ心心)
上バ径	32 : 34	1 - 2 : 181
下バ径	10 : 18×13	
深 さ	44 : 46	
カマド 位置	東辺中央やや南寄り, 対称軸方位 N73度E, 構築材 粘土, 支脚 不明	
貯蔵穴 位置	南東隅, 平面形 長方形, 上バ56×50, 下バ29×27, 深さ 35	
その他 (状況の記録)		
確認 面	暗褐色土, 5層下位	検出位置: P~Qライン・663m付近, 東側道
重複関係	66住→41坑	覆土: -
壁	斜めに立ち上がる	床 面: 平坦, 貼床
主柱穴	2本検出	壁 調: -
カマド	袖部は粘土で形成する, 袖部先端は41号土坑により破壊, 燃焼部奥壁は住居壁と並ぶ, 掘形は埋道部がわずかに突出する	
貯蔵穴	上部は41号土坑により破壊, 中から土器出土	
掘形	カマド前中央で楕円形・140×90・深さ28の掘り込み検出, その他3カ所のピット検出, 株調: ピット1ー東辺で検出・長さ85・幅26・深さ5	
その他	西辺未検出, 北辺254・東辺412・南辺288, 西半は調査区外にある	
遺物	土器96片, 覆土から半球杯・小型埴口縁部出土, 中央カマド前から弥生小型無蓋甕 (外面赤彩), 須恵器出土なし, 0606・0607・0608・0609・0610・0611・0612・0613・0614・0615・0616・0617・0618・0619・0620 (管玉, 石製)・0621・0622・0623	
時 期	古墳後期, 6世紀前半	



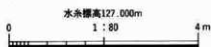
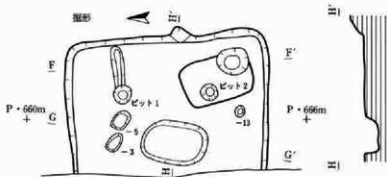
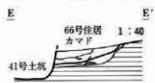
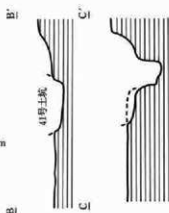
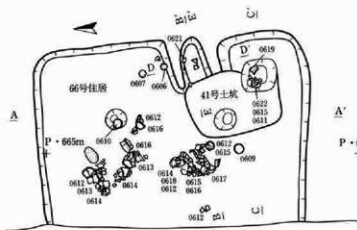
第209図 3区66号住居跡カマド遺物 (西から)



第210図 3区66号住居跡遺物出土状態(西から)



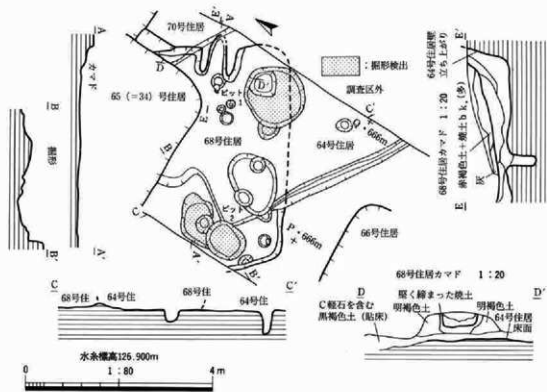
第211図 3区66号住居跡遺物出土状態(西から)



第212図 3区66号住居跡

三ツ寺II 3区 67号住居跡

欠番	
三ツ寺II 3区 68号住居跡 (第213・277回, 図版157・474)	
計測値単位cm, - : 計測不可・不明	
平面形 方形〜長方形, 規模 東西471, 面積 -, 壁高 24~34, 長軸方位 -	
壁 溝 不明	
主柱穴 1 掘形 : 2	主柱穴間の距離 (下バ中心)
上バ径 20 : 40×33	1 - 2 : 199
下バ径 9 : 25×20	
深 さ 26 : 27	
カマド 位置 北東辺内寄り, 対称軸方位 N66度E, 構築材 粘土, 支脚 不明	
貯蔵穴 位置 南東隅 (掘形検出), 平面形 不整形, 上バ径2×50, 下バ径38×39, 深さ 59	
その他 (状況の記録)	
礎 礎 面 : 暗褐色土, 5層下位, 検出位置 : P-Qライン・668m付近, 東側道	
重 複 関係 : 64住→68住→65 (=34)住→6井戸	
覆 土 : 黒褐色系の土, C軽石を含む, 壁 : 斜めに立ち上がる	
床 面 : 平坦, 粘床	
主 柱 穴 : ビット1は掘形調査で検出, 壁 溝 : -	
カ マ ド : 64号住居床面に粘床してその上につくる, 袖部は明褐色粘土で形成する	
貯 蔵 穴 : 掘形調査で検出, 周囲の径130程の掘り込みは深さ31, 掘り込みを伴うか不明	
掘 形 : 南西隅付近に不整形掘り込み検出, 64号住居分との分離できず	
その他 : 南隅検出, 東隅は調査区外にある, 北半は65 (=34)号住居により破壊	
遺 物 : 土器30片, 覆土から横穴杯・内斜杆出土, 掘形から壁底層出土, 0632・0633	
時 期 : 古墳中期, 5世紀末	

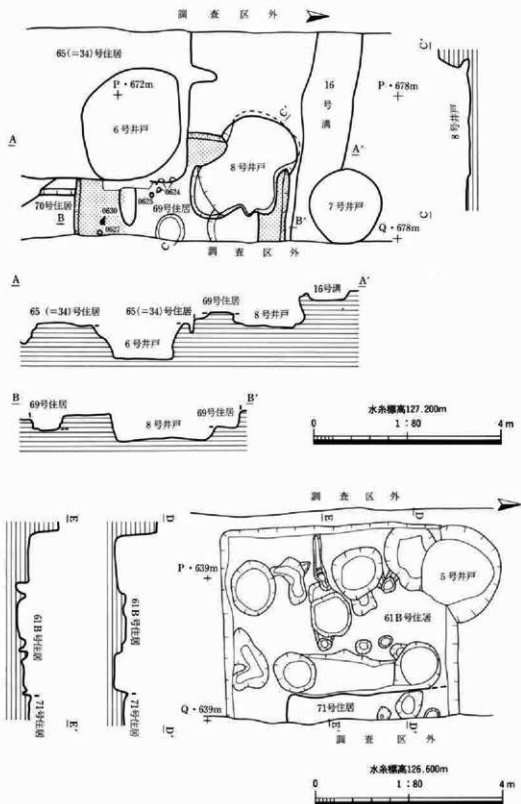


第213図 3区68号住居跡

平面形	方形～長方形, 規模 南北452, 面積 -, 壁高 23～46, 長軸方位 -
壁	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層下位, 検出位置: P～Qライン・673m付近, 東側道
重複関係	69住→65 (=34)住→6井戸, 69住→8井戸
覆土	- 壁: 直に近い
床面	凹凸あり, 床面検出範囲狭い, 整い, 主柱穴: -
壁	溝: -, カマド: -
貯蔵穴	- 掘形: 小穴
その他: 北西隅を8号井戸により破壊, 東側は調査外にある, 南西隅は6号井戸により破壊, 北辺135・西辺75・南辺118, 詳細不明	
遺物	土器14片, 羽釜磁片混入, 煙灰部出土, 遺物は6号井戸北東部外側で検出, 0624・0625・0626
時期	古墳中期, 5世紀末

平面形	-, 規模 -, 面積 -, 壁高 24～37, 長軸方位 -
壁	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	暗褐色土, 5層下位, 検出位置: P～Qライン・671m付近, 東側道
重複関係	70住→68住→65 (=34)住→6井戸
覆土	- 壁: 直に近い
床面	- 主柱穴: -
壁	溝: -, カマド: -
貯蔵穴	- 掘形: 段あり
その他: 東辺75を検出したのみ, 周辺の住居により破壊され詳細不明, 64・68号住居の掘形に本住居の一部が含まれるか?	
遺物	土器80片, 覆土から煙灰部・横椀杯口縁部・煙灰部出土, 掘形から小型椀口縁部出土, 0627・0628・0629・0630・0631
時期	古墳後期, 6世紀前半

平面形	不明, 規模 -, 面積 -, 壁高 -, 長軸方位 -
壁	不明
主柱穴	不明
カマド	不明
貯蔵穴	不明
その他 (状況の記録)	
確認面	61B住居下層, 検出位置: P～Qライン・642m付近, 東側道
重複関係	71住→61B住→5井戸
壁	- 覆土: -
主柱穴	- 床面: 凹凸著しい
カマド	- 壁: 溝: -
掘形	- 貯蔵穴: -
その他: 61B号住居の掘形調査で検出, 調査区壁際で南北300・幅50ほどの面を確認, この面の西側にこれと平行する南北方向の溝状掘り込みを検出, 掘り込みの東側立ち上がりで61B号住居立ち上がりとしたとき71号住居を認定できる, 溝状掘り込みを越えて東側に61B号住居カマドを検出しているので「71号住居」は61B住居の一部であった可能性が高い	
遺物	出土遺物なし
時期	重複関係から古墳



第214図 3区69・70・71号住居跡

平面形 長方形, 規模 235×164, 面積 3.9㎡, 壁高 11~43, 長軸方位 N3度W

その他 (状況の記録)

壁 面: 黄褐色土, 5層, 検出位置: K~Lライン・657m付近

重複関係: 2住→1竪穴, 2住→1・3住, 覆土: B軽石を含む茶褐色系の土

壁: 斜めに立ち上がる, 底面: 凹凸があるが堅く締まる

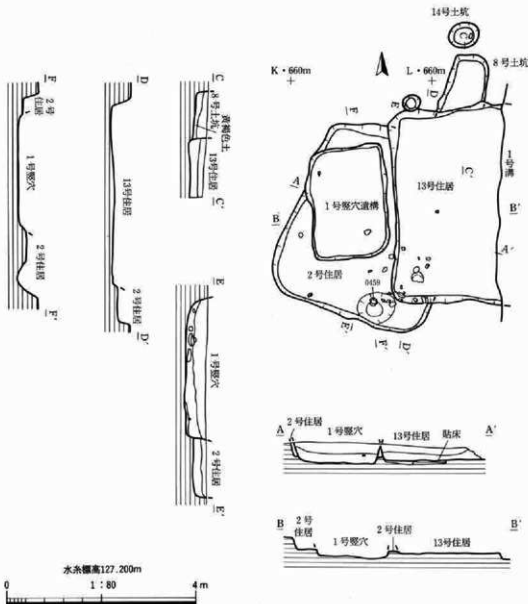
脚 形: 中央窪くばみあり

その他: 2号住居床面を掘り抜く、炉・カマド・焼土等火所は未検出, 東辺は1・3号住居と平行している

ことから同時期の可能性ありか?

遺 物: 浮いて出土, 遺物図掲載なし

時 期: 重慶関係から平安以降



第215図 3区1号竪穴遺構, 2・13号住居跡

三ツ寺II 3区1号独立柱建物跡 (第216図, 図版160)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

平面形 長方形, 規模 2間×2間, 長軸方位 N1度E				規 模				
桁行 cm	梁行 cm	: 桁柱間	: 梁柱間	番号	上ノ心 長径×短径	下ノ心 長径×短径	深さcm	備 考
1-3: 217	1-7: 191	1-2: 128	1-8: 97	1	32	14	20	
8-7: 255	2-6: 203	2-3: 91	8-7: 98	2	32×29	14×13	22	
7-5: 237	3-5: 204	5-6: 107	3-4: 97	3	46×42	13	23	二段
		6-7: 130	4-5: 108	4	44×41	28×26	7	
				5	51×47	9	43	二段
				6	38	14	34	
				7	47×42	18	41	二段
				8	54×48	27×23	36	

※計測値は、各断面から起こした数値で、柱穴間の距離は下ノ心で計測した。

その他 (状況の記録)

確 認 面: 茶褐色土, 5層, 検出位置: K~Lライン・620m付近

重 複 関 係: 5 0 住→1 掘, 覆 土: -

柱 穴: 側柱のみ確認, 中央未検出

そ の 他: 長軸方位は4-8を下ノ心で結ぶ線の方位, 3・5・7は二段に掘り込み

遺 物: 土師器小片出土, 掲載遺物なし

時 期: 平安?

三ツ寺II 3区1号ピット群 (第121図, 図版160)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

状況の記録

確 認 面: 暗褐色土, 5層下位, 検出位置: P~Qライン・680m付近

覆 土: -

そ の 他: 部分検出のため柱通り不明確, 径25~60・深さ12~19

遺 物: 掲載遺物なし

時 期: 古墳?

三ツ寺II 3区2号ピット群 (第121図, 図版99)

計測値単位cm, - : 計測不可・不明

状況の記録

確 認 面: 黄褐色土, 8層, 検出位置: J~Oライン・695~700m付近

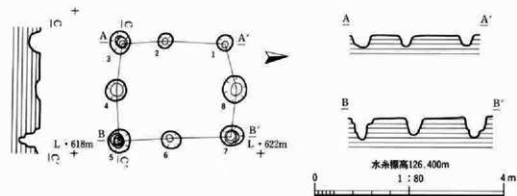
覆 土: 黒色土

そ の 他: 3区から4区のMライン・700m付近を中心にして縄文時代住居跡・ピット・土坑が分布,

ピット群は調査区中央部から西側に広がる, 4区の遺構を含めて別途報告する (資料編2参照)

遺 物: 掲載遺物なし

時 期: 縄文?



第216図 3区1号独立柱建物跡

三ツ寺II 3区 井戸 (第218・279区, 図版165)

3区では8基の井戸を検出した。そのうち1～3号は本線敷きの第一次調査、4～8号は東側道の第二次調査で検出したものである。1号井戸は西側調査区壁直下で検出し、30・31号住居を切って掘り込まれていた。古墳～奈良時代に所属する可能性が高い。8号井戸は東側道の調査で検出したもので、近接した南北に6・7号井戸が存在し、6・9号住居を切っていた。掘り込みは袋状を呈し、6・7号とはやや異なる状態である。その東側には浅い掘り込みがみられる。井戸であるかどうか、やや疑問が残る。3～7号井戸の覆土上層にはすべて浅間B軽石が混じり、平安時代以降に掘り込まれたことが窺える。

遺物は顕著なものがなく、わずかに5号井戸出土の土師器杯、0663の軟質陶器鉢が同載できる。その他の遺物は古墳時代～平安時代に属する流れ込みとみられる。

以下、表で各井戸の状況・計測値を示す。

三ツ寺II 3区井戸一覧表

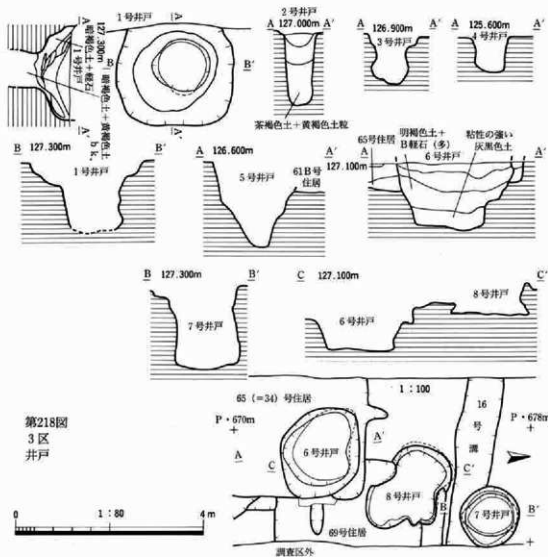
bk.: block, 計測値単位cm, -: 計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
1	暗褐色土	I～J・ 658m	30・31住 →1井	250×200以上 ・150以上	暗褐色系の 土、軽石含む		小片のみ、 覆土から須恵 器蓋・羽釜、 古墳～奈良の 破片多い	古墳?	
2	暗褐色土	N～O・ 660m	10住→2井	径90・150	茶褐色土		なし	平安?	
3	暗褐色土	L・ 654m	-	径110・110	浅間B軽石 を含む	内部から石出 土	小片のみ、 羽釜破片・ 高杯破片	平安～中世	深さほぼ B軽石 混入の土
4	暗褐色土	P・ 617m 東側道	59B住→4井	径82・72	浅間B軽石 を含む		なし	平安～中世	



第217図 3区1号井戸土層断面(南から)

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
5	暗褐色土	P・644m 東側道	61B住→5井	径200×120	浅間B軽石を含む	すり鉢状の掘り込み	0662・0663 古壇壘・石臼	平安～中世	
6	暗褐色土	P～Q・672m 東側道	65(=34)住 →6井	230×210・140	明褐色土、浅間B軽石を多量に含む	すり鉢状、底面平坦	短脚高杯脚部・横紋杯・須恵器瓶	平安～中世	
7	暗褐色土	Q・677m 東側道	16溝→7井	径150・170	浅間B軽石を含む	円筒状	なし	平安～中世	
8	暗褐色土	P～Q・675m 東側道	69住→8井	260×150・60	—	袋状	なし	不明	



3区では16本の溝番号が付けられたが、そのうち8・9・10号は欠番、16号は2号と同じであり、12本を抽出したことになる。1～13号は本線敷きの一次調査、14・15号東側道の二次調査で抽出したものである。

1号溝は3区南端から4区との境付近まで、路線中軸線にほぼ沿って南北に走る溝である。北端では直角に東側へ曲がり、調査区東側壁にほぼ直交し、南端付近でも同様に東側へ曲がりつつあることを確認している。したがって、本溝は南北20m前後の方形または長方形の溝ということになる。

溝の断面は略V字形で、底面近くに段があり、そこからさらにV字形に掘り込まれ、底には平坦面がある。いわゆる薬研面である。覆土上位は暗褐色～茶褐色系の土で、最上位はやや粒子が粗く、一部浅間B軽石を含んでいる。黄褐色土(ローム)ブロックや黒褐色土ブロックを含むところもある。断面中央部下層には灰褐色系の土があり、オレンジ色の斑点がみられる。灰褐色系の土の中には、所々に砂が混じり、水のあったことを窺わせる。

底面には幅40～50cmの平坦面をもつ。底面の高さは北側が高く、南側が低い状態を検出している。調査時点の排水はすべて南側へ流れ、南端で排水している。しかし、本溝が使われていた頃に、水の流れがあったかどうかは不明である。本溝のキロ程674m付近から南側では、西岸に平坦面がみられる。南岸に盛り土があったかどうかは確認できなかった。

出土遺物は古墳時代～中世にわたるが全体に少なく、溝検出面・軽石の混入状況からみて、中世に属する溝と考えられる。古墳時代の遺物には鬼高期の土師細杯・須土器壺等があり、平安時代の遺物には灰釉陶器がある。本溝はこれらの時代の遺物を破壊して掘削されているので、周辺遺構からの流れ込みとみられる。中世の遺物には軟質陶器、五輪塔、青磁などがある。すべて覆土からの出土品である。

2号溝は1号溝によって中央部を切られている。1号溝を境として東西の部分に分けられ、東側部と西側部とは上面の形状が異なる。しかし、覆土最上層の土は黄褐色系の土で共通しており、かつ溝の北行きもほぼ一致するので、同一の溝とみられる。さらに、東側道(第二次)の調査では、その延長線上に16号溝を検出し、西側部と同様の形状を呈していることから、16号溝も同一の溝の一部とみられる。16号溝は東端で7号井戸と重複し、16溝→7井戸の順に新しい。両者とも覆土最上層に浅間B軽石を含んでいる。溝の断面は平坦形を呈し、底面の高さは西側が高く、次第に低くなって、東側道部が最も低い。両端の比高差は67cmである。

3・4・5号溝はキロ程666m付近の1号溝東側にある。3号溝は11号住居を切り、11号住居の貯蔵穴上部を破壊して掘削されている。12号住居も切る。覆土は上層に浅間B軽石を含む。

4号溝は3号溝に平行し、接して掘り込まれている。東端は丸みをもって停まり、東側調査区内で終了する。4号溝の南辺は不整形である。

5号溝は9・10号土坑に切られている。5溝→10土坑→9土坑の順に新しい。5号溝は東側がやや低く、西側が高い。1号溝を越えた西側では検出できず、東側道(第二次)調査でも確認していない。

3・4・5号溝はいずれも東西方向に走り、ほぼ平行する。

6・7号溝は1号溝の西側約3m付近を南北方向に走る溝で、両者とも暗茶褐色系の土に浅間C軽石が混じる。確認面が暗褐色土(5層下位)であり、古墳時代住居と同一検出面である。

7号溝は直上に50号住居床面があり、7溝→50住居の順に新しい。7号溝は50号住居北端でおさまリ、以北へは延びない。

6号溝は50号住居北端付近から7号溝とほぼ同様の幅で同方向に走るが、7号溝に比べて約30cmほど底面が高い。両者は別の溝とみられるが、あえて段をつけたこともありうるだろう。ここでは別番号で考えておく。

11・12・13号溝は3区55号住居の上で確認した。56号住居覆土中位には浅間C軽石が埋積し、55号住居はそれを切って作られ、さらに11号溝は52号住居によって切られている。従って、56号住居→55号住居→11(・12・13)溝→52号住居の順に新しい。3本の溝を埋めている土は淡白褐色土と色付けされており、FAが埋積したものとみられるが、二次埋積のものかもしれない。両辺の遺構の切り合い関係・火山灰等の前後関係は矛盾しない。

3本の溝は平行しており、形状・規模・検出面は2区で検出した溝とよく似ていることから、これらも島の可能性が高い。

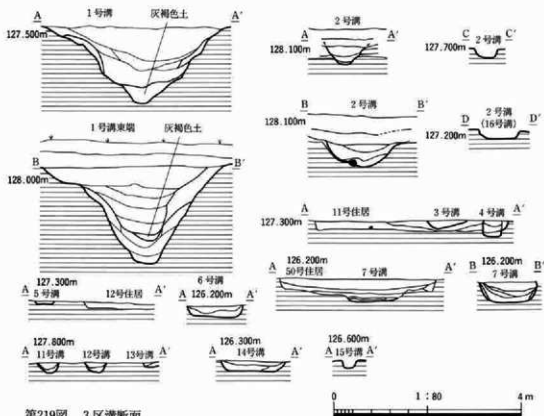
14号溝は東側道(二次)調査で検出した溝で、42号住居と重複し、本溝の方が新しい。東西方向の溝であるが、その南岸は途中から42号住居の東辺に沿ってほぼ直角に曲がり、42号住居のカマド付近で不明となる。北岸は42号住居の北辺の1mほど北側をほぼ平行して西へ延び、調査区外となる。42号住居北側と東側とは、深さがほぼ同じであるため、分流していたかもしれない。本線敷き(一次)調査では検出していない。覆土に砂を多量含み、水が混れたことを窺わせる。浅間B軽石を含まない。

15号溝は61B号住居の北側3mのところを61B号住居の北辺とほぼ平行して東西に走る溝である。東側道(二次)調査で検出した。覆土は浅間C軽石じりの黒色土で、検出面からみて古墳時代以前のものとみられる。

三ツ寺II 3区溝一覧表

- : 計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	長さ・幅・深さ m・cm・cm	覆 土	そ の 他	遺 物	時 期	備 考
1	2層直下	M~Q・ 615~635m	周辺遺構より 新	80・9.5・250~ 390・165~205	褐色系の土 上位に浅間 B軽石含む	南北方向	軟質陶器・ 五輪塔・青磁	中世 室町?	一次調査
2 (16)	2層直下	I~Q・ 675~678m	2溝→1溝	23.2・50~180・ 18~48	黄褐色系の 土、上位に 浅間B軽石 含む	東西方向	須原器蓋・ 土師器模倣杯 等、流れ込み	中世以降	一次調査
3	褐色系の 土、5層 上位	N・ 664m	11・12 住→3溝→1 溝	4.6・98・10前後	上位に浅間 B軽石含む	東西方向	土製動物像	中世?	一次調査
4	褐色系の 土、5層 上位	N・ 663m	4溝→1溝	2.7・50~63・11~24	上位に浅間 B軽石含む	東西方向	土器小片のみ	平安~中世	一次調査
5	褐色系の 土、5層 上位	N~O・ 668m	5溝→10 坑→9坑	5.2・33~45・5~ 13	浅間B軽石 含む	東西方向	土器小片のみ	平安~中世	一次調査
6	暗褐色系 の土、5 層下位	L・ 621~626m	6溝→50 住、6溝 →14住	4.7・115~130・ 9~25	浅間C軽石 含む	南北方向	0431・土器 121片	古墳	一次調査



第219図 3区溝断面

番号	確認面	検出位置	重複関係	長さ・幅・深さ m・cm・cm	覆土	その他	遺物	時期	備考
7	暗褐色系の土、5層下位	L・617～621m	7溝→50住	7・125～140・33～42	浅間C軽石含む	南北方向	0669(管玉)	古墳	一次調査
8	欠番								
9	欠番								
10	欠番								
11	暗褐色系の土、5層下位	I～J・696～700m	55住→11溝→52住	3.1・52・5	FA含む	南北方向	土器小片のみ	古墳	一次調査
12	暗褐色系の土、5層下位	I～J・696～700m	55住→12溝	3.5・53・20前後	FA含む	南北方向	土器小片のみ	古墳	一次調査
13	暗褐色系の土、5層下位	I～J・696～700m	55住→13溝	1.9・40・7前後	FA含む	南北方向	土器小片のみ	古墳	一次調査
14	暗褐色系の土、5層下位	O～Q・631～634m	42住→14溝	4.5・150・30前後	砂を多く含む	東西方向	0424(小皿)	中世?	二次調査
15	暗褐色系の土、5層下位	O～Q・647m	—	4.5・20～32・15前後	浅間C軽石を含む黒色土	東西方向	—	古墳	二次調査
16	暗褐色系の土、5層下位	P～Q・675～677m	16溝→7井戸	4.5・90～100・20前後	浅間B軽石含む	東西方向 2号溝と同じ	小片のみ	中世?	二次調査

三ツ寺II 3区 土坑 (第220・279図, 図版165・476)

3区では計29基の土坑を検出した。調査が二次にわたり、一次調査では2基で調査しているため、番号の途中に欠番が生じている。1～14号土坑は西側の班、21～32号土坑は東側の班がそれぞれ調査し、40～42号土坑は東側道(二次)調査分である。この結果、15～20号・33～39号が欠番となっている。

1号土坑は長楕円形を呈するが、出土遺物は土器小片のみである。墓の可能性がある。2・3号土坑は人骨が出土し、明らかに墓である。副葬品として古銭・土師製の土器等がある。4～14号土坑は古墳時代～中世とみられるが、出土遺物が少なく、時期幅が長い。

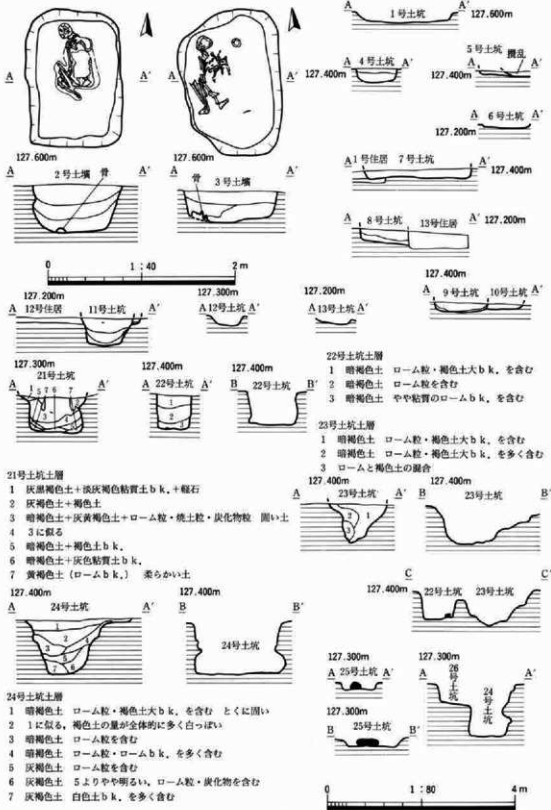
21～32号土坑は25・29・30号を除き、縄文時代の土坑とみられ、黄褐色土(ローム)面で検出している。東側道分の3基では41号土坑が古墳時代に属するとみられ、他の2基は中世に下る。

21～32号の縄文土坑周辺には縄文時代住居・ピット群があり、これらは4区の土坑・ピット群と一連の遺構と考えられるため、「資料編2」4区土坑(522頁)の項で概要を報告する。

三ツ寺II 3区土坑一覧表

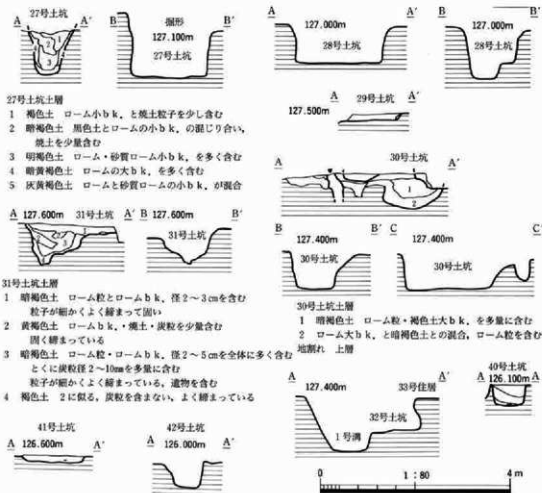
bk: block, 計測値単位cm, -: 計測不可・不明

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆 土	そ の 他	遺 物	時 期	備 考
1	黄褐色土 5層上位	K・ 684	5 1 住→ 1 坑	210×63・18	黄褐色系の 土+黒色土 bk,	楕円形	小片のみ	中世以降	一次調査
2	黄褐色土 5層上位	K・ 671	2 2 住→ 2 坑	146×105・50	黄褐色系の 土+軽石	墓, 長方形	人骨・古銭・ 0674	中世	一次調査
3	黄褐色土 5層上位	J~K・ 669	2 2 住→ 3 坑	158×110・33	茶褐色系の 土	墓, 不整形	人骨・古銭・ 土器, 0664・0665 0675・0676 0677・0678 0679・0680	中世	一次調査
4	黄褐色土 5層上位	K~L・ 668	2 2 住→ 4 坑	90・28	褐色系の土 +軽石	円形	小片のみ	古墳~中世?	一次調査
5	黄褐色土 5層上位	K~L・ 667	2 1 住→ 5 坑	135×120・14	黒褐色系の 土+軽石	不整形	小片のみ	古墳~中世?	一次調査
6	黄褐色土 5層上位	J・ 666	3 0 住→ 6 坑	115×105・10	褐色系の土 +軽石	円形	小片のみ	古墳~中世?	一次調査
7	黄褐色土 5層上位	K・ 664	1 住→7 坑	250×120・16	褐色系の土 (砂質)	不整形	高台付椀	平安	一次調査
8	褐色土 5層	L・ 660	8 坑→ 1 3 住	130以上×87・6	茶褐色系の 土+B軽石	長方形?	なし	平安?	一次調査
9	褐色土 5層	N・ 669	5 溝→1 0 坑→9 坑	138×110・19	黄褐色系の 土+B軽石	楕円形	小片のみ	古墳~平安?	一次調査
10	褐色土 5層	N・ 669	5 溝→1 0 坑→9 坑	105×-・11	黄褐色系の 土+B軽石	不整形	小片のみ	古墳~平安?	一次調査
11	褐色土 5層	N~O・ 666	1 2 住→ 1 1 坑	104・54	茶褐色系の 土+B軽石	円形	0666	平安	一次調査
12	褐色土 5層	L・ 666	-	70・18	-	円形	なし	平安?	一次調査
13	褐色土 5層	L~M・ 664	-	73・10	-	円形	なし	平安?	一次調査
14	褐色土 5層	L~M・ 661	-	83×64・5	-	楕円形	小片のみ	古墳~平安?	一次調査
15~20	欠番								



第220図 3区土坑断面(1)

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
2 1	黄褐色土 8層	L~M・ 686	2 1坑→ 5 1住	113×115・60	暗褐色系の 土	楕円形 袋状	1392・1393 1394・1395 1396・1397	縄文	一次調査
2 2	黄褐色土 8層	J・ 691	-	110×78・68	暗褐色系の 土	不整形	1398・1399 1400・1401 1402・1403 1404	縄文 石4個	一次調査
2 3	黄褐色土 8層	I~J・ 690	-	210×120・82	暗褐色系の 土	不整形	なし	縄文	一次調査
2 4	黄褐色土 8層	J~K・ 692	-	185×95・101	暗褐色系の 土	楕円形 袋状	なし	縄文	一次調査
2 5	黄褐色土 8層	I~J・ 692	-	125×80・20	暗褐色系の 土	楕円形	鉄滓・石	古墳~平安?	一次調査
2 6	黄褐色土 8層	J~K・ 692	-	103×75・42	-	不整形	なし	縄文	一次調査



第221図 3区土坑 断面(2)

番号	確認面	検出位置	重複関係	大きさ・深さ	覆土	その他	遺物	時期	備考
27	黄褐色土 8層	I~J・ 687	27坑→ 29住	188×100・138	暗褐色系の 土	楕円形	なし	縄文	一次調査
28	黄褐色土 8層	J・ 678	28坑→ 26住	220×130・65	—	不整形	1405・1406 1407	縄文	一次調査
29	暗褐色土 5層下位	L~M・ 681	29坑→ 32住	210・18	黒色土+C 軽石	不整形	なし	弥生~古墳	一次調査
30	黄褐色土 8層	M~N・ 699	30坑→ 54住	215×115・64	暗褐色系の 土	楕円形	小片のみ	古墳	一次調査
31	黄褐色土 8層	J・ 700	31坑→ 55住	70・42	暗褐色系の 土	円形	1408・1409 1410・1411 1412・1413 1414	縄文	一次調査
32	黄褐色土 8層	M・ 691	32坑→ 33住	88×85・62	—	不整形	なし	縄文	一次調査
33~39	欠番								
40	褐色土 5層下位	P~Q・ 623	—	72・42	黒褐色系の 土+B軽石	円形 一時に埋没	0667・0668	中世	二次調査 東側道
41	褐色土 5層下位	P~Q・ 663	66住→ 41坑	146×102・14	黒褐色系の 土+C軽石	長方形	小片のみ	古墳	二次調査 東側道
42	褐色土 5層	O~P・ 628	42・60 住→42坑	95・42	B軽石含む	円形	0425	中世	二次調査 東側道

出土遺物図

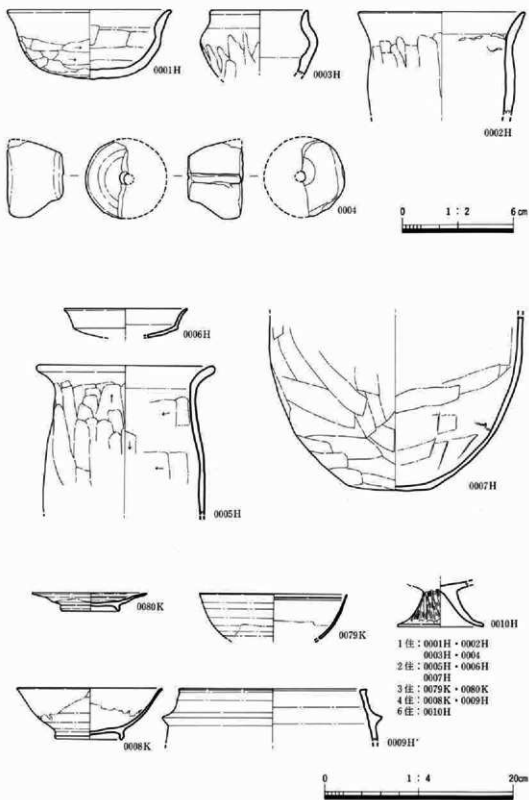
- 1 遺物の整理番号は4桁の通番とし、遺物に付したラベル・遺物出土状態写真中の遺物番号・実測図中の遺物番号・遺物計測値表中の遺物番号・写真図版編の遺物番号はすべて同じ遺物を指す。
- 2 整理作業の都合により、ひとつの遺構出土の遺物番号は、原則として連続しない。
- 3 遺物実測図は出土遺構優先で掲載しており、1→2→3区の順である。また、各区ごとに1号住居→2号住居→・・・の番号順に前詰めとし、ひとつの区ごとに住居→溝→土坑→遺構外出土遺物の順に掲載した。
- 4 遺物実測図中の番号末尾につけた英文字は、H=土師器、S=須恵器、H'=土師質土器、K=灰釉陶器を示す。
- 5 弥生～平安時代の土器類の縮小率は1/4、縄文土器1/3、金属製品・石製品は1/2、玉類は1/1を原則としたが、一部に原則から外れるものもある。それぞれスケールを付した。
- 6 実測図の表現は次の原則による。
 - ① 圓形を表現する線のうち、凸線線は実線、凹線線は1カ所破線で現す。
 - ② 文様は実線で表現する。
 - ③ 器面・器表の調整痕のうち、
 - ◇ケズリ系の調整は破線
 - ◇ミガキ系の調整は実線
 - ◇ナデ系の調整は一点鎖線
 - ◇ハケ系は実線
 - ◇工具・道具を使わない指頭系は点線で表現する。

遺物区 遺構別 目次

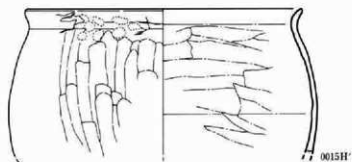
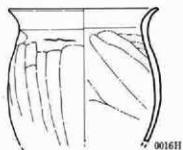
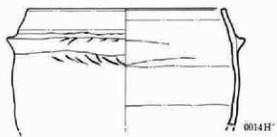
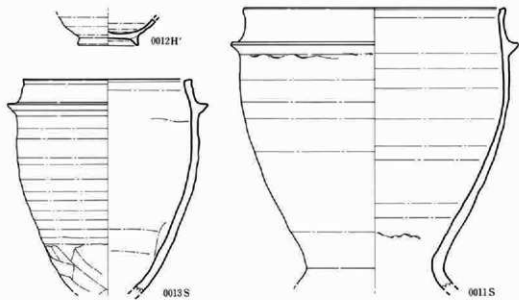
区	遺構番号	掲載頁
1	1住	221
	2住	221
	3住	221
	4住	221
	6住	221
	7住	222
	8住	222
	9住	222
	10住	223
	11住	223
	12住	223
	13住	223
	14住	224
	15住	225
	17住	227
	18住	228
	19住	228
	20住	229
	21住	229
	22住	231
	23住	231
	24住	232
	26住	232
	27住	232
	28住	232
	29住	233
	32住	233
34A住	233	
35住	233	
36住	233	
3溝	233	
2	2住	234
	3住	234
	4住	234
	6住	234
	7A住	235
	7C住	235
	8住	235
	9住	236
	10住	237
	11住	237
	12住	237
	14住	237
	15住	237
	16住	237
	17住	238
	18住	238
	19住	239
	21住	239
	23住	239
	24住	240
	25住	241
	26住	241
	27住	241

区	遺構番号	掲載頁	
2	28住	241	
	32住	242	
	33住	243	
	35住	244	
	37住	244	
	38住	245	
	39住	245	
	40住	245	
	41住	246	
	42住	246	
	43住	247	
	44住	248	
	47住	249	
	50住	249	
	51住	249	
	55住	249	
	56住	249	
	57住	250	
	58住	250	
	遺構外	250	
	3	1住	251
		2住	251
		3住	251
		5住	252
		6住	252
7住		253	
8住		253	
11住		253	
12住		253	
15住		254	
16住		254	
19住		254	
20住		255	
21住		255	
22住		255	
23住		256	
24住		256	
25住	256		
26住	256		
27住	257		
28住	258		
29住	260		
30住	260		
33住	260		
34住	261		
38住	261		
39住	262		
40住	263		
41住	263		
42住	264		
43住	264		
45住	264		
47住	265		
49住	265		

区	遺構番号	掲載頁
3	50住	265
	51住	266
	52住	267
	53住	268
	54住	269
	55住	270
	57住	271
	59A住	270
	58B・59B住	270
	60B住	270
	61A住	273
	61B住	273
	62住	273
	63住	274
	64住	274
	66住	274
	68住	276
	69住	276
	70住	276
	5井	278
	1溝	277
	6溝	277
	7溝	277
	14溝	277
	2墓	278
	3墓	278
	11坑	278
21坑	279	
22坑	279	
28坑	280	
31坑	280	
40坑	278	
42坑	278	



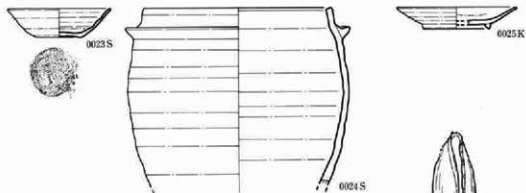
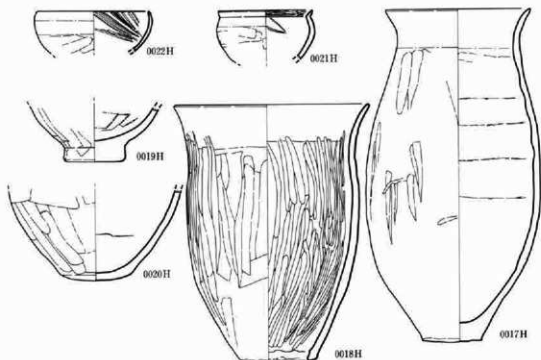
第222図 1区1・2・3・4・6号住居跡出土遺物



7住: 0011S・0012H'
 0013S
 8住: 0014H'・0015H'
 9住: 0016H'



第223図 1区7・8・9号住居跡出土遺物

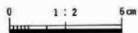
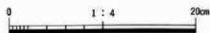


10住：0017H・0018H・0019H・0020H・0021H・0022H

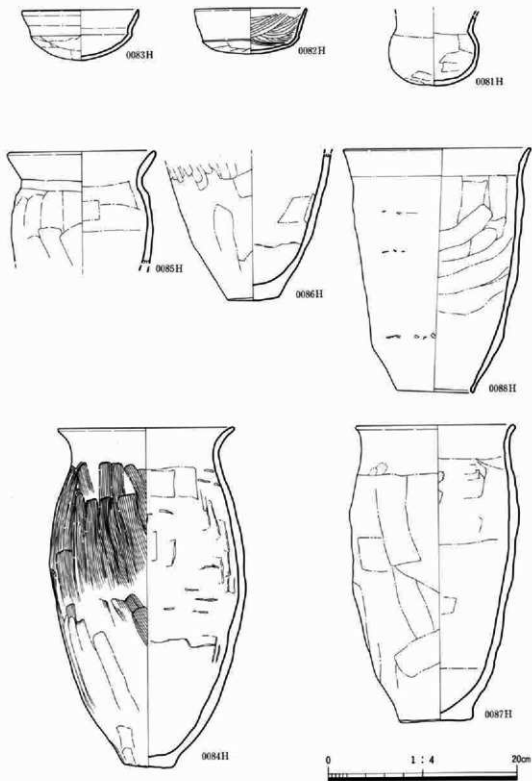
11住：0023S・0024S

12住：0025K

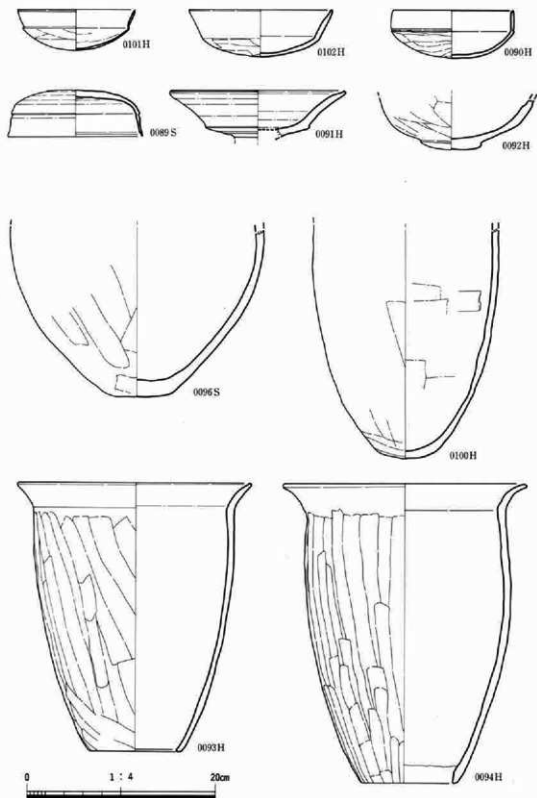
13住：0670



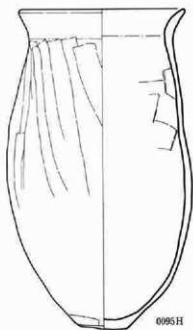
第224図 1区10・11・12・13号住居跡出土遺物



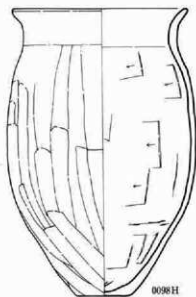
第225图 1区14号住居跡出土遺物



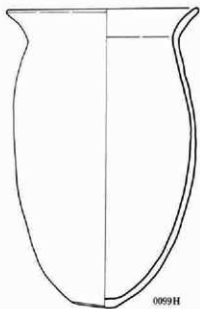
第226图 1区15号住居跡出土遺物(1)



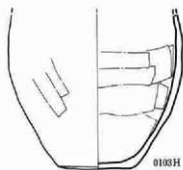
0095H



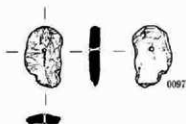
0098H



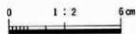
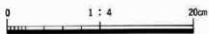
0099H



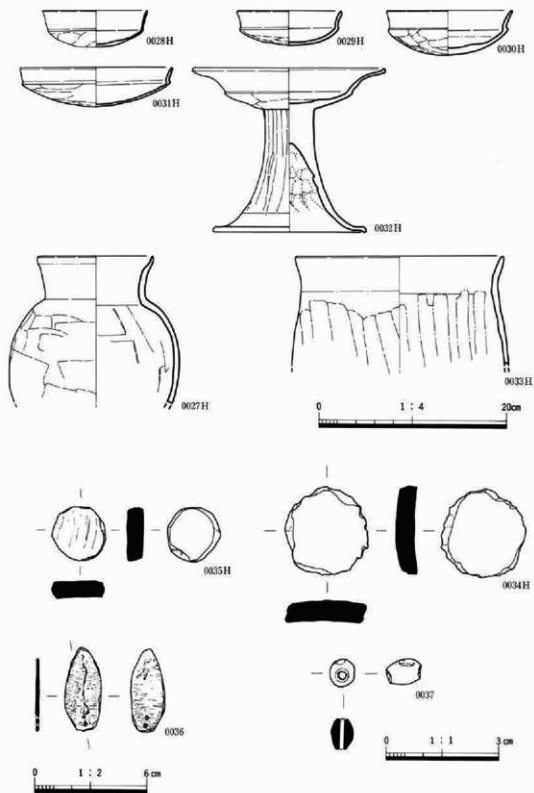
0103H



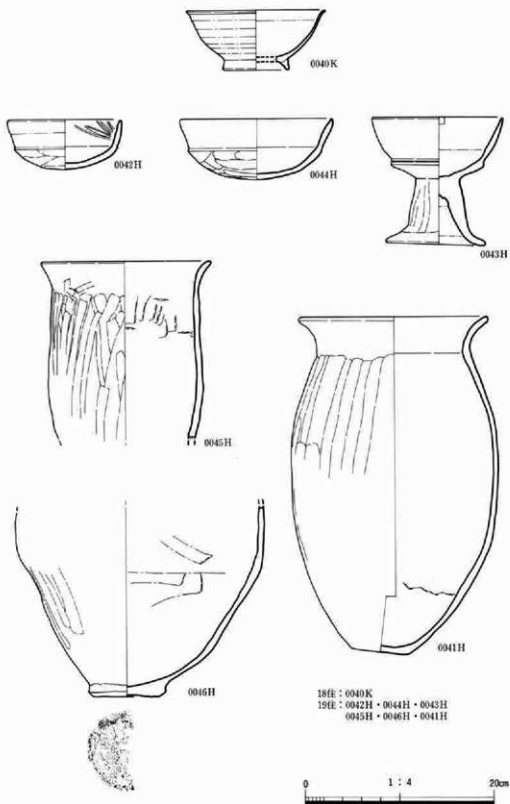
0097



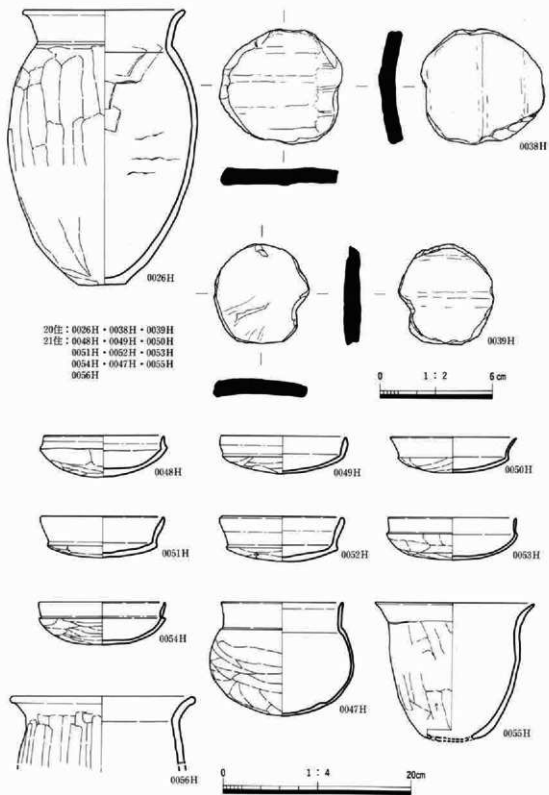
第227图 1区15号住居跡出土遺物(2)



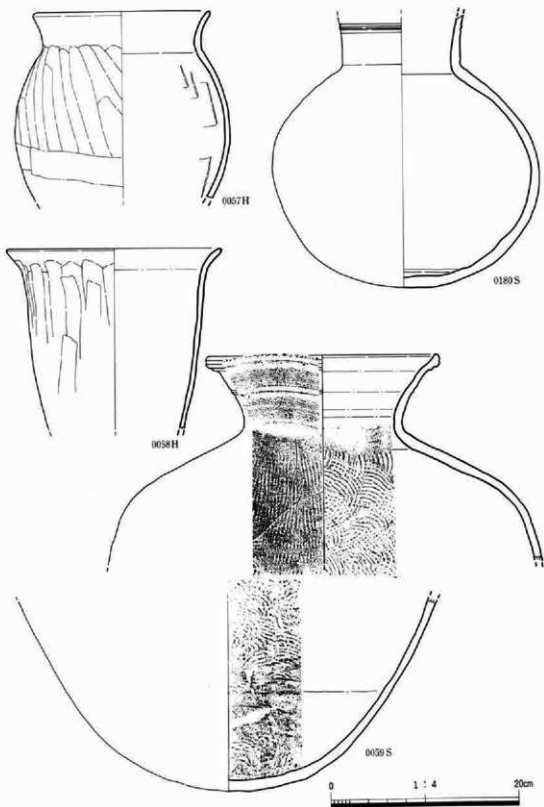
第228図 1区17号住居跡出土遺物



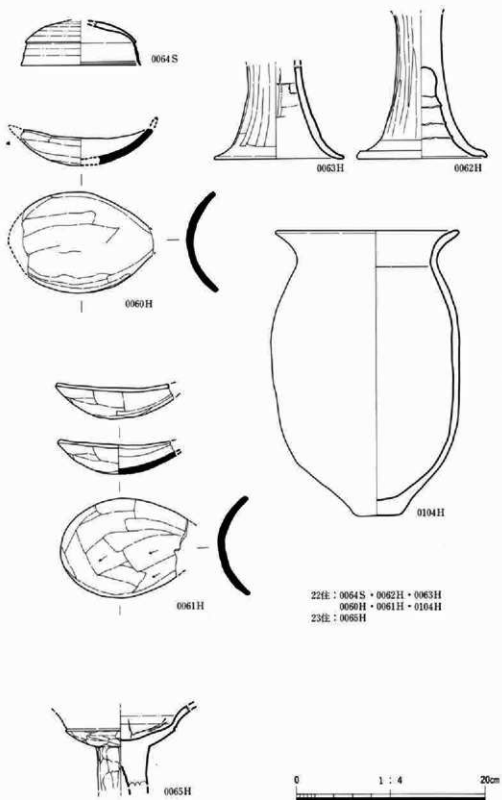
第229图 1区18·19号住居跡出土遺物



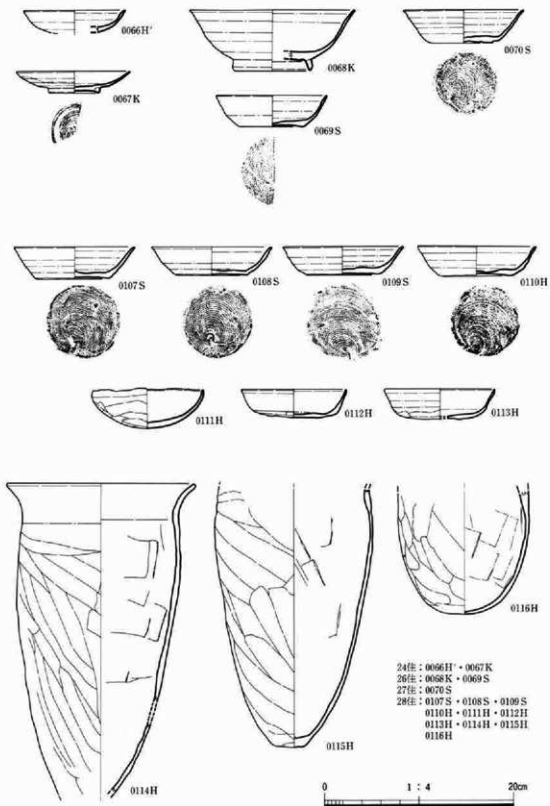
第230图 1区20·21号住居跡出土遺物



第231图 1区21号住居跡出土遺物

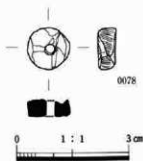
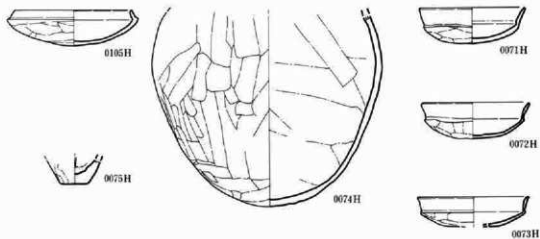


第232图 I区22・23号住居跡出土遺物



第233图 1区24・26・27・28号住居跡出土遺物

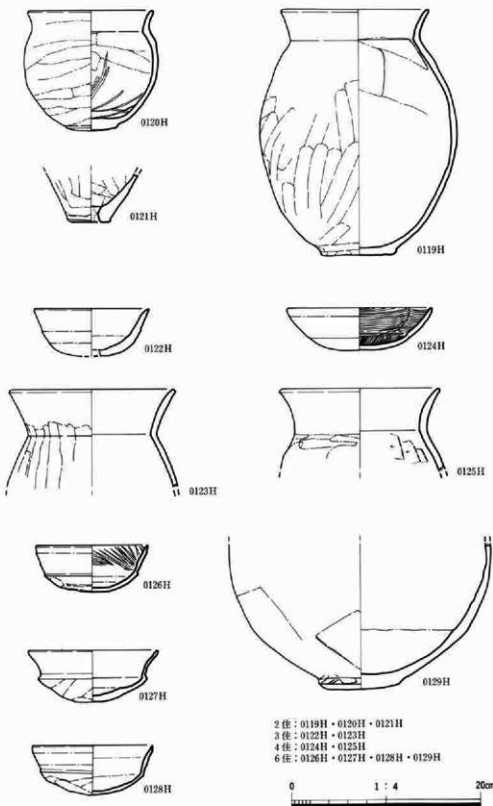
1区出土遺物



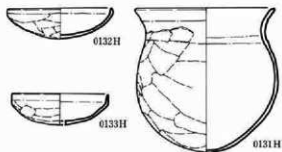
- 29住 : 0105H
 32住 : 0074H・0071H
 0072H・0073H
 34A住 : 0075H
 35住 : 0076H・0077H
 36住 : 0078
 3溝 : 0118H



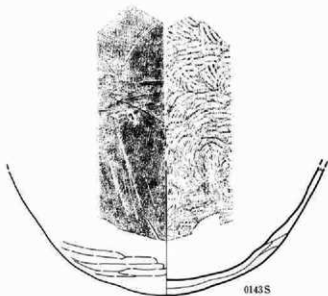
第234図 1区29・32・34A・35・36号住居跡、3号溝出土遺物



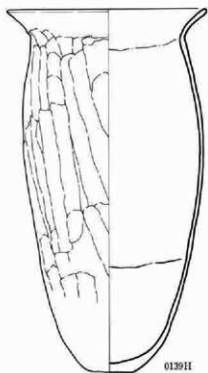
第235图 2区2・3・4・6号住居跡出土遺物



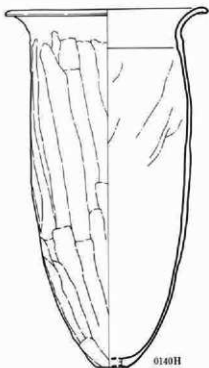
7 A住 : 0130H
 7 C住 : 0131H・0132H・0133H・0134H
 8住 : 0135H・0136H・0137H・0138H
 0142H・0143S



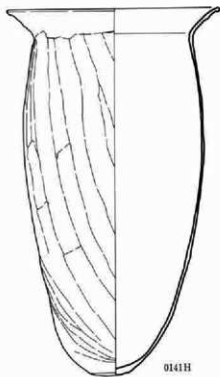
第236図 2区7A・7C・8号住居跡出土遺物



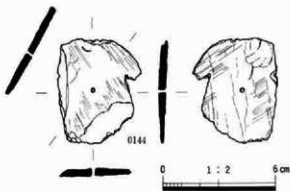
0139H



0140H

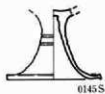


0141H



0144

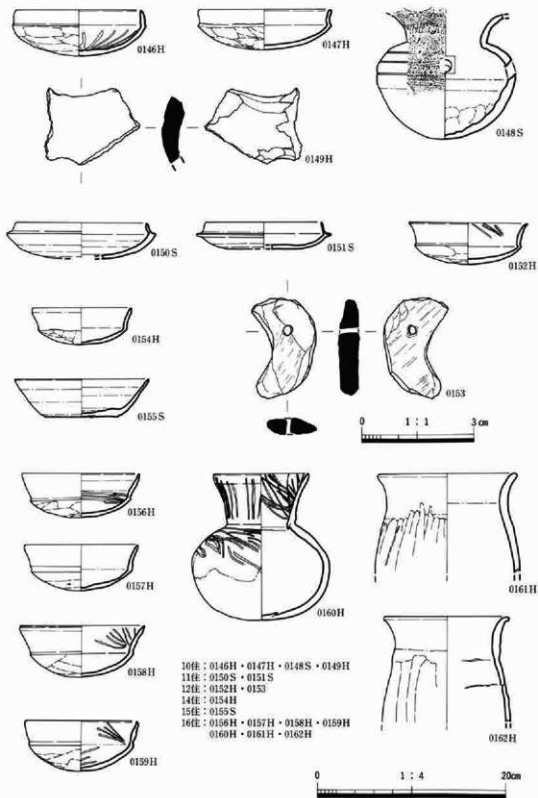
8住: 0139H・0140H
0141H・0144
9住: 0145S



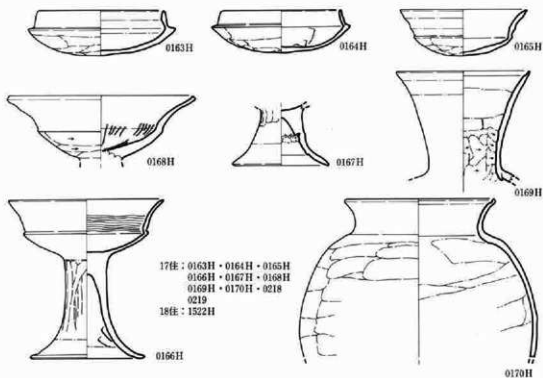
0145S



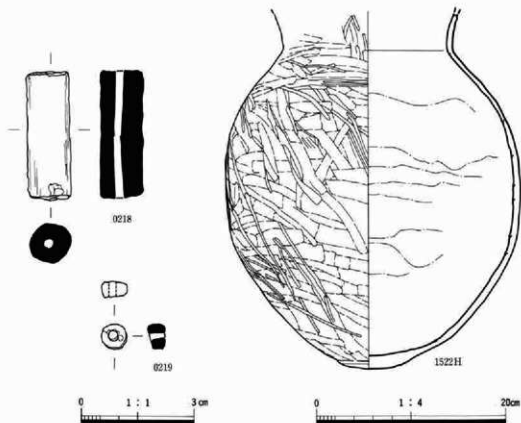
第237图 2区8・9号住居跡出土遺物



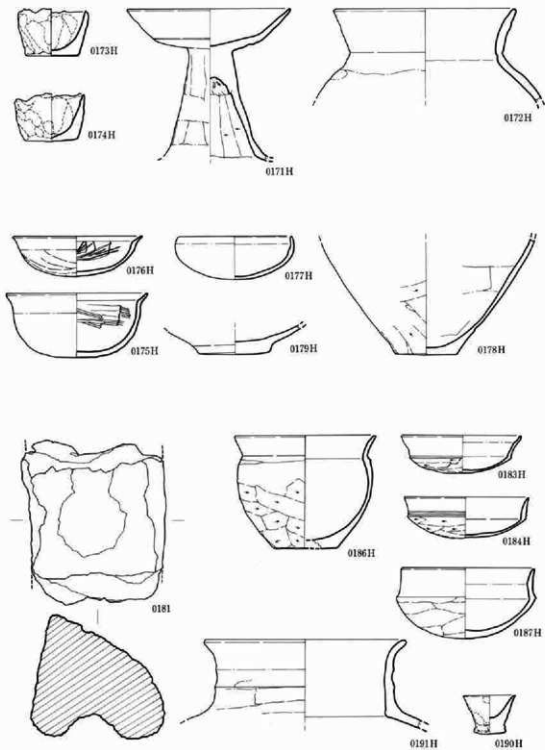
第238图 2区10・11・12・14・15・16号住居跡出土遺物



17住：0163H・0164H・0165H
 0166H・0167H・0168H
 0169H・0170H・0218
 0219
 18住：1522H



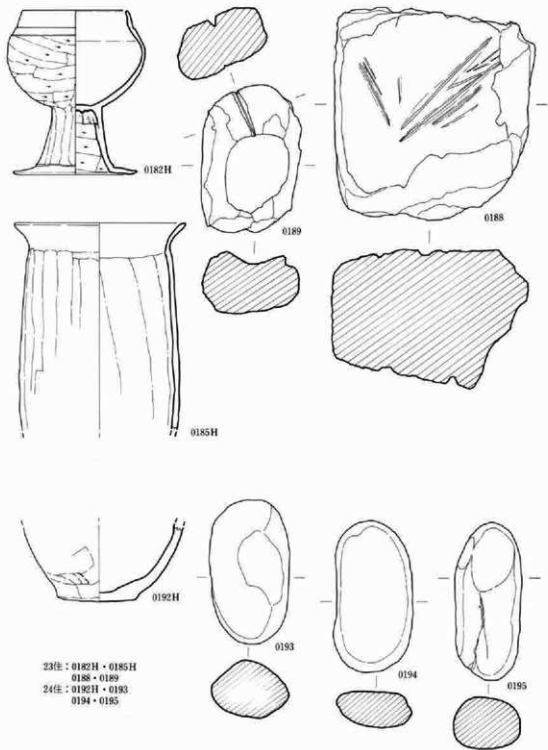
第239图 2区17・18号住居跡出土遺物



18住：0171H・0172H・0173H・0174H
 19住：0175H・0176H・0177H・0178H・0179H
 21住：0181
 23住：0183H・0184H・0186H・0187H・0190H・0191H

0 1 : 4 20cm

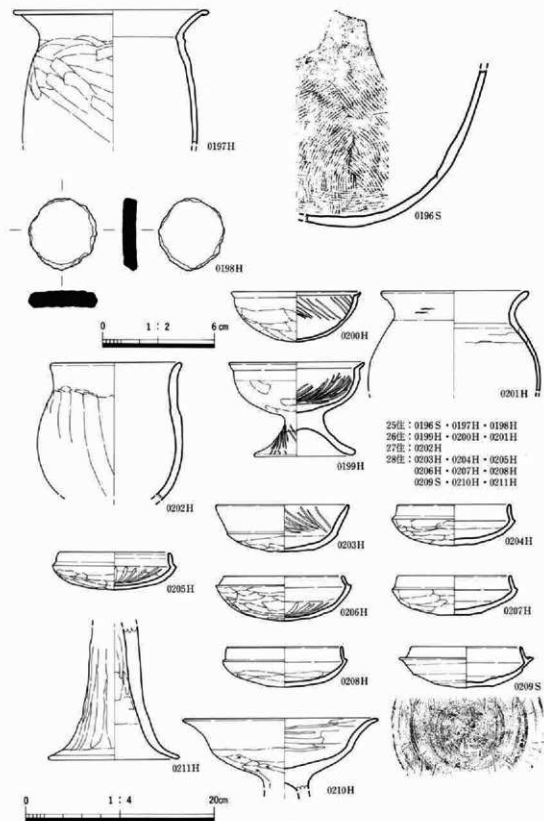
第240図 2区18・19・21・23号住居跡出土遺物



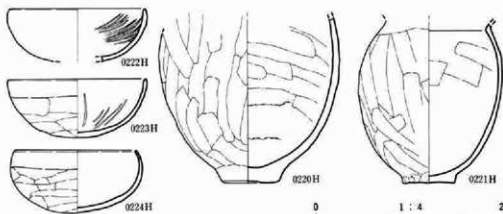
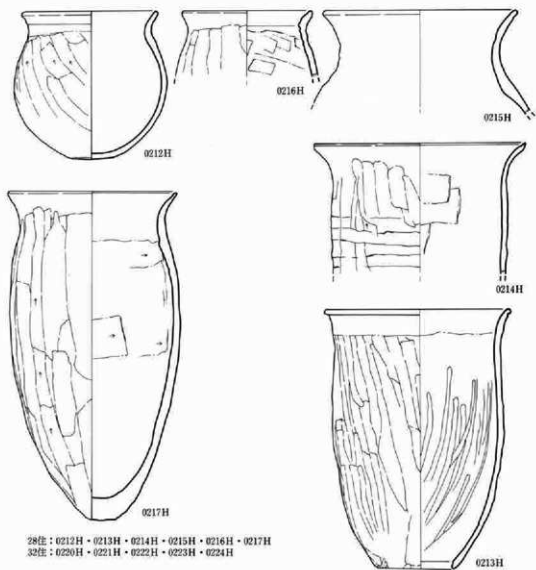
23住 : 0182H・0185H
 0188・0189
 24住 : 0192H・0193
 0194・0195

0 1 : 4 20cm

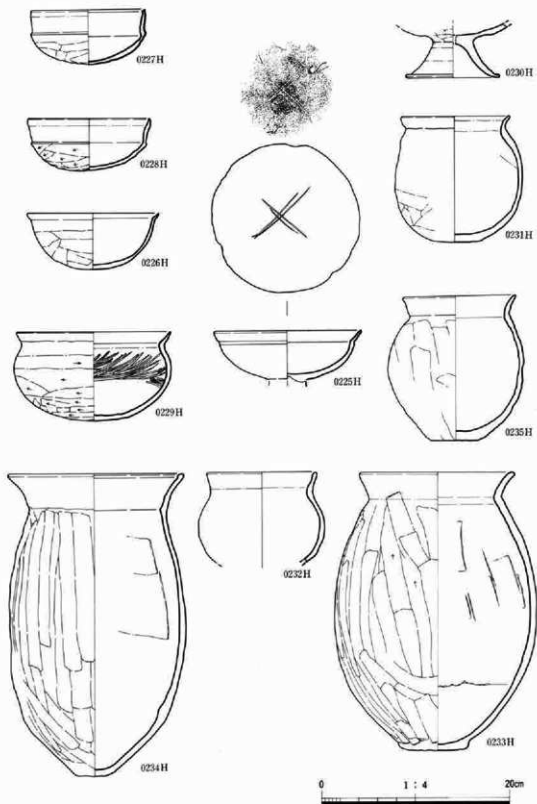
第241图 2区23・24号住居跡出土遺物



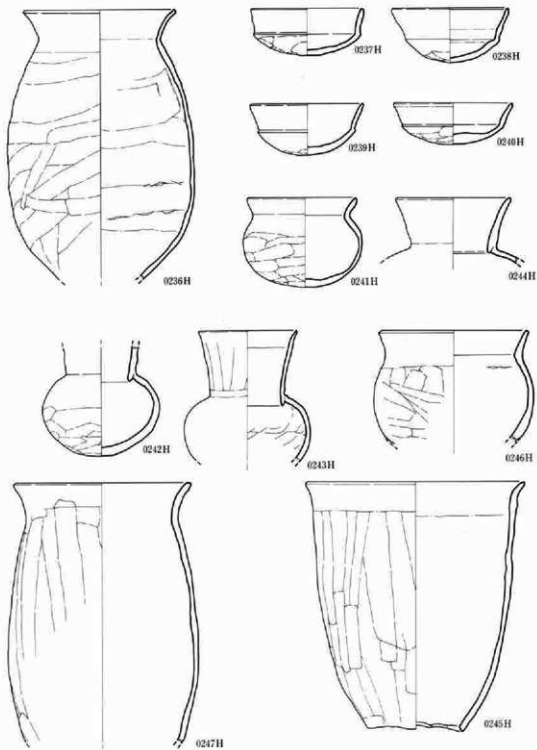
第242图 2区25·26·27·28号住居跡出土遺物



第243图 2区28・32号住居跡出土遺物



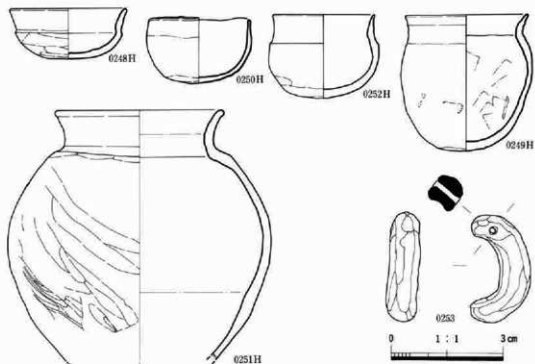
第244图 2区33号住居跡出土遺物



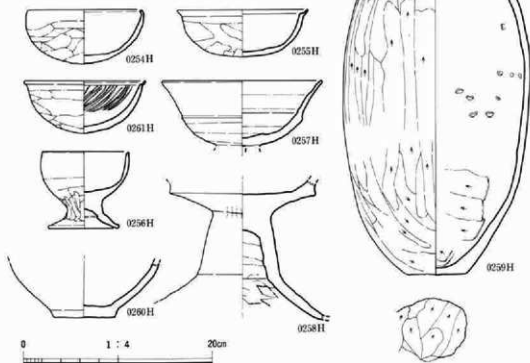
35住：0236H
 37住：0237H・0238H・0239H・0240H
 0241H・0242H・0243H・0244H
 0245H・0246H・0247H

0 1 : 4 20cm

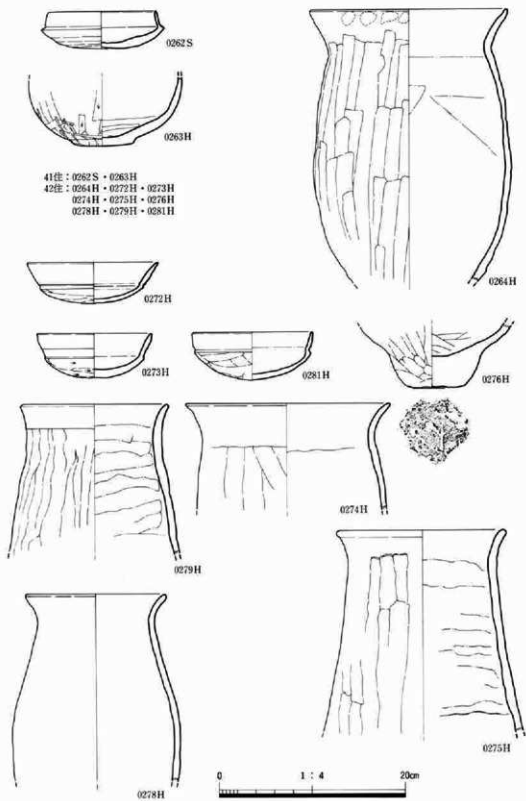
第245图 2区35・37号住居跡出土遺物



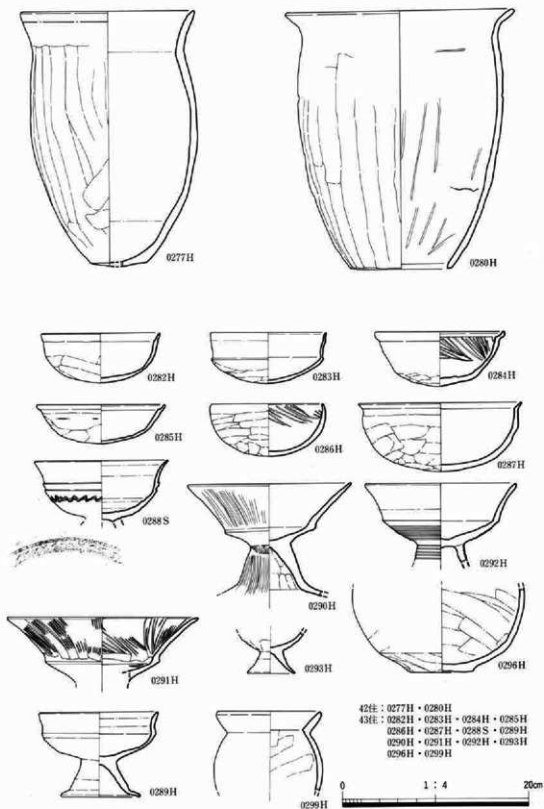
38住：0248H
 39住：0249H・0250H・0251H・0252H・0253
 40住：0254H・0255H・0256H・0257H・0258H
 0259H・0260H・0261H



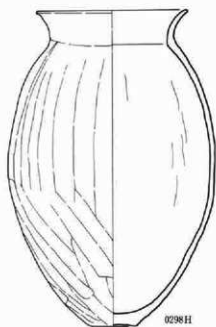
第246图 2区38・39・40号住居跡出土遗物



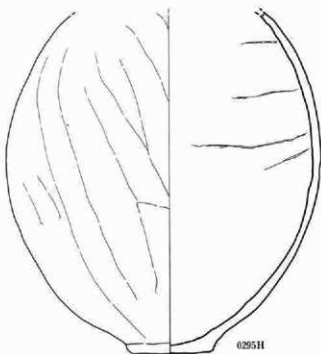
第247图 2区41・42号住居跡出土遺物



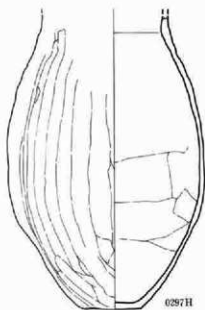
第248図 2区42・43号住居跡出土遺物



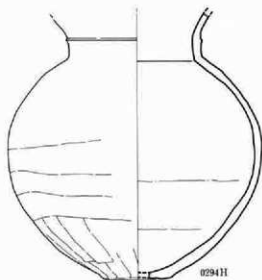
0298H



0295H



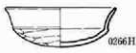
0297H



0294H



0265H



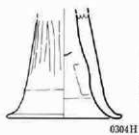
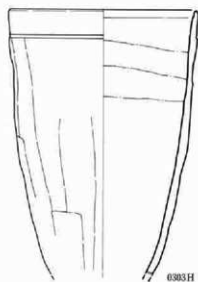
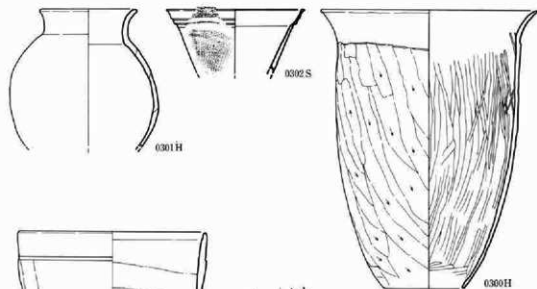
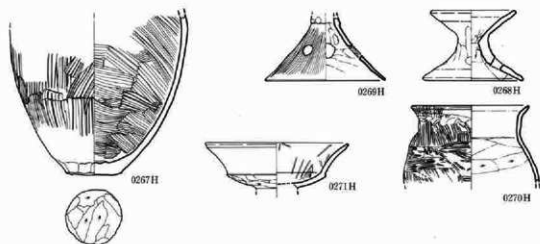
0266H

43住：0294H・0295H
0297H・0298H

44住：0265H・0266H



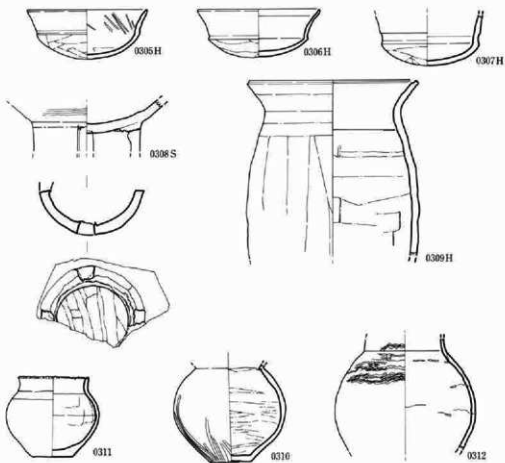
第249图 2区43・44号住居跡出土遺物



47住：0267H
 50住：0268H・0269H・0270H
 51住：0271H
 55住：0300H・0301H・0302S
 56住：0303H・0304H



第250図 2区47・50・51・55・56号住居跡出土遺物

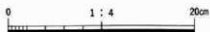
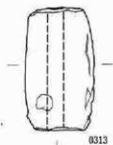


57住 : 0305H・0306H・0307H

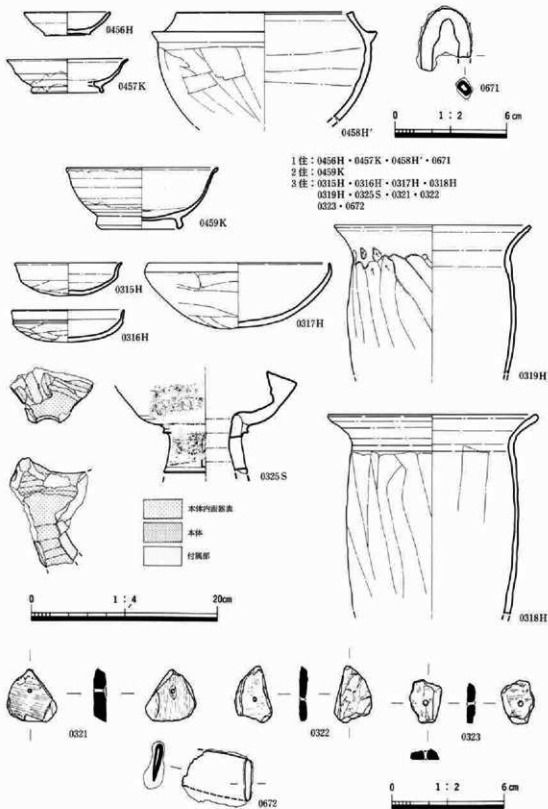
0308 S・0309H

58住 : 0310・0311・0312

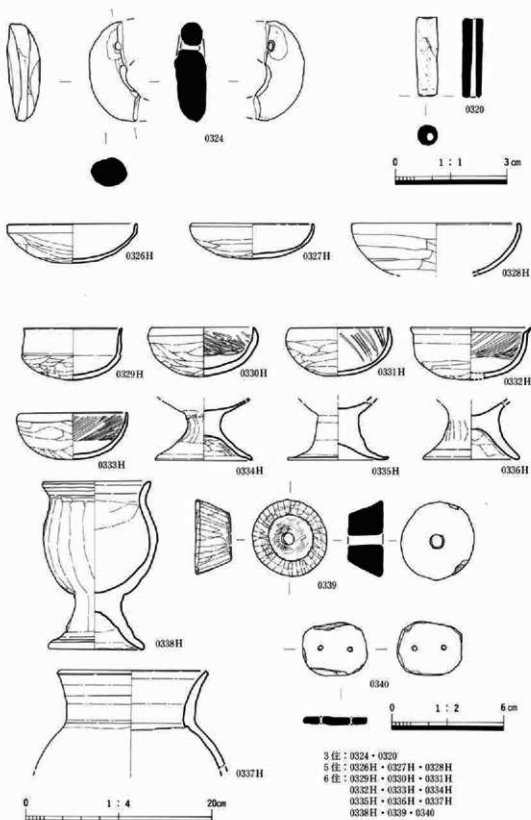
遺構外 : 0313・0314 S



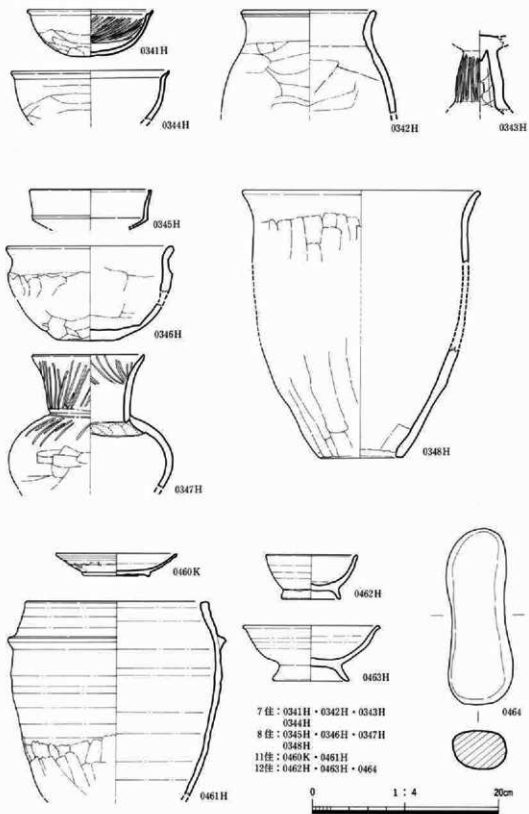
第251图 2区57・58号住居跡、遺構外出土遺物



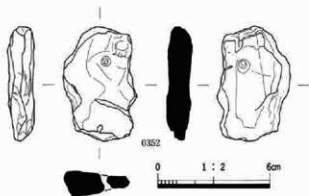
第252図 3区1・2・3号住居跡出土遺物



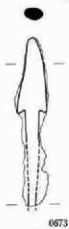
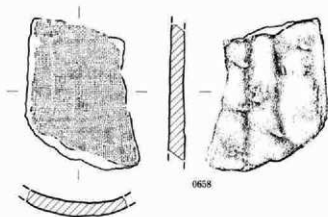
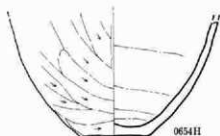
第253图 3区3·5·6号住居跡出土遺物



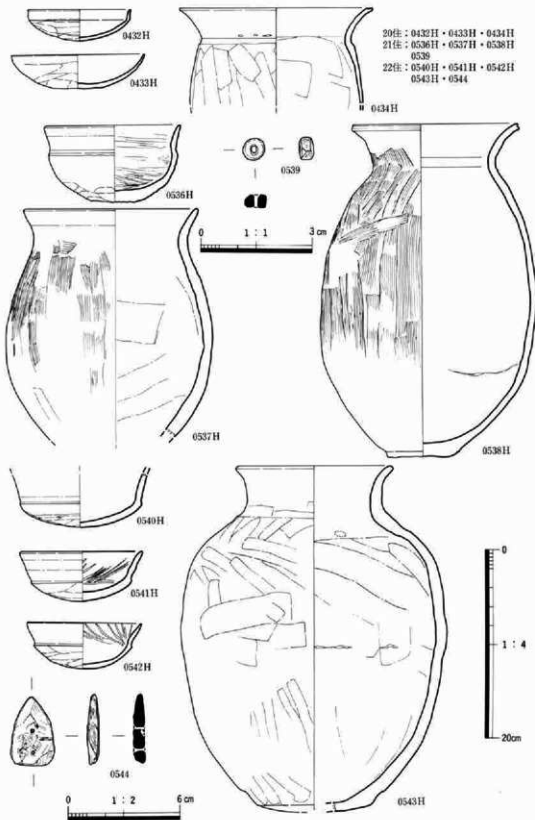
第254図 3区7・8・11・12住居跡出土遺物



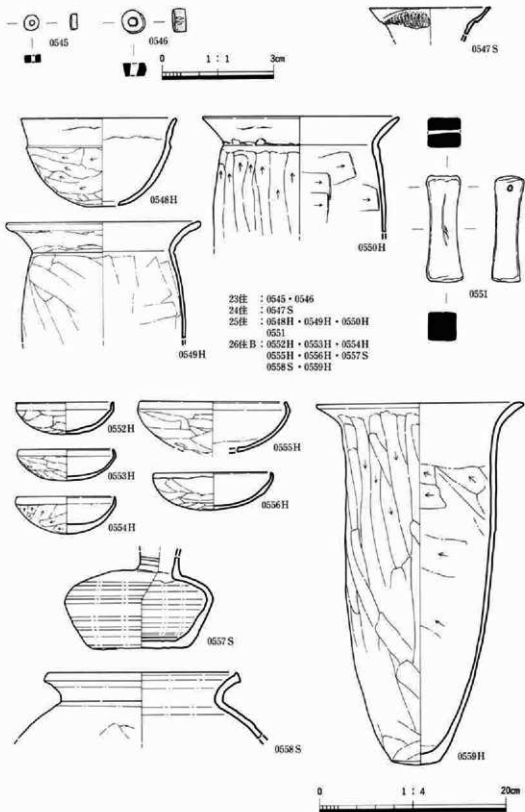
15住: 0349S・0350H・0351H
0352
16住: 0353H
19住: 0655H・0657H・0654H
0656H・0658・0673



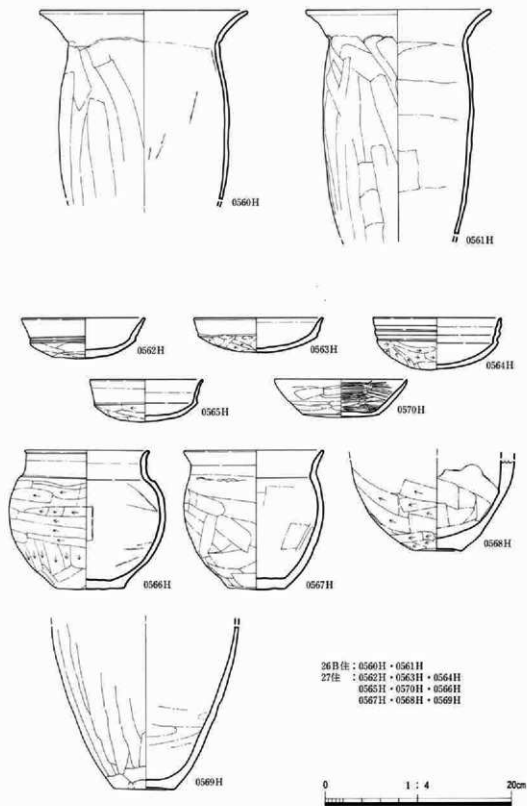
第255图 3区15・16・19号住居跡出土遺物



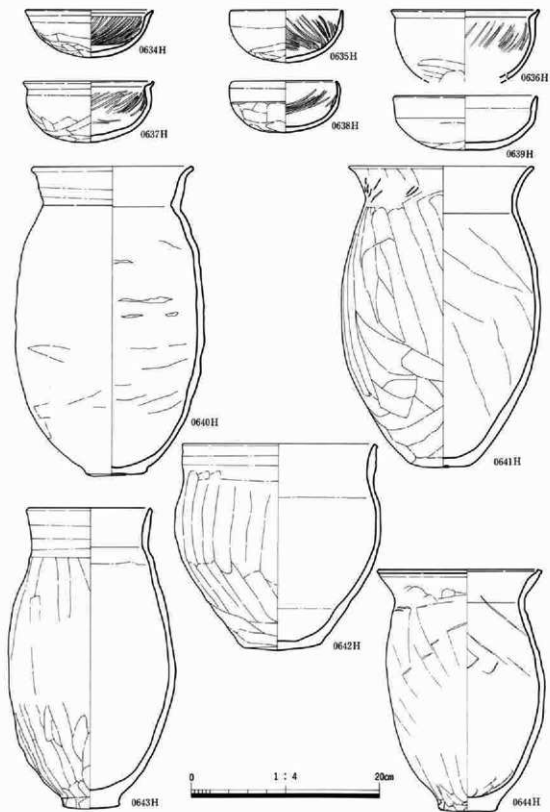
第256图 3区20・21・22住居跡出土遗物



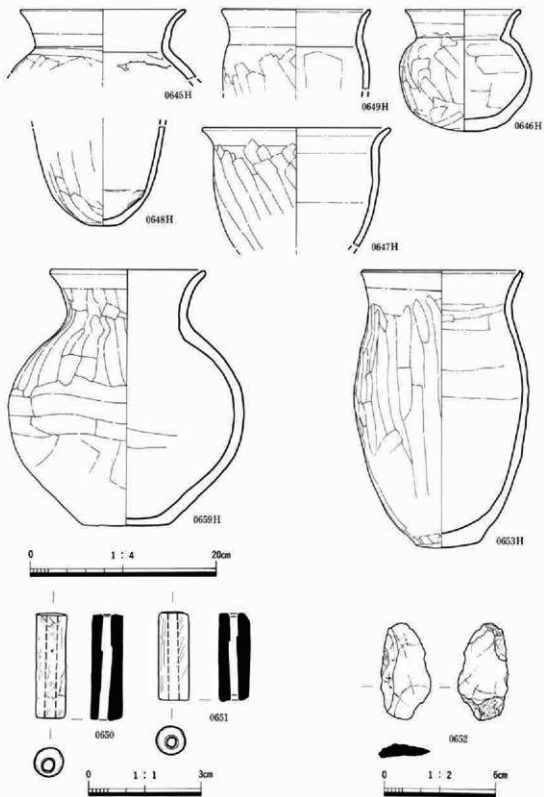
第257图 3区23・24・25・26B号住居跡出土遺物



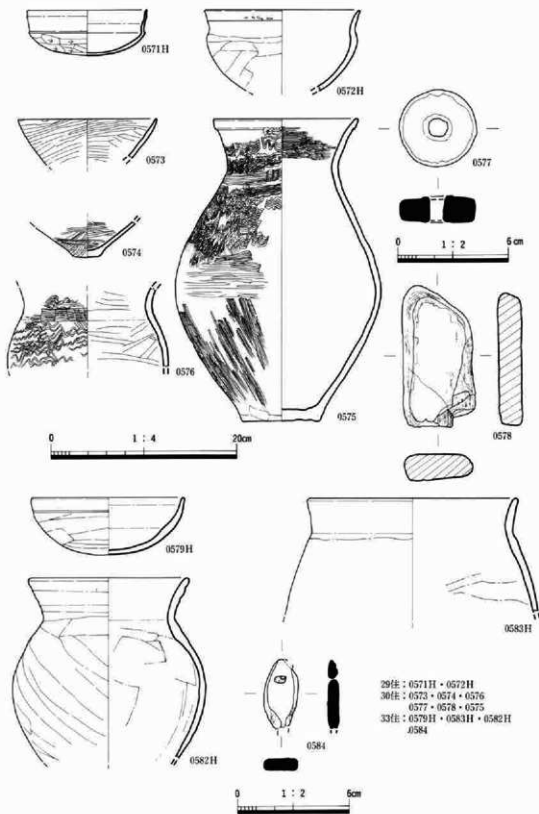
第258图 3区26B・27号住居跡出土遺物



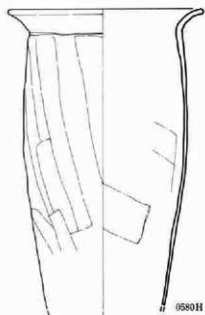
第259图 3区28号住居跡出土遺物(1)



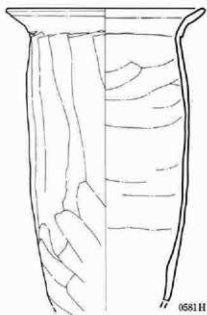
第260图 3区28号住居跡出土遺物(2)



第261図 3区29・30・33号住居跡出土遺物



0580H



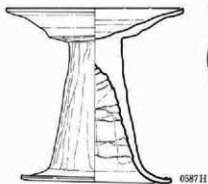
0581H



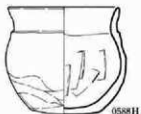
0585H



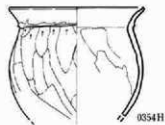
0586S



0587H



0588H



0354H

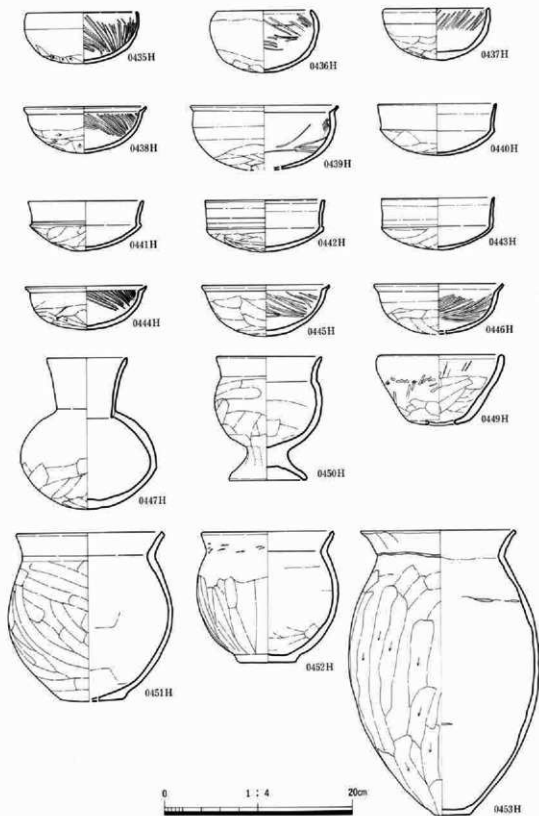
33住：0580H・0581H

34住：0585H・0586S

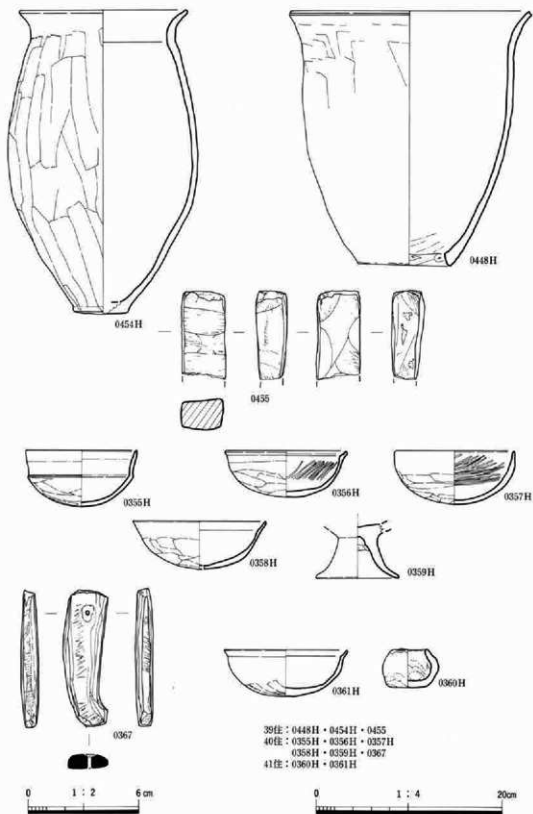
0587H・0588H

38住：0354H

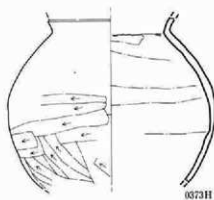
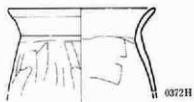
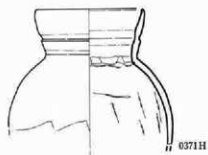
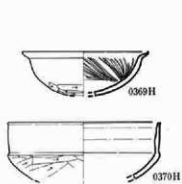
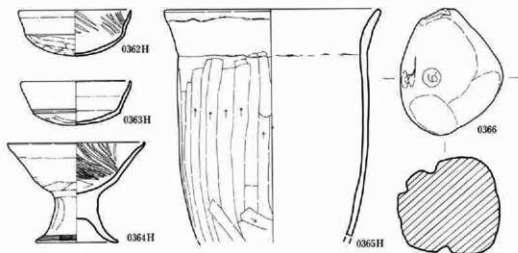




第263图 3区39号住居跡出土遺物



第264图 3区39・40・41号住居跡出土遺物

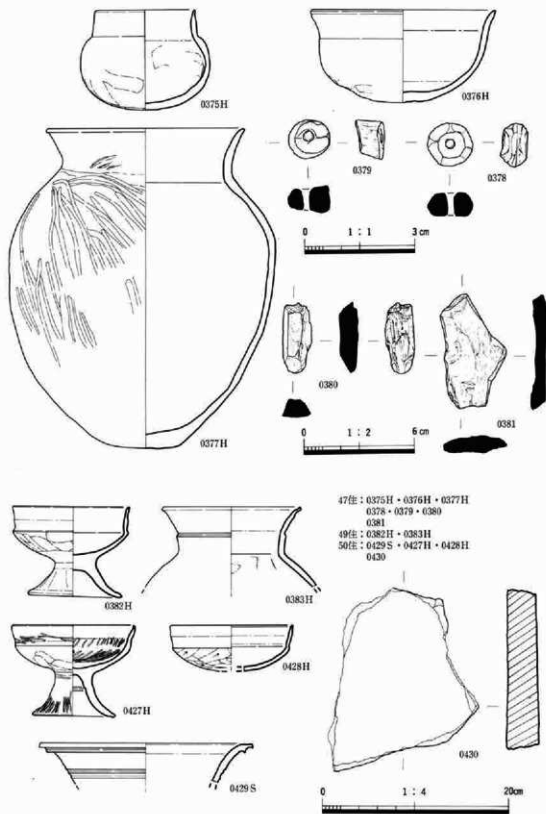


42住：0362H・0363H・0364H・0365H
0366・0368

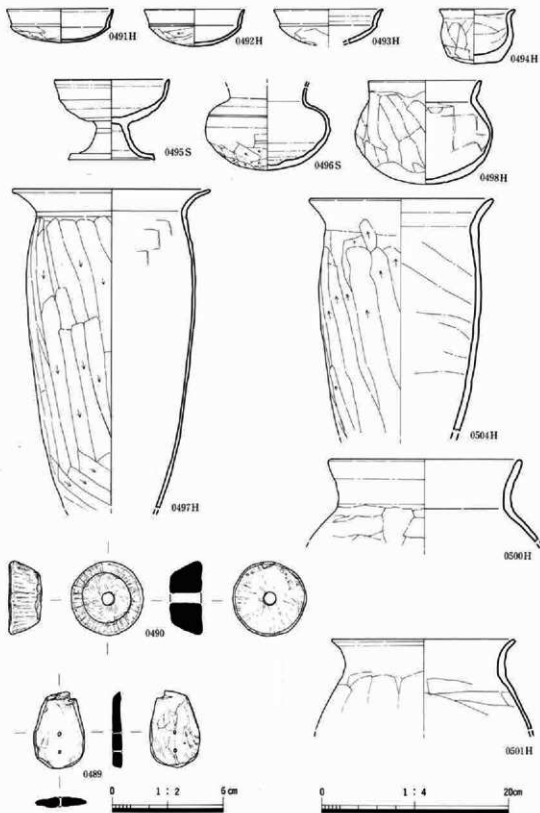
43住：0369H・0370H・0371H・0372H

45住：0373H

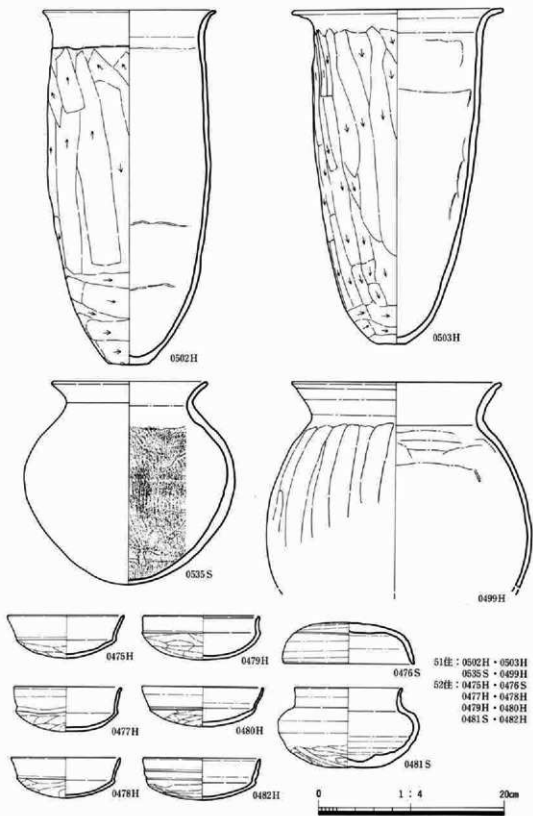




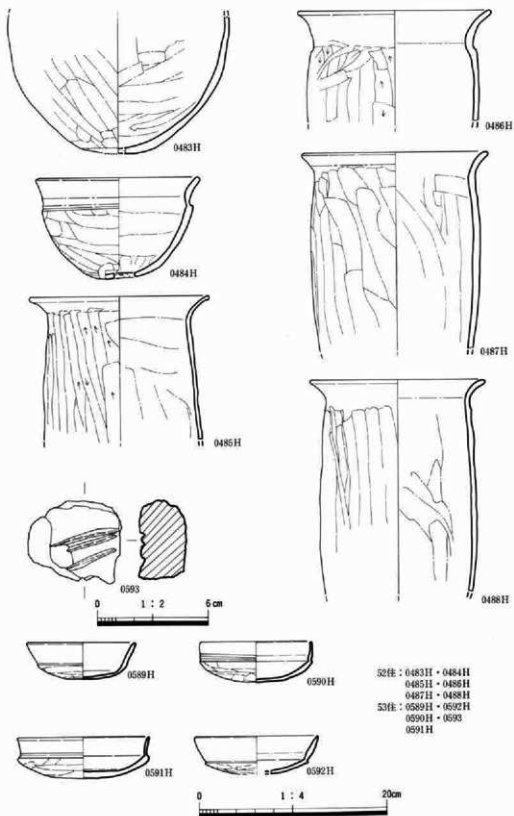
第266图 3区47・49・50号住居跡出土遺物



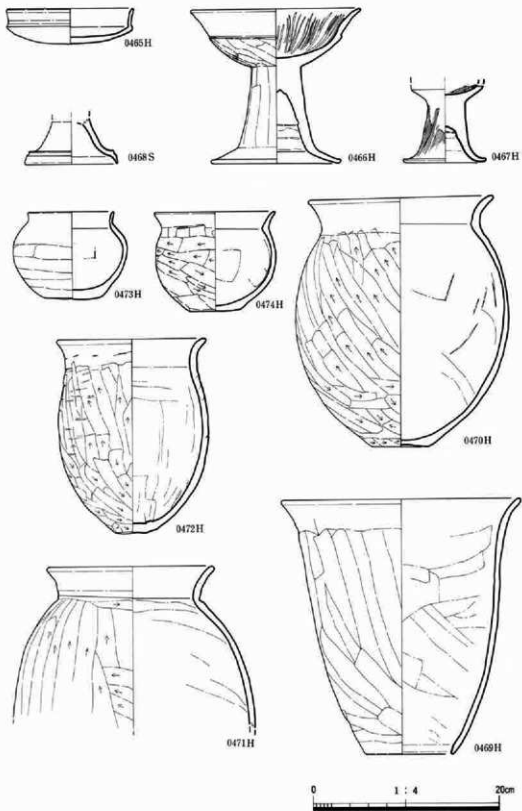
第267图 3区51号住居跡出土遺物



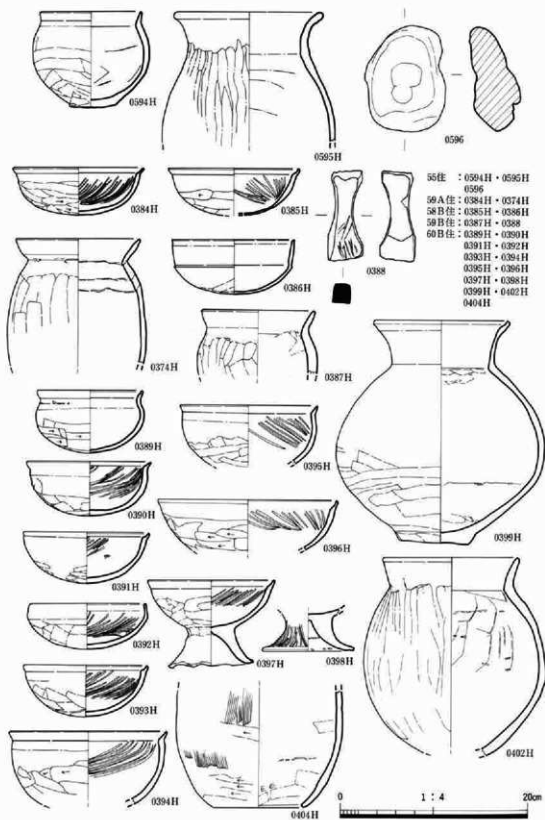
第268図 3区51・52号住居跡出土遺物



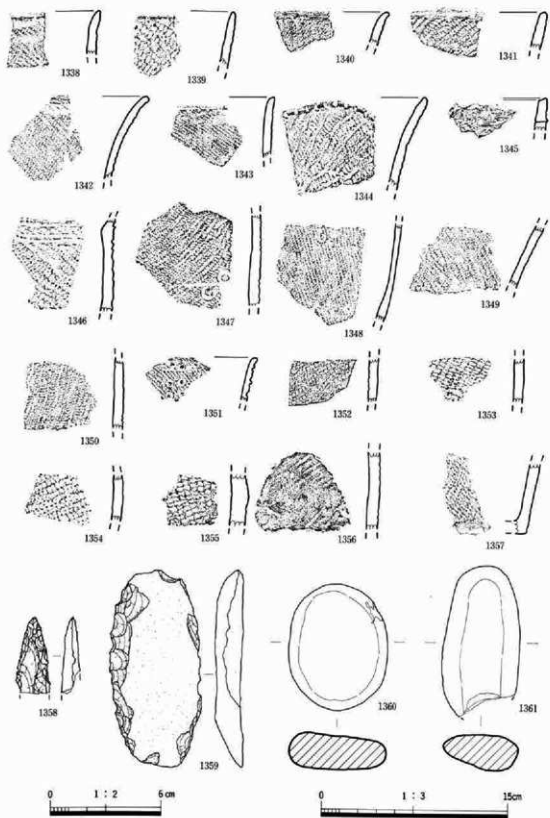
第269図 3区52・53号住居跡出土遺物



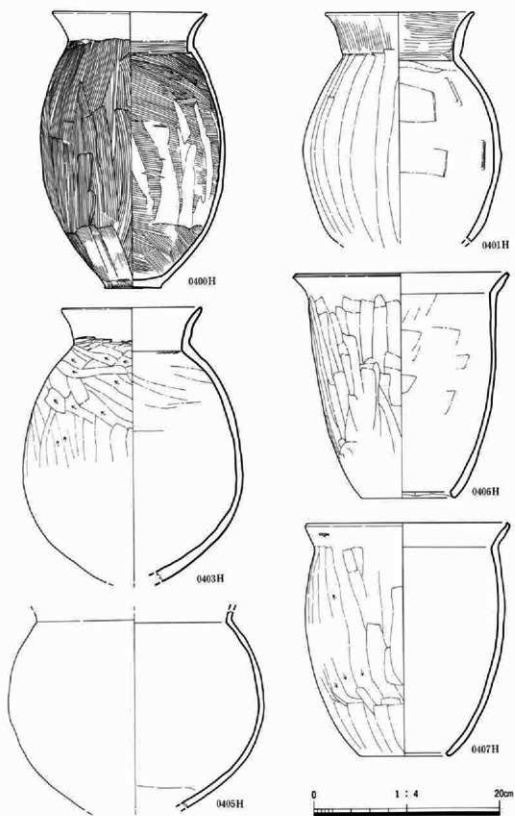
第270图 3区54号住居跡出土遺物



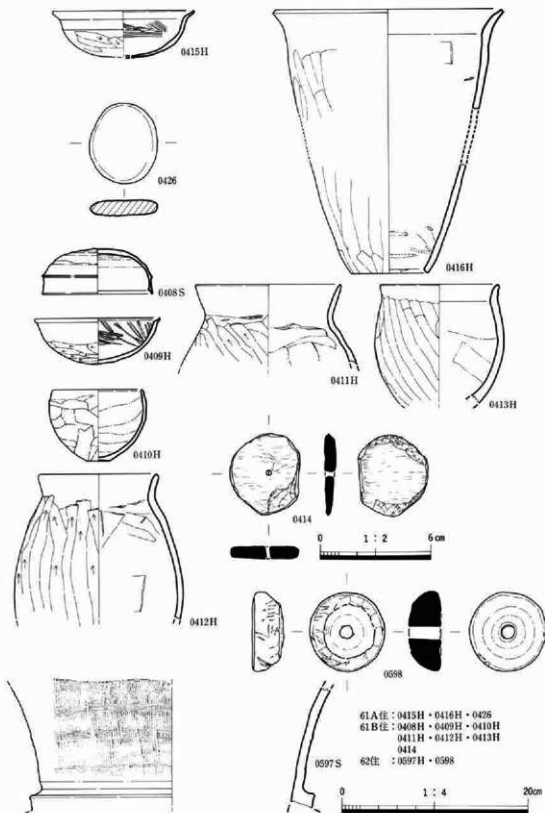
第271图 3区55・59A・58B・59B・60B号住居跡出土遺物



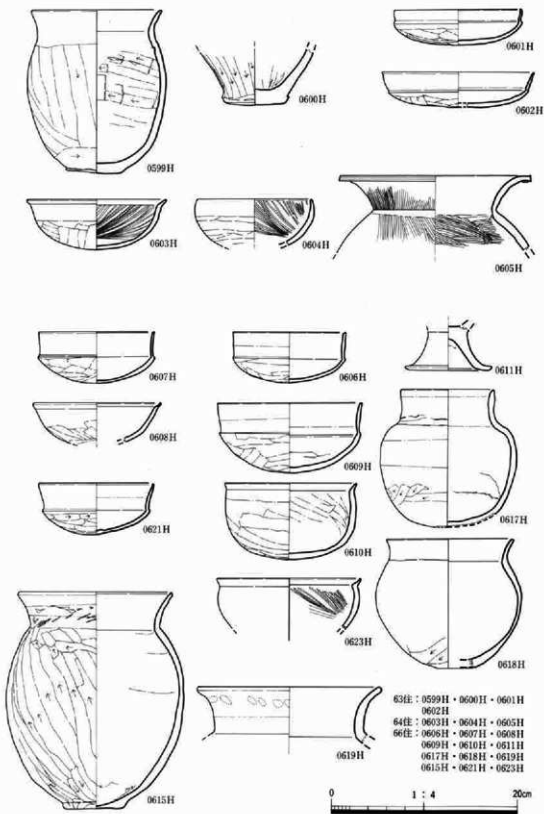
第272图 3区57号住居跡出土遺物



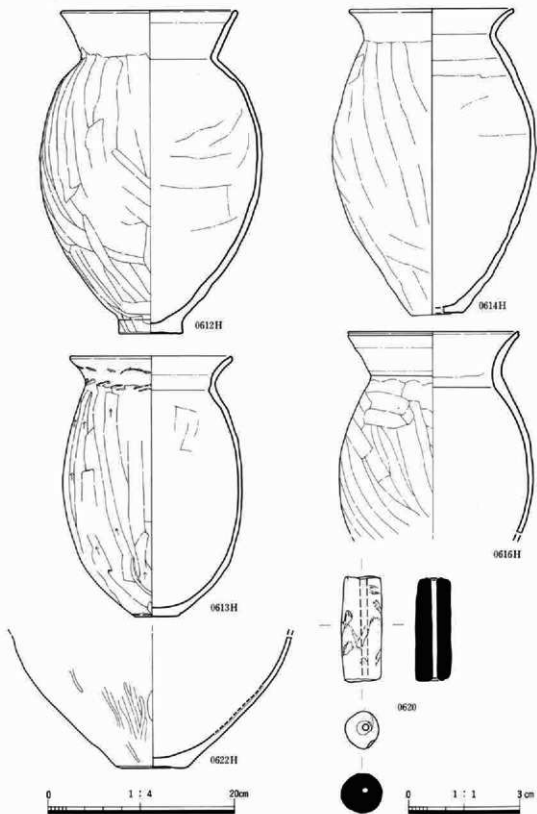
第273图 3区60B号住居跡出土遺物



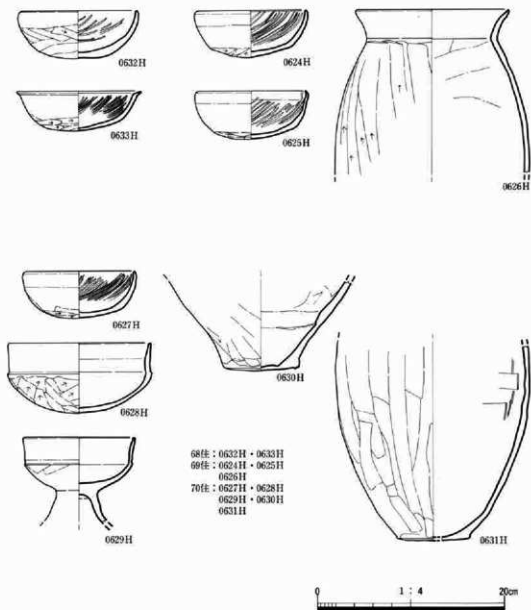
第274图 3区61A・61B・62号住居跡出土遺物



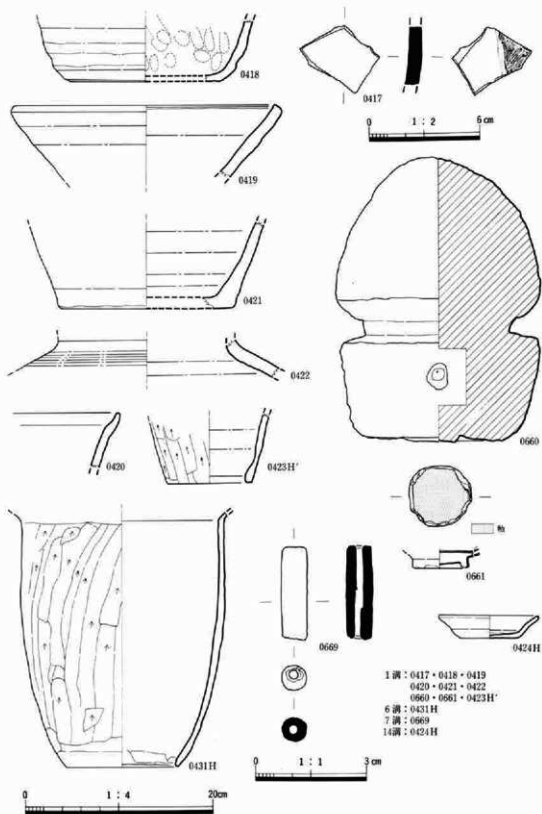
第275图 3区63・64・66号住居跡出土遺物



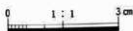
第276图 3区66号住居跡出土遺物



第277図 3区68・69・70号住居跡出土遺物



第278图 3区1・6・7・14号溝出土遺物



0666H'



0667 S



0425H'



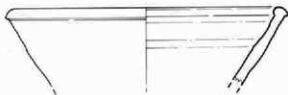
0668H'



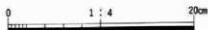
0662H



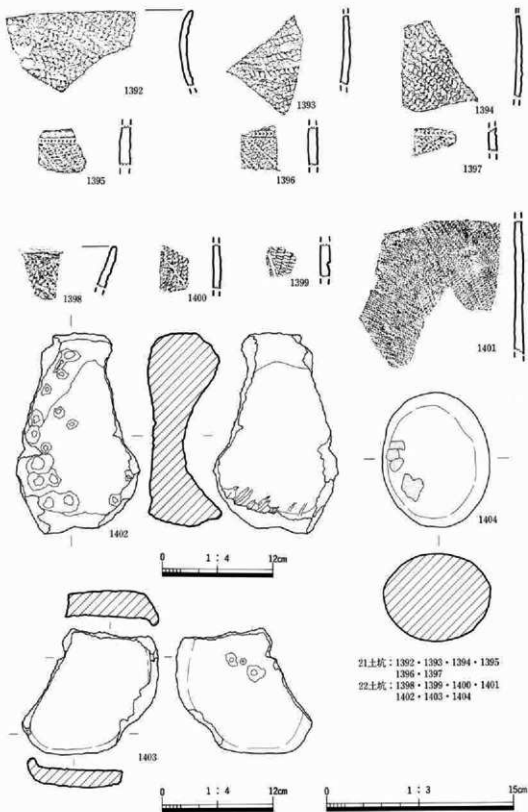
2 土壙：0674
 3 土壙：0664H'・0665H'・0675
 0676 0677 0678 0679
 0680
 11 土坑：0666H'
 40 土坑：0667 S・0668H'
 42 土坑：0425H'
 5 井戸：0662H・0663



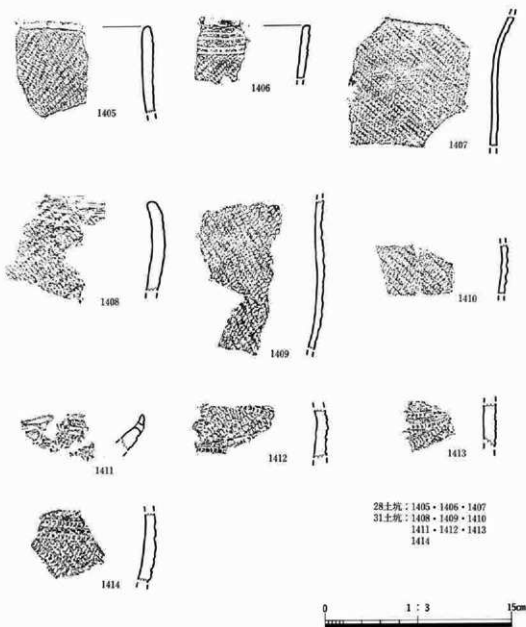
0663



第279图 3区2・3号土壙墓、11・40・42号土坑、5号井戸出土遺物



第280图 3区21·22号土坑出土遺物



第281图 3区28・31号土坑出土遗物

遺物計測値表

- 1 遺物の整理番号は4桁の番号とし、遺物に付したラベル・遺物出土状態写真の遺物番号・実測図の遺物番号・遺物計測値表の遺物番号・写真回報編の遺物番号は、それぞれ同じ遺物を指す。
- 2 整理作業の都合により、ひとつの遺構出土の遺物番号は、原則として連続しない。
- 3 遺物計測値は出土遺構ごとに掲載しており、1→2→3区の順である。また、各区ごとに1号住居→2号住居→・・・の番号順に前訪めとし、ひとつの区ごとに住居→溝→土坑→遺構外出土遺物の順に掲載した。
- 4 器形・調整等の特徴を観察した記述は割愛した。
- 5 土器の計測値のうち、実測等で備考欄④「測」としたのは胴部最大径を示す。その他は適宜表現した。
- 6 計測値の口=口径、高=器高、底=底径を表し、底部が●であるものは丸底、-は計測不可、口径値・器高値・底径値を（ ）でくくったものは、それぞれ復原口径、現存高、復原底径を示す。
- 7 出土位置は水平位置-垂直位置で示し、認定された床面からの高さ10cm以内を「床面」とした。住居内部の水平位置は中央・各辺・各隅・内部施設と方向とを併用して表現した。単に「カマド」としたものは、カマド覆土出土も含む。
- 8 備考欄⑤土器の色調は『標準土色帖』（農林省農林水産技術会議事務局監修、1970年）を用いて表したが、個人差・光源の違い等により、現物の色調と一致しない場合がある。
- 9 整理番号をもつ登録遺物は、発掘調査記録図（遺物分布図）と同定可能な遺物取り上げ番号（=遺物注記）、及び整理作業中に撮影した写真番号を遺物台帳に記録してある。未掲載遺物（土器片等）については、所見の一部を遺物台帳に記録した。

遺物計測値表 遺構別 目次

区	遺構番号	掲載頁	
1	1住	283	
	2住	283	
	3住	283	
	4住	283	
	6住	284	
	7住	284	
	8住	284	
	9住	284	
	10住	284	
	11住	285	
	12住	285	
	13住	285	
	14住	285	
	15住	286	
	17住	287	
	18住	288	
	19住	288	
	20住	288	
	21住	289	
	22住	290	
	23住	290	
	24住	290	
	26住	290	
	27住	291	
	28住	291	
	29住	291	
	32住	292	
	34A住	292	
	35住	292	
	36住	292	
	3溝	292	
	2	2住	293
		3住	293
		4住	293
6住		293	
7A住		294	
7C住		294	
8住		294	
9住		295	
10住		295	
11住		295	
12住		295	
14住		296	
15住		296	
16住		296	
17住		296	
18住		297	
19住		297	
21住		298	
23住		298	
24住		299	
25住		299	
26住		299	
27住		300	

区	遺構番号	掲載頁	
2	28住	300	
	32住	301	
	33住	301	
	35住	302	
	37住	302	
	38住	303	
	39住	303	
	40住	303	
	41住	304	
	42住	304	
	43住	305	
	44住	306	
	47住	307	
	50住	307	
	51住	307	
	55住	307	
	56住	307	
	57住	308	
	58住	308	
	遺構外	308	
	3	1住	309
		2住	309
		3住	309
		5住	310
6住		310	
7住		311	
8住		311	
11住		312	
12住		312	
15住		312	
16住		312	
19住		313	
20住		313	
21住		313	
22住		314	
23住		314	
24住		314	
25住		314	
26住		315	
27住		315	
28住		316	
29住		318	
30住		318	
33住		318	
34住		319	
38住		319	
39住		319	
40住	321		
41住	321		
42住	321		
43住	322		
45住	322		
47住	322		
49住	323		

区	遺構番号	掲載頁
3	50住	323
	51住	323
	52住	325
	53住	326
	54住	326
	55住	327
	57住	327
	59A住	329
	58B・59B住	329
	60B住	330
	61A住	331
	61B住	331
	62住	332
	63住	332
	64住	332
	66住	333
	68住	334
	69住	334
	70住	334
	5井	335
	1溝	335
	6溝	336
	7溝	336
	14溝	336
	2基	336
	3基	336
	11坑	337
	21坑	337
	22坑	337
	28坑	338
	31坑	338
	40坑	339
42坑	339	

1区第1号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0001	鉢 土器器	片	口 17.8 高 7.4 底 ●	カマド左 脇床面	①褐色粒②酸化③浅黄褐色
0002	櫃 ? 土器器	口縁部 片	口 17.8 高 10.8 底 -	カマド左 袖・カマ ド前床面	①褐色粒②酸化③浅黄褐色
0003	甕 土器器	口縁部 片	口 10.6 高 (6.8) 底 -	カマド右 袖床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色
0004	紡錘車 土製	片	外径 (4.4) 孔径 (0.6) 厚 3.0	カマド前 床面	①褐色粒②酸化③棕色④重22.7g

1区第2号住居跡

0005	甕 土器器	口縁部 片	口 19.2 高 (15.6) 底 -	カマド前 床面	①褐色粒、砂粒多②酸化③棕色
0006	杯 土器器	口縁部小 片	口 13.4 高 (3.1) 底 -	南辺壁寄 床面	①細砂②酸化③棕色
0007	甕 土器器	底部	口 - 高 (18.5) 底 8.0	貯蔵穴内	①砂粒多②酸化③灰褐色

1区第3号住居跡

0079	椀 灰輪陶器	口縁部 片	口 16.0 高 (4.8) 底 -	カマド前 床面	①白色小粒、精良②還元③灰白色
0080	高台付皿 (段皿) 灰輪陶器	片	口 12.4 高 2.0 底 6.0	中央南東 寄床面	①白色小粒、精良②還元③灰白色

1区第4号住居跡

0008	高台付椀 灰輪陶器	片	口 15.6 高 5.5 底 7.0	南辺壁際 床面	①砂粒少②還元③灰白色
0009	羽釜 土器質	口縁部 小片	口 20.0 高 (5.5) 底 -	中央床面	①砂粒多②酸化③棕色

1区第6号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0010	高杯土器	脚部片	口 ー 高 4.4 底 9.4	南西隅壁際床面	①褐色粒②酸化③棕色

1区第7号住居跡

0011	甕須恵器	体部片	口 30.8 高 (29.4) 底 ー	カマド左袖床面	①砂粒多②還元③浅黄棕色
0012	高台付検土器	底部	口 ー 高 3.0 底 6.5	カマド底面	①砂粒多②酸化気味③浅黄棕色
0013	羽釜須恵器	片	口 18.0 高 22.7 底 ー	南辺壁寄床面	①砂粒多②還元③明灰褐色

1区第8号住居跡

0014	羽釜土器	口縁部片	口 21.0 高 (12.4) 底 ー	中央南寄床面	①砂粒多②酸化③鈍い棕色
0015	壺土器	口縁部小片	口 29.8 高 (15.5) 底 ー	カマド前床面	①砂粒多②酸化③棕色

1区第9号住居跡

0016	壺土器	口縁部片	口 16.0 高 (15.0) 底 ー	北辺壁際床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄棕色
------	-----	------	---------------------------	--------	---------------

1区第10号住居跡

0017	壺土器	略完	口 15.5 高 35.3 底 6.3	カマド前床面	①砂粒多②酸化③棕色
0018	甕土器	略完	口 21.0 高 27.5 底 8.0	貯蔵穴脇床面	①細砂多②酸化③棕色
0019	壺土器	底部片	口 ー 高 (5.9) 底 6.6	カマド前床面	①細砂多②酸化③黒褐色
0020	壺土器	底部	口 ー 高 (9.5) 底 7.0	カマド煙道部底面	①砂粒多②酸化③鈍い棕色

番 号	器 種	遺 存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0021	杯 土 師 器	片	口 10.0 高 (6.0) 底 -	貯蔵穴内	①褐色粒②酸化③褐色
0022	杯 土 師 器	底部欠	口 12.0 高 (4.4) 底 -	カマド覆 土	①褐色粒②酸化③褐色

1区第11号住居跡

0023	杯 須 恵 器	片	口 11.2 高 3.0 底 5.0	カマド前 床面	①砂粒②還元状・粒③灰白色
0024	羽 蓋 須 恵 器	底部欠	口 20.0 高 18.6 底 -	南東隅床 面	①砂粒②還元③灰白色

1区第12号住居跡

0025	高台付皿 灰釉陶器	片	口 12.8 高 2.4 底 7.0	カマド前	①細砂少②還元③灰白色
------	--------------	---	--------------------------	------	-------------

1区第13号住居跡

0070	不 明 削 製	長5.9		フタ土	
------	------------	------	--	-----	--

1区第14号住居跡

0081	壺 土 師 器	略完	頸 8.2 高 (7.4) 底 ●	カマド左 脇床面	①褐色粒, 砂粒多②酸化③赤褐色
0082	杯 土 師 器	略完	口 12.2 高 4.9 底 ●	カマド左 脇床面	①褐色粒, 砂粒多②酸化③明赤褐色
0083	杯 土 師 器	略完	口 12.5 高 5.3 底 ●	カマド左 脇床面	①褐色粒, 砂粒多②酸化③赤褐色
0084	壺 土 師 器	略完	口 19.0 高 36.4 底 5.2	カマド	①細砂②酸化③褐色
0085	壺 土 師 器	口縁部 片	口 16.2 高 (12.0) 底 -	中央床面	①砂粒多②酸化③明赤褐色
0086	壺 土 師 器	底部	口 - 高 15.6 底 5.6	カマド	①細砂②酸化③灰褐色④打欠き?

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0087	壺 土師器	略完	口 17.0 高 31.5 底 7.3	カマド左 袖	①細砂②酸化③鈍い橙色
0088	瓶 土師器	略完	口 20.0 高 26.0 底 8.0	カマド左 袖	①細砂②酸化③鈍い黄橙色・灰褐色

1区第15号住居跡

0089	蓋 須恵器	略完	口 14.6 高 5.0 ツマミなし	中央西寄 床面	①砂粒②還元③橙色
0090	杯 土師器	略完	口 13.0 高 5.1 底 ●	中央南寄 床面	①細砂②酸化③鈍い赤褐色
0091	高杯 土師器	杯部 口縁 小片	口 18.7 高 (5.0) 底 -	中央南寄 床面	①褐色粒②酸化③橙色
0092	壺 土師器	底部	口 - 高 (6.0) 底 ●	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③橙色
0093	瓶 土師器	片	口 25.0 高 28.8 底 9.8	中央南寄 床面	①砂粒多②酸化③灰白色
0094	瓶 土師器	略完	口 26.5 高 32.0 底 10.5	中央床面	①砂粒多②酸化③灰白色
0095	壺 土師器	略完	口 17.8 高 34.2 底 4.8	中央床面	①砂粒多②酸化③灰白色
0096	壺 須恵器	底部	口 - 高 (15.8) 底 5.5	中央床面	①砂粒多②還元③淡黄橙色
0097	模造品 滑石製	略完	長 3.2 幅 2.0 厚 0.5	中央北寄 床直上	④刺形?、重4.5g
0098	壺 土師器	片	口 18.8 高 30.8 底 5.7	中央南寄 床直上	①褐色粒、砂粒②酸化③赤橙色
0099	壺 土師器	略完	口 20.5 高 32.0 底 4.5	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③鈍い橙色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0100	壺 土器器	体部 ～底部	口 ー 高 (25.0) 底 ●	カマド前 右床面	①砂粒多②酸化③棕色
0101	杯 土器器	片	口 12.7 高 4.3 底 ●	北辺壁際 床面	①褐色粒②酸化③鈍い褐色
0102	杯 土器器	片	口 15.6 高 5.0 底 ●	中央床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
0103	壺 土器器	底部	口 ー 高 (16.4) 底 8.0	中央西寄 床面	①砂粒②酸化③鈍い褐色

1区第17号住居跡

0027	壺 土器器	体部以下 欠	口 12.5 高 15.5 底 ー	貯蔵穴北 側床面	①砂粒多②酸化③棕色
0028	杯 土器器	片	口 11.2 高 3.9 底 ●	北西隅 拉張?	①細砂②酸化③鈍い黄褐色
0029	杯 土器器	完形	口 11.0 高 3.7 底 ●	北西隅床 面	①細砂多②酸化③棕色
0030	杯 土器器	片	口 13.5 高 4.8 底 ●	カマド左 脇床面	①褐色粒、砂粒②酸化③棕色
0031	杯 土器器	片	口 8.4 高 3.25 底 ●	中央西寄 床面	①細砂粒②酸化③棕色
0032	高杯 土器器	片	口 19.8 高 17.4 底 16.5	中央床面	①褐色粒、細砂②酸化③棕色
0033	壺 土器器	口縁部 片	口 22.0 高 (12.2) 底 ー	カマド左 脇床面	①白色粒②酸化③棕色
0034	円盤 土器器 再利用		直 4.4 厚 1.0	中央北東 寄床面	①砂粒②酸化③棕色④重さ27.5g
0035	円盤 土器器 再利用		直 2.8 厚 0.8	覆土	①砂粒②酸化③棕色④重さ8.3g

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0036	模造品 滑石製		長 幅 厚 4.4 1.9 0.2	覆土	③褐色④剣形、重さ3.9g
0037	丸玉 —		外 孔 厚 0.65 0.2 0.6	覆土	④重さ0.5g、水晶?

1区第18号住居跡

0040	高台付椀 灰釉陶器	片	口 高 底 15.0 6.3 7.2	カマド内	①精良②還元③灰白色
------	--------------	---	-----------------------------------	------	------------

1区第19号住居跡

0041	甕 土器器	片	口 高 底 20.3 36.0 6.0	カマド左 袖	①砂粒多②酸化③鈍い褐色
0042	杯 土器器	略完	口 高 底 12.5 5.3 ●	カマド右 袖脇	①細砂多②酸化③褐色
0043	高杯 土器器	略完	口 高 底 14.0 13.0 10.8	貯蔵穴内	①褐色粒多②酸化③明赤褐色
0044	杯 土器器	片	口 高 底 16.5 6.5 ●	カマド右 袖	①細砂多②酸化③赤褐色
0045	瓶 土器器	口縁部小 片	口 高 底 18.6 (18.8) —	カマド左 袖	①褐色粒化③明赤褐色②壁
0046	丸胴甕 土器器	底部	口 高 底 — (19.3) 8.3	貯蔵穴南 脇床面	①褐色粒、砂粒多②酸化③赤褐色

1区第20号住居跡

0026	甕 土器器	片	口 高 底 16.9 29.2 5.1	カマド内 ・床下	①砂粒多②還元気味の酸化③褐色
0038	円盤 土器器 再利用		直 厚 6.0 1.3	西辺壁寄 中央床面	①褐色粒②酸化③褐色④重さ37.8g
0039	円盤 土器器 再利用		直 厚 5.0 1.0	南辺西寄 壁跡床面	①白色粒②酸化③褐色④重さ25.1g

1区第21号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0047	甕 土器器	略完	口 13.0 高 12.0 底 ●	北西隅床 面	①褐色粒②酸化③棕色
0048	杯 土器器	完形	口 13.0 高 4.5 底 ●	北西隅床 面	①砂粒多②酸化③棕色
0049	杯 土器器	略完	口 13.3 高 4.0 底 ●	北西隅床 面	①褐色粒②酸化③灰黄褐色
0050	杯 土器器	片	口 13.4 高 3.8 底 ●	北西隅床 面	①細砂多②酸化③明褐色
0051	杯 土器器	片	口 13.3 高 4.4 底 ●	北辺壁際 床面	①褐色粒②酸化③赤褐色
0052	杯 土器器	片	口 13.3 高 4.7 底 ●	北西隅床 面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
0053	杯 土器器	片	口 13.5 高 4.4 底 ●	北寄床面	①褐色粒②酸化③褐色
0054	杯 土器器	片	口 13.6 高 4.5 底 ●	北西隅床 面	①褐色粒②酸化③黄い棕色
0055	甕 土器器	片	口 17.1 高 14.6 底 6.0	北西隅床 面	①細砂多②酸化③棕色④多穴
0056	甕 土器器	口縁部 片	口 20.0 高 (6.9) 底 -	北西隅床 面	①砂粒多②酸化③灰白色
0057	丸胴甕 土器器	口縁部 片	口 19.2 高 (19.9) 底 -	北寄床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
0058	瓶 土器器	口縁部 片	口 23.4 高 (19.0) 底 -	北辺壁際 床面	①砂粒多②酸化③明赤褐色
0059	甕 須恵器	口縁・ 底部	口 24.5 高 - 底 ●	中央床面	①白色粒多②還元③灰色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0180	壺 須恵器	略完	口 ー 高 (28.9) 底 ●	貯蔵穴南 床面	①小石、白色粒②還元③灰白色

1区第22号住居跡

0060	匙形土器 土師器	把手欠	長 (13.3) 短 10.8 高 (4.0)	カマド前 床面	①細砂②酸化③橙色
0061	匙形土器 土師器	把手欠	長 (13.7) 短 10.5 高 (4.0)	カマド左 脇・南隅 床面	①砂粒②酸化③橙色
0062	高杯 土師器	脚部	口 ー 高 (15.1) 底 14.0	カマド内 底面	①褐色粒②酸化③橙色
0063	高杯 土師器	脚部	口 ー 高 (9.7) 底 14.0	カマド内 ・カマド 右脇床面	①細砂多②酸化③鈍い橙色
0064	壺 須恵器	片	口 13.0 高 (4.8) フタミ ー	東辺中央 壁際床面	①白色粒多②還元③灰色
0104	甕 土師器	片	口 19.6 高 30.5 底 4.8	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③橙色

1区第23号住居跡

0065	高杯 土師器	杯部	口 ー 高 (9.2) 底 ー	南辺東寄 壁際床面	①褐色粒②酸化③赤色
------	-----------	----	-----------------------	--------------	------------

1区第24号住居跡

0066	杯 土師質	小片	口 11.0 高 (3.4) 底 ー	カマド内	①砂粒②酸化気味③浅黄褐色
0067	高台付皿 灰胎陶器	片	口 12.4 高 3.3 底 5.5	カマド前 床面	①精良②還元・硬③灰白色

1区第26号住居跡

0068	高台付椀 灰胎陶器	片	口 18.0 高 8.0 底 8.0	南辺寄床 面	①精良②還元③灰白色
0069	杯 須恵器	片	口 12.0 高 3.3 底 3.5	カマド右 袖	①細砂②還元③灰色

1区第27号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0070	杯 須恵器	片	口 13.0 高 3.5 底 6.5	カマド底 面直上	①黒色小粒、細砂②還元③灰白色

1区第28号住居跡

0107	杯 須恵器	略完	口 13.0 高 3.4 底 7.9	カマド右 床面	①褐色粒、細砂②還元③灰白色
0108	杯 須恵器	完形	口 13.0 高 3.0 底 7.4	カマド右 袖前覆土	①細砂②還元③灰白色
0109	杯 須恵器	完形	口 13.0 高 3.0 底 7.8	カマド右 脇床面	①精良、細砂少②還元③灰白色
0110	杯 土師器	片	口 12.8 高 3.1 底 7.5	カマド右 脇床面	①黒色小粒②還元③灰白色
0111	杯 土師器	完形	口 12.2 高 4.2 底 ●	カマド覆 土	①砂粒多②酸化③棕色
0112	杯 土師器	完形	口 11.4 高 3.0 底 ●	カマド右 袖前覆土	①砂粒多②酸化③棕色
0113	杯 土師器	片	口 12.0 高 3.2 底 -	カマド右 脇床面	①砂粒多②酸化③棕色
0114	壺 土師器	片	口 20.4 高 (3.3) 底 -	カマド焚 口床面	①砂粒多②酸化③棕色
0115	壺 土師器	体部 ～底部	口 - 高 (28.8) 底 3.4	カマド燃 焼部右側	①砂粒多②酸化③棕色
0116	壺 土師器	底部	口 - 高 (13.0) 底 ●	カマド燃 焼部左側	①砂粒多②酸化③鈍い棕色

1区第29号住居跡

0105	杯 土師器	片	口 12.7 高 3.9 底 ●	南辺壁際 床面	①細砂多②酸化③赤褐色
------	----------	---	------------------------	------------	-------------

1区第32号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0071	杯 土器器	完形	口 10.3 高 3.8 底 ●	カマド左 袖脇	①細砂②酸化③棕色
0072	杯 土器器	略完	口 11.6 高 3.9 底 ●	中央床面	①細砂②酸化③棕色
0073	杯 土器器	片	口 12.0 高 (3.2) 底 -	中央床面	①精良②酸化③棕色
0074	壺 土器器	底部 片	口 - 高 (20.0) 底 ●	カマド前 床面	①褐色粒②酸化③棕色

1区第34A号住居跡

0075	壺 土器器	底部	口 - 高 (2.4) 底 3.0	東辺壁際 床面	①褐色粒②酸化③棕色
------	----------	----	-------------------------	------------	------------

1区第35号住居跡

0076	杯 土器器	略完	口 12.4 高 5.5 底 ●	南東寄覆 土	①褐色粒②酸化③棕色
0077	杯 土器器	片	口 12.5 高 4.5 底 ●	南辺寄覆 土・北西 寄床面	①褐色粒②酸化③棕色

1区第36号住居跡

0078	模造品 滑石製	完形	外径 1.1 孔径 0.3 厚 0.5	覆土	④重さ0.7g, 白玉
------	------------	----	---------------------------	----	-------------

1区第3号溝

0118	杯 土器器	片	口 10.0 高 3.1 底 ●	覆土	①細砂②酸化③明褐色
------	----------	---	------------------------	----	------------

2区第2号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②酸化 ③色調 ④備考
0119	甕土師器	片	口 15.6 高 26.2 底 8.0	カマド	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④割21.0
0120	甕土師器	片	口 (13.3) 高 12.8 底 5.6	カマド	①砂粒多②酸化③明赤褐色④割14.4
0121	瓶?土師器	底部	口 - 高 (5.0) 底 4.6	カマド	①砂粒多②酸化③橙色④孔径1.5~1.8

2区第3号住居跡

0122	杯土師器	片	口 6.2 高 (5.0) 底 -	貯蔵穴	①細砂②酸化③明赤褐色
0123	甕土師器	口縁部 ~底部	口 (17.4) 高 (10.4) 底 -	覆土	①砂粒多②酸化③橙色④割18.4

2区第4号住居跡

0124	杯黒色土器	片	口 (15.3) 高 4.5 底 ●	覆土	①精良②酸化③鈍い褐色④内黒
0125	甕土師器	口縁部 片	口 (16.9) 高 (8.5) 底 -	覆土	①細砂多②酸化③灰白色④割17.4

2区第6号住居跡

0126	杯土師器	片	口 12.4 高 5.7 底 ●	中央北寄 床直上	①褐色粒②酸化③橙色
0127	杯土師器	片	口 14.0 高 5.5 底 ●	中央北寄 床直上	①褐色粒、細砂②酸化③暗赤褐色
0128	杯土師器	片	口 13.15 高 5.3 底 ●	中央北寄 床面	①褐色粒、細砂②酸化③橙色
0129	甕土師器	底部	口 - 高 15.4 底 8.6	中央西寄 床面	①白色粒、小石②酸化③灰褐色④割28.3

2区第7A号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0130	甕土師器	口縁部～体部片	口 (16.5) 高 (11.1) 底 —	カマド	①砂粒、小石②酸化③褐色④割18.4

2区第7C号住居跡

0131	甕土師器	略完	口 15.0 高 15.3 底 ●	カマド右脇	①細砂多②酸化③褐色④割15.2
0132	杯土師器	片	口 11.2 高 3.4 底 ●	カマド右脇	①砂粒多②酸化③褐色
0133	杯土師器	片	口 10.5 高 3.0 底 ●	南東隅床面	①砂粒多②酸化③鈍い褐色
0134	甕土師器	体部	口 — 高 (7.0) 底 ●	カマド右脇	①細砂多②酸化③鈍い褐色④外底傷

2区第8号住居跡

0135	杯土師器	片	口 10.8 高 3.5 底 ●	中央南寄	①細砂②酸化③褐色
0136	杯土師器	口縁部片	口 (11.0) 高 (2.8) 底 —	中央床面	①褐色粒②酸化③褐色
0137	杯土師器	略完	口 16.6 高 6.4 底 ●	中央床面	①赤色粒②酸化③褐色
0138	甕土師器	片	口 11.0 高 12.9 底 ●	中央東寄床面	①精良②酸化③褐色④割14.4
0139	甕土師器	略完	口 21.3 高 38.6 底 4.5	カマド前 カマド左脇床面	①砂粒多②酸化③褐色④割19.1
0140	甕土師器	略完	口 21.6 高 38.0 底 (3.4)	カマド左脇床面	①砂粒多②酸化③鈍い褐色④割16.8
0141	甕土師器	片	口 22.7 高 38.7 底 4.1	カマド左脇床面	①砂粒多②酸化③褐色④割19.0

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0142	斐土篩器	口縁部小片	口 22.0 高 (5.8) 底 -	中央西寄床面	①細砂多②酸化③鈍い橙色
0143	斐須恵器	底部	口 - 高 (10.5) 底 ●	中央床面	①精良, 細砂②還元③灰白色
0144	模造品滑石製	-	長 5.5 幅 4.5 厚 0.5	覆土	④重さ14.4g, 割れ, 単孔円板?

2区第9号住居跡

0145	高杯須恵器	脚部	口 - 高 7.5 底 10.0	覆土	①白色小粒多②還元③灰白色
------	-------	----	------------------------	----	---------------

2区第10号住居跡

0146	杯土篩器	瓦	口 13.4 高 4.9 底 ●	カマド底面	①細砂②酸化③鈍い橙色
0147	杯土篩器	瓦	口 (14.0) 高 4.3 底 ●	カマド覆土	①褐色粒②酸化③鈍い橙色
0148	通須恵器	口縁部欠	口 - 高 (12.9) 底 ●	貯蔵穴底面	①白色粒②還元③明オリーブ色④胴14.7, 孔1.2
0149	不明土篩器	小片	長 4.0 幅 5.2 厚 1.2	カマド掘形	①褐色粒②酸化③鈍い橙色

2区第11号住居跡

0150	杯須恵器	瓦	口 14.0 高 3.8 底 -	中央床面	①白色小粒多②還元③灰色
0151	杯須恵器	小片	口 12.5 高 2.9 底 8.0	中央床面	①黒色粒②還元③灰色

2区第12号住居跡

0152	杯土篩器	瓦	口 12.6 高 4.4 底 ●	中央北寄床面	①細砂②酸化③橙色
0153	模造品滑石製	完形	長 2.7 幅 1.7 厚 0.6	覆土	④重さ2.8g, 曲玉形

2区第14号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0154	杯 土師器	片	口 (10.6) 高 3.9 底 ●	覆土	①褐色粒、細砂②酸化③鈍い棕色

2区第15号住居跡

0155	杯 須恵器	片	口 (14.5) 高 (4.0) 底 (8.0)	貯蔵穴	①黒色小粒②還元③灰色
------	----------	---	--------------------------------	-----	-------------

2区第16号住居跡

0156	杯 土師器	略完	口 12.5 高 4.7 底 ●	南西隅壁 際床面	①褐色粒、細砂②酸化③鈍い棕色
0157	杯 土師器	片	口 12.2 高 4.9 底 ●	中央南寄 床面	①褐色粒、細砂②酸化③鈍い棕色
0158	杯 土師器	片	口 13.2 高 5.5 底 ●	中央床面 17住?	①褐色粒、細砂②酸化③棕色
0159	杯 土師器	片	口 12.0 高 5.4 底 ●	南西隅壁 際床面	①褐色粒、細砂②酸化③棕色
0160	壺 土師器	略完	口 9.8 高 15.4 底 ●	西辺中央 壁際床面	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色④割14.8
0161	壺 土師器	口縁部 片	口 (14.6) 高 (10.3) 底 -	中央床面 17住?	①褐色粒、細砂②酸化③暗色④割15.6
0162	壺 土師器	口縁部 片	口 (13.0) 高 (11.0) 底 -	中央床面	①褐色粒②酸化③鈍い棕色④割13.8

2区第17号住居跡

0163	杯 土師器	略完	口 13.6 高 4.8 底 ●	北辺中央 壁際床面	①砂粒多②酸化③明赤褐色
0164	杯 土師器	片	口 (12.3) 高 4.5 底 ●	中央北寄 床面	①砂粒多②酸化③鈍い棕色
0165	杯 土師器	片	口 13.6 高 4.9 底 ●	カマド前 床面	①褐色粒、砂粒②酸化③棕色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①粘土 ②焼成 ③色調 ④備考
0166	高杯土師器	片	口 16.6 高 16.9 底 12.2	カマド右袖	①褐色粒, 細砂粒多②酸化③橙色
0167	高杯土師器	脚部	口 — 高 6.5 底 10.3	中央床面	①褐色粒②酸化③鈍い赤褐色
0168	高杯土師器	杯部	口 20.2 高 (6.8) 底 —	中央北寄床面	①砂粒多②酸化③橙色④脚部欠
0169	煮土師器	口縁部	口 14.4 高 (11.2) 底 —	中央北寄床面	①細砂多②酸化③明赤褐色④類8.0
0170	壺土師器	体部上半分	口 16.3 高 (17.0) 底 —	覆土16住17住接合	①褐色粒, 細砂粒多②酸化③橙色④類25.5
0218	管玉石	略完	長外 3.4 孔 1.1 厚 0.3	覆土	③灰白色④長さ5.7ℓ, 碧玉?
0219	模造品滑石製	完形	外孔 0.65 厚 0.2 0.4	覆土	④重さ0.3ℓ, 白玉

2区第18号住居跡

0171	高杯土師器	裾部欠	口 17.7 高 (16.0) 底 —	カマド前床面	①砂粒多②酸化③橙色
0172	壺土師器	口縁部	口 19.7 高 (10.0) 底 —	南東隅床面	①褐色粒②酸化③淡褐色④類24.2
0173	杯土師器手づくね	略完	口 7.3 高 5.0 底 5.5	覆土	①砂粒多②還元気味の酸化③鈍い黄褐色
0174	杯土師器手づくね	略完	口 7.5 高 5.1 底 5.6	覆土	①砂粒多②還元気味の酸化③鈍い黄褐色
1522	丸割壺土師器	片 口唇部欠	口 — 高 (37.6) 底 6.2	南辺東寄壁際床面	①砂粒, 褐色粒②酸化③鈍い橙色④類(30.6)

2区第19号住居跡

0175	杯土師器	片	口 15.1 高 6.8 底 ●	カマド内	①褐色粒, 砂粒多②酸化③鈍い赤褐色
------	------	---	------------------------	------	--------------------

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0176	杯 黒色土器	片	口 14.0 高 4.3 底 ●	南辺東寄 壁際床面	①褐色粒、砂粒多②酸化③鈍い橙色④内黒
0177	杯 土器器	片	口 12.2 高 4.6 底 ●	カマド右 袖壁床面	①褐色粒、細砂多②酸化③橙色
0178	壺 土器器	底部	口 — 高 (12.1) 底 6.6	中央南寄 床面	①砂粒多②酸化③灰褐色④割下位22.8
0179	壺 土器器	底部	口 — 高 (3.1) 底 7.8	カマド右 袖	①褐色粒、細砂多②酸化③赤褐色

2区第21号住居跡

0181	不 明 鎌名 軽石		長 (17.6) 幅 (15.2) 厚 8.5	北寄床面	③鈍い黄褐色④重さ1880g、加工痕3面
------	--------------------	--	-------------------------------	------	----------------------

2区第23号住居跡

0182	台付 壺 土器器	片	口 11.2 高 17.4 底 13.4	東辺中央 床面	①砂粒②酸化③明赤褐色④割14.9
0183	杯 土器器	略完	口 12.6 高 4.0 底 ●	中央北寄 床面	①細砂②酸化③鈍い橙色
0184	杯 土器器	完形	口 13.2 高 4.5 底 ●	西辺北寄 床面	①褐色粒②酸化③橙色
0185	壺 土器器	口縁部 片	口 (18.1) 高 (22.0) 底 —	中央南西 寄床直上	①白色粒多②酸化③鈍い赤褐色④割17.0
0186	壺 土器器	片	口 (15.0) 高 12.0 底 7.0	中央南西 寄床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色④割14.5
0187	杯 土器器	片	口 14.2 高 7.5 底 ●	中央南寄 床面	①褐色粒②酸化③橙色
0188	不 明 石		長 22.0 幅 29.8 厚 14.7	中央南寄 床面	④重さ4260g、金属キズあり
0189	不 明 石		長 15.6 幅 10.5 厚 6.6	北東寄床 面	④重さ680g、金属キズあり

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0190	杯 土師器 手づくね?	片	口 5.5 高 4.1 底 3.4	覆土	①精良②酸化③褐色
0191	壺 土師器	口縁部 小片	口 (21.3) 高 (9.5) 底 -	覆土	①砂粒②酸化③褐色④胴部径20.5

2区第24号住居跡

0192	壺 土師器	底部	口 - 高 (8.1) 底 8.4	中央西寄 床面	①白色粒多②酸化③褐色④剥下位17.0
0193	不 明 石		長 15.5 幅 8.5 厚 6.2	中央西寄 床面	④重さ1.065kg, 粗粒安山岩
0194	不 明		長 16.2 幅 8.3 厚 3.8	中央西寄 床面	④重さ874.2g, 粗粒安山岩
0195	不 明		長 16.65 幅 7.2 厚 5.8	中央西寄 床面	④重さ1.11kg, 石英閃緑岩

2区第25号住居跡

0196	壺 須志器	底部	口 - 高 (16.5) 底 -	カマド底 面	①細砂②還元③灰白色
0197	壺 土師器	口縁部 ~体部	口 20.5 高 (14.1) 底 -	カマド・ 南辺寄床 面	①砂粒多②酸化③褐色④剥18.7
0198	円 盤 土製品 土器転用	略完	外径 3.6 厚 0.8	掘形	①砂粒多②酸化③褐色④重さ11.3g

2区第26号住居跡

0199	高 杯 土師器	略完	口 14.3 高 10.0 底 10.5	カマド底 面	①褐色粒, 細砂②酸化③鈍い褐色
0200	杯 土師器	片	口 14.0 高 5.4 底 -	カマド左 脇床面	①細砂②酸化③鈍い褐色
0201	壺 土師器	口縁部 ~体部 片	口 (15.9) 高 (10.6) 底 -	カマド左 脇床面	①砂粒多②酸化③鈍い褐色④剥18.5

2区第27号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0202	壺土器器	底部欠	口 13.6 高 (14.5) 底 -	中央北東寄床面	①砂粒多②酸化③赤褐色④割15.6

2区第28号住居跡

0203	杯土器器	略完	口 14.3 高 5.0 底 ●	カマド左脇床面	①褐色粒②酸化③褐色
0204	杯土器器	完形	口 12.0 高 4.3 底 ●	カマド左脇床面	①砂粒②酸化③明赤褐色
0205	杯土器器	片	口 11.8 高 4.0 底 ●	カマド左脇床面	①褐色粒、砂粒②酸化③褐色④腐付着
0206	杯土器器	完形	口 12.8 高 4.8 底 ●	カマド右脇床面	①細粒②酸化③褐色④變中
0207	杯土器器	略完	口 12.3 高 4.2 底 ●	カマド底面	①細砂②酸化③褐色
0208	杯土器器	略完	口 12.4 高 4.3 底 ●	南東隅床面	①細砂②酸化③明赤褐色
0209	杯土器器	完形	口 11.9 高 4.3 底 ●	カマド左前床面	①白色小粒②還元③灰色④ヘラ記号
0210	高杯土器器	杯部	口 20.7 高 (7.5) 底 -	カマド左脇床面	①褐色粒、砂粒②酸化③明赤褐色
0211	高杯土器器	脚部	口 - 高 (14.0) 底 14.1	カマド右脇床面	①砂粒②酸化③鈍い褐色④0210と別個体
0212	壺土器器	略完	口 14.6 高 15.7 底 5.0	カマド右脇床面	①砂粒多②酸化③鈍い褐色④割16.4
0213	壺土器器	略完	口 19.9 高 27.6 底 8.2	南東隅床面	①砂粒多②酸化③褐色④割18.4
0214	壺土器器	口縁部片	口 22.8 高 (13.5) 底 -	カマド左袖床面	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色④割19.0

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0215	甕 土師器	体部欠	口 21.0 高 (10.6) 底 -	カマド右 壁床面	①白色粒、砂粒②酸化③橙色
0216	甕 土師器	体部欠	口 13.8 高 (7.0) 底 -	カマド右 壁床面	①白色粒②酸化③褐色
0217	甕 土師器		口 18.1 高 3.5 底 3.1	カマド右 壁	①砂粒多②酸化③橙色④割18.2

2区第32号住居跡

0220	甕 土師器	口縁部 欠	口 - 高 (16.8) 底 5.7	カマド内 底面	①砂粒多②酸化③橙色④割15.4
0221	甕 土師器	体部～ 底部	口 - 高 (17.5) 底 6.2	カマド底 面	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色④割19.4
0222	杯 土師器	片	口 14.5 高 5.5 底 -	北辺中央 壁際床面	①褐色粒、細砂②酸化③橙色
0223	杯 土師器	片	口 15.0 高 6.2 底 ●	カマド底 面	①褐色粒、細砂②酸化③鈍い褐色
0224	杯 土師器	片	口 13.3 高 6.6 底 ●	覆土	①細砂②酸化③鈍い褐色④内黒

2区第33号住居跡

0225	高 杯 土師器	杯部	口 15.8 高 5.2 底 -	南辺東寄 壁際床面	①細砂②酸化③内外面赤色塗彩
0226	杯 土師器	略完	口 14.2 高 6.0 底 ●	北東寄床 面	①褐色粒多②酸化③橙色
0227	杯 土師器	略完	口 12.4 高 5.8 底 ●	カマド底 面	①褐色粒、砂粒②酸化③鈍い褐色
0228	杯 土師器	片	口 13.2 高 5.5 底 ●	中央北寄 床面	①褐色粒②酸化③橙色
0229	杯 土師器 鉢形	片	口 (16.6) 高 9.4 底 ●	北東隅床 面	①褐色粒、細砂②酸化③橙色④割17.0

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0230	高杯 土師器	片	口 ー 高 (5.5) 底 16.0	中央北寄 床面	①細砂②酸化③棕色
0231	壺 土師器 小型	片	口 11.7 高 13.3 底 ●	カマド左 脇床面	①砂粒多②酸化③鈍い褐色④割13.8
0232	壺 土師器 小型	片	口 12.0 高 (9.6) 底 ー	カマド左 脇床面	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色④割13.6
0233	壺 土師器	片	口 16.5 高 29.6 底 7.4	カマド内	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④割21.5
0234	壺 土師器	片	口 18.7 高 32.0 底 3.0	カマド前 床面	①褐色粒, 砂粒多②酸化③棕色④割18.8
0235	壺 土師器 小型	片	口 12.0 高 15.0 底 5.0	カマド右 袖前床面	①砂粒多②酸化③黄褐色④割14.6

2区第35号住居跡

0236	壺 土師器	片	口 16.0 高 28.7 底 ー	南東隅床 面	①褐色粒, 砂粒②酸化③棕色④割19.9
------	----------	---	-------------------------	-----------	----------------------

2区第37号住居跡

0237	杯 土師器	略完	口 12.0 高 5.0 底 ●	南辺中央 壁際床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③鈍い赤褐色
0238	杯 土師器	略完	口 12.4 高 5.8 底 ●	中央東寄 床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③明赤褐色
0239	杯 土師器	片	口 12.0 高 5.4 底 ●	中央南西 寄床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③明赤褐色
0240	杯 土師器	片	口 (12.7) 高 4.4 底 ●	南辺東寄 壁際床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③鈍い棕色
0241	壺 土師器	完形	口 11.7 高 9.5 底 ●	中央北東 寄床面	①褐色粒, 細砂②酸化③鈍い棕色④割12.8
0242	壺 土師器	口縁部 欠	口 ー 高 (11.7) 底 ●	中央南寄 床面	①褐色粒, 細砂②酸化③明赤褐色④割12.6

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0243	甕土器	底部欠	口 10.5 高底 (14.0) —	北西隅床直上	①褐色粒, 細砂②酸化③明赤褐色④割13.6
0244	甕土器	口縁部	口 12.5 高底 (6.9) —	南辺中央壁際床面	①褐色粒, 細砂②酸化③明赤褐色
0245	甕土器	略完	口 23.5 高 26.6 底 10.1	中央南西寄床面	①褐色粒, 白色粒②酸化③橙色④割21.6
0246	甕土器	片	口 (16.7) 高底 (11.8) —	南東隅床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③明赤褐色④割17.2
0247	甕土器	片	口 19.0 高底 (27.5) —	東辺中央床面	①砂粒多②酸化③橙色④割20.5

2区第38号住居跡

0248	杯 褐色土器	片	口 12.6 高底 5.4 ●	南辺北寄床直上	①白色粒, 砂粒多②酸化③鈍い橙色
------	-----------	---	-----------------------	---------	-------------------

2区第39号住居跡

0249	甕土器	完形	口 13.2 高底 14.5 ●	カマド左脇床面	①白色粒多②酸化③鈍い橙色④14.2
0250	杯土器	片	口 6.95 高底 10.95 ●	カマド左脇・カマド内	①砂粒多②酸化③灰白色
0251	丸割甕土器	片	口 18.2 高底 26.5 —	南東隅床面・貯蔵穴	①褐色粒, 白色粒②酸化③淡橙色④割28.2
0252	甕土器	略完	口 11.0 高底 8.9 ●	覆土	①砂粒多②酸化③鈍い橙色④割11.8
0253	模造品土製	完形	長 3.0 幅 1.6 厚 0.8	覆土	①精良②酸化③赤褐色④重さ3.5g, 曲玉形

2区第40号住居跡

0254	杯土器	片	口 12.1 高底 5.7 ●	南辺中央床面	①褐色粒, 細砂②酸化③橙色
------	-----	---	-----------------------	--------	----------------

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0255	杯 土器器	片	口 14.0 高 5.0 底 ●	南西寄壁 際床面	①褐色粒、細砂②酸化③棕色
0256	高杯 土器器	完形	口 9.2 高 8.1 底 7.6	中央西寄 床面	①細砂②酸化③浅黄棕色
0257	高杯 土器器	杯部 片	口 17.2 高 (6.9) 底 —	中央南西 寄床面	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
0258	高杯 土器器	片	口 — 高 14.6 底 —	中央西寄 床面	①細砂②酸化③棕色
0259	壺 土器器	片	口 17.5 高 (35.5) 底 6.9	南辺壁際 床面	①砂粒多②酸化③灰黄褐色④胴19.8
0260	壺 土器器	底部	口 — 高 (5.9) 底 6.6	南辺壁際 床面	①細砂②酸化③棕色④二次火熱
0261	杯 土器器	略完	口 13.1 高 5.7 底 ●	南辺西寄 壁際床下	①褐色粒、細砂②酸化③棕色④内底割付

2区第41号住居跡

0262	杯 頭器器	片	口 11.6 高 3.8 底 ●	カマド右 脇床面	①白色粒多②還元③灰色
0263	壺 土器器	底部	口 — 高 (7.4) 底 6.5	カマド左 袖前床面	①褐色粒②酸化③棕色④胴下位16.6

2区第42号住居跡

0264	壺 土器器	口縁部 ～体部	口 21.4 高 (28.8) 底 —	カマド左 袖基部	①褐色粒②酸化③棕色④胴20.5
0272	杯 土器器	片	口 14.2 高 4.4 底 ●	南辺東寄 壁際床面	①褐色粒②酸化③赤棕色
0273	杯 黑色土器	片	口 12.3 高 4.7 底 ●	中央南西 寄床面	①白色小粒②酸化③鈍い棕色
0274	壺 土器器	口縁部 片	口 22.0 高 11.3 底 —	中央北東 寄床面	①砂粒②酸化③黄灰色④胴20.4

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0275	甕 土器器	口縁部 ～体部	口 18.0 高 (21.5) 底 —	南辺中央 床面	①砂粒多②酸化③橙色④胴21.0
0276	甕 土器器	底部	口 — 高 (6.5) 底 6.4	中央北東 寄床面	①砂粒多②酸化③暗赤褐色④外底木炭痕
0277	甕 土器器	片	口 18.6 高 (27.2) 底 (6.1)	北辺中央 床面	①砂粒②酸化③鈍い褐色④胴17.8
0278	甕 土器器	口縁部 ～体部	口 15.2 高 (20.0) 底 —	中央南西 寄床面	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色
0279	甕 土器器	口縁部 ～体部 片	口 (16.0) 高 (15.7) 底 —	中央南寄 床面	①砂粒多②酸化③淡黄褐色
0280	瓶 土器器	片	口 (24.5) 高 27.4 底 (10.9)	中央北東 寄床面	①砂粒多②酸化③淡黄褐色④胴21.8
0281	杯 土器器	片	口 13.0 高 5.1 底 ●	南西寄床 面	①褐色粒②酸化③橙色

2区第43号住居跡

0282	杯 土器器	片	口 13.0 高 5.3 底 ●	中央床面	①褐色粒②酸化③橙色
0283	杯 土器器	略完	口 12.6 高 5.4 底 ●	中央床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③橙色
0284	杯 土器器	略完	口 14.0 高 5.8 底 ●	中央床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
0285	杯 土器器	片	口 13.8 高 4.1 底 ●	中央床面	①褐色粒②酸化③橙色
0286	杯 土器器	略完	口 12.2 高 5.6 底 ●	貯蔵穴南 壁	①褐色粒②酸化③鈍い橙色
0287	杯 土器器	片	口 17.6 高 7.3 底 ●	中央床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③鈍い赤褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0288	高杯 羽志器	杯部	口 14.4 高 6.5 底 -	覆土	①白色粒, 砂粒②還元③暗オリーブ灰色
0289	高杯 土師器	略完	口 12.85 高 8.9 底 8.5	南辺東寄 埋跡床面	①褐色粒②酸化③明赤褐色
0290	高杯 土師器	片	口 17.5 高 (11.9) 底 -	中央北寄 床面	①褐色粒②酸化③褐色
0291	高杯 土師器	杯部 片	口 20.6 高 9.7 底 -	中央北寄 床面	①褐色粒, 細砂②酸化③褐色
0292	高杯 土師器	杯部 片	口 16.0 高 (8.5) 底 -	覆土	①褐色粒, 細砂多②酸化③明赤褐色
0293	高杯 土師器	片	口 - 高 (4.4) 底 (5.3)	中央南寄 床面	①褐色粒②酸化③褐色
0294	丸割 土師器	口縁部 欠	口 - 高 (35.0) 底 9.5	貯蔵穴内	①褐色粒, 砂粒多②酸化③鈍い褐色④割33.7
0295	甕 土師器	口縁部 欠	口 - 高 (28.3) 底 7.8	貯蔵穴内	①褐色粒多②酸化③褐色
0296	甕 土師器	底部	口 - 高 (8.8) 底 6.9	貯蔵穴内	①細砂多②酸化③鈍い褐色④割18.6
0297	甕 土師器	口縁部 欠	口 - 高 31.2 底 6.3	中央北東 寄床直上	①細砂多②酸化③褐色④割20.9
0298	甕 土師器	片	口 16.4 高 33.5 底 5.0	中央北東 寄床直上	①細砂多②酸化③鈍い黄褐色④割22.2
0299	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 11.3 高 (8.4) 底 -	中央床面	①細砂多②酸化③鈍い赤褐色④割11.7

2区第4号住居跡

0265	杯 土師器	片	口 12.0 高 4.2 底 ●	カマド右 袖壁床面	①細砂②酸化③明赤褐色
------	----------	---	------------------------	--------------	-------------

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0266	杯 黒色土器	片	口 13.6 高 4.7 底 ●	南辺東寄 張出部	①細砂多②酸化③褐色④内黒

2区第47号住居跡

0267	壺 土器器	底部	口 - 高 (17.0) 底 6.0	東辺中央 カマド左 脇床面	①褐色粒、砂粒②酸化③暗赤褐色④胴18.9
------	----------	----	--------------------------	---------------------	-----------------------

2区第50号住居跡

0268	器台 土器器	片	口 9.2 高 7.5 底 (10.8)	中央南西 寄床面	①砂粒多②酸化③褐色
0269	器台 土器器	脚部	口 - 高 (6.8) 底 13.0	中央南西 寄床面	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
0270	壺 土器器	口縁部 ~体部	口 12.6 高 8.1 底 -	西辺南寄 壁跡床面	①白色粒②酸化③鈍い黄褐色④胴14.5

2区第51号住居跡

0271	高杯 土器器	杯部 片	口 15.4 高 4.8 底 -	西寄床面	①褐色粒、細砂②酸化③褐色
------	-----------	---------	------------------------	------	---------------

2区第55号住居跡

0300	甗 土器器	略完	口 23.0 高 29.7 底 8.7	南東隅床 面	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④胴上19.6
0301	壺 土器器	底部欠	口 10.6 高 (14.5) 底 -	覆土	①砂粒②酸化③鈍い褐色
0302	須恵 器	口頸部 小片	口 14.8 高 6.8 底 -	覆土	①精良②還元焼③灰色

2区第56号住居跡

0303	甗 土器器	片	口 20.2 高 (28.6) 底 -	中央床面	①褐色粒、砂粒②酸化③褐色④直行口縁
0304	高杯 土器器	脚部	口 - 高 (11.0) 底 12.4	カマド中 中央直立	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色

2区第57号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0305	杯 土師器	略完	口 13.0 高 5.3 底 ●	北辺西寄 床面	①褐色粒、細砂②酸化③赤褐色
0306	杯 土師器	完形	口 13.3 高 5.1 底 ●	南辺東寄 覆土	①細砂多②酸化③橙色
0307	杯 黒色土器	片	口 - 高 (5.4) 底 ●	北辺中央 床面	①砂粒②酸化③明赤褐色④器表割け
0308	器台 須恵器	小片 接合部	口 - 高 (5.0) 底 -	覆土	①黒色粒②還元③灰色④四方透かし
0309	壺 土師器	口縁部 ～体部 片	口 18.0 高 (18.6) 底 -	中央北東 寄床面	①褐色粒、砂粒②酸化③橙色④胴18.6

2区第58号住居跡

0310	壺 弥生	口縁部 欠	口 - 高 10.1 底 4.3	北辺西寄 床面 正立	①白色粒②酸化③赤色④外面赤色磨彩⑤胴12.1
0311	壺 弥生	略完	口 7.6 高 8.5 底 4.6	西辺壁際 床面	①砂粒多②酸化③灰褐色④胴10.0
0312	壺 弥生	体部片	口 - 高 (12.0) 底 -	北辺壁際 床面	①細砂多②酸化③橙色④胴(15.2)

2区遺構外

0313	土 鉢	略完	長 6.5 外 3.7 孔 0.75	2区西側 道褐色土 上位	①褐色粒②酸化③明赤褐色④重さ106.5g
0314	杯 須恵器	底部片	口 - 高 (2.0) 底 3.4	2区西側 道表土	細砂②還元③灰白色④外底へろ記号

3区第1号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0456	杯土器	片	口 9.4 高 2.5 底 4.9	カマド前 フク土	①砂粒多②酸化③灰黄色
0457	高台付椀 灰釉陶器	小片	口 13.0 高 (3.6) 底 (7.7)	ピット1 内	①白色粒②還元③灰白色
0458	羽蓋土器	片	口 19.1 高 (11.6) 底 -	南辺中央 灰面	①褐色粒、砂粒②酸化③鈍い黄褐色④割23.0
0671	不明鉄製品		天 3.5 左 3.0	フク土	

3区第2号住居跡

0459	高台付椀 灰釉陶器	片	口 16.4 高 6.5 底 8.3	南辺東寄 土坑内	①白色粒②還元③灰オリーブ色
------	--------------	---	--------------------------	-------------	----------------

3区第3号住居跡

0315	杯土器	略完	口 11.4 高 3.5 底 ●	南辺中央 壁際灰面	①細砂②酸化③橙色
0316	杯土器	略完	口 12.1 高 3.4 底 ●	カマド	①細砂②酸化③鈍い赤褐色
0317	杯土器	片	口 (19.6) 高 6.9 底 ●	中央東寄 灰面	①砂粒②酸化③内面橙色、外面鈍い橙色
0318	壺土器	片 高部欠	口 22.6 高 (21.0) 底 -	カマド左 脇灰面	①砂粒②酸化③橙色④割18.5
0319	壺土器	口縁部 ～体部	口 21.0 高 (17.5) 底 -	東辺北寄 床下	①砂粒多②酸化③橙色④割18.0
0320	管玉	完形	長 2.1 外 0.5 孔 0.2	床下	④重さ1.1g、碧玉?
0321	模造品 滑石製	完形	長 2.7 幅 2.6 厚 0.6	床下	④重さ6.6g、剣形

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0322	模造品 滑石製	完形	長 幅 厚 3.0 2.0 0.4	床下	④重さ4.2g, 剣形
0323	模造品 滑石製	完形	長 幅 厚 2.3 1.7 0.4	フタ土	④重さ3.3g, 不定形単孔
0324	模造品 滑石製	頭部欠	現長 外 孔 2.6 1.0 (0.5)	フタ土	④重さ3.5g, 曲玉形
0325	器台 須恵器	小片	口 高 底 - (12.0) -	フタ土	①白色粒②還元③オリーブ灰色
0672	鎌又は鋤 先 鉄製品	小片	天地 左右 2.8 3.8	フタ土	④小片のため不明

3区第5号住居跡

0326	杯 土師器	片	口 高 底 (14.0) 4.2 ●	カマド右 脇壁際床 面	①褐色粒, 細砂②酸化③明赤褐色
0327	杯 土師器	片	口 高 底 13.4 3.8 ●	カマド前 床面	①褐色粒, 細砂②酸化③鈍い棕色
0328	杯 土師器	片	口 高 底 (18.2) (5.5) -	カマド内	①褐色粒, 細砂②酸化③鈍い赤褐色

3区第6号住居跡

0329	杯 土師器	略完	口 高 底 10.6 5.5 ●	中央床面	①褐色粒, 細砂②酸化③棕色
0330	杯 黒色土器	略完	口 高 底 10.9 5.2 ●	カマド左 脇床面	①細砂②酸化③赤褐色
0331	杯 土師器	略完	口 高 底 10.8 5.1 ●	カマド	①褐色粒, 細砂②酸化③赤色
0332	杯 土師器	片	口 高 底 13.0 (5.5) -	カマド左 脇石下床 面	①褐色粒, 細砂②酸化③棕色
0333	杯 土師器	片	口 高 底 11.4 4.9 ●	カマド左 脇ピット 上	①細砂②酸化③棕色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0334	高杯土師器	脚部	口 ー 高 (6.3) 底 10.4	カマド前床面	①細砂②酸化③橙色
0335	高杯土師器	脚部	口 ー 高 (6.0) 底 (10.8)	東辺北寄壁際	①細砂②酸化③橙色
0336	高杯土師器	脚部	口 ー 高 (6.2) 底 10.4	カマド左脇ビット内	①白色粒, 砂粒②酸化③橙色
0337	壺土師器	口縁部～胴部	口 15.6 高 (11.0) 底 ー	カマド右脇壁際床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③橙色④同20.4
0338	台付壺土師器	略完	口 11.6 高 17.75 底 10.4	カマド	①褐色粒, 砂粒多②酸化③橙色④同12.3
0339	紡錘車骨石製	完形	外厚 4.0 1.9 孔 0.6	カマド左脇ビット内	③黒色④重さ43.7g
0340	模造品骨石製		長 3.4 幅 2.8 厚 0.4	カマド前床直上	②灰色④重さ8.1g, 双孔円板

3区第7号住居跡

0341	杯土師器	略完	口 13.5 高 5.0 底 ●	南辺東寄壁際床面	①褐色粒, 細砂②酸化③橙色
0342	壺土師器	口縁～体部	口 14.6 高 11.1 底 ー	カマド前床面	①砂粒多②酸化③赤褐色④同18.8
0343	高杯土師器	脚部	口 ー 高 (7.7) 底 ー	中央床面	①精良②酸化③赤褐色
0344	杯土師器	片	口 17.0 高 (6.0) 底 ー	カマド右脇床面・カマド	①褐色粒, 細砂②酸化③赤色

3区第8号住居跡

0345	杯土師器	片	口 13.1 高 4.1 底 ー	中央北西寄床面	①褐色粒②酸化③橙色
0346	壺土師器	底部欠	口 12.1 高 14.2 底 ー	カマド	①細砂②酸化③赤褐色④同17.6

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0347	甕 土器器	口縁部 底部	口 (18.0) 高 (11.0) 底 6.4	中央西寄 床面	①砂粒多②酸化③暗赤褐色④肩17.6
0348	甕 土器器	口縁部 底部	口 (25.5) 高 (28.3) 底 (9.0)	中央西寄 床面	①細砂多②酸化③黄褐色④肩下位21.5

3区第11号住居跡

0460	高台付皿 灰釉陶器	略完	口 13.1 高 2.3 底 7.4	南辺寄床 面	①白色粒少②還元③灰白色
0461	羽蓋 土器器	口縁部 ～体部	口 19.8 高 (20.8) 底 -	カマド	①黒色小粒多②酸化③橙色④肩22.7

3区第12号住居跡

0462	高台付椀 土器器	片	口 (10.0) 高 4.7 底 6.4	南西隅土 坑内	①細砂②酸化③橙色
0463	高台付椀 土器器	片	口 (14.8) 高 5.9 底 8.4	南西隅土 坑際床面	①細砂②酸化③鈍い褐色
0464	不明 石	完形	長 18.8 幅 7.0 厚 4.20	北西隅床 面	④重さ897.5g、粗粒安山岩

3区第15号住居跡

0349	杯 須恵器	略完	口 14.4 高 4.4 底 10.8	南辺東寄 壁際床面	①白色粒少、細砂②還元硬重③灰白色
0350	杯 土器器	略完	口 11.8 高 3.8 底 ●	中央西寄 床面	①細砂②酸化③橙色
0351	杯 土器器	完形	口 12.0 高 3.6 底 ●	床下	①細砂②酸化③橙色
0352	模造品 滑石製		長 6.0 幅 4.0 厚 1.3	15・17住 フタ土	③緑灰色④重さ38.7g、単孔、不整形、孔径0.5～0.6

3区第16号住居跡

0353	杯 土器器	略完	口 11.7 高 4.7 底 ●	カマド右 脇床面	①褐色粒②酸化③橙色
------	----------	----	------------------------	-------------	------------

3区第19号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0654	羽釜土師器	底部	口 ー 高 (12.0) 底 7.5	カマド	①白色粒。砂粒多②酸化③明赤褐色
0655	杯土師器	片	口 (9.6) 高 3.5 底 (5.0)	南辺東寄壁際床面	①細砂②酸化気味の還元③鈍い黄褐色
0656	瓶須恵器	口縁部小片	口 (27.5) 高 (11.0) 底 ー	カマド	①褐色粒。砂粒②酸化③赤色④割31.3
0657	杯土師器	片	口 (9.8) 高 2.8 底 5.5	フク土	①白色粒。砂粒多②酸化③鈍い黄褐色
0658	平瓦	小片	厚 1.8	カマド左脇床面	①砂粒多②酸化気味③鈍い褐色
0673	鐵製	略完	長 8.9 茎長 5.0	フク土	④基断面0.5×0.6。切先扁平な長三角形

3区第20号住居跡

0432	杯黒色土器	片	口 (11.1) 高 3.3 底 ●	北東隅壁際フク土	①細砂②酸化③赤褐色
0433	杯土師器	片	口 (14.4) 高 3.5 底 ー	中央床面	①細砂②酸化③褐色
0434	甕土師器	口縁部片	口 (10.8) 高 (10.3) 底 ー	カマド	①細砂②酸化③赤褐色④割18.8

3区第21号住居跡

0536	杯黒色土器	略完	口 14.7 高 8.1 底 6.2	Aカマド	①細砂②酸化③鈍い褐色
0537	甕土師器	底部欠	口 18.6 高 (24.0) 底 ー	南東隅土坑内	①砂粒②酸化③浅黄褐色④割22.0
0538	甕土師器	略完	口 18.2 高 35.2 底 6.8	南東隅土坑内	①白色粒。砂粒②酸化③鈍い赤褐色④割23.2

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0539	模造品 滑石製	完形	外 孔 厚 0.6 0.2 0.4	フク土	③灰色④重き0.2g、白玉

3区第2号住居跡

0540	杯 土師器	略完	口 高 底 13.3 5.3 ●	カマド	①細砂②酸化③橙色
0541	杯 土師器	口唇部欠	口 高 底 — (5.7) ●	カマド左 脇床面	①砂粒②酸化③明赤褐色
0542	杯 黒色土器	略完	口 高 底 12.4 4.9 ●	北西隅床 直上	①細砂②酸化③外面黒色
0543	壺 土師器	片	口 高 底 17.1 (36.7) —	南東隅床 面	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色④割28.5
0544	模造品 滑石製	略完	長 幅 厚 3.6 0.6 0.6	フク土	③灰色④重き7.8g、双孔、刺形

3区第2号住居跡

0545	模造品 滑石製	略完	外 孔 厚 0.4 0.1 1.8	フク土	③黄灰色④重き0.05g、小、白玉
0546	模造品 滑石製	略完	外 孔 厚 0.6 0.2 3.4	フク土	③オリーブ黒色④重き0.2g、大、白玉

3区第2号住居跡

0547	埴 須志器	口縁部	口 高 底 13.0 (3.6) —	フク土	①白色粒②還元③灰色
------	----------	-----	-----------------------------------	-----	------------

3区第2号住居跡

0548	瓶 土師器	完形	口 高 孔 16.6 (9.5) 3.3	カマド左 脇床面	①褐色粒②酸化③橙色
0549	壺 土師器	口縁部	口 高 底 (21.0) (12.7) —	カマド	①細砂②酸化③明赤褐色④割17.6
0550	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 高 底 21.0 (13.0) —	カマド	①砂粒多②酸化③橙色④割18.4

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0551	砥石	完形	長幅厚 11.3 4.0 3.0	南辺東寄土坑内	④重さ204.1g, 1孔。砥石石

3区第26号住居跡

0552	杯土師器	瓦	口高底 10.5 3.4 ●	南辺中央土坑内	①細砂②酸化③橙色
0553	杯土師器	瓦	口高底 10.5 3.5 ●	北東寄床直上	①細砂②酸化③鈍い橙色
0554	杯土師器	瓦	口高底 10.7 4.0 ●	南辺中央土坑壁際	①細砂②酸化③橙色
0555	杯土師器	瓦	口高底 16.4 (5.6) -	中央床直上	①褐色粒, 細砂②酸化③橙色
0556	杯土師器	瓦	口高底 13.0 4.0 ●	カマド	①細砂②酸化③橙色
0557	平瓶須恵器	瓦	口高底 - (10.5) 10.0	北西寄床面	①砂粒少②還元③灰色④外底記号「×」⑤割15.8
0558	壺須恵器	口縁部	口高底 21.1 (7.2) -	中央床面	①褐色粒②酸化③鈍い黄褐色
0559	壺土師器	略完	口高底 22.5 38.0 5.4	カマド左袖部倒立	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色④割16.2
0560	壺土師器	口縁部 ~体部	口高底 22.2 (20.3) -	カマド	①細砂多②酸化③鈍い橙色④割18.2
0561	壺土師器	口縁部 ~体部	口高底 20.0 (24.2) -	カマド	①砂粒多②酸化③明赤褐色④割16.0

3区第27号住居跡

0562	杯土師器	瓦	口高底 (13.3) 4.3 ●	カマド右脇床面	①細砂②酸化③明赤褐色
0563	杯土師器	瓦	口高底 14.0 3.7 ●	貯蔵穴内	①細砂②還元欠味③洗黄色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0564	杯土器器	略完	口 13.8 高 5.5 底 ●	カマド右脇床面	①砂粒②酸化③暗褐色
0565	杯土器器	略完	口 12.2 高 4.5 底 ●	貯蔵穴壁	①褐色粒。細砂②酸化③明黄褐色
0566	壺土器器	略完	口 13.5 高 14.7 底 7.2	カマド右脇床面	①砂粒多②酸化③褐色④胴16.8
0567	壺土器器	略完	口 15.0 高 14.7 底 6.0	カマド右脇床面	①砂粒多②酸化③明赤褐色④胴15.0
0568	壺土器器	底部	口 — 高 (9.5) 底 5.3	カマド右脇床面	①砂粒多②酸化③鈍い褐色
0569	壺土器器	底部	口 — 高 17.4 底 6.6	カマド右脇床面	①砂粒多②酸化③鈍い橙色④胴20.2
0570	杯黒色土器	片	口 (14.4) 高 4.1 底 8.4	フク土	①精良②酸化③内黒

3区第28号住居跡

0634	杯土器器	片	口 13.8 高 5.1 底 ●	カマド前床面	①褐色粒。細砂②酸化③赤色
0635	杯土器器	片	口 12.1 高 5.6 底 ●	カマド前床面	①褐色粒。細砂②酸化③明赤褐色
0636	杯土器器	底部欠	口 (16.1) 高 (8.0) 底 —	カマド右前床面	①細砂②酸化③褐色
0637	杯土器器	片	口 14.1 高 6.5 底 ●	カマド掘形フク土	①褐色粒。細砂②酸化③褐色
0638	杯土器器	片	口 11.5 高 5.5 底 ●	フク土	①褐色粒。細砂②酸化③鈍い褐色
0639	杯土器器	片	口 (15.6) 高 5.8 底 ●	カマド	①褐色粒。細砂②酸化③赤褐色

番号	器 種	遺 存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0640	壺 土 師 器	略完	口 17.6 高 32.5 底 6.6	カマド前 床面	①細砂多②酸化③鈍い赤褐色④割20.4
0641	壺 土 師 器	完形	口 19.7 高 31.7 底 6.7	貯蔵穴底 面	①砂粒多②酸化③橙色④割21.2
0642	壺 土 師 器	瓦	口 21.0 高 21.8 底 8.4	カマド左 袖・カマ ド前	①褐色粒、砂粒②酸化③橙色④割22.2
0643	壺 土 師 器	略完	口 13.5 高 32.0 底 6.0	カマド前 床面	①褐色粒、砂粒②酸化③赤褐色④割17.8
0644	壺 土 師 器	瓦	口 17.5 高 25.8 底 6.5	カマド前 床面	①褐色粒、白色粒②酸化③橙色④割16.8
0645	壺 土 師 器	口縁部	口 17.8 高 7.5 底 —	カマド左 脇床面	①褐色粒、砂粒②酸化③橙色
0646	壺 土 師 器	瓦	口 (12.4) 高 12.9 底 ●	カマド前	①砂粒②酸化③鈍い橙色④割4.2
0647	壺 土 師 器	口縁部	口 20.4 高 (12.8) 底 —	カマド	①白色粒多②酸化③黄灰色④割18.0
0648	壺 土 師 器	底部	口 — 高 (10.6) 底 (3.3)	南東辺中 央床面	①砂粒多②酸化③明赤褐色
0649	壺 土 師 器	口縁部 瓦	口 (16.0) 高 (8.7) 底 —	カマド左 袖脇壁際 床面	①砂粒多②酸化③赤色
0650	管 玉 滑 石 製	完形	長 2.85 外 0.8 孔 0.3	南西辺中 央壁溝内	③暗オリーブ灰色④重さ3.4g
0651	管 玉 滑 石 製	完形	長 2.3 外 0.8 孔 0.25	南西辺中 央壁溝内	③暗緑灰色④重さ2.7g
0652	刺 片 滑 石		長 5.1 幅 2.8 厚 0.65	床下	④重さ11.7g、蛇紋岩
0653	壺 土 師 器	略完	口 17.4 高 29.5 底 6.6	カマド前	①砂粒多②酸化③明赤褐色④割18.5

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0659	甕 土器	1/2	口 (16.8) 高 27.4 底 (9.0)	カマド前	①砂粒多②酸化③明赤褐色④割25.2

3区第29号住居跡

0571	杯 土器	1/4	口 12.9 高 4.8 底 ●	北東隅床 直上	①褐色粒。砂粒②酸化③明赤褐色
0572	杯 土器	1/4	口 (16.7) 高 (8.6) 底 ●	床下	①褐色粒。砂粒②酸化③明赤褐色

3区第30号住居跡

0573	杯 弥生土器	底部欠	口 14.8 高 (4.2) 底 -	南西辺中 中央床面	①白色粒②酸化③明赤褐色
0574	壺 弥生土器	底部	口 - 高 (3.9) 底 3.0	北東辺北 寄壁跡	①精良②酸化③暗赤褐色④内外面赤彩磨
0575	甕 弥生土器	口縁欠	口 (16.4) 高 32.1 底 8.4	南西寄床 面	①細砂②酸化③明褐色④割21.9
0576	甕 弥生土器	肩部片	口 - 高 (8.9) 底 -	南西辺中 中央床面	①細砂②酸化③暗赤褐色
0577	紡錘車 土製	完形	外 4.1 孔 1.0 厚 1.45	北東隅床 面	①精良②酸化③鈍い褐色④重さ27.3g
0578	不明 石	略完	長 15.0 幅 7.9 厚 2.5	南東辺中 央ビット 内	③明緑灰色④重さ588.2g。碧母石英片岩

3区第33号住居跡

0579	杯 土器	1/4	口 (16.6) 高 (6.6) 底 ●	カマド前 土坑上	①細砂②酸化③明赤褐色
0580	甕 土器	底部欠	口 21.1 高 31.4 底 -	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③褐色④割17.7
0581	甕 土器	底部欠	口 21.2 高 (31.4) 底 -	カマド右 袖前	①砂粒多②酸化③褐色④割17.0

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0582	甕土器器	口縁部 ～体部	口 (17.3) 高 19.0 底 —	カマド右 前床面	①砂粒多②酸化③鈍い橙色④割20.8
0583	甕土器器	口縁部 ～体部	口 (22.7) 高 12.1 底 —	カマド前 床面	①白色粒多②酸化③橙色
0584	模造品 滑石製	略完	長 3.6 幅 1.8 厚 0.6	南辺東寄 壁溝内	③灰白色④重さ6.4g, 筒形, 単孔

3区第34号住居跡

0585	杯土器器	略完	口 13.3 高 4.8 底 ●	中央フク 土	①褐色粒, 砂粒②酸化③橙色
0586	短頸壺 須恵器	片	口 15.1 高 10.3 底 ●	東辺南寄 床面	①黑色粒多②還元③灰色④割19.4
0587	高杯土器器	片	口 19.1 高 18.4 脚 16.2	中央南寄 床直上	①砂粒②酸化③橙色④接合部5.7
0588	甕土器器	片	口 11.8 高 11.5 底 7.5	中央南寄 床直上	①褐色粒, 砂粒②酸化③鈍い橙色④割13.0

3区第38号住居跡

0354	甕土器器	口縁部 ～体部 片	口 14.5 高 (11.8) 底 —	北東隅床 面	①褐色粒, 砂粒②酸化③鈍い橙色④割14.4
------	------	-----------------	---------------------------	-----------	------------------------

3区第39号住居跡

0435	杯土器器	略完	口 11.8 高 5.4 底 ●	カマド前 床面	①褐色粒, 白色粒②酸化③赤色
0436	杯土器器	略完	口 10.2 高 6.6 底 ●	南辺中央 壁際	①褐色粒, 細砂②酸化③赤褐色
0437	杯土器器	完形	口 11.4 高 5.5 底 ●	カマド左 袖端床面	①褐色粒, 細砂②酸化③橙色
0438	杯土器器	略完	口 13.2 高 5.0 底 ●	カマド左 壁柱穴内	①褐色粒, 細砂②酸化③明赤褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0439	杯 土器器	片	口 15.9 高 (6.8) 底 ●	カマド右 脇	①褐色粒、細砂②酸化③橙色
0440	杯 黒色土器	略完	口 12.8 高 5.5 底 ●	中央床面	①白色粒②酸化③内黒、外面明赤褐色
0441	杯 土器器	略完	口 12.4 高 5.3 底 ●	カマド左 袖脇	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
0442	杯 土器器	略完	口 12.9 高 5.5 底 ●	カマド左 袖	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
0443	杯 土器器	略完	口 12.3 高 5.5 底 ●	カマド左 袖脇床面	①褐色粒、細砂②酸化③橙色
0444	杯 土器器	略完	口 13.1 高 4.6 底 ●	カマド前 床面	①褐色粒、砂粒②酸化③明赤褐色
0445	杯 土器器	略完	口 13.7 高 5.5 底 ●	西辺北寄 床面	①褐色粒、白色粒②酸化③赤色
0446	杯 土器器	片	口 14.0 高 5.4 底 ●	カマド左 脇	①砂粒②酸化③鈍い橙色
0447	壺 土器器	略完	口 8.5 高 16.0 底 ●	カマド左 脇壁原床 面	①褐色粒、砂粒②酸化③明赤褐色④割14.6
0448	壺 土器器	略完	口 26.0 高 26.9 底 —	カマド左 袖前床面	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色④割22.5
0449	壺 土器器	完形	口 13.8 高 7.4 底 6.7	カマド右 袖脇床面	①褐色粒、白色粒②酸化③鈍い赤褐色
0450	台付 壺	片	口 11.4 高 13.1 底 8.4	中央西寄 床面	①砂粒多②酸化③明褐色④割11.6
0451	壺 土器器	略完	口 16.0 高 18.0 底 (6.9)	カマド	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④割17.6
0452	壺 土器器	片	口 14.4 高 13.9 底 6.0	カマド右 脇床面	①砂粒多②酸化③赤褐色④割15.2

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0453	壺 土器器	略完	口 16.6 高 3.0 底 4.0	カマド	①褐色粒, 砂粒②酸化③鈍い赤褐色④測20.4
0454	壺 土器器	瓦	口 (18.2) 高 32.0 底 (6.0)	カマド	①砂粒②酸化③暗赤褐色④測20.4
0455	砥石	完形	長 9.4 幅 4.5 厚 3.3	南西柱穴 内	③浅黄色④重さ248.8g, 砥沢石

3区第40号住居跡

0355	杯 土器器	完形	口 12.0 高 6.0 底 ●	中央床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③橙色
0356	杯 土器器	完形	口 13.3 高 4.9 底 ●	中央西寄 床直上	①褐色粒, 砂粒②酸化③橙色
0357	杯 土器器	瓦	口 (13.0) 高 5.7 底 ●	床下	①褐色粒, 砂粒②酸化③赤褐色
0358	杯 土器器	瓦	口 (14.4) 高 (5.1) 底 ●	中央南東 寄床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③暗赤褐色
0359	高杯 土器器	脚部	口 — 高 5.5 底 (9.0)	中央西寄 床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③橙色
0367	模造品 滑石製	完形	長 5.3 幅 2.2 厚 0.95	北辺東寄 壁際床面	④重さ26.1g, 鐘形, 単孔

3区第41号住居跡

0360	壺 土器器 手づくね	略完	口 3.6 高 4.1 底 3.9	フク土	①褐色粒, 細砂②酸化③明赤褐色④測6.0
0361	杯 土器器	瓦	口 (13.3) 高 5.0 底 ●	フク土	①褐色粒, 砂粒②酸化③明赤褐色

3区第42号住居跡

0362	杯 土器器	瓦	口 (12.1) 高 4.8 底 ●	南辺東寄 壁際床面	①砂粒②酸化③明赤褐色
------	----------	---	--------------------------	--------------	-------------

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0363	杯 土器器	片	口 (12.0) 高 (4.6) 底 ●	南辺東寄 壁際床面	①細砂②酸化③鈍い褐色
0364	高杯 土器器	片	口 (14.8) 高 10.5 底 9.0	北寄床面	①細砂②酸化③褐色
0365	瓶 土器器	片	口 (23.2) 高 (25.0) 底 —	中央西寄 床面	①砂粒多②酸化③灰黄褐色④胴30.4
0366	不 明 石		長 13.4 幅 10.9 厚 10.3	中央南寄 床面	④4穴、重さ1.65kg、粗粒安山岩
0368	模造品 滑石製	完形	長 5.3 幅 0.5 厚 2.3	中央北寄 フタ土 床上40cm	④重さ11.0g、刺形、双孔

3区第43号住居跡

0369	杯 土器器	略完	口 13.6 高 4.8 底 ●	南東寄床 面	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
0370	杯 土器器	片	口 (16.5) 高 (6.5) 底 ●	南東寄床 面	①褐色粒、細砂②酸化③鈍い赤褐色
0371	壺 土器器	口縁部 ～体部	口 11.8 高 (14.0) 底 —	カマド右 袖端床面	①褐色粒、細砂②酸化③鈍い赤褐色④胴17.6
0372	壺 土器器	口縁部 ～体部	口 15.5 高 (8.8) 底 —	南辺東寄 壁際床直 上	①褐色粒、砂粒②酸化③明赤褐色④胴15.9

3区第45号住居跡

0373	丸胴壺 土器器		口 (13.5) 高 (18.0) 底 —	中央南西 寄床面	①褐色粒、砂粒②酸化③褐色④胴22.2
------	------------	--	-----------------------------	-------------	---------------------

3区第47号住居跡

0375	壺 土器器	片	口 (10.5) 高 10.6 底 ●	北東寄床 直上	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④胴13.8
0376	鉢 土器器	片	口 (19.6) 高 9.8 底 ●	南東辺壁 際床直上	①砂粒多②酸化③灰褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0377	丸胴壺 土器器	瓦	口 21.4 高 33.8 底 6.0	北東隅貯 蔵穴壁	①砂粒多②酸化③浅黄褐色④割28.5
0378	模造品 滑石製	完形	外 1.2 孔 0.2 厚 0.6	北東寄壁 際	③オリーブ灰色④重さ1.3g, 側面丸, 白玉
0379	模造品 滑石製	完形	外 1.1 孔 0.3 厚 0.7	北東寄壁 際	③鈍い黄褐色④重さ1.3g, 割口のまゝ, 白玉
0380	削片 滑石		長 3.7 幅 1.5 厚 1.0	フク土	④重さ7.5g
0381	削片 滑石		長 6.0 幅 3.6 厚 0.9	フク土	③浅黄灰色④重さ20.2g

3区第49号住居跡

0382	高杯 土器器	瓦	口 12.4 高 9.4 底 9.8	南東隅ピ ット底面	①褐色粒, 細砂②酸化③褐色
0383	丸胴壺 土器器	口縁部 ～体部	口 (14.9) 高 8.5 底 -	南東隅ピ ット内	①褐色粒, 細砂②酸化③明赤褐色

3区第50号住居跡

0427	高杯 土器器	略完	口 13.0 高 9.8 底 8.8	カマド燃 焼部	①褐色粒, 細砂②酸化③褐色
0428	杯 土器器	口縁部 瓦	口 13.3 高 (5.0) 底 ●	カマド右 袖前	①褐色粒, 細砂②酸化③明赤褐色
0429	壺 煎煮器	口縁部 小片	口 (23.0) 高 (4.5) 底 -	南辺西寄 床下～7 溝フク土	①白色粒少②還元③暗オリーブ灰色
0430	不明 石		長 19.5 幅 16.0 厚 3.5	北西隅床 下	④重さ1.715g, 磁石?, 粗粒安山岩

3区第51号住居跡

0489	模造品 滑石製	瓦	長 4.0 幅 2.8 厚 0.5	中央南寄 床直上	③明青灰色④重さ9.0g, 刺形, 双孔
------	------------	---	-------------------------	-------------	----------------------

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①新土 ②焼成 ③色調 ④備考
0490	紡錘車 滑石製	完形	外 3.9 孔 0.65 厚 1.7	北東隅床 面	③暗緑灰色④重さ38.5g
0491	杯 土器器	略完	口 11.4 高 3.6 底 ●	北東隅貯 蔵穴内	①細砂②酸化③棕色
0492	杯 土器器	片	口 10.8 高 3.9 底 ●	南辺中央 壁際床面	①精良②酸化③棕色
0493	杯 土器器	片	口 11.8 高 (3.7) 底 -	北辺東寄 床面	①細砂②酸化③棕色
0494	壺 土器器	片	口 (8.2) 高 5.9 底 5.8	北西寄床 面	①褐色粒、細砂②酸化③褐色④割7.8
0495	高杯 須恵器	片	口 12.2 高 8.5 底 (9.4)	北西寄床 面	①砂粒②還元③灰白色
0496	壺 須恵器	口縁欠	口 - 高 (8.8) 底 ●	中央南寄 床下	①白色粒②還元③灰色④割13.4
0497	壺 土器器	底部欠	口 21.1 高 (34.0) 底 -	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③棕色④割18.0
0498	壺 土器器	完形	口 12.3 高 10.9 底 ●	北東隅壁 際床直上	①砂粒多②酸化③棕色④割14.8
0499	丸胴壺 土器器	口縁部 ～体部	口 22.5 高 (22.0) 底 -	北東隅貯 蔵穴内	①褐色粒、砂粒②酸化③鈍い赤褐色④割28.2
0500	壺 土器器	口縁部 片	口 (20.8) 高 (9.1) 底 -	カマド左 床面	①砂粒多②酸化③棕色
0501	壺 土器器	口縁部	口 19.7 高 9.7 底 -	カマド内	①褐色粒、砂粒多②酸化③暗赤褐色
0502	壺 土器器	片	口 18.5 高 37.0 底 4.5	カマド前 床面	①褐色粒、砂粒多②酸化③鈍い棕色④割17.5
0503	壺 土器器	片	口 (22.7) 高 35.0 底 3.4	カマド前 床面	①褐色粒、砂粒多②酸化③暗赤色④割18.0

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0504	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 19.8 高 25.1 底 —	中央東寄 床面	①砂粒多②酸化③褐色④割17.4
0535	壺 須恵器	略完	口 16.7 高 21.5 底 ●	中央北東 床面	①白色粒多②還元③オリーブ灰色④割22.6

3区第52号住居跡

0475	杯 土師器	片	口 11.8 高 4.3 底 ●	北東寄床 面	①褐色粒、細砂②酸化③鈍い褐色
0476	蓋 須恵器	片	口 14.2 高 4.4 ツマミなし	中央南寄 床面	①砂粒②還元③灰白色
0477	杯 土師器	略完	口 11.6 高 4.8 底 ●	中央フク 土	①精良②酸化③明赤褐色
0478	杯 土師器	略完	口 12.6 高 4.6 底 ●	中央東寄 フク土	①褐色粒、細砂②酸化③鈍い赤褐色
0479	杯 土師器	片	口 (12.6) 高 4.7 底 ●	フク土	①細砂②酸化③暗褐色
0480	杯 土師器	片	口 (13.2) 高 4.2 底 ●	中央フク 土	①褐色粒、細砂②酸化③暗褐色
0481	短頸壺 須恵器	略完	口 11.4 高 8.5 底 ●	貯蔵穴内	①細砂②還元③灰白色④割15.2
0482	杯 土師器	片	口 12.7 高 4.4 底 ●	中央東寄 床面	①砂粒②酸化③内外黒色
0483	壺 土師器	底部	口 — 高 14.8 底 8.0	カマド	①細砂②酸化③褐色④割23.8
0484	壺 土師器	略完	口 17.8 高 10.7 孔 2.1	中央南寄 床面	①砂粒②酸化③褐色④外縁16.2
0485	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 19.0 高 (15.2) 底 —	カマド前 柱穴内	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①粘土 ②焼成 ③色調 ④備考
0486	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 20.5 高 (11.7) 底 —	南西辺南 寄壁階フ ク土	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色
0487	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 (20.1) 高 21.0 底 —	南西辺南 寄壁階フ ク土	①砂粒多②酸化③鈍い赤褐色④割18.2
0488	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 (18.4) 高 (22.2) 底 —	南西辺南 寄壁階フ ク土	①砂粒多、小石②酸化③鈍い褐色④割16.8
0590	不明 瓦石		長 (8.8) 幅 (10.0) 厚 (5.2)	カマド	④重さ290.5g、軽石(ニツ岳)

3区第53号住居跡

0589	杯 土師器	瓦	口 (11.8) 高 3.9 底 ●	北東寄床 面	①褐色粒、砂粒②酸化③鈍い褐色
0590	杯 土師器	略完	口 12.1 高 4.3 底 ●	カマド前 床面	①精良②酸化③鈍い褐色
0591	杯 土師器	瓦	口 (14.2) 高 4.4 底 ●	カマド右 袖	①褐色粒、細砂②酸化③赤褐色
0592	杯 土師器	小片	口 (13.2) 高 (4.0) 底 ●	中央南寄 床面	①細砂②酸化③灰オリーブ黒色

3区第54号住居跡

0465	杯 土師器	完形	口 13.6 高 3.8 底 ●	南辺東寄 壁際	①細砂②酸化③褐色
0466	高杯 土師器	略完	口 18.3 高 16.3 底 13.9	南東隅床 面	①細砂②酸化③明赤褐色
0467	高杯 土師器	脚部	口 — 高 (7.7) 底 9.0	中央床面	①精良②酸化③褐色
0468	高杯 須恵器	脚部	口 — 高 (4.8) 底 10.0	中央南寄 床面	①細砂②還元③灰色
0469	甕 土師器	略完	口 25.8 高 27.2 孔 9.2	中央東寄 床面	①砂粒多②酸化③鈍い褐色④割下19.0

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0470	壺 土師器	略完	口 19.3 高 26.8 底 6.1	中央床面	①褐色粒、砂粒②酸化③鈍い橙色④割22.7
0471	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 18.0 高 (17.4) 底 -	東寄床面	①砂粒②酸化③橙色④割26.0
0472	壺 土師器	完形	口 15.8 高 20.6 底 4.5	中央床面	①砂粒多②酸化③鈍い橙色④割16.2
0473	壺 土師器	略完	口 9.0 高 9.3 底 6.0	南辺寄床 面	①褐色粒②酸化③橙色④割12.3
0474	壺 土師器	略完	口 13.0 高 10.5 底 5.3	南辺寄床 面	①砂粒多②酸化③鈍い橙色④割13.0

3区第55号住居跡

0504	壺 土師器	片	口 (11.0) 高 10.2 底 (5.0)	北東辺中 央壁際	①褐色粒、砂粒②酸化③赤褐色④割12.4
0505	壺 土師器	口縁部 ～体部	口 (16.0) 高 (13.6) 底 -	北西寄床 面	①砂粒②酸化③鈍い赤褐色④割18.6
0506	不 明 石		長 11.2 幅 8.7 厚 5.6	中央南寄 床面	④重さ514.6g、粗粒安山岩

3区第57号住居跡

番号	器種	遺存	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1338	深鉢	口縁部 小片	フク土	③鈍い橙色④R.L., 諸磯
1339	深鉢	口縁部 小片	フク土	③鈍い褐色④R.L., 諸磯
1340	深鉢	口縁部 小片	フク土	③橙色④R.L., 諸磯
1341	深鉢	口縁部 小片	北2	①繊維③橙色④L.R., 黒浜

番号	器種	遺存	出土位置	①胎土	②顔成	③色調	④備考
1342	深鉢	口縁部 小片	フク土			③赤黄褐色④R L, 諸磯	
1343	深鉢	口縁部 小片				③鈍い橙色④口縁刻み+R L, 諸磯	
1344	深鉢	口縁部 小片				③鈍い赤褐色④口縁刻み附加条2種	
1345	深鉢	口縁部 小片	フク土			③鈍い赤褐色④R L, 諸磯 a	
1346	深鉢	口唇部 小片	フク土			①繊維③鈍い黄褐色④R L平行比線, 黒浜	
1347	深鉢	口縁部 小片	フク土			③鈍い赤褐色④R Lを腹に施文+円形刺突, 諸磯 a	
1348	深鉢	口縁部 小片	フク土			③鈍い赤褐色④R L+円形刺突, 諸磯 a	
1349	深鉢	口縁部 小片	フク土			③赤褐色④R L, 諸磯	
1350	深鉢	体部 小片	フク土			③鈍い黄褐色④R L, 諸磯	
1351	深鉢	口縁部 小片				③赤褐色④R L+円形刺突, 諸磯 a	
1352	深鉢	体部 小片				③赤褐色④L R, 諸磯	
1353	深鉢	体部 小片	フク土			①繊維③鈍い黄褐色④L R, 黒浜	
1354	深鉢	体部 小片	フク土			①繊維③鈍い黄褐色④L R, 黒浜	
1355	深鉢	体部 小片	フク土			①繊維③明褐色④R L, 黒浜	

番号	器種	遺存	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1356	深鉢	体部 小片	フク土	①繊維②浅黄橙色④Lr黒沢
1357	深鉢	底部 小片	フク土	①繊維②浅黄色④L.R, 黒沢
1358	石鏝			④珪質頁岩
1359	剥片石器		北東寄床 面	④黒色頁岩
1360	不明 石			④粗粒安山岩
1361	ナリ石			④粗粒安山岩, 長11.8, 幅6.1, 厚2.8

3区第59A号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0374	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 13.0 高 (13.3) 底 —	59住カ マド左脇 床面	①砂粒②酸化③橙色④割15.0
0384	杯 土師器	瓦	口 14.0 高 5.0 底 ●	カマド左 脇床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③橙色

3区第58B・59B号住居跡

0385	杯 土師器	瓦	口 13.9 高 (5.0) 底 ●	58・5 9住フク 土	①褐色粒, 砂粒②酸化③明赤褐色
0386	杯 土師器	瓦	口 (13.3) 高 5.8 底 ●	58・5 9住フク 土	①褐色粒, 砂粒②酸化③橙色
0387	甕 土師器	口縁部 ～体部	口 12.3 高 6.9 底 —	58・5 9住フク 土	①褐色粒, 砂粒②酸化③橙色
0388	砥石	略完	長 9.6 幅 3.8 厚 1.9	58・5 9住フク 土	③暗赤褐色④重さ129.5g, 砥沢石

番号	器 種	遺 存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0389	杯 土 師 器	略完	口 11.4 高 6.7 底 ●	南辺東寄 壁際床面	①褐色粒、細砂②酸化③鈍い赤褐色
0390	杯 土 師 器	略完	口 13.5 高 5.85 底 ●	南辺東寄 壁際床面	①褐色粒、細砂②酸化③棕色
0391	杯 土 師 器	略完	口 13.7 高 5.5 底 ●	南辺東寄 壁際床面	①褐色粒、砂粒②酸化③棕色
0392	杯 土 師 器	片	口 (12.2) 高 4.9 底 ●	カマド左 脇壁際床 面	①褐色粒、砂粒②酸化③棕色
0393	杯 土 師 器	片	口 (13.2) 高 5.5 底 ●	南辺東寄 壁際床面	①褐色粒、砂粒②酸化③棕色
0394	杯 土 師 器	片	口 (17.0) 高 7.8 底 ●	カマド	①褐色粒、細砂②酸化③棕色
0395	杯 土 師 器	片	口 14.8 高 6.4 底 ●	カマド	①細砂②酸化③鈍い赤褐色
0396	杯 土 師 器	片	口 19.3 高 5.5 底 ●	カマド左 脇壁際床 面	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
0397	高 杯 土 師 器	略完	口 13.5 高 9.1 脚 8.8	カマド	①褐色粒、砂粒②酸化③明赤褐色
0398	高 杯 土 師 器	脚部	口 — 高 4.6 底 9.8	南辺東寄 壁際床面	①褐色粒②酸化③棕色
0399	壺 土 師 器	略完	口 14.5 高 23.6 底 7.5	カマド右 脇床面	①褐色粒、細砂②酸化③棕色④割22.4
0400	壺 土 師 器	片	口 16.3 高 29.5 底 6.2	中央南寄 床面	①黒色小粒多②酸化③鈍い赤褐色④割19.6
0401	壺 土 師 器	底部欠	口 15.8 高 (15.7) 底 —	カマド前 床面	①砂粒②酸化③鈍い黄褐色④割21.1

番号	器 種	遺 存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0402	壺 土 師 器	略完	口 14.7 高 (21.0) 底 —	カマド前 床面	①砂粒多②酸化③赤色④割19.5
0403	壺 土 師 器	口縁部 ～体部	口 15.0 高 30.0 底 —	カマド前 床面・南 辺床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③明赤褐色④割23.5
0404	瓶 土 師 器	底部 片	口 — 高 (12.5) 孔 9.5	カマド右 脇床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③棕色
0405	丸 刷 壺 土 師 器	体部 下半	口 — 高 (21.1) 底 —	カマド周 辺床面敷 在	①砂粒②酸化③淡黄色④割27.4
0406	瓶 土 師 器	片	口 23.5 高 23.4 孔 9.6	カマド周 辺～南辺 床面敷在	①白色粒②酸化③棕色④割20.2
0407	瓶 土 師 器	片	口 21.8 高 24.7 孔 9.2	カマド前 床面	①褐色粒, 砂粒②酸化③明赤褐色④割21.2

3区第61A号住居跡

0415	杯 土 師 器	片	口 (15.2) 高 5.9 底 ●	北東寄床 面	①褐色粒, 細砂②酸化③棕色
0416	瓶 土 師 器	中位欠	口 24.8 高 28.1 底 8.4	南東寄床 面	①褐色粒, 砂粒②酸化③棕色
0426	不 明 石		長 8.6 幅 7.4 厚 1.6	南東隅床 面	④重3169.1g, 変質安山岩

3区第61B号住居跡

0408	蓋 須 恵 器	片	口 11.8 高 4.8 ツマミなし	南辺西寄 床面	①白色粒②還元③灰色
0409	杯 土 師 器	略完	口 13.6 高 4.9 底 ●	南辺東寄 床面	①褐色粒, 細砂②酸化③棕色
0410	無 頸 壺 土 師 器	片	口 (9.5) 高 7.5 底 —	中央床直 上	①細砂②酸化③灰赤色
0411	壺 土 師 器	口縁部	口 15.6 高 (8.5) 底 —	カマド右 脇床面	①砂粒多②酸化③鈍い棕色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②酸化 ③色調 ④備考
0412	甕土師器	口縁部 ～体部	口 12.6 高 (15.5) 底 -	カマド・ カマド脇 床面	①褐色粒、砂粒②酸化③橙色④割18.2
0413	甕土師器	底部欠	口 12.6 高 (12.6) 底 -	掘形フク 土	①砂粒②酸化③橙色④割14.0
0414	模造品 滑石製	完形	長 4.3 幅 3.7 厚 0.6	フク土	③青灰色④重さ17.4g、4cm大、単孔円板

3区第62号住居跡

0597	甕 須器器	頸部片	口 - 高 (12.5) 底 -	北東寄床 面	①白色粒②還元硬③褐灰色④割28.1
0598	紡錘車 滑石製	完形	外 4.1 孔 0.7 厚 1.7	フク土	③灰黄色④重さ42.9g

3区第63号住居跡

0599	甕土師器	略完	口 14.0 高 17.3 底 6.1	カマド内	①褐色粒、砂粒②酸化③鈍い橙色④割14.8
0600	甕土師器	底部	口 - 高 (6.0) 底 6.5	カマド	①砂粒多②酸化③明赤褐色
0601	杯土師器	片	口 13.8 高 3.8 底 ●	フク土	①砂粒②酸化③橙色
0602	杯土師器	片	口 16.4 高 3.7 底 ●	フク土	①細砂少②酸化③橙色

3区第64号住居跡

0603	杯土師器	片	口 (15.1) 高 5.3 底 ●	南寄フク 土	①細砂②酸化③赤褐色
0604	杯土師器	小片	口 (12.4) 高 (5.0) 底 -	南寄フク 土	①褐色粒②酸化③赤褐色
0605	甕土師器	口縁部 小片	口 (20.7) 高 8.2 底 -	南寄床面	①砂粒②酸化③橙色

3区第66号住居跡

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②集成 ③色調 ④備考
0606	杯土師器	略完	口 12.2 高 5.5 底 ●	カマド左脇床面	①褐色粒、細砂②酸化③明赤褐色
0607	杯土師器	略完	口 12.6 高 5.5 底 ●	カマド左脇床面	①褐色粒、細砂②酸化③赤褐色
0608	杯土師器	片	口 13.8 高 (4.2) 底 —	カマド圓形フク土	①褐色粒、細砂②酸化③赤褐色
0609	杯土師器	完形	口 15.6 高 7.5 底 ●	中央南寄床面	①褐色粒、細砂②酸化③鈍い赤褐色
0610	杯土師器	略完	口 14.1 高 8.1 底 ●	北側柱穴内	①細砂②酸化③棕色
0611	高杯土師器	脚部	口 — 高 (4.7) 底 9.4	貯蔵穴	①精良②酸化③棕色
0612	壺土師器	片	口 19.2 高 34.2 底 7.0	中央床面	①砂粒多②酸化③暗赤褐色④割23.8
0613	壺土師器	略完	口 17.4 高 27.8 底 4.7	中央北寄床面	①褐色粒、砂粒②酸化③明赤褐色④割18.8
0614	壺土師器	略完	口 17.6 高 32.4 底 5.5	中央北寄床面	①褐色粒、砂粒②酸化③鈍い赤褐色④割21.8
0615	壺土師器	略完	口 16.2 高 23.1 底 6.6	中央床面貯蔵穴	①砂粒多②酸化③鈍い黄褐色④割19.0
0616	壺土師器	口縁部～体部	口 18.3 高 (21.7) 底 —	中央北寄床面	①砂粒②酸化③鈍い黄褐色④割20.6
0617	壺土師器	略完	口 10.0 高 14.5 底 ●	中央床面	①細砂②酸化③棕色④割14.6
0618	壺土師器	片	口 13.7 高 13.65 底 4.0	中央床面	①砂粒多②酸化③棕色④割15.6

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0619	壺 土器	口縁部	口 19.9 高 6.0 底 —	貯蔵穴	①砂粒②酸化③橙色
0620	管 玉	略完	長 2.8 外 1.1 孔 0.2	フク土	③オリーブ黄色④重さ5.5g, 材質不明
0621	杯 土器	1/2	口 12.5 高 5.4 底 ●	カマド	①褐色粒, 細砂②酸化③粗色
0622	壺 土器	底部	口 — 高 (13.8) 底 8.5	貯蔵穴底 部	①白色粒多②酸化③鈍い赤褐色
0623	杯 土器	口縁部 小片	口 15.5 高 (5.6) 底 —	フク土	①細粒②酸化③鈍い褐色④内黒

3区第68号住居跡

0632	杯 土器	1/2	口 12.4 高 5.1 底 ●	カマド前 床面	①褐色粒, 細砂②酸化③赤褐色
0633	杯 土器	1/2	口 13.3 高 4.2 底 ●	カマド	①褐色粒, 細砂②酸化③赤褐色

3区第69号住居跡

0624	杯 土器	略完	口 12.2 高 5.0 底 ●	南西寄床 面	①褐色粒, 細砂②酸化③明赤褐色
0625	杯 土器	略完	口 12.1 高 5.2 底 ●	南西寄床 面	①細砂②酸化③鈍い赤褐色
0626	壺 土器	口縁部 ～体部	口 16.5 高 17.5 底 —	床下	①砂粒多②酸化③橙色④重21.0

3区第70号住居跡

0627	杯 土器	略完	口 12.2 高 5.0 底 ●	南寄床面	①褐色粒, 細砂②酸化③明赤褐色
0628	杯 土器	1/2	口 15.4 高 7.4 底 ●	床下	①褐色粒, 細砂②酸化③明赤褐色

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0629	高杯 土師器	脚基部 欠	口 12.1 高 (9.4) 底 -	床下	①褐色粒、細砂②酸化③褐色
0630	壺 土師器	底部	口 - 高 (9.5) 底 8.1	南寄床直 上	①細砂②酸化③鈍い褐色
0631	壺 土師器	体部 ～底部	口 - 高 (20.8) 底 7.8	床下	①褐色粒、砂粒②酸化③褐色④割20.8

3区第5号井戸

0662	杯 土師器	片	口 15.8 高 2.7 底 (9.5)	フク土	①褐色粒、細砂②酸化③鈍い褐色
0663	鉢 軟質陶器	口縁部	口 30.7 高 (8.9) 底 -	フク土	①褐色粒、砂粒②酸化③褐色

3区第1号溝

0417	碗? 陶器	小片	厚 0.9	1溝フク 土	①精良③オリーブ灰色
0418	鉢 軟質陶器	底部	口 - 高 (10.0) 底 -	1溝フク 土	①細砂②酸化③赤黒色
0419	鉢 軟質陶器	口縁部	口 28.0 高 7.9 底 -	1溝フク 土	①細砂②還元③褐色
0420	鉢? 軟質陶器	口縁部	口 - 高 (6.4) 底 -	1溝フク 土	①細砂②還元③鈍い黄褐色
0421	壺 陶器	底部	口 - 高 (9.4) 底 18.0	1溝フク 土	①砂粒③灰白色
0422	壺 陶器?	肩部	口 - 高 (4.1) 底 -	1溝フク 土	①砂粒②還元③灰白色、須恵質
0423	甌? 土師質	底部	口 - 高 (7.0) 底 9.0	1溝フク 土	①砂粒多②酸化③淡黄褐色
0660	空風輪 五輪塔	略完	高 30.2 幅 22.0	1溝	④重さ8.7kg軽石(ニツ岳)

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0661	陶 青磁	底部	口 ー 高 (1.7) 底 3.0	1溝	①精良③オリブ黄色

3区第6号溝

0431	甌 土師器	口縁部 欠	口 ー 高 26.9 孔 12.0	フク土	①褐色粒、砂粒②酸化③褐色④割21.8
------	----------	----------	-------------------------	-----	---------------------

3区第7号溝

0669	管 玉	完形	長 外 2.5 孔 0.6 孔 0.2	フク土	③青黒色④重さ2.0g、碧玉?
------	--------	----	------------------------------	-----	-----------------

3区第14号溝

0424	甌 土師器	略完	口 10.8 高 2.5 底 6.2	フク土	①褐色粒、細砂②酸化③褐色
------	----------	----	--------------------------	-----	---------------

3区第2号土壇

0674	古 銅製品	略完	径 2.5	人骨中腹 部基壇底 面10cm	④鉄種不明
------	----------	----	-------	-----------------------	-------

3区第3号土壇

0664	杯 土師質	略完	口 8.0 高 2.4 底 5.5	フク土	①白色粒②酸化③鈍い褐色
0665	杯 土師質	片	口 8.0 高 1.5 底 5.0	フク土	①白色粒②酸化③鈍い黄褐色
0675	永楽通宝 銅製	略完	径 2.4	基壇底面 腹部	
0676	永楽通宝 銅製品	略完	径 2.5	基壇底面 腹部	
0677	古 銅製		径 2.4	基壇底面 腹部	④元祐通宝または元符通宝、摩滅
0678	永楽通宝 銅製	略完	径 2.4	基壇底面 腹部	

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0679	洪武通宝 銅製		径 2.4	基壇底面 腹部	④「洪」摩滅
0680	古銭 銅製	径 2.4	基壇底面 腹部	④摩滅。 銭種不明	

3区第1号土坑

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0666	羽蓋 土器質	口縁部	口 19.0 高 (4.9) 底 -		①細砂②酸化③橙色

3区第2号土坑

番号	器種	遺存	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1392	深鉢	口縁部 小片	フク土	⑤明赤褐色④R L, 諸磯*
1393	深鉢	胴部 小片	フク土	③暗赤褐色④R L, 諸磯*
1394	深鉢	胴部 小片	フク土	③灰青褐色④R L, 諸磯*
1395	深鉢	胴部 小片	フク土	①織維③浅黄色④爪形文, R L, 黒浜
1396	深鉢	胴部 小片	フク土	①織維③浅黄色④爪形文, R L, 黒浜
1397	深鉢	胴部 小片	フク土	①織維③浅黄色④爪形文, R L, 黒浜

3区第2号土坑

1398	深鉢	口縁部 小片	フク土	③鈍い橙色④R L, 諸磯*
1399	深鉢	胴部	フク土	①織維③鈍い橙色④平行沈線+爪形文, L R, 黒浜

番 号	器 種	遺 存	出土位置	①胎土	②焼成	③色調	④備考
1400	深 鉢	胴部	フク土	②赤褐色④R L, 諸磯 a			
1401	深 鉢	胴部	壁際	②赤褐色④R L, 諸磯 a			
1402	石 皿	片	中央底面	④粗粒安山岩			
1403	石 皿	片	北寄壁際 底面	④粗粒安山岩			
1404	ナリ石	完形	中央底面	④粗粒安山岩			

3区第28号土坑

番 号	器 種	遺 存	出土位置	①胎土	②焼成	③色調	④備考
1405	深 鉢	口縁部 小片	フク土	①織織③鈍い黄褐色④L R, 黒沢			
1406	深 鉢	口縁部 小片	フク土	①織織③黒褐色④沈線L R, 黒沢			
1407	深 鉢	胴部 小片	フク土	②褐色④R L, 諸磯 a			

3区第31号土坑

番 号	器 種	遺 存	出土位置	①胎土	②焼成	③色調	④備考
1408	深 鉢	口縁部 小片	フク土	①織織③鈍い赤褐色④L R, 黒沢			
1409	深 鉢	胴部 小片	フク土	②鈍い赤褐色④R L, 諸磯 a			
1410	深 鉢	胴部 小片	フク土	③鈍い黄褐色④R L, 諸磯 a			

番号	器種	遺存	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
1411	深鉢	口縁部 小片	フク土	①繊維③鈍い黒褐色④コンパス+爪, 黒派
1412	深鉢	胴部 小片	フク土	①繊維③暗オリーブ色④爪形文, L.R., 黒派
1413	深鉢	胴部 小片	フク土	①繊維③鈍い黄色④爪形文, R.L., 黒派
1414	深鉢	胴部 小片	フク土	①繊維③外面鈍い黄褐色④爪形文, R.L.

3区第40号土坑

番号	器種	遺存	口・高・底	出土位置	①胎土 ②焼成 ③色調 ④備考
0667	杯 須恵器	片	口 (10.8) 高 1.7 底 -	フク土	①細砂②還元③灰白色
0668	杯 土師質	片	口 11.2 高 3.0 底 5.6	フク土	①砂粒②酸化③鈍い黄褐色

3区第42号土坑

0425	甗 土師質	完形	口 7.8 高 2.0 底 4.4	土坑フク 土	①褐色粒, 細砂②酸化③褐色
------	----------	----	-------------------------	-----------	----------------

群馬県埋蔵文化財調査事業団
発掘調査報告第93集

資料編1

三ッ寺II遺跡 —上越新幹線関係埋蔵文化財発掘調査報告第13集—

平成2年8月25日 印刷

平成2年8月31日 発行

編集・発行／財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

勢多郡北楯村大字下箱田784番地の2

電話 (0279) 52-2511(代表)

印刷／朝日印刷工業株式会社